



神戸東ロータリークラブ 創立60周年記念誌





神戸東ロータリークラブ



創立60周年記念誌



神戸東ロータリークラブ

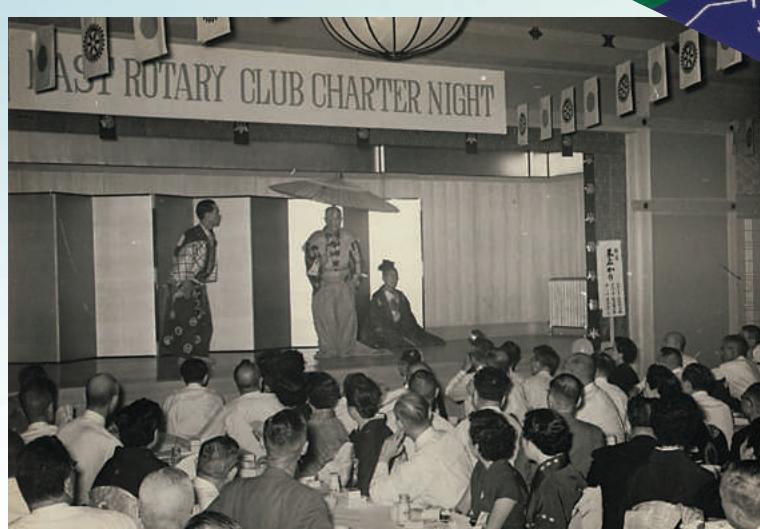
荒波を越えて60周年・・・



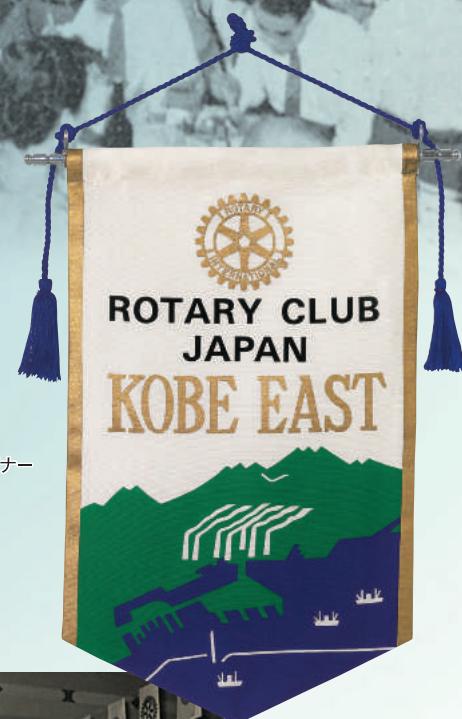
1954.9.25 小菅ガバナーよりチャーターバーで認証状を受け取る井波会長



1954.4.12付
国際ロータリー
加盟認証状



1954.9.25 有馬・月光園にてチャーターナイト開催



創立時のバナー



1959 創立5周年記念例会



1969 創立15周年記念例会



1974 創立20周年記念例会



1979 創立25周年記念例会



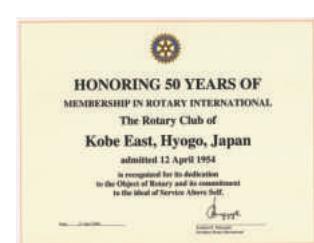
1984 創立30周年記念例会



1989 創立35周年記念例会



1994 創立40周年記念例会



国際ロータリーより創立50周年表彰状



1999 創立45周年記念例会



2004 創立50周年記念例会



2009 創立55周年記念例会

創立60周年記念式典・祝賀会

第1部 式典



創立60周年記念式典・祝賀会

第2部 祝賀会



アトラクション

鍋島なおてるカルテット
with
ゲストボーカル 新井雅代



皆出席会員表彰



銀婚会員のお祝い 石川泰平・加納哲裕会員



唱和 手にてついで



閉会の挨拶 土城敏彦副実行委員長



お茶席



絵画・写真同好会



創立60周年記念講演

インクルージョン(包み込む) 社会を目指して

講師

細川 佳代子 氏

Profile

NPO法人勇気の翼インクルージョン2015 理事長
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 名誉会長

上智大学卒業後、71年に細川護熙氏と結婚。政治活動を支える一方でボランティア活動に取り組む。障がいの有無に関わらず全ての人が活き活きと暮らせる「インクルージョン(包み込む共生)社会の実現」を目指し、現在、NPO法人勇気の翼インクルージョン2015等を中心に活動中。

製作・総指揮を務めた5作目の映画『天心の譜』は2012年に東京・大阪・名古屋等にて上映。2013年6月には福岡にて上映。

著書「花も花なれ、人もなれ～ボランティアの私～」角川書店

『神戸東ロータリークラブ』は、既に障碍者の方と長年にわたり、交流をされているということをお聞きし、とても気持ちよく参上しました。

私の活動の原点は、91年のスペシャルオリンピックスとの出会いから始まりました。当時、熊本に住んでおり、地方新聞で『スペシャルオリンピックスアメリカ夏季世界大会の床運動で、10歳のダウン症の女の子（ともこちゃん）が銀メダルをとった』という記事を見つけました。その体育の先生である中村さんの談話に「このオリンピックは最後まであきらめずにゴールまでベストをつくし、頑張った選手全員が表彰されるオリンピック」とあり、不思議に思いました。後日、当時所属していたボランティアグループに彼女を招き話を聞きました。

彼女の話の中に、アメリカのある牧師の言葉で「どんなに医学が進歩しても、人間が生まれ続ける限り、人口の2%前後は、知的障害の子供が生まれてくる。彼らは家族や周りの人たちに、思いやり・優しさなど、人間にとて一番大切な心を教えるために神様が私たちに届けて下さった贈り物である。また、彼らは本来、素晴らしい能力と可能性を秘めているのに、自分ひとりではそのこと

を発揮したり伝えるのが不自由。その生きにくさや困難さを理解せずに、保護、養護して育ててしまうと大変不幸な人生を送る。少しのサポートや理解があれば、一人ひとりが個性を活かし、自分らしくいきいきと幸せな人生を送ることが出来る。彼らが幸せになるか不幸になるかは『生を受ける時に周りにどれだけ理解ある社会があるか』で人生が決まってしまう。だからこそ理解と支援が必要である』そのお話に衝撃を受け、中村さんと共に活動を始めることになりました。

それまでの私は、障害者の方々を気の毒に思い、福祉団体訪問では慰めと励ましの言葉をかけ、帰り道では「我が子は三人とも無事で良かった」と思うような…本当にずるい自己中心で傲慢な人間であったと、その時初めて気づきました。牧師の話が事実なら、私のように誤解をしている人が九割もいるこの日本の社会の中で、心から「良き理解者になりたい」と思いました。

『スペシャルオリンピックスアメリカ夏季世界大会』に参加したともこちゃんは耳が不自由です。いつもなら目の前にいるコーチが見えない所に居たため、演技のスタートが出来ませんでした。ところが、数百人の観客が立って床を叩き拍手をし、全員で声援を送りました。演技をはじめたともこちゃんは、予選をdivisionで決勝に進出。結果は4人中2位、銀メダルを獲得したのです。スペシャルオリンピックスは勝負に勝つことよりも、昨日の自分に勝つこと。No.1ではなくOnly 1。一人ひとりの努力の過程を一番大切

にしていることも、結果第一の日本にはないすごい価値観だと思ったのです。そこから資金集め、人集めに奔走し、1000人集会も開き、93年の『オーストリア冬季世界大会』のアイススケートに二人の少年が選ばれました。その一人の自閉症児のかっちゃんは、緊張のあまり予選では全く動こうとせず失格になってしましましたが、大会本部より「失格を取り消すことは出来ないが、決勝でもう一度滑るチャンス」をいただき、表彰では『特別努力賞』というメダルをいただきました。誰ひとり落伍者を出さない理念通りのスペシャルオリンピックス。世界中の人の心が一つになる最高のスポーツの祭典。「いつか、この大会を日本で開くまで頑張ろう！」とこの時に決断いたしました。

そこから悪戦苦闘が始まります。以前の自分と同じような理解のない人間が九割もいる日本。知らなくてもなんの不自由もない、困ることもない。どうせ何をやらせても出来ないと思いこんでいる固定概念を崩すのは大変でした。一番悲しかったのは、ほとんどの親御さんに「スポーツなんてやっても無駄。出来るわけがない」と無視されたことです。しかし、95年の阪神淡路大震災で日本の社会がボランティア活動を認めたことで、2005年に長野で世界大会を大成功させることが出来ました。大会最後、私は「あと数分でこの大会は終わる」としていますが、終わりではなく今日が始まります。本当の成果が問われるのは10年後です。障害のあるなしに関わらず、全ての人がいのちを輝かせて暮らせるような『インクルージョンの社会』が実現してこそ、この大会が成功と言えます。誰もが持つ勇気の翼を大きく広げてインクルージョンの世界に飛び上ろうではありませんか」と挨拶しました。その後は大会委員長を有森裕子さんにお願いし、「スポーツで元気になれても七割強の人が就職出来ない。自立とは程遠いこの国には、就労支援が必要だ」と国民の意識を変えるために『勇気の翼 インクルージョン2015』というNPOを立ち上げました。

神戸東ロータリークラブの皆さん、就労支援に

力を入れようとされるとお聞きしましたが、そのようなロータリーは日本でただひとつだと思います。どんなお手伝いでも致しますので、どうか日本中のロータリアンが見習うようなお手本になってください。

私の活動のひとつに、自宅と学校だけの社会しかない彼らが、1週間に1時間だけ、放課後にボランティア一名と共に仕事を体験をするというものがあります。だんだんと彼らがその時間にそこにいるという街の中の風景ができ、地域の人との関わりが生まれます。スペシャルオリンピックスでも面白半分でボランティアにやってきた金髪にイヤリング、赤シャツの青年が、好き勝手に走り回る多動の自閉症の男の子の担当になりましたが、1年経ったら信頼関係ができ、コーチであるその青年の言うことを聞く

ようになりました。しかし、見違えるように変わったのは……コーチである青年のほうでした。「僕は、スペシャルオリンピックスで人生が変わった。それまでは何でも人のせいにして自分で責任をとらない一度も努力なんかしな

したことない人間だったと気がついた」という彼は外見からも、立派な青年になっていました。私は知的障害の人達は社会に必要な人で、社会に入り触れ合うことで社会を変えるキーパーソンだと思っています。私自身もスペシャルオリンピックスに出会う前の50年間と出会ってからの22年間の人生では、後のほうが充実しています。人間として一番大切なことを彼らから教えてもらった。彼らは私の人生の師であります。70数億の人間がこの世にいますが、誰ひとり生まれてこなくていい人間はいない。全ての人はこの世に意味・役目があり生まれてくるのに、それをおかしくするのは私たち健常者の傲慢だと確信するようになりました。そして、ひとりでも多くの賛同者が増えれば日本は良い国になります。

どうか皆さん。一人でも二人でも就労支援など、何か動きがありましたらお手伝いに伺います。熱心なお母さま達もおられます。日本のモデルになるようなロータリークラブの活動をしていただけたら嬉しいです。今後とも宜しくお願いします。





11月2日 王子動物園絵画教室
「絵本作家永田萌さんと王子動物園で
絵を描こう」

11月16日 和太鼓贈呈式(友生支援学校)



11月17日 60周年記念親睦家族旅行
～18日（東北・仙台・石巻方面）

1月7日 60周年記念合同例会
(神戸東灘、神戸六甲、神戸ベイ、
神戸東RC、神戸東プロバスクラブ)



1月17日 青陽東養護学校招待ボウリング大会(神戸六甲ボウル)

2月21日 友生支援学校招待ボウリング大会(神戸六甲ボウル)

3月9日 中央区少年団親善野球大会(山の手小学校)



3月11日 60周年記念就労支援プロジェクト
(青陽東養護学校及びゴンチャロフ
製菓工場就労現場見学)



4月3日 60周年記念ゴルフ大会(広野GC)



4月8日 60周年記念句集「余韻6」発刊

60周年記念東彩会作品展
(ホテルオークラ神戸、兵庫県民アートギャラリー)



60周年記念講演
「インクルージョン(包み込む)社会を
目指して」 講師 細川佳代子氏

4月18日 60周年記念麻雀大会(リボン)

荒波を越えて60年	2
創立60周年記念式典・祝賀会 会場風景	4
創立60周年記念講演 インクルージョン(包み込む)社会を目指して 講師 細川佳代子氏	10
2013~14年度クラブ事業紹介	12

第1部 創立60周年によせて

会長挨拶	神戸東ロータリークラブ 会長 野々村禎之	16
祝辞	RI2680地区 2013~14年度ガバナー 大室 優	17
	神戸ロータリークラブ 会長 鈴木 一誠	18
創立60周年記念事業報告	創立60周年記念事業実行委員会 委員長 野田 晴清	19
記念式典・祝賀会(式次第・来賓ご芳名・物故会員・皆出席会員・銀婚を迎えた会員)		21

第2部 そして未来へ

ガバナー時代の思い出	パストガバナー 赤木 文夫	24
温故知新の旅に想う	パストガバナー 久野 薫	26
歴代会長が語る10年間のあゆみ		30
創立60周年記念座談会		
～創立100周年に向かって我がクラブのあり方を考える～		48
神戸東RC未来委員会からの提言(その②)		68
委員会報告～創立50周年からの歩み、そして未来へ～		
5大奉仕委員会の歩み(5年間)		80
各委員会報告(10年間)		90
同好会報告～同好会の足跡を訪ねて		116
むつみ会報告		130

第3部 会員隨想～神戸東ロータリークラブと共に～

悉皆会員名簿・名誉会員		174
歴代地区委員(5年間)		183
歴代役員・歴代理事・委員長(5年間)		184
現会員名簿		186
創立60周年記念事業実行委員会組織図・編集後記		189



第1部

創立60周年によせて

創立60周年を迎えて

祝辞

野々村 穎之

神戸東ロータリークラブ
会長



神戸東ロータリークラブは、ここに創立60周年を迎えるにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

私ども、神戸東ロータリークラブは、1954年4月12日に国際ロータリーの加盟承認を戴き、神戸ロータリークラブをスポンサークラブとして、地区で9番目、全国で122番目のロータリークラブとして発足致しました。戦後の復興が軌道にのり人々も落ち着きを取り戻して、政治や経済も安定しかかった頃であり、そのような時に私ども神戸東ロータリークラブが誕生致しました。

それから60年の歳月を経て、発足当時の33名から135名を最大会員数として、現在106名の会員数を擁するクラブに成長し、社会奉仕活動を中心に職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕と多岐にわたる活動を実践し、地域社会にしっかりと根を下ろすことができましたのも、スポンサークラブ・地区歴代ガバナーはじめ役員の皆さま・近隣諸クラブの皆さまのご指導・ご支援の賜物であり、そして、私どもクラブの歴代会長・幹事、会員諸先輩の皆さまのご努力・ご協力によるものと心から感謝致しております。

私ども神戸東ロータリークラブは、創立60周年、人生に例えれば“還暦”という節目の年を迎ました。「これまでの人生を振り返り、生まれ変わった気持ちで新たにスタートを切る年」となるわけですが、ロータリークラブにおいても同じことが言えるのではないでしょうか。歴史は繰り返すと言いますが、幾世代にも跨る60年を振り返り、先輩たちに学び、今後の私たちのあるべき姿、進むべき方向を考える事が、大切であると思う。また、暖かく楽しく培ってきた伝統をしっかりと受け継ぎながら、会員相互の親睦をますます深め、地域の人々との友情の輪を広げながら、家族的とも言える温かさの伝統を連綿として受け継いで、次世代へとつなげまいります。

ロータリーの理念を忘れる事なく、ロータリーを更に理解し、一層の親睦を深め、社会奉仕活動を展開し、75周年・100周年に向けて、さらなる発展を遂げる事を期待しましてご挨拶と致します。

大室 儒

RI2680地区
2013-14年度ガバナー



神戸東ロータリークラブの皆様、創立60周年真におめでとうございます。

国際ロータリー第2680地区を代表いたしまして、一言お祝い申し上げます。

神戸東ロータリークラブは、1954年4月12日に神戸ロータリークラブをスポンサークラブとして地区内9番目のクラブとして誕生しました。特別代表は、澤田清兵衛様でした。

創立以来、多くのロータリーの奉仕活動に取り組んで来られ、地域社会と共に歩んで来られました。この間に、4つのロータリークラブ、芦屋ロータリークラブ、神戸東灘ロータリークラブ、神戸有馬ロータリークラブ、神戸六甲ロータリークラブのスポンサークラブとなっておられますし、高齢化社会にも対応され、神戸東プロバスクラブも提唱され、立派に支援を続けて来られました。

ここで特筆すべきは、今まで5人の地区ガバナーを輩出されていることです。現在も、赤木文生様、久野薰様のお二人のパストガバナーがご健在で、ご指導いただいております。地区内に神戸ロータリークラブが1924年に設立されて以来、今年度までに53人のガバナーが生まれておりますが、実におよそ10%を占めます。

これは、神戸東ロータリークラブが2680地区的進むべき方向性を決めて来られたクラブでもあり、クラブの枠を越えてご尽力給わってきました証しでもあります。

国際ロータリーには、その年度のテーマがあります。60年前の国際ロータリー会長ホアキン・セラトサ・シビルス会長のテーマは、“クラブが増えれば友人が増す、友が増えれば奉仕の機会が増す”というものでした。

神戸東ロータリークラブは33人の会員でスタートしましたが、現在は100人を超す地区内2番目の大きなクラブへと成長されています。また、この60年間、奉仕の理念を持ち続けて、多くの奉仕活動を続けて来られました。

今年度RIロン・バートン会長のテーマは、“ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を”です。これからも、ロータリーに真剣に取り組まれ、周りの人びとの人生も、自分自身もより一層豊かになって頂き、神戸東ロータリークラブが、75周年、100周年に向けて、益々発展される事をご祈念申し上げます。

おめでとうございます。

祝辞

創立60周年記念事業報告

鈴木 一誠

神戸ロータリークラブ
会長



神戸東ロータリークラブの皆様、創立60周年を迎えたこと心よりお慶び申し上げます。昭和29年（1954年）4月に、神戸クラブ直木太一郎氏の肝いりで澤田清兵衛特別代表のもと、神戸市内では2番目、県下では9番目のロータリークラブとして創立されました。

この年より日本経済の高度経済成長が始まり、1990年代前半まで曲りなりにも成長しておりました。しかしバブル崩壊、そして阪神淡路大震災があり、国内景気が低迷し大変厳しい社会情勢により、会員勧誘などロータリーを取り巻く環境も厳しいものが続いております。ただ景気は回復基調になり、少し明るさが見えてきた事は今後に期待出来ると思います。

クラブ創立初期から青少年海洋訓練では、貴クラブが中心となり、神戸市内全クラブの合同事業として発展した事や、養護学校の生徒さん達のボウリング大会を継続して実施されている事に対して、これでこそロータリアンであると誇りに思っている次第です。

これは偏に、貴クラブの皆様がロータリー活動への情熱を創立以来失うことなく、地域社会や国際社会の中で実践してこられた賜物です。

又、高山・安福・金子・赤木・久野ガバナーと5名を輩出された貴クラブの力強さは、歴史と伝統の上に培われた会員皆様のロータリアンとしての行動に他ならないと心より敬服する次第です。

今年61年目を迎える貴クラブと我がクラブ、両クラブが互いに手を携えて、格調のあるロータリークラブの普及・発展に努める事が我々の責務ではないかと思います。

最後になりましたが、貴クラブが益々発展される事を切望するとともに、会員皆様のご多幸を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

野田 晴清

創立60周年記念事業実行委員会
委員長



我クラブは、昭和29年4月12日に、神戸ロータリークラブをスポンサークラブとして発足しましたから、今年度で創立60周年を迎えることが出来ました。そこで、各記念事業実施に向け、クラブ本組織と重複する形で実行委員会を組織し、会員全員の参加で我がクラブの60周年を祝うことしました。

60周年は人間に喻えれば還暦、折り返し点です。この周年を踏まえ、会長テーマは、今まで培ってきた良き伝統を大事にしながら今後のクラブの新しい方向性の模索を念頭に置き、「みんなでさがそう新しい芽」とされています。

これを受けて実行委員会では、先輩諸氏が築いてこられた数々の業績を60周年を機に学び、考え直すことにより新しい道理や知識を探し当て、今後100周年に向け会員の皆様と共に研鑽を重ね、素晴らしいクラブ作りを目指したいという思いを込めてテーマを「温故知新」としました。そして、このテーマの下、全員参加により質素ではあるが神戸東RCらしく品位を持ち、厳粛にしかし和やかな雰囲気の中で気品に満ちた配慮を持つことをモットーに、以下に示しますような活動に取り組んでまいりました。

1. 60周年記念講演

60周年記念式典・祝賀会に際し、社会奉仕・青少年奉仕・職業奉仕委員会活動の羅針盤となる講演者として、NPO法人勇気の翼インクルージョン2015理事長 細川佳代子氏をお迎えし、記念講演を開催しました。

2. 60周年記念式典・祝賀会

滝澤ガバナーエレクト始め直前ガバナー・ガバナーノミニー、歴代のパストガバナー、ガバナー補佐、地区委員長、各クラブ会長・幹事、海外の姉妹クラブ（シンガポールRC）の皆様、関係諸団体の皆様、さらには当クラブ元会員ご遺族のご出席のもと、むつみ会の皆様と会員一同が集い“厳かにそして楽しく”60周年記念式典・祝賀会を開催しました。ご列席戴きました来賓各位におかれましては感謝いたしますとともに、今度とも当クラブへのより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3. 60周年記念合同例会の開催

神戸第1グループ内で当クラブが単独スポンサーとなり設立された神戸東灘RC並びに神戸六甲RC、そして神戸東灘クラブがスポンサーとなって設立された神戸ベイRC、更に神戸東プロバスクラブを加えての初めての合同例会を開催しました。当日は、裏千家の川島会員のお世話によりお茶席を楽しんだ後、例会を開始し、年男・年女の紹介、鏡割り、乾杯を行った後、歓談をいたしました。初めての開催で、準備や運営に不慣れで不備な所が多くあったと思われますが、各クラブ執行部、会員及び事務局員の方々、ホテルオーカラの担当者の方々に多大なご理解とご協力を頂き無事に開催できたことを感謝いたします。

4. 60周年記念誌

神戸東RCでは、創立以来10年毎に、また中間年度としても5年毎に、その時にクラブの活動状況と都度の変化を克明に記載した記念誌を制作し、当クラブの歴史を継承し続けています。

60周年記念誌では、60周年に在籍の証として多くの会員より随想を投稿して頂くと共に、100周年に向かって我がクラブのあり方を考える60周年記念座談会を行いました。また、未来委員会よりの提言として例会で行ったアンケート結果の発表、そして我がクラブの歩みや各奉仕委員会活動、また、活発な同好会活動も克明に書き綴っています。クラブの歴史の手引としても素晴らしいものが出来たと自負しております。

5. 委員会事業

それぞれの委員会事業についても、教育、福祉、環境を重点項目として多くのテーマに取り組みました。教育面では、王子動物園にて有名絵本作家の永田崩さんをお招きし、児童向けの「写生大会」を開催、また、中央区少年野球大会も実施しました。福祉面では、養護学校、支援学校の生徒を招待してのボウリング大会を開催、また、音楽器具として太鼓の寄贈も行いました。昨今、神戸市立の各養護学校、支援学校が抱える問題点として、卒業生の就労問題が浮上しており、生徒の職業訓練や企業実習の見学を行うことにより、会員企業のこの問題への前向きな取り組みを促す活動も行いました。このような活動が出来ましたのも王子動物園園長を始め各校長・団体の多大なご協力とご理解の賜物と感謝いたしております。環境面では、日本熊森協会への支援を続けています。また、未来委員会（長期計画委員会）では、会員増強やクラブ運営など、クラブの将来像について活発な意見交換を行い、それらについてのるべき姿についての提言を行っています。

6. 同好会活動

当クラブの特色の一つとして活発な同好会活動があります。同好会活動として60周年記念ゴルフ大会の開催、60周年東彩会（絵画）の展示、俳句同好会の句集の発刊を行い、また、ワイン同好会、カラオケ同好会、麻雀同好会等も活発に活動を行いました。

以上、これらの事業を無事開催することが出来ましたのも、各部会長、委員長各位の長きにかけて綿密な準備のみならず、全会員のご協力の賜物と感謝いたします。

神戸東RCの60周年事業は、本書の発行にて無事終了となります。編集にご協力いただいた会員皆様には今一度感謝を申し上げます。

記念式典・祝賀会

(式次第・来賓ご芳名・物故会員・皆出席会員・銀婚を迎えた会員)

式典・祝賀会次第

●記念講演	●祝賀会
●記念式典	開会
	国歌斉唱
	ロータリーソング斉唱
	ご来賓紹介
	開会の挨拶
	物故会員追悼
	歓迎の挨拶
	ご来賓祝辞
	クラブ事業紹介
	閉宴
	歓迎の歌
	乾杯
	会食
	アトラクション
	皆出席会員表彰
	銀婚のお祝い
	閉会の挨拶
	閉会

来賓ご芳名(敬称略)

兵庫県神戸県民センター長	太田 和成	赤木 文生 (神戸東)	橋本 一豊 (神戸須磨)
神戸市立青陽東養護学校 校長	芦田 孔孝	石井 良昌 (尼崎西)	宮本 一 (芦屋)
神戸市立友生支援学校 校長	高田 雅光	中村 尚義 (洲本)	柴田 整宏 (西宮夙川)
日本熊森協会 会長	森山まり子	久野 薫 (神戸東)	
こうべ小学校野球部 監督	高橋 秀和		
神戸市少年団野球中央地区 会長	平井 義明	神戸第1Gガバナー補佐	苦瓜 顕一 (神戸東灘)
米山奨学生	齊 瑞	神戸第2Gガバナー補佐	宇尾 好博 (神戸中)
		次期代表幹事	門田 敬造 (神戸須磨)
		次々期代表幹事	今田 学志 (神戸西神)
		地区総務幹事	中 和義 (宝塚車両)
		クラブ奉仕委員長	湊 邦弘 (相生)
		社会奉仕委員長	永田 哲也 (神戸垂水)
		国際奉仕委員長	伊藤 明彦 (明石南)
		青少年奉仕委員長	常次 佳丈 (神崎)
		学友委員長	松下 衛 (神戸東)
		芦屋RC	
		松村 哲(会長) 植田 英規(幹事)	
		神戸RC	
		鈴木 一誠(会長) 山邑太左衛門(幹事)	
		神戸東灘RC	
		東石 讓(会長) 和田 孫博(幹事)	
		神戸有馬RC	
		石坂 公孝(会長) 片山 圭介(次幹事)	

神戸南RC
細谷 俊雄(会長) 千葉 悠晃(幹事)

神戸六甲RC
東 國隆(会長) 藤井 佳朗(幹事)

神戸ベイRC
北浦 浩(会長) 須藤 仁一(幹事)

神戸西RC
武田 寿子(会長) 近田 和裕(幹事)
矢坂 誠徳(会長) 山口 宰(幹事)

神戸須磨RC
峯山 克宏(会長) 山崎 貞雄(幹事)

神戸垂水RC
鷺尾 太一(幹事)

神戸西神RC
大野 昇(会長) 小林 司(幹事)

神戸中RC
河村 公逸(会長) 吉井 邦弘(副会長)
松原 宏(会長)

神戸東プロバスクラブ
藤原 儀直(会長) 浅沼 清之(幹事)

物故会員(敬称略・平成21年7月以降)

林 同春	平成21年11月19日	享年84歳
有澤 武	平成21年12月19日	享年85歳
三輪 吉郎	平成23年 7月 7日	享年80歳
近沢 進	平成23年 9月17日	享年88歳
宮崎勢四郎	平成24年 8月13日	享年91歳
増田 光夫	平成24年 9月14日	享年76歳
木下 章夫	平成24年10月 6日	享年75歳
高梨 義郎	平成25年10月	享年94歳

皆出席会員

45年	嘉納	14年	吉田(茂)・吉井
40年	執行	13年	福原・岩野・友藤・吉田(建)
36年	木下	9年	野々村
29年	向井・山野	8年	橋本
25年	田中(健)	7年	須藤
23年	石橋・小倉	6年	樋口
21年	上村(伸)	4年	大澤
19年	中井・白羽	2年	石川・田中(寿)・吉田(正)
15年	松下・野田	1年	澤田

銀婚を迎えた会員

加納 哲裕・幸
石川 泰平・祐子



第2部

そして未来へ

ガバナー時代の思い出

パストガバナー 赤木文生



金子太郎パストガバナー以後16年を経過し当クラブから次のガバナーを推薦すべきだという気運が高まるなか、先輩から声をかけていただきました。当クラブにはロータリーに造詣の深い会員が数多くおられるのに私では力不足であると考え、固辞していたのですが、金子先生からのご説得が心に響きガバナーをお受けする決心をいたしました。

ガバナー時代の思い出は多々ありますが、なかでも印象に残っているのは地区大会と世界社会奉仕としてのカンボジアの義肢装具士育成の支援です。私は2001～2002年度のガバナーですので、その後に入会された会員の方にも報告したく思い、このことについて述べさせていただきます。

1 地区大会

私は以前から地球環境の保全につき関心を持っていましたので、地区大会はぜひ環境保全に関するテーマで開催していただきたいと思い、地区大会実行委員会にその旨の希望を伝えました。角田実行副委員長が森林保護運動をしている元中学校教諭森山まり子氏の講話が感慨深いものだったのでその人にお願いしてみようと快諾いただきました。更に、地球環境の観点から、野田会員のお世話を宇宙開発事業団の菊山紀彦氏に講話ををお願いすることになりました。

当クラブは日本熊森協会の趣旨に賛同いただき、今日まで協力されてきました。当時の記録では、日本熊森協会の会員数は750人と

従来、地区大会では著名人の興味ある講話を選ぶのが定例化していましたので、地味なテーマではロータリアンの出席登録者が減少するのではと内心では危惧していました。しかし、樽本実行委員長の英断でこの二人の講話を採用していただきました。

森山氏は、中学校の教諭時代、奥山に食物がなくなり人家の付近をうろついていた熊が射殺されたのを契機として教え子とともに奥山の荒廃の実態を調査されました。その結果、嘗て我が国奥山には多くの自然林が存在していたが、戦後復興に必要な木材の需要を満たすため、奥山の自然林の広葉樹を伐採して杉、檜などの針葉樹を大量に植林したことと、安価な外国材の輸入に押されて杉や檜の林の管理が放置されたことにより、奥山に昆虫や鳥獣が住めなくなり荒廃するに至ったことに気づかれたのです。このままでは我が国森林は全滅するとの危機感から、自然林の保全と復元を図る活動に従事するに至り、日本熊森協会を立ち上げるに至った経緯を報告されました。当時の教え子たちも、壇上でそれの思いを述べました。まことに感動的な報告であったと記憶しています。

報告されていますが、今では、2万人を超える会員を擁するまでに発展し公益社団法人の資格を獲得し活動を継続しています。

宇宙開発事業団の菊山氏はスペースシャトル内における宇宙飛行士の生活、宇宙遊泳などについて詳しく説明され、毛髪を抜けたまま放置すると浮遊して困惑すること、宇宙飛行士がなぜ自転車漕ぎをしなければならないかなど、我々の想像もつかない話を詳しく説明されました。会場を一般の人々にも開放しましたので出席した子供たちにも夢を育てる事となつたと思います。

菊山氏の言葉のうち最も印象に残ったのは、地球を取り巻く空気の層が厚さ16キロメートルしかないこと、比喩的に言えば、バスケットボールを濡らしたときにできる水の膜くらいしかないとわれたことです。それにもかかわらず、人類は森を破壊することにより地球の3分の1を砂漠化させてしまったといわれました。

2 カンボジア女性義肢装具者の支援活動とセンソク小学校への図書館の寄贈

「この子の笑顔がいつまで続くのでしょうか」。カンボジアで地雷により失った片脚に粗末な義足を装着した少年が、義足によって母の農作業の手伝いができると笑顔でインタビューに応えていたのをテレビで見ていた妻の一言が心を打ちました。妻の母は第2次世界大戦の爆撃により右足を膝下から失っていましたので、妻は義足の辛さを承知していました。この子の成長に応じて義足が合わなくなったりときには笑顔が残るであろうかと心配し、女性の場合はどうだろうかと涙したのでした。何とかこの子のような地雷の被害者を救済する方法はないものかと模索しました。我がクラ

ブの会員の皆様とプノンペンRCのご努力により、NPO団体のカンボジア・トラストがプノンペン市内で義肢装具者を養成する学校を経営していることを知りました。そして、カンボジアの女性は男性に足を見せるのを躊躇する傾向にあるので、女性の装具士を支援すべきであると判断し、カンボジア・トラストに入学しながら経済的事情で学業の継続困難な女性を支援することに方針を決め、当地区の世界社会奉仕委員会に提案して学業継続のための支援をすることに決定しました。この支援活動はその後4年に亘り継続し、2名のカンボジア人の女性を支援することが出来ました。幸いにも最初の女性ティダさんは、卒業後上位の資格を取り、現在、義肢関係の学校で講義を行っています。

カンボジアを訪問中にも、地雷の被害を受ける少年少女が後を絶たなかったのですが、その原因の一つには地雷警戒の看板などを見ても字の読めないものが多いことだと聞き、識字率の向上に資する方法として図書館の建設を考案し、当地区内のクラブに協力を求めました。当クラブのほか2クラブの協力を得てプノンペン郊外のセンソク小学校にささやかな図書館を寄付することが出来ました。

この図書館には寄贈クラブの名称のほか個人の名称をつけられましたので、その後も図書などを寄贈しています。最近ティダさんから図書館がきれいに運用されていると聞き安心しています。

以上のような活動ができたのは、当クラブの皆さんのがんばるご支援の賜物であり、感謝に堪えません。改めて御礼を申し上げます。

温故知新の旅に想う

パストガバナー 久野 薫



地区ガバナーを拝命した2011年～2012年度から早2年を過ぎようとしております。時は静かに流れ、今私は当時忘れかけていた日常をすっかり取り戻すことができております。多忙で走りぬけた1年、否ノミニー、エレクトの時代を含めればロータリーと真剣に向き合った3年間でした。ガバナー自身も激務でありましたが支えて頂いた神戸東RCの皆さんへの負担も並大抵のものではなかったと深く感謝申し上げる次第であります。神戸東RC創立60周年を機にガバナー時代を振り返ってみたいと思います。

～ガバナーノミニー指名顛末記～

国際ロータリー細則13.010に「地区はノミニーをガバナーとして就任する日の直前24ヶ月以上36ヶ月以内に選出するものとする」と規定されております。したがって地区には「ガバナー指名委員会」という組織が設けられております。当地区では直前ガバナーを含めてさかのぼった5名のパストガバナーで構成され、この中で一番古いパストガバナーが指名委員長となります。私の場合は橋本一豊パストガバナーであります。

当地区では毎年度ガバナー就任年度3年前の10月にガバナー月信を通じて地区ガバナー指名委員長名で各クラブの会長、幹事宛に指

名の依頼書が送られるしきたりになっております。各クラブはガバナーノミニー推薦に当たっては会長、幹事署名入りの「推薦書」、クラブ幹事によって正式に証明された「クラブ例会で採択された旨の決議書」が提出されなければなりません。締め切りはガバナー就任年度の3年前の年度の12月31日となっております。したがって当地区では最速就任前の30ヶ月前の指名となります。

ところが年度によってはガバナーノミニーの指名にいたるまでには大変な苦労を要します。各クラブからの推薦がない年が少なくないからです。ご本人が立候補しても所属クラブからの推薦状が得られない、クラブが推薦してもご本人が承諾しない、ガバナー指名委員会が指名してもご本人が、或いは所属クラブが承諾しないといった具合でなかなか決まらない現実があるからです。

したがって最速の30ヶ月前に指名されるのはむしろ異例、珍しいのです。ガバナー就任前18ヶ月、12ヶ月（この場合はノミニー期を経ずしていきなりエレクトから入る事になります）といった事例が珍しくないです。

私が2011年～12年度ガバナーノミニーの指名を受けるにいたった経緯はまさに青天の霹靂、瓢箪から駒、異例づくめの出来事であります。きっかけをなしたのは2008～09年度

のクラブ会長野田晴清氏の時に当クラブに「未来委員会」という長期計画委員会が時限特別委員会として設置され向こう3～5年のクラブの中長期計画を討議する事になったのです。そしてそのかじ取りを私に委ねられたのです。『2008年7月29日開催された第一回未来委員会において討議課題の一つに「クラブと地区との関わり」が呈示されました。神戸東RCはクラブ自身の居心地のよさのあまり地区など対外的結びつきが希薄になりやすいところがあります。例えば地区ガバナー輩出数はクラブの持つ長い歴史や会員数の多さを考えた時に少ないとと思われます。過去のガバナー輩出の歴史は高山忠雄氏（1970）、安福武之助氏（1977）、金子太郎氏（1985）赤木文生氏（2001）の4氏に留まります。また地区委員会委員、委員長にもまだ十分とはいえない状況です。皆さんの高い見識をクラブ内に埋もれさせる事なく地区更にはRIにも発信させましょうと提案させていただきました。そしてこの課題は今後の討議課題として残されたまま2008年10月を迎えたのです。そして例年通りガバナー月信を通じて2011～12年度の地区ガバナーノミニー候補者推薦依頼が各クラブに発信されました。これを機に事態は一変し当時の野田クラブ会長は持ち前のロータリーへの情熱を爆発されました。しかし推薦締め切りまで2ヶ月足らずしかありませんでした。たて続けに理事会、春秋会が開催され具体的な候補者が決まらないままクラブから積極的に推薦者を出そうという一点だけが先行して決議されるという異例の展開を見せたのです。具体的な人選にいたるまでには二転、三転あったのでしょうかが未来委員会委員長であった私にお鉢が回ってきてしまったのです。そしてそ

の年の12月2日には地区ガバナー指名委員会宛に候補者推薦状の送付という離れ業が完成したのです。』<創立55周年記念誌、未来委員会からの提言（その①）から的一部抜粋>

なぜ毎年ガバナーノミニー指名にてこずるのでしょうか。ガバナーを務める事も、ガバナーを支援するクラブの負担も尋常でない事を考えるとついガバナーを輩出することのメリット、デメリットを考えてしまいます。本当はお互いの負担が少しでも軽減できるような地区運営のあり方を今後考え直す時期が、特にわが国のロータリーには来ているように思います。国際ロータリーの口癖ではありませんが「最少の費用、最大の効率で最大の効果」への取り組みです。

ここでクラブがガバナーを輩出するメリット、デメリットを考えて見ましょう。メリットは①数々の地区行事の企画運営のためにクラブ挙げての共同作業が必要となり、この共同作業を通じてクラブの親睦、結束をより高める事ができる②これまでクラブ単位で考えてきたロータリアン意識から国際ロータリーの一員であるとの意識革命が出来る③より深くロータリーを学ぶ事ができる等です。デメリットはなんといっても貴重な時間、費用、労力を要するおおいなる負担であります。

一方ガバナーを引き受ける人間にとってのメリット、デメリットは何でしょうか。私はクラブからガバナーノミニーとして推薦を受けるに当たって深く思い悩んだ事は資質の問題であります。当時も今もガバナーとして求められる資質条件には①体力②知力③経済力④ゆとり有る時間⑤地区における知名度⑥ほとばしるロータリーに対する情熱⑦リーダーシップそして何よりも⑧クラブの支援⑨職場

の理解⑩家族の理解であります。これらの殆どが私には欠落していました。唯一の救いが神戸東RCからの支援であります。しかしながらガバナーを経験した今お蔭様で私のロータリー観も人生観も鍛錬されたように思います。このことこそがガバナーをお引き受けする大きなメリットであります。ロータリーといえども所詮人間の集団であります。真剣に向き合えば人生哲学に行き着くことは自然の流れであります。王陽明の「耐冷、耐苦、耐煩、耐閑、不躁、不競、不隨」の人生哲学をかみ締める事ができました。それに多くの知己を得た事が出来たことも何にも変えがたいありがたいことありました。

～ガバナー時代を振り返って～

最後に私のガバナー時代を特徴付ける出来事を振り返ってみましょう。私がガバナーを務めた2011～12年度のRI会長、カルヤン・バネルジー氏はインド、グジャラート州バビ RC出身で、30歳でRC入会、33歳でクラブ会長、38歳で地区ガバナー、69才でRI会長という若い指導者でした。RI会長テーマは「ここの中を見つめよう 博愛を広げるために」(Reach Within to Embrace Humanity)であります。私には「万人の心の底に宿る博愛の精神を見出しうる人間になろう、それを抱きしめ大切にして世に広げられる人間になろう」という強いメッセージと受け取られました。

1987～88年度RI会長チャールズ・ケラー氏はRI理事会の下に「長期計画委員会」を設置し、その討議の結果が1992年RI理事会に提出されました。これが素案となってDLP制度（地区強化計画）が誕生し、2002年からは世界全地区に導入されました。追いかけるように

2004年RI理事会はCLP(クラブ強化計画)の有用性を承認しました。さらには2002年に設置された「RI長期計画委員会」提案によって2007年「長期計画」を発表、2009年この「長期計画」見直しのためのアンケート調査実施、それをふまえて2010年「戦略計画」を発表しました。加えてロータリー財團も2005年のアンケート調査をふまえて2013年から「未来の夢計画」導入を発表しました。奉仕の第2世紀である21世紀に入ってたて続けに打ち出されたこれらの一連の改革案が意図するところを立体的、総合的に理解し実践する努力がロータリアンに求められた年度であります。国際ロータリーのロータリーに対する認識は「地域社会の人々の生活を改善しようという情熱をもった人々の世界的なネットワーク」「人道的な奉仕活動のために集まった世界的なネットワークである」という認識にあります。一方「成熟した職業人による職業を通じて地域社会に奉仕する組織」という私たちの認識とは乖離し始めています。国際ロータリーが一体何処に行こうとしているのかを深く考えさせられた国際ロータリー100年に一度の変革の始まりであります。

～今後の神戸東RCに期待すること～

私達のクラブは創立60周年を迎えました。地区内73クラブの中でも9番目、神戸市内では2番目に古いクラブであります。会員数は親クラブの神戸RCについて多い106名を數えます。世に「Noblesse oblige」という言葉があります。私たちはこの伝統あるクラブとしての矜持を持って今後の歴史を積み上げていかなければなりません。そのためには私達のクラブが定期的に地区ガバナーを輩出して

いくことは果たすべき義務のようなものではないかと思うのです。

ただそのためには常日頃から人材の発掘と育成の努力が必要です。孔子の言葉に「憤せんば啓せず、ひせんば發せず」というのがあります。これは「啓發」の語源になっている言葉です。「理解しようとしているながら、それが出来ずに苦しみ悶えているものでなければ導き助けることはしない。理解したことを表現しようとしているながらそれが出来ずに苦しみ悶えているものでなければはっきり示すことはしない」という意味合いであります。ロータリーに情熱を抱く人でなければ指導者にはなりえないのです。急に祭り上げられてリーダーになれるものではありません「かつてガンジーは臆病な若者でした。アブラハム・リンカーンは何の変哲もない弁護士でした。マザー・テレサはごくありふれた尼僧でした。ところが大義のために立ち上がるうとしたときに、彼らの中のリーダーシップに火がついたのです。・・・(1991～92年度RI会長ラジエンドラ・サブー) 将来のガバナー候補者としてのクラブ会長選びは大切です。①若いこと②ロータリーを人真似でなく自分の言葉で語れる人③出来うれば英語力のある人の条件が必要です。リーダーとは人を引き付ける力と共に行動する仲間を光らせる、輝かす力の持ち主でなければリーダーシップを發揮することはできないのです。自分だけが光ろうとする人はリーダー足り得ないです。

このたびの創立記念のコンセプトは「温故知新」であります。長い歴史を刻んできましたが過去は所詮過去であります。アルバート・アインシュタインが残した言葉に「Learn from yesterday, live for today, hope for

tomorrow」があります。このクラブの持つ豊かな歴史という過去を正しく分析して未来を築いていかなければならないと思うのです。

2004

平成16年～17年

2005

地区ガバナー 橋本 一豊

理事 会長 白羽 誠

副 会長 須藤 雄二

会長エレクト 久野 薫

幹 事 野々村禎之

職業奉仕 中井 章詞

社会奉仕 横瀬 恭平

国際奉仕 今井 拓雄

高嶋 良平

野田 晴清

会 計 阪口 正浩

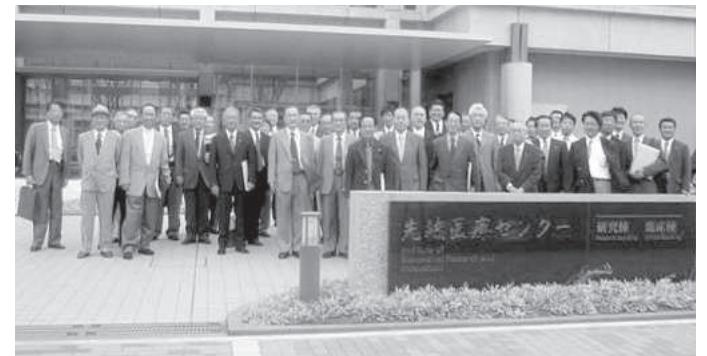
S. A. A. 西原興一郎

副 幹 事 松下 衛

副 会 計 多田 善計

副S. A. A. 月岡 清市

// 吉田 建美



平成16年

9月21日 職場訪問
(先端医療センター)



10月3～8日
カンボジア訪問

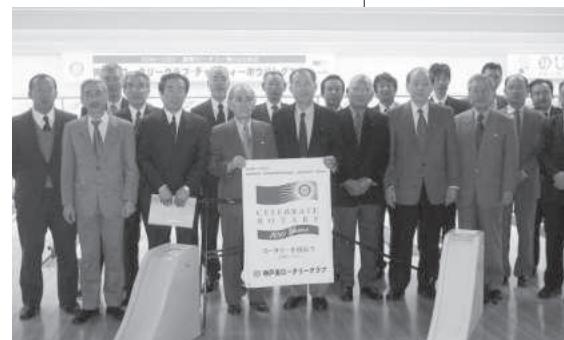
10月29日
青陽東養護学校招待
ボウリング大会



12月14日
忘年家族会
(ホテルオークラ神戸)

平成17年

3月5～6日
RI創立100周年記念
地区大会



3月24日 友生養護学校招待
ボウリング大会



4月12日 創立記念家族会
(ホテルオークラ神戸)

5月22日 熊森協会植樹会

5月26日 熊森協会事業助成金
贈呈

6月1～9日
RI創立100周年記念
フランス
ワイナリーツアー
(ワイン同好会)
リヨン西RC例会訪問、
ロマネコンチ社訪問 他



第51代会長
白羽 誠

2004年～2005年度は、幸いというべきか100年に1度しか巡り合わないロータリー創立100周年という目出度い、世紀の年度がありました。RI会長のテーマも、「ロータリーを祝おう、100年の歩み」という、極めて分かり易い言葉がありました。この100周年に因んでロータリーを最高に魅力あるものにして、皆様と共に100周年を祝い、ロータリーを楽しもうと、会長テーマを、「見出そうロータリーの魅力を」といたしました。そのためには、例会を充実させ、委員会活動、同好会活動を活性化させ、会長報告は会員の関心を惹くよう努力すること等ありました。委員会活動については、活動計画は皆様が協力して分かち合えるもの、この1年で成果が測れて達成できるもの、取り組み甲斐のあるものにする等を、お願いしました。

親睦家族委員会はロータリー創立100周年記念として盛りたてていただきました。プログラム委員会ではバラエティーに富んだ卓話を、週報委員会では、毎週きめ細かい週報編集をしていただきました。会報委員会は、通例の会報誌の他に、100周年記念誌として、「ロータリーの魅力」というテーマで会員皆様の随想集を上梓していただきました。これは、ロータリーの魅力についての単なる記録に止まらず、新しく入会された会員への情報誌として、有意義な役割を果たすものと思っておりま

す。ロータリー情報委員会による、度々のラウンド・テーブル会は、老いも若きもそのgeneration gapを埋める最高の場を提供していただきました。

会員総数は、会員減少がありました。同数の入会もあり105名の会員数に増減はありません。職業奉仕は、会員個々の職業倫理を高めて、日々自分の職業に従事することですが、その啓蒙活動をしていただきました。社会奉仕は100周年記念に因んで、チャリティ・ボウリング大会、神戸東プロバスクラブと日本熊森協会などの継年支援事業の他に、全国難病センターへの助成など協力していただきました。新世代委員会は、子供の読書コンクールへの協力支援をしていただき、子供の活字離れを防ぐ努力をしていただきました。国際奉仕では、地区的WCS活動の一つですが、カンボジアの義肢製作学校生養成と、小学校への支援、ロータリー財団や、ポール・ハリスフェロー、米山奨学金などへの寄付に協力支援をしていただきました。

同好会、むつみ会の皆様にはロータリー100周年に因んで、数々の記念活動を行っていただきました。

日本の出来事・世界の出来事

●2004年
8月13日～29日 アテネ五輪で金16、銀9、銅12個のメダルを獲得
10月3日 シアトルマリナーズ、イチロー選手がシーズン最多安打記録を84年ぶりに更新
9月27日 第2次小泉改造内閣発足
10月23日 新潟県中越地震が発生、震度7を観測
11月1日 新紙幣発行、5千円札が樋口一葉、千円札が野口英世の肖像画に変更
11月2日 ブッシュ米大統領が再選
12月26日 インドネシア・スマトラ島沖でM9.1の巨大地震発生

●2005年
2月17日 中部国際空港が開港
3月25日 日本国際博覧会(愛知万博)「愛・地球博」が開幕
4月2日 ローマ教皇ヨハネ・パウロ2世が死去
4月25日 JR福知山線脱線事故

2005

平成17年～18年

2006

地区ガバナー 石井 良昌

理事 会 長 久野 薫

副 会 長 野田 晴清

会長エレクト 高橋 恵俊

幹 事 松下 衛

職業奉仕 吉田 建美

社会奉仕 新宮 千早

国際奉仕 乙守 典厚

有澤 武

野々村禎之

会 計 三原 孝公

S. A. 白羽 誠

副 幹 事 土城 敏彦

副 会 計 多田 善計

A. A. 嘉納 忠夫

// 上村 伸幸

相 談 役 赤木 文生

// 高嶋 良平



平成17年

8月6日 親睦家族花火大会
(神戸メリケンパークオーリエンタルホテル)

9月27～30日
カンボジア訪問

11月4日 青陽東養護学校招待
ボウリング大会



第52代会長

久野
薰

年度始めの会長方針で“基本回帰、気韻生動”とかかげ、職業奉仕の精神を奮いたたせていただきたいと申し述べました。年度開始前のクラブ協議会では、各委員会の委員長さん方に、少し具体的に、私なりの方針、お願い事を申し上げました。この時も、いつもながらの私の早口で抑揚もなく淡々とお話をいたしましたので、充分ご理解いただけなかつたのではないかという一抹の危惧を抱いておりましたが、さにあらず、1年を経過した今、ものの見事に私の夢を実現していただきました。世にマニフェストなる言葉が氾濫しておりますが、会長のマニフェスト達成度を検証しなければなりません。最終的には、各会員の皆さんの判定を待たなければなりませんが、自己評価で言いますと90%以上と自負いたしております。残りの10%は会長自身の活動成果如何にかかるております。年度開始に当たって、私自身に言い聞かせたことは、何事も“mission,passion,action”的3要素であるということでした。会長としてのmissionは自己のロータリー観を皆さんに提供することだと考

11月22日 第2回神戸東RC読書
感想文コンクール会長
賞選考会

12月27日 忘年家族会
(ホテルオークラ神戸)

平成18年
3月22日 友生養護学校招待ボ
ウリング大会

3月25日 チャーターメンバー
高嶋平介会員お別れ
会



4月4日 アムール虎保護セミナー
(王子動物園)



4月11日 創立記念家族会
(ホテルオークラ神戸)

日本の出来事・世界の出来事

●2005年

7月7日 ロンドンで地下鉄・路線バスで同時爆破事件が発生

7月26日 野口聰一氏が搭乗するスペースシャトル「ディスカバリー」打ち上げ

8月29日 ハリケーン「カーリーナ」によりニューオーリンズの8割が水没する被害

10月14日 郵政民営化法案が成立

11月15日 紀宮清子内親王殿下が東京都職員黒田慶樹氏と結婚

11月17日 耐震偽装問題発覚

●2006年

2月16日 神戸空港が開港

2月23日 トリフォ五輪で荒川静香選手が日本女子フィギュア初の金メダルを獲得

3月21日 WBCで王監督率いる日本が優勝

2006

平成18年～19年

2007

地区ガバナー 加藤 隆久

理事 会長 高橋 恵俊

副 会長 吉田 建美

会長エレクト 今井 拓雄

幹 事 土城 敏彦

職業奉仕 村田 由夫

社会奉仕 壱井 醇

国際奉仕 植村 孝一

樽本 久

松下 衛

会 計 高嶋 良平

S. A. A. 久野 薫

副 幹 事 乙守 典厚

副 会 計 大辻 正明

副S. A. A. 執行 英毅

// 須藤 雄二

平成18年

9月12日 第一回親睦会
(三宮 西村屋)

11月2日 青陽東養護学校招待
ボウリング大会

11月14日 第3回読書感想文コン
クール会長賞選考会

12月26日 忘年家族会
(ホテルオークラ神戸)



平成19年
2月16～17日

親睦家族旅行(城崎
温泉)

3月10日
地区大会にてガバナー
特別表彰の優秀クラ
ブ賞を受賞

3月12～14日
ドイツ1830地区G.S.E
団員6名を受け入れる

善光寺において文化
体験



4月30日 熊森協会 広葉樹植
樹会参加



3月22日 友生養護学校招待ボ
ウリング大会

4月10日 創立記念家族会
(ホテルオークラ神戸)

日本の出来事・世界の出来事



第53代会長

高橋 恵俊

本年度会長方針を「和 而して凜」といたしました。和は換言すれば思いやりの心であり、対立より和を重んじる価値観は日本の古くからの伝統文化の真髄を成すものです。和の上に親睦が生まれ奉仕に繋がります。この一年間を通じ神戸東RCの誇る和を通じて親睦が増し、その上に奉仕が実現したことを感じました。更に私達このクラブの会員はしかるべき審査を経て、その時点でのすべての会員の了解を得て当クラブに入会を許可されました。これを誇りとし、例会を楽しみ、例会の場を修養の機会と捉え、姿勢を正して凜としましょう。

凜とした日本人で私が常に思い起こすのは江戸の末に米日通商条約締結の為、咸臨丸で渡米した勝海舟や福沢諭吉の一一行です。彼等は馬車でブロードウェイを行進しますが、その情景を見た詩人ホイットマンはその凜とした日本人の一一行を見て驚嘆し、自らの詩の中で日本人を絶賛しています。しかし凜とした日本人は江戸や明治の人達だけではありません。

第二次世界大戦のあと、フランスのドゴール大統領に請われ、情報大臣、文化大臣を歴任し、“フランスの知性”とまで呼ばれた作家のアンドレ・マルローは敗戦

後の日本を再度訪れ、あらゆる観点から、敗戦で打ちひしがれていた日本人と、そして日本文化の独自性とその素晴らしさを絶賛し、ヨーロッパの美意識や美学をもって日本文化を語ることはできないと断言しています。

1960年の訪日後フランスに帰国したアンドレ・マルローは、もしこの地球上に唯一残されるべき民族があるとすれば、それは日本民族であるとまで語っています。私達の先人はそうした凜とした人達でした。

縁あってこの神戸東RCに入会しロータリー精神に触れ、奉仕の理想を学び、知り合えた仲間ですから、その輪を拡げましょう。司馬遼太郎はその小説「竜馬がゆく」の中で竜馬に「惚れずに物事ができるか、物事に惚れるような体质でなければ世上万般のこととは成りがたい」と云わせています。

先づロータリーに惚れましょう。神戸東RCに惚れましょう。その上で夫々の立場を越えて相和し、傲慢や独善を抑制し、少し含羞を帯び、凜として奉仕の理想に邁進しましょう。

●2006年

7月14日 日銀がゼロ金利解除
7月27日 アメリカ合衆国からの牛肉輸入再開を正
式決定

9月6日 秋篠宮家に悠仁親王誕生、皇室では41
年ぶりの男子

9月15日 オウム真理教元代表・松本智津夫の控
訴が棄却され、事实上死刑判決が決定

9月26日 第一次安倍内閣発足

9月30日～10月10日 のじぎく兵庫国体開催

●2007年

1月11日 宮崎県で鳥インフルエンザが発生
2月18日 第1回東京マラソン開催

4月8日 石原慎太郎氏が東京都知事選で3選

5月16日 ニコラ・サルコジ氏がフランス大統領就任

2007

平成19年～20年

2008

地区ガバナー 三木 明

理事 会長 今井 拓雄

副 会長 松下 衛

会長エレクト 野田 晴清

幹 事 乙守 典厚

職業奉仕 平岡 秀樹

社会奉仕 横山 幹夫

国際奉仕 野々村禎之

小倉 宗夫

土城 敏彦

会 計 角田 嘉宏

S. A. 高橋 恵俊

副 幹 事 中井 章詞

副 会 計 山本 康一郎

副S. A. 塚本 哲夫

// 壺井 醇

相 談 役 高嶋 良平



第54代会長

今井 拓雄



平成19年

8月4日 第一回親睦家族花火大会
(神戸メリケンパークオリエンタルホテル)



8月16～17日

第25回インタークト
地区年次大会に出席
(ユートピア篠山)



9月9日 RI第2680地区ロータクト「アクトの日～障害者教育について学ぼう」に出席
(姫路独協大学)



10月23日 第一回親睦会
(北野クラブ SOLA)



10月26日 青陽東養護学校招待ボウリング大会



平成20年

3月8日 日帰り家族旅行
(料亭ちもと)

3月24日 友生養護学校招待ボウリング大会



3月28日 むつみ会新春観劇会
'オペラ座の怪人'
劇団四季



5月20日 シンガポールRC例会訪問

4月8日 創立記念家族会
(ホテルオークラ神戸)



6月10日 神戸製鋼所
神戸製鉄所職場訪問



6月24日 打ち上げ親睦会
(ザ・チャータードスクエア)

日本の出来事・世界の出来事

●2007年

7月11日 イチロー選手が日本人初のオールスターMVP

7月29日 参議院選で自民党が民主党に歴史的大敗

7～8月 米サブプライムローン問題で世界の経済・金融混乱

9月26日 福田康夫氏が内閣総理大臣に就任

10月1日 郵政民営化がスタート

●2008年

1月27日 大阪府知事選挙で、弁護士の橋下徹氏が初当選

1月30日 中国製の冷凍餃子による中毒事件が発覚

4月15日 後期高齢者医療制度がスタート

5月7日 ロシアの大統領にドミートリー・メドヴェージエフ氏が就任

5月12日 中国四川省で大地震

6月8日 秋葉原無差別殺傷事件

本年度R I会長、W. J. ウィルキンソン氏のテーマである「ロータリーは分かちあいの心」をうけ、「思いやりの心で楽しいロータリーライフを! そこから奉仕の心が芽生える」という会長方針を掲げました。振り返って見ますと、当初目指した目標をやりとげたとはとても言えない状態で任期を終えることになり、私の力不足を痛感している次第です。しかし、まがりなりにも私がその職責を全うすることが出来たのは、会員の皆様方の御好意に支えられ、各委員長、理事、役員の皆様のご協力、御指導があればこそと深く感謝いたします。

会員相互が思いやりの心でロータリー活動に取り組み、楽しいロータリーライフを送り、奉仕活動にいそしむことが出来たのではないかと思います。会長方針に沿って、多彩な親睦行事と奉仕活動が行われましたが、忘年家族会において実施されたチャリティーオークションは品物を出品していただいた有志の皆様、オークションに参加していただいた皆様、落札していただいた方々、全員が楽しみながら自発

的に奉仕するというロータリークラブ本来の精神に立ち帰る一石となったのではないかと思います。

クラブの持続的な発展のために、会員増強も大変重要であります。近年の会員数の減少傾向に歯止めをかけるため、会員増強と退会防止を重点施策に掲げました。会員選考、会員増強、両委員会が中心となり多数の会員のご協力を得て、会員増強に力を尽くしてまいりましたが、厳しい社会情勢もあり、当初の目標を達成することが出来ませんでした。しかし、次年度にはこれまでに蒔いた種が実るものと思われます。関係各位の多大な労に感謝申し上げたいと思います。

又、例年以上に多数の皆様に第2680地区委員として御奉仕いただきました。今後、我がクラブの運営に大きな力になるものと期待しております。

2008

平成20年～21年

2009

地区ガバナー 宮本 一

理事 会長 野田 晴清

副 会長 横山 幹夫

会長エレクト 松下 衛

幹 事 中井 章詞

職業奉仕 三原 孝公

社会奉仕 上村 伸幸

国際奉仕 角田 嘉宏

木下 健

乙守 典厚

会 計 戸山 晶夫

S. A. 今井 拓雄

副 幹 事 岡 栄治

副 会 計 多田 善計

副S. A. 有澤 忠雄

// 道上 明

相 談 役 樽本 久

平成20年

8月26日 第一回親睦会
(ザ・ハウスオブパシフィック)



10月24日 青陽東養護学校招待
ボウリング大会



11月15～16日
一泊家族旅行
(広島・宮島)



11月30日 第一回中央区少年団
親善野球大会
(ポートアイランドグランド)



平成21年

2月 2日～オーストラリア
ブリスベンRC訪問



3月23日 友生養護学校招待
ボウリング大会

3月24日 川崎重工職場訪問



4月14日 創立55周年記念例会・
式典・祝賀会
ブリスベンRCとの姉妹
クラブ提携調印
(ホテルオークラ神戸)

5月16日 第2回神戸3RC親睦
対抗ゴルフ会
(東広野GC)

6月30日 打ち上げ親睦会
(ラビマーナ神戸)



日本の出来事・世界の出来事

●2008年

7月 7日 北海道洞爺湖町で第34回主要国首脳会議開催

8月 8日 中国で初の五輪開催

~24日

9月 15日 リーマン・ブラザーズが破綻、金融危機拡大

9月 24日 麻生太郎氏が内閣総理大臣に就任

10月 7日 ノーベル物理学賞を南部陽一郎氏、小

~8日 林誠氏、益川敏英氏が受賞

ノーベル化学賞を下村脩氏が受賞

10月 27日 株がバブル崩壊後最安値を更新

●2009年

1月 15日 USエアウェイズ1549便がハドソン川に不時着水、全員無事救助

1月 20日 バラク・オバマ氏がアメリカ合衆国大統領に就任

2月 22日 「おくりひと」がアカデミー賞最優秀外国語映画賞を受賞

3月 20日 地方の高速道路が土日祝日千円で乗り放題

4月 新型インフルエンザが発生、後に世界的に大流行

6月 25日 マイケル・ジャクソン氏死去



第55代会長

野田 晴清

会長方針として「人間回帰・温かみの『心』で友愛をロータリー活動に」をテーマにやってまいりました。四大奉仕委員会と特別委員会の主だった活動とその成果を列挙してみます。

- ・クラブ奉仕委員長は、クラブ奉仕の他に55周年にも寛仁大度で事に臨んでくださいました。
- ・職業奉仕委員長は、知たる判断で2回の職場訪問を行い、6回の委員会で大いに論議してくださいました。私も参加した中で「努力は人を裏切らない」「笑顔は人を引き付ける」「挨拶は人生全ての基本」という久野会員の言葉が大変印象的でありました。
- ・社会奉仕委員長は、基本方針の概念を踏まえ、活動計画に基づき正大の消化をしてくださいました。
- ・国際奉仕委員長は、国際理解・親善・平和に関する活動を目指し、神戸の姉妹都

市ブリスベンの歴史あるブリスベンRCとの姉妹クラブ提携を締結し、もうひとつ姉妹クラブであるシンガポールRCともども創立55周年記念式典に招待してくださいました。

・創立55周年実行委員長は、各記念事業を少ない予算の中、汗馬之労によって各方面からの200名にも及ぶ参加者を満足させていただき、品位ある又60周年に向けてのメッセージも残してくださいました。

・未来委員長は、創立60周年を迎えるときまでに如何に危機を克服し、より魅力ある誇り高きクラブを構築するかを目的とする8回の委員会を開き侃侃諤々の議論を交わした上で、バズセッション・会員増強・ラウンドテーブル会・ガバナー選出・創立55周年記念誌に委員会からの提言を反映してくださいました。

その他委員長も、方針に伴う具体的な活動を行い、初期の目標を充分に達成し、次年度への引継ぎをクラブ協議会において執り行ってくださいました。

2009

平成21年～22年

2010

地区ガバナー 中村 尚義

理事 会長 松下 衛

副会長 植村 孝一

会長エレクト 吉田 建美

幹事 岡 栄治

職業奉仕 鎌田 哲夫

社会奉仕 野々村禎之

国際奉仕 畑崎 廣敏

樽本 久

中井 章詞

会計 横山 幹夫

S. A. 野田 晴清

副幹事 吉井 正幸

副会計 大辻 正明

A. A. 増田 光夫

// 新宮 千早

相談役 赤木 文生



第56代会長
松下 衛

平成21年

8月1日 会員家族親睦花火大会(神戸メリケンパークオリエンタルホテル)



8月18～19日

第27回インタークト年次大会(新温泉町)



10月20日 会員親睦移動例会(ホテルオークラ神戸)

10月23日 青陽東養護学校招待ボウリング大会

12月22日 忘年家族会(ホテルオークラ神戸)

平成22年
1月5日 初金例会



「ロータリーの未来はあなたの手の中に」ジョン・ケニーR.I.会長

猛威を振ったインフルエンザによる社会的な不安と、リーマンショック以後の経済不安、軸足の定まらない政治不安と、グローバル、ローカルを問わず様々な不安を抱えながら、当該年度2009年～2010年度が終わりました。無事退任できました事を、植村副会長、岡幹事のお二人、並びに理事・役員会、各委員会、各同好会、むつみ会、西村先生、事務局の皆様に心から感謝申し上げます。

「ロータリーの絆を大切に、そこから奉仕の手を」

を会長テーマにして、会員皆様のクラブ活動方針のご理解、ご協力の下にクラブ運営を行いましたが、ロータリーの絆は増して強くなり、求められた奉仕活動が十分出来た、とお感じいただけましたでしょうか。

1年を限ってのロータリーの奉仕活動の中心をどこにおくか、は大変難しいテーマですが、私の短い社会人生活の中で言えば、バランス感覚が大事ではないでしょ

3月7日 日帰りバス旅行(淡路)



3月23日 友生養護学校招待ボウリング大会



4月6日 職場訪問(キリンビール工場)



4月13日 創立記念家族会(ホテルオークラ神戸)



6月21～23日 モントリオール世界大会に松下会長出席

6月29日 打ち上げ親睦会(エスタシオン・デ・神戸)

日本の出来事・世界の出来事

●2009年

7月22日 日本各地で21世紀で最も継続時間の長い皆既日食を観測

8月3日 裁判員裁判がスタート

8月30日 第45回衆議院選挙で民主党圧勝

9月16日 鳩山由紀夫氏が内閣総理大臣に就任

●2010年

1月12日 ハイチ地震発生

1月19日 日本航空が東京地裁に会社再生法の適用を申請

2月12日～28日 冬季パンクーバーオリンピック開催

2月14日 中国の国内総生産(GDP)が日本を抜き世界2位に

5月18日 家畜伝染病口蹄疫問題で宮崎県の東国原英夫知事が非常事態宣言。

6月8日 菅直人氏が内閣総理大臣に就任

6月13日 小惑星イトワカから「はやぶさ」が帰還

2010

平成22年～23年

2011

地区ガバナー 柴田 整宏

理事 会 長 吉田 建美

副 会 長 乙守 典厚

会長エレクト 塚本 哲夫

幹 事 吉井 正幸

職業奉仕 岩野 了

社会奉仕 森本 一裕

国際奉仕 須藤 雄二

三原 孝公

岡 栄治

会 計 野田 晴清

S. A. A. 植村 孝一

副 幹 事 山崎 仁嗣

副 会 計 多田 善計

A. A. 光葉 貞男

// 高嶋 良平

相 談 役 角田 嘉宏



第57代会長

吉田 建美

<p>平成22年</p> <p>8月31日 第一回親睦会 (天安閣)</p> <p>9月28日 移動例会 (久野ガバナーエレクト 事務所開き)</p>	<p>10月5日 六甲バター職場訪問</p> <p>10月23～24日 家族一泊旅行 (北陸方面・山代温泉)</p>	
--	--	---

<p>11月7日 中央区少年団親善 野球大会 神戸東RC杯 (ポートアイランド南公園野球場)</p> <p>11月27日 ほろにが会(担当神戸 東RC)神戸メリケンパークオリエンタルホテル</p>	<p>平成23年</p> <p>1月21日 青陽東養護学校招待 ボウリング大会</p> <p>3月23日 友生養護学校招待ボ ウリング大会</p>		<p>4月5日 創立記念家族会 (ホテルオークラ神戸)</p> 
<p>12月21日 心重ねて愛の歌声コンサート(地区補助金 事業)友生養護学校</p> <p>12月21日 忘年家族会 (ホテルオークラ神戸)</p>			<p>6月28日 打ち上げ親睦会 (神戸メリケンパーク オリエンタルホテル)</p>

混沌の時代にあっては、「職業奉仕」を重視した奉仕活動の考え方、また、相手を慈しむ心から発する愛の心が一層必要とされるものと考え、今年度のクラブのテーマは「和顔愛語—真心をこめて奉仕活動を！」として活動を進めて参りました。

一方、10年振りに翌年度は神戸東クラブから五代目ガバナー誕生ということで、久野ガバナーアイドに向けホストクラブとして全面的にサポートするべく努めさせて頂いた年度でもありました。多くの会員の皆様が地区関連の行事に参加されることとなり、クラブの将来にとって大きなプラスになったことと確信致します。

クラブにおいてもまた、多くの思い出深い活動がありました。下期には海外で連続した大災害に加えて、国内では東日本大震災という想像もしなかった悲惨な出来事も発生し、それぞれに対して皆様の温かいご支援を頂くこととなりました。

一年を振り返って特に印象的だった活動としては、職業奉仕委員会による「企業

倫理」に力点を置いた「神戸東ロータリアンの社訓、家訓集」が完成したこと、社会奉仕委員会による「心重ねて愛の歌声コンサート」が地区補助金も得て青陽東養護学校に於いて開催されたこと、新世代委員会では、中央区少年団親善野球大会「神戸東RC杯」が開催され、委員長自らの少年たちに対する熱血指導もあって、有意義な奉仕活動となったこと、国際奉仕委員会では、国際交流の促進に役立つよう、ホームページの一部に初めて英語版を立ち上げたことなどが挙げられます。

クラブ全体の実績的な面では会員数も純増6名となり、増強委員会はじめ、ご尽力頂いた皆様に感謝です。また、松下年度に続き、クラブに対するR I 会長賞も頂きました。すべて皆様方のご支援・ご協力の賜物です。

日本の出来事・世界の出来事

- 2010年
 - 7月11日 参議院選挙で民主党が大敗
 - 8月5日 チリ鉱山で落盤事故
 - 9月7日 尖閣諸島中国漁船衝突事件が発生
 - 9月21日 大阪地検特捜部の検事が、証拠の偽りを改竄したとして逮捕
 - 10月6日 ノーベル化学賞に根岸英一氏、鈴木章氏が選出

- 2011年
 - 2月6日 八百長問題で大相撲春場所中止
 - 3月11日 東日本大震災、東京電力の福島第一原発事故発生
 - 4月27日 ユッケ集団食中毒事件が発生
 - 5月2日 米特殊部隊、ウサマ・ビンラディン容疑者を殺害

2011

平成23年～24年

2012

地区ガバナー 久野 薫

理事 会長 塚本 哲夫

副 会長 野々村禎之

会長エレクト 中井 章詞

幹 事 山崎 仁嗣

職業奉仕 井元 憲生

社会奉仕 壺井 醇

国際奉仕 則岡 弘士

新世代奉仕 須藤 雄二

角田 嘉宏

吉井 正幸

会計 兼 副幹事 岩野 了

S. A. A. 吉田 建美

副 会 計 榊原 志朗

副S. A. A. 高橋 恵俊

// 野田 晴清

研修リーダー 鎌田 哲夫

ガバナー 久野 薫

ガバナー補佐 今井 拓雄

地区代表幹事 松下 衛



第58代会長

塚本 哲夫

	11月19日 神戸第一グループIM (神戸東RC担当)
	12月13日 久野ガバナー公式訪問
	平成23年 8月6日 親睦家族花火大会 (神戸メリケンパークオリエンタルホテル)
	10月18日 第一回親睦会 (第一樓)
	12月20日 忘年家族会 (ホテルオークラ神戸)
	平成24年 1月20日 青陽東養護学校招待ボウリング大会

	4月10日 創立記念家族会 (ホテルオークラ神戸)
	5月6日 RI国際大会参加 (バンコク)
	3月3～4日 RI2680地区地区大会 (神戸東RC担当)
	3月6日 永富 稔RI会長代理例会訪問
	3月11日 日帰り親睦家族旅行 (長浜)
	5月29日 職場訪問 (六甲バター稻美工場)
	3月21日 友生養護学校招待ボウリング大会
	6月26日 打ち上げ親睦会

今年度我クラブは2680地区のガバナーに久野薰氏を輩出しました。大変名誉な事です。彼を支えるために松下代表幹事をはじめ地区に多くのメンバーに出向してもらいました。地区の行事には積極的に参加してもらいましたし、3月3日、4日の地区大会のホストクラブにもなりました。それ故、皆様方のRC活動には通常年よりも倍の負荷をお願いしました。それらも無事、何とか成功裏に終えたのではないかと思っています。— (自画自賛か)

兵庫県下各地より2000名の会員がポートピアホテルに集まり、東日本大震災での犠牲者の鎮魂と被災地の再生、復興を祈念して「響け！再生と創造のハーモニー」の御旗を掲げて今年度2680地区大会を主管、開催いたしました。久野ガバナーが提唱されている「いのちの森」と「いのちの音」は被災地の復興に大きな力を与えております。

今年の神戸東RCのテーマ「健康で明るく楽しい」と言うことについて触れておきます。「健康で明るく楽しい」と言うのは私の人生観の一つです。健康で明るく楽しい家庭—職場—会社—社会—そして健康で明るく楽しいRC活動なのです。「健康とは」WHO(世界保健機構)の定義では肉体的、精神的、社会的に健全な状態を言う…となっています。我神戸東RCはこの一年間、健康だったと判断します。「明るい」とは暗くない、風通しが良い、皆が寛容、オープンな態度であると言う事です。私の知る限り明るいクラブでした。「楽しい」と言うのは、結果として楽しいと言う事です。苦しみを乗り越えないと本当の楽しみは分かりません。

最後に神戸東RCのメンバーとして望む事は、我クラブがどこよりも「面白くてためになるクラブ」でありたいです。神戸市内のクラブでは1番だと信じています。

日本の出来事・世界の出来事

- 2011年
 - 7月17日 サッカーなでしこジャパン世界一に
 - 7月24日 地上アナログテレビ放送が地上デジタル放送に完全移行
 - 9月2日 野田佳彦氏が内閣総理大臣に就任
 - 10月5日 米アップルCEOのス蒂ーブ・ジョブズ氏死去
 - 10月31日 円が戦後最高値を更新1ドル75.32銭
 - 12月17日 北朝鮮の金正日総書記が死去
 - 12月31日 オウム真理教事件の実行犯、平田信が丸の内警察署に頭出し。翌日逮捕。
- 2012年
 - 4月11日 金正恩氏が朝鮮労働党第一書記に就任
 - 5月22日 東京スカイツリーが開業
 - 6月3日 英国エリザベス女王の即位60年で祝賀行事

2012

平成24年～25年

2013

地区ガバナー 石丸鐵太郎

理事 会長 中井 章詞
副 会長 太原 晃一
会長エレクト 野々村禎之
幹 事 岩野 了
職 業奉仕 上村 伸幸
社会奉仕 吉井 正幸
国際奉仕 松谷 齊泰
新世代奉仕 桶口 一哉
野田 晴清
山崎 仁嗣

会 計 多田 善計
S. A. 塚本 哲夫
副 幹 事 須藤 雄二
副 会 計 道上 明
副S. A. A. 嘉納 忠雄
// 松下 衛
会 計 監 事 三原 孝公
// 田中 寿夫
研修リーダー 前期 野々村禎之
研修リーダー 後期 乙守 典厚



第59代会長

中井 章詞



平成24年

7月10日 石丸鐵太郎ガバナー
公式訪問

8月21日 第一回親睦会
(ホテルオークラ神戸)

10月14日 中央区少年団親善
野球大会



11月25日 永田 萌さんと王子
動物園で絵をかこう



12月25日 忘年家族会
(ホテルオークラ神戸)

平成25年
1月18日 青陽東養護学校招待
ボウリング大会

1月20日 友生支援学校新築記
念植樹



3月16日 むつみ会合同日帰り
家族旅行
(エクシブ有馬離宮)



4月 9日 創立記念家族会
(ホテルオークラ神戸)

6月18日 住友ゴム本社
職場訪問



6月25日 打ち上げ親睦会

日本の出来事・世界の出来事

- 2012年
 - 7月27日～8月12日 ロンドン五輪で史上最高のメダル数38個を獲得
 - 10月8日 山中伸弥氏がノーベル生理学・医学賞受賞
 - 11月6日 米大統領選でオバマ氏再選
 - 12月2日 笹子トンネル天井板落下事故
 - 12月26日 安倍晋三氏が内閣総理大臣に再就任(第2次安倍内閣)。
- 2013年
 - 1月16日 アルジェリア南部イナメナスの天然ガス関連施設をイスラム系武装勢力が襲撃
 - 2月15日 ロシアのウラル地方チェリャビンスクにて、隕石落下
 - 2月25日 朴槿恵氏が韓国初の女性大統領として就任
 - 4月13日 淡路島付近を震源とするM6.3の地震が発生、近畿地方各地で大きな揺れを観測
 - 5月10日 島根県の出雲大社で、60年ぶりに「本殿遷座祭」(平成の大遷宮)

今年度は、2012年7月3日の第1例会から2013年6月25日までに47回の例会を行いました。神戸東ロータリークラブ会長テーマである「未来につなぐ、心の絆」にご理解とご協力を賜り、各部門・各委員長および各委員の皆様の温かいご理解とご協力により、順調に進行し次年度へ引き継ぐことができました。心より御礼申し上げます。

ここ数年の間に、国際ロータリー特にロータリー財団の活動は、これまでの単年度制から、経年性を強調するよう変化しています。細則に理事の中に直前会長およびエレクトを加えるよう推奨しているのもこの表れです。今年度、当クラブでは委員会構成表作成時に現会長と会長エレクトと共に協力して、可能な限り各委員会の副委員長が次年度委員長に選任されるように、また、困難な場合には当該委員として構成されるような下地を作り上げてまいりました。これにより各委員会の活動に

継続性が生まれたと思います。

また、今年度行った王子動物園での写生大会と友生支援学校に桜の樹を植樹寄贈した際には、ロータリアン自らが参加し、また手植えも行いました。これらはロータリーの温かい心を60周年にうまくつなげていけるような「心の絆」を持った活動として我クラブの今後の発展に向かって位置づけられたと思います。そして今年度会長を務めさせて頂いて、神戸東ロータリークラブの活動が会員の皆様の一人一人の誠意とロータリー活動に協力を惜しまない心によって支えられている事を改めて実感し、神戸東ロータリークラブの発展を確信いたしました。

最後に、神戸東ロータリークラブ会員の皆様、並びにむつみ会の皆様および事務局のご協力を心より感謝いたしまして結びの言葉とさせて頂きます。

創立100周年に向かって我がクラブのあり方を考える



●出席者	執行 英毅(第34代会長)	角田 嘉宏(第45代会長)
	西原興一郎(第50代会長)	野田 晴清(第55代会長)
	野々村禎之(第60代会長)	植村 孝一(記念誌部会委員)
	石橋 恒生(記念誌部会部会長)	大澤 勇(記念誌部会副部会長)
	田中 寿夫(雑誌会報委員長)	
●司会	高嶋 良平(第47代会長)	

高嶋 創立50周年のときは座談会を2回行いました。1つは「50年を振り返って」ということで、会長経験者の皆さん方が行った。もう1つは少し若い会長・幹事経験者で「これからの中東を展望する」ということで行いました。創立55年誌では、未来委員会の提言に合わせて「創立60周年を目指してクラブの将来を考える」という内容で座談会をやりました。

今回は創立60周年記念誌の座談会です。40周年時の会長の三輪さんがおられませんので、そのかわりに執行先生を指名させていただきました。45周年時の会長の角田さん、50周年時の会長の西原さん、55周年時の会長の野田さん、それから今年度60周年の会長の野々村さんに、今回の座談会のメンバーになっていただきました。

60周年のテーマが「温故知新」、それから「創立元年の気概を持とう」というのが大きなコン

セプトになっております。本日の座談会では「創立100年に向かって我がクラブのあり方を考えてみたい」と思います。50周年誌、55周年誌でも、「将来の我がクラブを考える」というテーマでやってきました。55周年では、未来へ向かって未来委員会の提言があり、それを踏まえて「60周年までにはこういうクラブにならいいのではないか」という座談会でした。

本日の座談会は、「我々の後輩へ、いかに我がクラブを存続させるのか」また「我がクラブの運営に歴代の会長はこういう苦労もしたんやぞ」という、温故知新を中心に次の世代へ伝えるものにしたいと思います。また、100周年には我々はおりませんけども、「立派なクラブとして存続させてほしい」という願いを後輩に託すという意味合いの座談会にしたいと思っております。

幹事の選任には苦労した

高嶋 皆さんが会長に就任される前、内定したエレクトのときに、会長になったらこういうクラブにしてやろうという思いはあったと思います。その中には、会長のテーマもあるでしょうし、幹事や副会長、執行部の選任に頭を悩ませたことだと思います。会長時代のクラブ運営への思いについて、まずお話をいただきたいと思います。執行先生からどうぞ。

執行 幹事の人選に関しては、皆さん歴代、気を使われたと思います。過去に2つ、3つ困難をきわめた体験で僕は相談にあづかりました。ある方は会長に指名されて会長予定者の席にしばらく座っておられたけれども、やっぱり辞めるとお辞めになった。それは幹事のなり手がなかったからです。幹事を選出する手続が、ずっと未完成だったんです。今は知りません。私自身も夫々の理由で3人に断られました。

そういうことがあるから、中には自分が会長になったときには、この人が幹事になるとということを前もって決めている人もいたわけです。幹事を推薦するというシステムをうちのクラブで確立する必要があるんじゃないとかねがね思っておりました。

そういう意味で、私の場合、幹事に関しては、受けてくれた人に自然に順番が回ってきたという感じで、結果、ご本人は充分尽力してくれましたけれども、私としては決まるまでそれなりの苦労をしました。先輩の松野先生が執行部の人選は常にフレッシュな人、今までやったことがない人を入れなさいということを私に言われました。角田先生、あなたにお願いしたのは何でしたかね。

角田 社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、その3

つのどれかやないです。

執行 国際奉仕でした。職業奉仕は神戸薬科大学の学長の黒田先生、家族を銀行の田端さんにお願いしたんです。社会奉仕が整形外科の……。

高嶋 薄木先生。

執行 角田さんに国際奉仕をお願いしたのは理由がありました。当時、外国の友好クラブとの関係がすこし整理の必要があった。これを何とかしようと、僕はこの方にお願いした。この方にはそういう苦労をかけているのです。あと委員長では「何で自分がせねばならないのか」とえらく怒られた。だけど「あんたにお願いせなあかんねやから」と頼んで引き受けました。自分はもうこんなことをしなくていいと思っている人が随分いました。それを説得した。黒田先生はほんと受けてくれました。一般に差はあるけど、「何で自分に言うて来るのか」という抵抗はあった。そのような点を振り返ってみて、好ましいことは思わないがあらかじめ「幹事を頼む」というような人脈をつくる必要があったんかなと改めて感じました。ネガティブな話ばかりで申しわけないです。苦労話しか残ってないんですよ。

一番大きな仕事は神戸六甲ロータリークラブをつくることで、前年度からの第2年目でした。会長としては大きなテーマを掲げるのではなく、非常に陳腐だけども、テーマは「明るくフランクにいこうじゃないか」。それから「楽しくやろう」。最後に「後で振り返って爽やかであるよう、わだかまりを残さないように」という、極めて単純な平凡な気配りはしました。ただ、六甲クラブは、新しく作らんならんという非常に大きなプレッシャーがあったので、それをサポートするのは、何よりも大きな仕事と思っておりました。



執行英毅会員(第34代会長)

「楽しく」というのは、みんなカンカンになって真剣にやってるから、気楽にもっと肩の力を抜いてやろうやないかということを強調したかった。会長就任直前のころ、たまたまクラブ名誉会員の直木さんが病気でおやすみになっておられて、名誉会員のお願い旁々、2、3人でお見舞いに行つたんです。「今度私が会長を引き受けことになりましたけれどもどんな心算でやればよろしいか」と聞いたら、「楽しくてもうたらよろしいやん」と言われた。それすごく肩の力が抜けたのを覚えております。方針としては、今までやつたことのない人を選任することと併任を避けることでした。これが人事のこと一番気にしたことでした。

高嶋 執行先生の反省としては、幹事を任命するシステムをクラブ内で作れ、と。

執行 僕は困った時、最後は冬夏会に頼んでみようかと思ったぐらいです。そこまで訴えるまでもなく幸い幹事の引受者があったからよかったけど、お2人ほどの会長予定者から随分と苦労話を聞きました。ですから、大事な職では推薦制度というか、バックアップするようなものがあつてもいいんじゃないか。神戸クラブでは既にずっと長いことある筈です。

高嶋 神戸はうちと違って、先に幹事が決まっています。

忙しい人も幹事ができるよう事務を改革

高嶋 続きまして、角田さん。

角田 人選はこうするとか、そんなポリシーはもなかつた。ずっと私が考えてきたことは、ロータリー会員は皆平等やということです。だから、「みんなで考えてみんなで決めてみんなで行動する」ということがポイントやとずっと思つてました。特に、ロータリーには割に若くして入りましたので、結構長いこといて、オールドロータリアンの中に入ると思います。そういう点から言うと、執行先生がおっしゃった問題については、自分が幹事になったときは、樽本さんが来られて「ともかく頼むわ」と言つてそれだけです。そう言つて、しようがないから受けました。

高嶋 ロータリーは断つたらいかん……。

角田 断つたらいかんかったので受けましたけど。いろんな関係がその人によってあるわけで、方程式はないと思うんです。その人の性格とか、事務的能力とか。幹事の場合には特に事務的能力がないといけません。自分が幹事をやつた当時は、副幹事が全部週報から何からやってたんです。それまでは副幹事が会報をやって、次の年は幹事になつた。準備のために1日以上必要だった。今でもそうかもわかりません。僕はそれを2時間でやろうと思い、ほんまにやりました。そのかわり、会長に早く来て下さいといながら会長より遅く来ると後で叱られました。

非常に忙しい人でも務まるような幹事というのが本来やと思います。だから改革して、週報委員会を別にすると、副幹事がただ見学しとるだけみたいな感じになつて今の状態です。週報のつくり方も全部発言した人に原稿

を書いてもらうという改革を行いました。今はそれを引き継いでるわけです。その原稿も私は「貼り貼り仮面」と言いましたが、要するに大きな紙にパッと記事を貼つて作つていく、それを徹底しました。そうすると非常に短い時間でできたんですね。

そういう事務改革をある程度やつて、自分の会長年度には、幹事に事務的に抜け目なくやる人を選んだ。ちょっと強引さがある人ですが、月岡さん。この人は事業がうまくいかず、退かれましたが、事務的にはうまくやつていただきました。しかも45周年で1つの節目だという考え方があり、何か事業をやろう、それも国際的な事業をやろうという声が上がりまして、中国の学生と学生交流をしました。そういう事業をかちりとまとめてくれる人を幹事に選ぶというのが1つの考えでした。理事とか委員長もそういう観点で選んでいきました。大体自分が考えたとおりのことはできつていています。

高嶋 角田さんは副幹事のときに週報を全部自分でやって、副幹事の苦勞を解放しようと改革された。本当に今助かってますね。角田さんの年度では、国際交流が大きな運営の柱になつたわけですね。

角田 そうです。ちょうど長江・上海プロジェクトという国家的プロジェクトがあつて、長江流域と神戸が共同事業をやるという話でした。だから市長にも参加してもらつた。

高嶋 結局、ボシャッてしまつたね。

角田 国家的プロジェクトはね。相手が長江流域の全都市という風に大き過ぎたんですよ。我々の学生交流は武漢を選んだ。中流の都市でちょうどいいかなと。学生交流は単年度事業で終わりました。

執行 上海にロータリーをつくるという話もあった。

角田 それは最終的には北京の意向で失敗に終わりました。



角田嘉宏会員(第45代会長)

とにかく若い人を育てよう

高嶋 それでは50周年の西原さん。

西原 私の場合やはり、大変なのは幹事だったですね。最初に幹事をお願いしようとした人が退会されて、その後しばらく空席でした。次を選ぶのがものすごく難しくなつた。何人かお話をしたが、なかなかうまいこといかなかつた。もうそれなら1人で両方やろうかと思いました。自分が辞める気はなかったので、1人でやつたら終わりやないかという感じでした。僕は幹事をやつたことがないから、どれだけの労働かよくわからなかつたのと、しっかりやれば何とか1人でできるかなという、軽い気持ちだったんです。

先輩方が見かねて幹事に野田さんを引っ張つてきてくれて、野田さんが幹事を引き受けた後は何にもしていません。その後は人事の苦勞はありません。野田さんはゼネコンの工程表が全部できる人ですから、50周年はスカみたひなものでしう。それは引き受けさせていただいたときにはすぐ思つたんです。僕はややこしいことを言

わず幹事が動きやすいようにだけ動いたらいいという意識でした。だから細かい話を聞かれても、何にもわかりません。気楽なもんです。

野田さんはその分苦労されたと思いますけど。

植村 3大奉仕委員長は幹事が決めたのですか、それとも一緒に決めましたか。非常に斬新な3人なんですね。野々村、中井、須藤という若手です。

西原 それは野田さんの関係もあって……。

植村 2人で相談して、要するにこれから育てようということですね。

西原 いや、相談はしてないです。とにかく……。

野田 もう若い人にしようと。

植村 3人とも育ってますやん。



西原興一郎会員(第50代会長)

西原 忙しい人に頼まんと、仕事が決まらないなということだったので。それは野田さんの思い……。

野田 いやいや。

植村 会長、幹事は別にして、こういう人選で今があるということですね。

役員には能力の高い人から選んだ

高嶋 それでは続きまして、野田さん。

野田 僕は会長を2度やったような気持ちです。しかし、人って違うなと思ったのは、会長方針だけパッと決めて、もう後は頼むなどいう感じの人と、西原会長は違うんです。朝必

ず例会の前15分には出てきてくださいと言つたら必ず15分前に来る。それで何かメモでも書いて持ってきてくれたんかなと思ったら、ない。「今日の会長挨拶はどうすんの」と聞いたら、「俺が話すよ」と。「メモはどうするの」と聞いたら、「書いて渡すわ」と。挨拶の後に書くわけです。すばらしい人やなと思いました。それでごちゃごちゃ幹事にも理事にも言わないし、かといってちょっと何かがあったときには、「まあ頼むわ」って言う。こんなきめ細かい人とは思いませんでした。

僕が幹事になったのは12月の末で、1年半しかない。ですから、西原さんには「ちょっとスピードを上げてやるから、ある程度は我慢してね」とお願いした。「基本的にこれとこれとこれとこれやるから」と言われますから、「それでいきましょう」ということでした。それと、「即動ける若手の連中、将来を考えてやったほうがええぞ」というのが西原会長の意見でしたので、「じゃあそれで決めましょう」と。スタートまでは大変でしたが、スタートしたら本当に楽ちんでして、50周年も実行委員長が角田先生でしたので……。

執行 就任の半年前からそういう議論が起きていたわけですか。

野田 いや、半年前は決まってなかった。普通は大体1年前に決まるじゃないですか。

執行 僕らは能力ということにこだわらないで決めていました。

野田 そういう場合はそれでいいと思うんですけど、計画書をつくるにも何にしても、スパンがないから。

高嶋 今は幹事時代の話ですが、会長時代のことについて……。

野田 先輩の西原さんがよくやられていたん



野田晴清会員(第55代会長)

で、よし、俺が会長をやるときにはまねしてやろうと思いました。受けたのが55周年のときでした。50周年のとき幹事をしてわかつてますし、平成20年度は大変だなと思ってたので、実は会長は受けたくなかったんです。でも決まってた人が急にできなくなったので引き受けさせていただいて、皆さんのお力で55周年を無事終えられるようにと……。

高嶋 幹事の選任はどうされました。

野田 55周年は大変なので、幹事は中井先生。緻密にちゃんとまとめていく横山さんを副会長に決めました。あとは、国際は角田先生、三原さんが職業奉仕で、上村さんに社会奉仕をやってもらいました。50周年のときの活動がずっと記憶に残ってたものですから、たとえ中間年度であってもいいかげんなことはできないということで皆さんにお願いをしました。だから役員を決めるのもそんなに大変ではなかったんです。能力の一番高い人を入れとかないと思いまして、いろいろとお願いをした次第です。

テーマは非常に難しいのですが「人間回帰」、それから「人間らしい温かみのある心」にしました。記念誌の表紙でも「心」の字が55周年の55を表してます。これは岩野さんの発案でデザインしてもらいました。要は温かみのある心=友愛でロータリー活動を楽しくしようということです。

執行 幹事の選任の方法、今はもう安定してるかもしれないけど、昔は非常に難航したときがあったから、システムがどうなってるなんかと言いたい。

高嶋 僕は、それはそのときの会長候補者が冬夏会にお願いするべきやと思うんです。

執行 冬夏会はそういうシステムとは理解されていなかった。

高嶋 いや、今まで冬夏会でしたもんだけして、幹事が決まったケースもありましたよ。

執行 それだったら安心や。この問題のために会長を引き受けるのを断念した人もいますから。

高嶋 そのころはまだ冬夏会がそういう機能を果たしてなかったんです。

植村 今、冬夏会でそれをやっていますよ。そこに行く前に決まっていることが増えただけでね。だから、解決されてるような気はします。

西原 僕は幹事をしていないから、どこに相談していいかわかりません。冬夏会も知らなかつたからね。やっぱり幹事をやってからのほうがいいんやろな。

「新しい芽」が咲くのに期待

高嶋 それでは、今年度の野々村さん。

野々村 ちょうど一昨年の12月前ぐらいに会長の指名をいただいたとき、自分自身がなるなんて思ってなかったもんですから、人選なんて全然考えもしていませんでした。そこに60周年の話がきて、一番考えないといかんのは実行委員長やと思ったんです。要するに、三役については僕はどなたでもいいなというのが初めての感覚なんです。第一に考えたのは、将来会長になれる人になってもらったらいいなということです。歴代の方はご存知やと思うんですが、

経験したところに丸がつけられているリストがあるて、その中からみんな順番に選んでるのが実情なんです。だんだんと丸のついてる方が減ってきてるのがここ最近の状況です。

丸のついてる方をふやしていかないといかんということから、平成16、17年度の白羽会長のとき僕が幹事で、副会長が須藤さんでした。須藤さんはすごくマネジメント能力や企画力があるので、これは第一に落とさないといかんなど須藤さんにお願いした。当時、副会長と幹事が交代せなあかん感じやったんで、そのときのパートナーの分で須藤さんも断りにくくところがあった。「あんたがおったら俺は何もせんでもいいんやろ」と言うから、「何もせんでいい」と言ったら、うまく引き受けくれました。それで幹事が決まって、あとの人選は須藤さんからのサジェスチョンを受けながらやっていって、委員長もそれで決めていました。割と民主的にできたと思っています。

60周年の実行委員長については、いろいろと考えながらやったんですが、大体見てますと○○周年のときの会長が実行委員長をされてることが多いので、55周年の会長がええんやないかなということから、野田さんに「どなたかええ人はおりませんか」と持ちかけたら、「おるおる」と自分でおっしゃったんで、これはひょっとして野田さん自分のことかいなと思ってたらやっぱりそのとおりになった。実行委員長が決まってからは、人選や60周年の内容についても全てお任せしたいなと思っています。横からサポートできる形に持っていくように、組織も全て60周年の実行委員会と合う形にできればという思いで今やっています。

今年の会長テーマとして「新しい芽」というのを考えています。過去60年の間に当クラ



野々村禎之会員(第60代会長)

ブが社会奉仕や青少年奉仕という対外的な事業をずっとやってきています。マンネリ化が多少あったんかなということから、何かそこから新しいものが開けないかいろいろと考えていくと、「新しい芽」という言葉が出てきた。そう考えると今度は拡大の部分、今まで開かれてない未充填の部分も一つの「新しい芽」なのかなということになった。要するに自分1人じゃなくロータリアンとして、また会員として、「みんなで探そう」という前置詞としてつけたほうがおもしろいなと思ってつけました。皆さんも徐々にご理解いただいて、「新しい芽」が開けてきてるんではないかなと思っています。来年以降に本当に芽が咲いてくるんかなと思いますが、野田さんが60周年のテーマに「温故知新」というちょっとハイカラなことを考えてもらってよかったです、何とかいけるんじゃないかなと思います。

委員会を兼務するのは是か非か

高嶋 今度は運営についてお話し願いたいんですけど、先輩ロータリアンに「会長・幹事2人でそのクラブは動かすんや」と昔聞いた覚えがありますが、そのあたりどうお考えになつますか。

執行 おっしゃるとおりですが、委員長が決

まるでしょう、委員長が自分の委員をまた決めるわけです。そのときに、野放しというたら悪いけれども、委員長候補者にどうぞ1つよろしく考えてくださいと言った。それがよかつたのか悪かったのか、兼務の人がものすごく増えたんですよ。恐らく僕の会長のときは前代未聞だったと思う。統計をとってみたら、120人の会員で2つの委員会を兼務している人が41人いたんです。3つの委員を兼ねてるのが2人おりました。そういう傾向が、僕の2、3年前の角南さんの頃もありました。僕のときは文献委員会と拡大委員会の2つが増えていて、それだけで44人という数字になりました。その前後は兼務は三十何人ずつです。翻って現在を見てみたら、兼務は11人しかいないんですよ。それがまともな状態だと思うんですけど、昔は異常だったと非常に反省しています。

植村 今、11人もいないと思いますよ。一時兼務を廃止しましたから。

野々村 今、例えば副幹事で、副会計であったり、そういう方が委員に……。

執行 いや、委員会だけでなく、副会計であって、何かの委員をしている人もいる。

野々村 そういう方が多いんですかね。

執行 ジャンルが違うのを兼務してる人が11人、当時と比べたらそれでも少ない。

高嶋 今はだんだんなくなっています。

執行 それは1つの進歩やと思います。

角田 昔は3年委員、2年委員と言う制度があり、兼務はいたし方がなかったんですよ。

執行 国際奉仕とかありましたね。

角田 そういうふうに流動性がなくなるんです。結局、兼務せざるを得なかつたんですね。

高嶋 そうですね、もう1年、あるいは2年残ってる人がいるから。

例会での会長と幹事の役割を問う

高嶋 会長・幹事のクラブの中での位置づけといいますか、昔は「会長は天皇陛下で、幹事は総理大臣みたいなもんや」と。だから、「クラブ運営は幹事が全部仕切らなあかん」となっていましたが、今はどうでしょう。

角田 今はちょっと違うんじゃないかな。別に批判でも何でもないけど、いろんな方があると思うんです。前年度の会長の中井さんからかなり変わってきたと思います。中井さんは幹事の仕事まで全部やってはりました。天皇陛下と総理大臣というのはちょっと言い過ぎやと思いますけど、会長報告は幹事報告と違うと僕は思います。私が会長のときには、何の話をしたかわからないぐらいの話でも、全て一応はテーマを考えました。今日は何の日というのを1年通じてやりましたが、必ずロータリーとどうやって結びつけようか、話題を選んでやりました。奉仕の理想というのがこの話と結びついてるんですよという感じ、非常に抽象的な話です。先週こんなことを会長としてやったとかはあんまり言いませんでした。それは幹事がやるべきことだと僕は思つたんですね。それは一応我がクラブの伝統であります。しかし、その伝統は今ちょっと違ってきた。悪いとは言いませんよ。

執行 今、会の運営のとき幹事が、「会長さん、点鐘を打ってください」と言うでしょう。私個人の意見では、それはちょっと越権であって、「会長どうぞ」の一言でいいと思う。会長にはコメントがあるかもしれない。それからスピーカーに対する謝辞があるかもしれない。そういうような余韻を残してね、点鐘をどうのまでは幹事が言ってはいけないのでないか

と、僕は思います。僕は会長が一番の主役であって、それをスムーズに持っていくのが幹事やと思ってるんですよ。

野田 僕のときは、「どうぞ」ってそれしか言わなかつたですよ。

高嶋 執行さんね、会長・幹事さんというの、そのときどきの息というか、関係がいろいろあると思います。

執行 最近の1、2年僕はそれを感じるんですよ。会長の一挙手一投足を幹事が指示しているという気配を感じるんです。

高嶋 初めは「会長、点鐘をお願いします」から始まりますよね。

執行 それも、言わんでもええ。時間になつたら会長が立って行つたらいい。「会長どうぞ」と言つたらいい。

野田 でもやっぱりそれは見かけませんよ。

執行 昔は自ずから時間になつたら座つてた。

野田 執行先生、歴代の幹事の会の運営マニュアルには必ず、「会長、点鐘をお願いします」と入つてゐるんです。

執行 もうそういうことから反対やってん。僕はそのころから黙つてたんです。

植村 いや、執行さんのときはなかつたと思うんです。ある時期から幹事の引き受け手も少ないし、誰でもできるようにしようということで誰かがマニュアルをつくり引き継がれていつてます。

野々村 野田さんのときまで、それが手書きだったんです。それを僕がきれいに打ちかえた。それがずっと回つています。

高嶋 でも、「会長、点鐘をどうぞ」と言っても、その先を言うのは会長の役目です。

執行 僕の感じてるのは、会長というのは、会の主催者で責任者やから、もう少し配慮し

てもいいんやないか、マニュアル化していたとは知らなかつた。

野々村 シナリオを僕が幹事のときに機械化したんですね。そこで間違つてきたのは事実ですけど、今は会長が点鐘をするときに、「ただいまから例会を開催します」という宣言があつてもいいなという気はするんです。

「会長、点鐘をお願いします」があつて、「第何回の例会を開会します」ганてやるのが筋なんかなと思つたりしますが。

高嶋 よそのクラブではそれをやってるところもある。

野田 やっぱり、あうんの呼吸でスムーズに流れるというのが、本来じゃないですか。

執行 いいんだけども、あんまり会長がかわいそうやなと思ったんですよね。そこまで幹事が指図するのは。

高嶋 幹事はそこまでが仕事やと受け取つますよ、一般の人は。何も言わへんかったら「あの幹事、仕事してへんやんか」となります。

執行 ごめんなさいね。例会の運営は幹事に責任があると僕らは言つてきた……。

角田 会務を全部やるのが幹事なんですよ、会長は会務をやるのが責任やないんです。ですから会の方針とか運動方針とか、そういう精神的な問題が会長で、事務的なこと、いつ何をするか、段取りをどうするか、どういう発表をするか、それは幹事が総括せないかんのやね。

執行 こんなのをいうのは初めてやけど、時代の流れを感じておる。

高嶋 いやいや、そんなことはないですよ。

執行 幹事のあり方というのは、影武者であつて、しかし、実権は握つて。操り人形のように踊つてるのは会長であるということです。

それがいいかどうかは知らんけどね。

高嶋 それがあるからスムーズな運営ができるということになりますから。

執行 この間も相当熱弁振るつてくれた人に對して何も言わず、「会長、点鐘を」と言つてしまい、打つてしまつたんです。

高嶋 野々村君、謝辞を言わないと。

植村 多分これから野々村会長の、会長報告とか点鐘の仕方が変わりますね。

執行 昔そういう議論が冬夏会の場でもあつたわけ。冬夏会には会長経験者も出てるからね。「何とか言えよ」と言われるぐらいのこともあつたと思うんですよ。それが今、伝えていく形式が変つた。今はもう、幹事さんの気持ちでもつてやつてはるなといふので、僕らは身を引いてるような感じですから。

もっとロータリー勉強の機会を増やせ

高嶋 それでは次のテーマです。50周年、55周年の座談会でも問題点が指摘されていますが、クラブライフは今までいいのか悪いのか、もっと楽しいクラブライフにするにはどうしたらいいのか。ロータリー勉強をもつとしていかないといけないのではないか。今後のクラブのあり方についてご助言、あるいは思つてられることをお話しいただけたらなと思います。執行先生からお願ひできますか。

執行 勉強をしなくなりましたね、皆さん。

高嶋 しなくなったというよりもクラブがそういう方向に持つていってないということじゃないんですかね。

執行 そうやな。このごろはその話題が避けられるようになってきました。昔はロータリーの本質的な話を、飯を食いながらでもよくして

ましたし、レクチャーっていうようなグループも作っていました。ラウンドテーブルをもう少し膨張させたり、あるいはブランチをつくつてもいいから、そういう機会を設けないといかんのやないかと思いますね。それから、先輩で知つてゐる人がおられる間に、ロータリーの本質を追求してゐたころの空気みたいなものを残しておくのがいいんじゃないかと感じます。

高嶋 僕が思うのは、関西ロータリー研究会や千種会までいく必要はないんです。最低限「ロータリーとは」という入門でいいから、ロータリーをもうちょっと勉強してもらう機会をつくるべきです。そうしないと、楽しい仲よしクラブで終わつてしまつます。もう一つ、パストガバナーはこの席にいませんが、未来委員会であれだけいろいろ提言されて、このガバナーになって、久野さんに「ガバナーなんて全然実践できてないでやん」と言うたら「全部のところまでできるかいな」と。そうかもわかりませんが、我がクラブだけでももう一遍見直さないといかんなと思う。

久野年度のガバナー月信の「ロータリーの意味論」は教科書の1つになると思います。

執行 昔は、例会でパストガバナーは皆の間に座つて、各テーブルで会話に加わつておられました。ある頃よりパストガバナーを、メインテーブルに座るようにしていました。ガバナーを経た人が帰つて来てから、無駄話なり、自分のやつてきたことについてのいろんな話を振りまいてもらわないと、勿体ない。何か貴重な体験をした人がその話をせずに済んでしまつてるのは、惜しいと思う。パストガバナーになった人が、いわゆる巷に出てね、座つてもらわないといかんねやないかという感じがするんです。

高嶋 久野さんは、メーンにどうぞと言われても断ってますけどね。

執行 久野さんの考えはそうだと思いますよ。だけど「あのときはどうやったんですか」という話が出てくると思うから、そあるべきやと思うんですね。

高嶋 パストガバナーも、えらい仕事をおやりになったからという敬意を表してのメーンテーブルやと思うんです。前年と同じようにずっと続いていくので、自分の会長のときだけパストガバナーに一般の席に行ってくださいと言うのもやっぱり迷います。その辺は難しいところがあると思うんですけど。

ただ、ラウンドテーブルも、執行さんや角田さんの時代は、月に1回とか必ずあって、割と勉強会が多かったのではないかですか。

角田 僕はインフォメーション委員長を2回やって、副委員長を2回しました。1カ月に1回やったというのがあります。そのころは2カ月に1回が普通でした。

執行 僕は昭和45年に入会した。その前からかぞえて、昭和50年までの間のラウンドテーブル会100回記念というのがあった。そのころラウンドテーブルを担当してずっとやって来られたのが池田先生。ロータリー歴何年か知らんけど、100回やったといえば相当な頻度です。熱心やということです。そういう空気だった。うちはこんだけ人数がいるからそういうことができると思いますね。

高嶋 僕はラウンドテーブルへ参加してないので、あんまり偉そうなことは言えませんが、ラウンドテーブルの中身が1杯飲み会の延長線ぐらいで停まってるんでは。本来の勉強会になってない。ラウンドテーブルじゃなくクラブフォーラムでもいいと思うんです。よそ

から講師を呼んできて卓話をさせてということではなく、今日の例会はテーブルごとでフォーラムをしましようというような……。

執行 クラブ例会レベルですか。

高嶋 昔よくありましたよね。そういうところに戻していくないと、勉強会だけでラウンドテーブルで集まれと言うてもなかなか集まらない。そういうのをミックスしながらやらないと、ロータリー勉強の機会がないのではと思うんです。

角田 そう思います。1つは、昔頻繁にやったころとは人数が違うんですね。僕が入ったのが46年前ぐらいで人数が80人にやっと届くぐらいです。ラウンドテーブル会に出てくるのは、大体15人から20人ぐらいです。

執行 15人出たら盛会でした。

角田 人間同士、近くで話をするわけです。それであんまり会わない先生とも話す機会があるんです。テーマだけが決まっていた。例えば「あなたの仕事を忠実に一生懸命することは職業奉仕か」、それについてうだうだしゃべるわけです。そういう非常にわかりやすいテーマを出して、みんなでしゃべる。若い人も年寄りも全員、一言ずつは絶対言うんです。ところが、最近は人数が多くなってしまって、30人とか40人になるとそれができない。やむを得ずスクエアテーブルになって、教室型になるんです。スピーカーが「今の職業奉仕とは何か」からレクチャーすることになるんで、ラウンドテーブルとはおよそ違うんです。その辺が難しいところですね。ですからそれを小さなテーブルに分けてやるとか、前に例会時にやったバズトークをするとか。バズトークというのは、自分のテーブル8人だと8人の中で、あるテーマについてみんなで話し合い、記録係が記

録する。その結果をそのテーブルの誰かが発表するんですね。そんなことも今はありません。

それからもう一つ、例会で外部のスピーカーを呼んでくる。あれが僕は一番大きな問題だと思うんです。バラエティーに富んだ人が集まってる会で、外から呼んでくる必要はありません。職業奉仕なら職業奉仕委員長がやったらしい。それをなぜ地区の何とか委員長を呼んでくるんですか。ああいうのがいかん。うちの委員長が勉強しないことになりますよ。しゃべろうと思うたら勉強しないけませんからね。一業種一人が基本でこのロータリークラブができるんだから、各自みんながやつたらしいんです。例えば「ベンツはやっぱりよく売れてる」とか、そういう話を聞いてもいい。それを呼び水に質のいい情報が飛び交ったら、それによって我々は次の高いステップに移れるんです。そういうロータリーの理論構成をもっとみんなに知ってほしいと思います。

高嶋 そこが、ロータリーの例会は道場やというところに結びついでいくわけですね。

執行 有名な人を呼んできてスピーチをしてもらうという、余りにもええ格好するという時代がちょっとあった様です。それがよくないといふんで、僕の会長のときは会員ができるだけ自分でスピーチするようにしました。やむを得ない人は、よそから呼んできて仕方ありませんが、それでやりました。

最近充実してきたラウンドテーブル

野田 諸先輩に反論するわけじゃないんですけど、今は2カ月に1回ラウンドテーブルをやってます。結構中身も充実し、僕が会長のときの中身とこの2年ぐらいの中身が全然変

わってきてます。ぜひ皆さんも一度ラウンドテーブルに参加してください。どんな雰囲気でやってるかがよくわかると思います。

それともう一つは、僕が入会したときから比べてみて、この5、6年の委員会活動はすごく活発です。委員会活動の中でも結構僕らの委員会は勉強し学習されてると思います。だから、ちょっといいところを見てやってほしいなというのが僕の意見です。卓話につきましては、お二方がおっしゃるとおりであります、ゴルフの川田太三まで呼んできて話をさせたこともありますけど、基本的にはメンバーが、2回に1回ぐらいは話をされることが望ましいかなと思います。

ただ、ラウンドテーブルは出席が少ない。大体今25名前後です。テーマを難しくし過ぎてるから語りにくいんじゃないかと、フリーテーマにしたら、何をしゃべっていいやらわからない。委員長が非常に困った。あのときは久野さんが出てたからちょっと振って恰好を付けましたけど、テーマはほどほどにしないといけませんね。ずっと勉強会を重ねていると、自分たちが今何をやるべきかわかってきて、実が伴う勉強会になっていくんじゃないかと僕は思ってます。

執行 おっしゃるとおりで、味をしめてるメンバーが決まってきたね。僕も努めて出てますけど、大体顔ぶれは決まってる。肝心の新入会の人は割と来ない。義務づけると面白くなくなるかもしれませんけど、メンバーが偏



在してしまうことに1つの問題があると思います。いいラウンドテーブルのメンバー構成になってるかということも問題でしょう。

野々村 一応、3年未満という義務づけはしてるんですけどね。

野田 一時やめてたんですよ。「何で3年未満いうねん」と言う人がいたので。

執行 「もう4年目やから行かへん」という人もおる。

植村 出席義務者と言って出してるのにね。

野々村 テーマの部分がかけ離れてるように受け取ってる方が多いんだと思いますね。

執行 一番わかりにくい話でしょ、行事関係とかね。

野々村 ええ、それで義務づけられてるんで余計遅れている部分があると思いますね。その基礎の部分が抜けて、次の段階で行ったらまたわからないところへ行ってるもんですから、だんだんと行かなくなっているのが現状だと思うんです。

野田 君は今会長やから、「それは改めています」って言うてくれや。

野々村 ですから、もうちょっとわかりやすい入門編っていうところを充実させようと考えています。

植村 大澤さんは、ラウンドテーブルは何回ぐらい出たん。

大澤 4年で2回ぐらいですかね。

田中 僕は2年で2回です。

西原 やってる回数が基本的に昔より少ないですね。

角田 3回に1回行ったらよう出てるほうになってる。

野田 でも、相当勉強になってるよな。

角田 島村さんという会長がおられた時代がある。この人は天長というお酒屋さんですが、

この方のときには毎月やったんです。夜6時から7時半までおでん屋でやるんです。そのときは7時半まではほかの客はない。7時半になつたら店を出ないといかん。それが結構楽しいと言ってたくさん来ました。

野々村 ですから今は、飯を食ったり飲んだりするのは楽しいんですが、テーマが難し過ぎて発言しづらいところがあるようです。

高嶋 情報委員長もその辺をもっと下げていくというか、やわらかく考えないとあかんと思う。

野々村 そう簡単に行かない部分もあります。

高嶋 でも、そういう部分的な軌道修正は会長権限でできんねんよ。

野々村 ストーリーを自分で講師になる方と話し合ってるうちに、だんだん深く入ってしまうんですね。

高嶋 今年度はできるかわかりませんが、次の世代、あるいは来年度の会長さんには例会の中でのバズトークとか、例会中に勉強会を兼ねたプログラムをつくっていくという方向づけをまずやっていかないと、いつまでたっても今のラウンドテーブルの形がなかなか変わらないか。

野々村 いずれにしてもそういう方向づけをしていこうと思ってます。当然例会の中でそういうセッションを持たないとできないかなと考えています。そうすると最終的に組織の変更という問題まで出てきて、定款の細則の変更までいってしまいますので、全会員が理解してないとできません。当然例会の中で何回かやっていかないとね。

女性会員は絶対必要になる

高嶋 それと女性会員ですね。これは我がク

ラブの永遠のテーマなんですが、うちのクラブはできないだろうと前回の座談会ではそういう流れできていますけど、100周年に向かって、女性会員についてまず執行先生はどうお考えになりますか。

執行 女性会員は、もう現状で定着したような気がします。西クラブは入ってるし、神戸クラブは入っていないでしょ。うちも入ってない。大きな古いクラブが入ってないのでよ。

野々村 姫路、神戸、須磨。

執行 それを聞いても、日本ではそういう形で定着したかなと思うので、自然に任せたらいいんじゃないいか。

野田 それは違いますね。一番問題なのは、適正数とか適正会員なんて格好いいことを言いながら、適正会員って何やねんと思うんです。今のこの枠の中で探したってなかなかいない。そうすると僕もわかってて、女性会員は絶対要るなと思う。やるんなら神戸よりうちのほうが先にやろう。レベルの高い女性を入れる。僕もいろんな増強やってますけど、5人、6人まとめて入れて、その人たちが退会しないようにします。質が上がった下がったは知りませんが無理してやるより、僕は将来の神戸東ロータリークラブにとっていい結果が出てくるんではないかなと、今は思っています。3年前まではノーでした。

執行 西クラブはそれをやってるんですよ。増強の1人は女性だと。

野々村 今、女性会長です。

執行 とにかく達者なんですよ。西クラブはちゃんと取り込んでいるんです。

高嶋 ベイクラブも昔女性会長が出ましたよ。以前に僕が地区の増強委員長をやってるときに女性会員をテーマに出したんですよ。そ

すると女性会員がいるクラブは絶対に賛成論を言うんです。だけど「新しく女性を会員にするときは、絶対に2人以上入れなさい」「1人やつたら絶対ダメですよ」と。ほかの人が「女性会員が入会する前と入会した後どうクラブは変わりましたか」と質問したら、「和やかになった」と答えていた。

それともう1つ、他クラブで大手法人の店長が女性になったんですが、企業からは男性の副店長を推薦したようです。我がクラブでも証券会社とか、女性支店長が生まれる可能性はありますからね。西原さんはどういうご意見をお持ちですか。

西原 ちょっと長い目で見ないとどうがないと思います。女性の地位もどんどん上がってくらし。ただ、嫌かも知れませんが、入れるんだったらかなりの人数を入れないとまとまりません。女の人はグループがあつたり、好き嫌いを言い出したら何が何だかさっぱりわからない。1人の女性を入れたらほかのグループの人は入らないとか、変にガードが固かつたりするから、その辺は上手に取り仕切らないとあかんと思いますが、女性自身もその辺のことをだんだん勉強して、広くなってきています。

執行 1度この人を入れたらどうかという検討してみたらいい。

高嶋 それは会員増強委員会かな。

執行 会員増強委員会だけで済む問題じゃないと思うけど。

野々村 そういうことでいいと、この55周年から60周年の5年間で、女性会員に対する考え方方が大分変わってきて、入れてもいいという方がかなり増えてきつつある。ただ、誰がそれをするかというところが今の問題。

野田 アンケートをちゃんととって、総意の

中で決めていくことにしよう、と。それで今回、会員増強のプロジェクトもできたじゃないですか。そういう意味では、僕は着実に進んでいってると思います。

植村 会長のテーマじゃないけど、運営方針の中に「今年は女性会員を獲得すべく頑張ってくれ」と会員増強委員会に対して会長が要望してもいいわけですね。

西原 そこまで言わなくても、会員に入れてもいいんじゃないかなという皆さんの総意をまとめていきましょうという活動から始めていかないとしょうがないですね。



植村孝一（記念誌部会委員）

植村 僕は大分まとまっていると思います。もともと僕は大反対だった。女性が入るんやったらやめると言っていた僕が、会員選考委員長をやっているときに「女性会員を入れてもいいんじゃない」と言ったんです。というのも会員増強委員長の時に女性会員を推薦した人に対して「ちょっと困るから外しといてくれへんか」と言ったことがあります。だから申しわけないと思って、そろそろ女性会員をと……。

執行 もうその人はいないですか。

植村 紹介してくれた人はいます。今はもうほかに入ってるかもわからないけど。だから、会長か誰かがそういうリストを作ったでしょう。それをやつたらいい。

野田 それは現実に着実に進んでいます。そ

れを未来委員会にもかけて、未来委員会でも会員の総意をもらおうということで言っていますから、夢じゃない気もします。

野々村 日銀もいすれ女性支店長が出てくる可能性があるということで、神戸もそういうことを考えてるようですね。

高嶋 僕個人の意見ですけど、古いメンバーの皆さん方は女性メンバーについては、反対意見が多いと思うんですよ。どう思いますか。

角田 やっぱりちょっと多いんじゃないかな。ただ、一番年齢の上のほうの方で「ええやないか」と言っている人もおります。だから必ずしもそうではないと思うけれども、どちらかというと余り歓迎はしない。「もうそろそろせないかんのかなあ」ぐらいのもんでしょうね。

執行 2代目会長の山本鍊造先生。この問題が起こった最初のときから「ええやないか」と言っておられた。

角田 あの人は女性が好きやから。それはいいとして、女性会員問題に関しては、アメリカで判決が出て、それから一遍に変わりました。アメリカではロータリークラブは反対して、R Iは裁判で負けてしまった。そのときにR Iは、「女性会員の問題はアメリカでこういう判決が出た。あとはそれぞれの国の文化の問題だから、それぞれで考えてください」とコメントを出しています。ですから、日本はアメリカに倣う必要はないんですよ。

それからもう一つ言うべきことは、ロータリークラブですから、クラブというのは好きな者が集まってつくるものです。嫌なやつは入れないんですね。ですから、女性を入れないといけないという強迫観念を持つことはおかしいと僕は思います。各々の会員が今の感情で好きかどうかを考えればいい。それが多数を制したら

それでいいと思います。政治的判断では、神戸クラブがやる前にやったほうがいいと思います。執行 恐らく古いところと宗教はダメなんですよ。英國のジェントルマンクラブは全然入れないでしょう。アラブのロータリークラブもダメでしょう。

角田 女性会員のクラブがありますが、メンバーは職業婦人ではなく、専業主婦の集まりです。それはおかしいと僕は思います。我々ロータリークラブは職業人であることを絶対前提にしてますからね。その場合、専業主婦は職業人かという問題が起ります。

執行 専業主婦は明らかに職業人じゃないとなってるでしょう。

高嶋 いや、違います。今年から変わって、専業主婦でも入れるようになったんです。職業分類がなくてもいいことになっています。

野々村 すでに職業を書いてない方が結構おられます。リタイアされている方です。そうすると、職業がないのと同じになってしまいます。

高嶋 女性会員の問題については100周年に向けて、クラブ全体の総意がそういう方向に行なった暁には、まあ自然発的に入会が認められるということですね。

適正会員数を財務から考えてみた

高嶋 野田さんがさっき適正会員のことをおっしゃいましたけど、僕が今日提案したいのは、適正会員数は何人かということの根拠です。今110名と仮定して、年会費とその財務との絡みやと思います。今までの財務関係を調べますと、上期・下期で、年間、会費31万円もらっています。1年間の収支でいいとすると今がトントンです。31万円で赤字になるときが2,000円

ぐらい。黒字になるのが1,500円から1,800円ぐらいです。さらに繰越金が500万円出でます。それから、基本金という別口の貯金を3,000万円持ってるんです。これは手をつけてはいけないお金ではなく、ざくばらんに言うと貯金です。震災のときにここから800万円取り崩しました。1月に震災があったから上半期の年会費は免除しようということで、基本金を取り崩して食費代に充てました。この800万円のうち次のロータリーライドで200万円返してます。それからその次の年度でも200万円返し、それから次と次の年度でも200万円、200万円で全部元へ戻して、また3,000万円あるんですよ。

これは税金がかからないお金だけども、貯めっていても仕方ないから、この金を使って特別当日会費を要らんようにしたらいいやんか、僕は前からそういう持論を持ってるんです。そういうことを全部含めて、3代前までさかのぼった会計士さんに財務の計算をしてもらって、年会費を安くできるんだったら安くしていくべきだとご提案したいんですけど、適正会員数と財務についてどう思われますか。

執行 その貯金の使い方は後で批判が出ないようにせないかんね。

高嶋 これは会計基準で、総会で全員の総意をもらわないといけません。

角田 僕もそれはやってもいいと思いますけど、皆さん認めるんかなという気がしますね。それから、今後どういう事態が起こるか予想しきかないといけない。例えば、次なる災害に備えるとか、そういう問題があると思いますね。仮に南海大地震のことを考えますと、常時それぐらいの金は置いといたほうがいいという考えも出てくるでしょう。阪神大地震程度のものがあるとしたら、ある程度金銭が

あつたほうがいい。何円が適正かはわかりません。そのときはそのときに集めたらいいやないかという考えも出るでしょうからね。

高嶋 阪神大震災のときは、義援金もいただいているんです。

角田 地区が頂いたあの義援金の配分はむちやくちゃでしたね。

高嶋 ちょっとあれは問題でしたけどね。

角田 基本金の取り崩しについては、災害に対する備えということを考えたらちょっと金は残しとかないとあかん。だからそれを全部放出してしまうような取り崩しはちょっと怖いかなという気がしますね。

高嶋 なるほど。ではちょっと質問を変えます。60周年の式典で当日会費を1万円また取らないといけないと思うんです。そういうのは全部、基本金を取り崩していこうという判断はどうでしょう。

野田 問題ないな。

角田 そういうのはいいと思うけど。

西原 基本金の会計基準で、この間会計の報告を受けたときに、大辻先生からクレームが出ました。それは基本金の扱いの定義の問題だと思います。

高嶋 大辻さんは専門家だから、学校法人とか社団法人の基本金と同じ感覚でいるんです。

西原 言葉では基本金ですが、繰越金にすぎないんでしょう。

高嶋 賀金でいいんですよ。別途積立金みたいなもんです。

西原 だから、何か言葉を変えてもらわないと、取り崩しできないかなと思います。

高嶋 取り崩しはできるんですよ。会計基準があつて、総会で100万円崩しましおう、1,000万円崩しましおうと決まればできる。

西原 やっぱり総会の決議が要るわけですか。執行部ではできませんか。

高嶋 理事会だけではだめですよ。

野田 適正会員というのは、おっしゃるように105人から110人がホテルオークラで続ける場合には必要だと思います。じゃあ、残ってる3,000万円とか、繰越金も入れたら3,400～3,500万円をどうするか。僕は会長のときに冗談で言ったけど、「こんなに余ってるんやったら会費を減らしたらどうや」。そうすると「いや野田さん、1回下げたらまた上げるのは大変ですよ、だから下げるることは考えないほうがいいんじゃない」。

それなら、クラブの行事、例えば、周年事業とか地区大会とかにそれを出したらいしいんじゃないかと先輩からアドバイスをもらいましたが、そうやなと思います。確かに3,000万と言っても何かあったときにはあつという間の話なんで、大体3,000万ぐらいは置いておく必要はあるかなとも思います。今度の60周年で1万円取ったって、100万か110万や、出しますか。

高嶋 それともう一つ、免除会費はもう今は廃止になったんですかね。

野々村 免除会費はないです。

高嶋 あれを続けていたら大赤字になるんですよ。

執行 ある年でなくなつたんじゃないですか。

高嶋 ええ、80歳以上がもっと増えてきますから。

執行 該当者が亡くなつて、新しくそういう人をつくらないということにした。

高嶋 規約を廃止したんですよ。

執行 多いときは確か7人でした。

高嶋 だから、周年事業の当日会費はそういう部分で支出したら、「うちのメンバーもいい

ことをしてくれるやんか」となると思うねんけど。それと、単年度で繰越金をとれるから100万円から150万円だったら返せます。

野々村 それは返せるんですけど。今、周年用に積み立てを30万円やってますから、5年で150万円です。本当はあまり役に立たないんですけど。

野田 僕が彼に提案するのは、今やつてる30万円を50万円に繰り上げて、次の65周年、70周年には、それなりのことをしなきゃいけないで、貯めていったほうがいいんじゃないのと。

野々村 基本的にはただにできるかどうかわからないですが、できるだけ考えてみます。

高嶋 僕は、過去3年ぐらゐの会長さん、幹事さん、会計さんで、財務関係を一遍チェックするべきではとは思うんです。

野々村 今107名まで増えてきました。あと3名は多分増えるだろうと思います。おやめになる方が問題ですけど、法人系の人の転勤時期が重なつてくるかなと思って、それをちょっと心配しています。

いかにクラブ自治権を守るかが問題

高嶋 ロータリー勉強の1つとして、一番の原点は、我がクラブにある意見がある場合、R Iが反対意見を出してきて「そんなものはほつとけばいいんだよ」と言えることを、うちのメンバーは半分以上知らないでしょう。

角田 クラブ自治権を皆さん知らなさ過ぎる。

西原 でも、お金は払わないかんもんね。

角田 お金は払います。でも、自治というのは自分とこが「こういう方針でいくんや」と決めたらそれを守ることです。例えば「例会は4回休んでもいい」と言えば、4回休んで

もいいんです。全部休みなしにしてもいい。うちのクラブが決めたらいいんです。どっちでもいいと言うとるのを、皆守らないかんと思っている。

高嶋 上からのお達しやと思ってるわけです。

角田 ロータリーはお達しをする団体じゃないんです。ガバナーは我々の支配者でも何でもない。いかにクラブ自治を守るかというのが、僕はこれから神戸東の進む道やないかと思います。

高嶋 もう1つ、CLP、クラブリーダーシッププランについて。これは50～60人のクラブに適した案です。今後、我がクラブが100年に向かって、1つの入り口に入ると思いますが、基本的に僕は、我々の100人規模にはあまりそぐわないのではと思ってるんです。

野々村 そのCLPを見たときに、組織論のような話になつてるんで、ちょっと誤解があるんじゃないかと思うんです。うちにはすでに未来委員会があります。そこで戦略的な計画を立てたりしてるので、CLPは本来うちのクラブでは成り立つてると思うんです。ただ、今後やるときには理事の定数などの問題が絡んできます。それと、地区から補助金を受け取るための受け皿委員会みたいなロータリー代替委員会でないといけないとなつてくるので、見せかけの部分だけをやれば、うちは成り立つかなと思ってるんですけど。

高嶋 それもこれからの議論やと思いますが、角田さんがさつきおっしゃったように、我がクラブ自治の中で、東クラブCLPでもいいんですよ、変形させてもね。R Iが奨励しとるいいところはとりましよう、こいつはちょっと切り捨てましょうとやっていかないと、あのまま受けまっせの議論はあかんと思う。

執行 CLPにはそういうサンプルはできて



高嶋良平会員(第47代会長)

ますか。

野々村 一応あるんです。まあ、組織論みたいなことばっかりが先走ってるんですが。

野田 C L P のようなのが昔、出ましたね。

執行 うん、あれから変わってますか。

高嶋 いや、変わってないと思いますよ。

西原 別に何も新しいこともあらへんよ。

執行 先に、D L P が起ったんでしょう。

高嶋 D L P は地区が取りました。でもあまり地区組織は変わってませんけどね。ただ、これは愚痴になりますけど、R I は「会員を増やせ増やせ、金を持ってこい」やから、「おいおい、俺らの上納金をどない使うねん」みたいな疑問があるわけですよ。

野田 あの夢計画だってそうですよね。絶対そこに持つていこうとして、ものすごく無理をしてるじゃないですか。

執行 ロータリー財団、ほんまにもうかなわんと思う。職業奉仕に帰れと言いたい。

野々村 敵は逆ですから。

執行 だから返ってはっきり態度を示すことができるわけだけね。

高嶋 そうなんです。基本的には、我がクラブの自治権をしっかりと守って判断しましょうということで100年に結びつけていきましょう。

100周年に我がクラブは存在するのか

高嶋 最後になりますが、皆さん想像してみてください。ご存命ではないかもわかりませんけど、100周年。どんなクラブになってると思いますか。

野々村 憎まれっ子世にはばかる……。

執行 今までの変わりぐあいから考えて、クラブの変貌よりもやっぱり R I にかかる人間の考え方の変貌のほうが、大きいような気がします。

高嶋 このクラブがあるかないかはどう思われますか。

執行 別の名前になってるかもしれない、ひょっとしたら。C L P ・ D L P の問題が出て。

野々村 産業基盤が変わってる可能性があるから、どういうメンバーになっていくかというの全然読めないでしょう。

執行 一緒に集まって飯を食うっていうのは本来原始的なタイプで、例会を今やパソコンでもやるでしょう。それで出席と認められるようになつたら、ロータリーの従来のあり方が瓦解の一途をたどるという気がします。僕の考え方としては想像がつきません。

角田 なくなると思いますね。飯を食いながら例会を持って、そこで顔を見て話をして、卓話があつてというスタイルがロータリーの基本じゃないですか。40年先はそんなん要らんようになるし、価値を見出さなくなると思います。今その変化の兆候が現れてるわけです。

例会はせんでもええ。ロータリーがコンピューターで例会ができると言つたから、それが本流になる可能性があります。そういう社会になるということです。そうすると、今の基本的理念がなくなる。それでも残るのはやっぱり一業種一人とかそういうものの考え方ですね。

それからテリトリー制、その上に立つて例会があるということ、これで成り立つんでしょう。

執行 今の話では半分以上崩れていくんやね。

角田 もう今でも崩れてるんです。ですから我々はかたくなにロータリークラブの自治権を守つて、かたくなにしばらく残ろうやないのと考えるべきです。

西原 ロータリーに入っていることに対する、自分とメンバーの持てる誇りがなくなったとき、なくなっています。先ほどおっしゃったとおり、ローテクを中心にいかないと気持ちは伝わらない。だから角田さんの言うとおり、時代に逆行する部分はあるかもしれないが、一緒に飯を食つて一緒に話をしてというのは、形は変わつてもなくならないと思います。卓話はなくなるかも知れませんが、お互いいいろいろな意思疎通をして、お互いの温かみを感じながら話をしていく、勉強をしていくというのは絶対残っていくと思います。

執行 その存続のあり方については想像がつかないでしょう。

西原 今の方針づけでいったら、これは瓦解しますよ。ロータリー財團の考え方、その手段と目的がひっくり返つてしまつての気がします。

野田 僕はちょっと違う意見でして、形は若干変わる可能性はあります。でも、このまま各クラブが、努力・研鑽していけば、R I の行き方がいいか悪いかはそのつど、こちらが判断していくべきで、それで、僕はずっと生き残つていくだろうと思います。

野々村 僕も野田さんと同じような考え方で、なくなりはしないだろとは思うんです。ただ、現在74クラブがこの2,680地区の中にあるんですけども、今、1つが潰れかけでなくなりそうだというんですね。

高嶋 合併するかもわからんけど。

野々村 1つ新しいクラブをつくろうという動きが今出てるんです。それは何かというと、e クラブを作るという話です。ですから今後は e クラブが増えてきて、既存のクラブが統廃合されていくのか、淘汰されるのかということだと思うんです。そうなるとさっき野田さんがおっしゃったように、何らかの形で統廃合しながら、残つてくるところは幾つかはあるんだと思います。それが、東であるのかどうかは僕はちょっとわからないんですけどね。

高嶋 100年先は誰も想像できませんけども、企業で言いますと、老舗は100年続いて一人前と言われています。その原点は何やといえば、社訓があったり教えがあったり、それから従業員がその技術や伝統をずっと守つていって継承していきます。同じように、我がロータリークラブも、我々の後の世代へ正しいロータリーを伝えていくことによって、全体的には形が変わるかもわからないんですけど、今のようなおいや雰囲気が残っているクラブライフを継承していってほしい。そのためにも我がクラブの良さを、クラブ自治権を活用して残していくべきやと思います。

角田 基本的な理念みたいなものはなくなつて、全然別のものになって残るとは思うんですね。そういう意味で消えると言ってるんです。基本理念の大半の部分が残る場合には、残存してると言えるんです。だけど基本理念の半分以上なくなるやろうなあ。そしたらそれは別の団体やなあという話です。

高嶋 それは最終的には、後輩たちに託します。本日は皆さん方の忌憚のないご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。

ロータリーに関する神戸東RCの会員の意識調査を踏まえて
2014年1月14日(火)例会時施行



未来委員会
委員長
中井章詞

当クラブの未来委員会は、神戸東ロータリークラブの中長期計画を企画・立案・検討するために、創立55周年事業の一つとして野田会長年度(2008年)にアドホック委員会としてスタートしました。初代 久野 薫委員長の下、活発な委員会運営がなされ2008年に委員会が実施したアンケート結果について詳細なる分析がなされ、これに基づく未来委員会の提言(その①)として創立55周年記念誌に詳しく記載されております。

この度、創立60周年を迎えるにあたって、2008年に行われたアンケートの一部を再度施行し、その後に会員の意識がどのように変化したかを、明らかにする目的で施行しました。そして、前回触れられなかった職業奉仕およびCLPについても、今回は内容に追加、検討いたしました。

今回の未来委員会の提言(その②)はアンケート結果の分析を主体としましたが、その解釈は各会員の賢明なるご判断にお任せいたします。各会員のロータリーに関する意識向上のお役に立てて頂ければ幸いです。

★のついている質問は、前回2008年7月23日施行のアンケートと同じ質問内容です。その他の質問は、1.奉仕プロジェクトの流れ(ライフサイクル)RI会員増強担当部作成(Webinars@rotary.org)、2.「ロータリーの魅力と未来」RI第2650地区 三国ロータリークラブ会報No.353の一部、3.「職業奉仕とは何か」RI第2640地区 職業奉仕委員会 委員長角谷 浩二氏クラブ職業奉仕委員長会議報告(2006.7.30)、4.「職業奉仕の根幹」RI第2680地区職業奉仕セミナー 深川 純一氏(2013.9.14)及び、5.当クラブCLPワーキンググループからの報告を元に作成いたしました。

★Q1.【あなたのロータリー歴は?】

前回の回答者総数77名、今回76名で母集団の年齢分布も前回同様ほぼきれいな正規分布を示しています。以下に内容によって質問群に分けてその結果をご報告致します。なお、円グラフは全会員の回答の総計です。太い棒グラフは、前回アンケートとの結果比較を示し、細い棒グラフは今回のロータリー歴別の詳細検討の結果を示します。

★Q1.★Q2.★Q3.★Q5.★Q15.★Q16.

★Q17.★Q18.は前回調査と同じ質問です。これらの質問は「ロータリーに自信と誇りを持っていますか」と問うもので今回の結果は前回に比べて全体的に約10%ロータリーに自信と誇りを持っている会員が増加している一方

で、退会を考える会員は逆に減少している。

Q4.【ロータリー入会の理由】

Q7.【ロータリーに留まる理由】

この2つの質問に関しては何れも多い順に、
1. 友情とつながり 2. 自己開発/研修の機会
3. 地域社会への貢献 4. 職業人のネットワーク/ビジネス発展の機会 5. 世界への貢献となっている。

Q6.【今までにロータリーを退会したいと思った理由は】

1. 仕事上 2. 毎週例会出席困難 3. 例会が楽しくない、の順であった。

仕事上の理由はともかくとして、会員は楽しい例会、友情とつながり、自己開発/研修の

機会を求めていることが解った。

★Q8.【あなたは、ロータリーが今後も会員数を増加させるべきと考えますか?】

Q9.【ロータリーが今後も会員数を増加させるべき理由】

Q10.【あなたは、ロータリーが今後もクラブ数を増加させるべきと考えますか?】

会員数は増やした方が良いと考えている会員は75%おられ、逆にクラブ数は増やさないでよいと考えている会員もほぼ同数いる。会員数を増やす理由は、1. 多い方がクラブの活動が活性化する。2. 異業種交流に役立つ。の順であった。

Q11.【あなたは、自分の子供をロータリーに入れたいと思いますか?】

66%の会員がはいと答えており、いいえは24%で、不明は10%。

Q12.【あなたは、自分の子供を神戸東RCに入れたいと思いますか?】

1.本人の意思に任せる。55% 2.条件がそろえば、ぜひ神戸東RCに入れたい。25% 3.むしろ自分以外のクラブで活躍してほしい。7% 4.その他 10% 5.ロータリーは自分だけでよい。3%となっており1と2を足すと80%の会員が神戸東RCに入れたいと思っていることになり、当クラブへの思い入れが強いことがわかる。

★Q13.【あなたは、ロータリアンの数より質を向上させるべきと考えますか?】

Q14.【会員の質を判断する優先度の高い順】

87%の会員がはい(数より質)と答えており、

いいえは9%で、不明は、4%。

今回の調査では、会員数の増強、会員の質ともに関心が高く、質の判断は社会的知名度・有名度、企業規模の大きさではなく(1)人間の品格44% (2)奉仕の精神の高さ2% (3)不明20%であったが人間の品格を最も重視するという結果であった。

《クラブと地区との関わり合いに関すること》

★Q19.【あなたは、神戸東RCから地区ガバナー輩出について賛成しますか?】

前回43%、今回86%の会員がはいと答えており、いいえは今回7%のみ。解らないと答えた会員は、前回51%今回7%と減少。久野ガバナー輩出の経験が大きく影響している事が示唆された。

Q32.【あなたは、地区への奉仕の指針を發揮して、積極的に地区委員会へ委員もしくは委員長を送り出すべきと考えますか?】

Q33.【あなたは、地区委員会へ委員長として委託されれば受けますか。】

Q34.【あなたは、地区委員会へ委員として委託されれば受けますか。】

積極的に地区委員会へ委員もしくは委員長を送り出すべき(71%)と思うが自分は委員長はいやいや(78%)と言う結果。また、委員長はいやだが委員なら受けてもよいが(45%)あった。しかし、17%に委員長をやってもよいという会員がおられることが頗もししい。

Q35.【あなたは、地区ガバナー補佐として委託されれば受けますか。】

Q36.【あなたは、地区ガバナーとして指名されれば受けますか。】

補佐なら11%にやってもよいという会員がおられることを評価したい。いいえは85%で、不明は、4%。しかし、ガバナーとなるとハードルは高いようで、4%の会員が受けてもよいと答えていたが、いいえは95%で、4%の会員に期待する。

Q37.【あなたは、地区ガバナーは本クラブから7~10年に1度は輩出すべきと考えますか。】

78%の会員がはいと答えており、いいえは14%で、不明は、8%。

積極的に地区ガバナーを7~10年のサイクルで送り出すべきと言うコンセンサスは共通であるようだ。

Q38.【あなたは、地区ガバナー、地区ガバナー補佐、地区委員会の委員長もしくは委員を輩出する意義は何だと考えますか。理由に近いものにチェックを入れて下さい。】

1. 46%: 対外的活動によりクラブ内での結束および活動が活性化する。
2. 24%: クラブ内の高い見識を地区、R Iへ発信する機会が増える。
3. 16%: 地区でのリーダーシップが發揮される。
4. 14%: その他 の順であった。

★Q20.【あなたは、いわゆる、ロータリー情報をもっと知りたいと希望しますか?】

Q21.【Q20. あなたは、いわゆる、ロータリー情報をもっと知りたいと希望しますか?】で「はい」と答えた方は情報を希望する理由に近いものにチェックを入れて下さい。】

前回51%今回56%の会員がもっと知りたいと答え、いいえは41%で同数。内容は
1.ロータリー哲学53% 2.地区、地域の情報

38% 3.国際ロータリーの情報 9% 4.ロータリーの歴史 5.ロータリー財団の活動についての順で 30年以上の会員は6.IYFR、囲碁等の国際ロータリーの同好会の情報も欲していた。

《奉仕プロジェクトに関する事》

Q22.【これまでどのような役割で奉仕プロジェクトに参加したことがありますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。】

- 1.ボランティアとして。 2.主催者（委員）として。 3.主催者（会長、委員長）として。 4.資金調達担当者として。の順で多かった。

5年未満では、「奉仕プロジェクトに参加した経験がない」が見られ、各奉仕委員長やベテラン会員がテキパキと業務をこなし過ぎて、入会間もない会員が知らぬ間に事業が進行、終了してしまっていないだろうか。新入会員にも積極的に奉仕プロジェクトに参加できるような委員会活動が望まれるのではないだろうか。

Q23.【奉仕プロジェクト計画の際、次のどのリソース（資源・資料）を利用したことがありますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。】

当クラブに於いて奉仕プロジェクト計画の際に最も参考・利用されたのは過去のロータリーの行事の資料であった。言い換えるとRIの重点分野ガイド/重点分野の基本方針を参考にしながら過去に行われた継続事業の計画書や事業報告を参考にして事業計画書を理事会に提出しているというのが現状ではないだろうか。確かにこの方法は効率良く間違はないのであるが、時に事業のマンネリ化に結びつかないかが心配される。

3.オンラインのツール（ロータリー・ショウケース、Project LINK、ソーシャルメディアなど）は新規事業開拓に際しては有効なリソースと成りうることが期待されているようであった。また、地区情報としての 4.活動する地域社会/地域調査の方法。も利用価値が認められているようだ。

《職業奉仕に関する事》

Q24.【ロータリーの職業奉仕は理解するのが難しいと思いますか。】

45%の会員がはいと答えており、いいえは51%で、不明は、4%。

年代別では、20年未満では理解が難しいが多く、それ以上では難しくないと逆転する。

Q25.【お金を儲けるための手段としての「自分の為の職業」と「人の為の奉仕」との相反する2つの言葉が1つになった職業奉仕に矛盾を感じますか。】

16%の会員がはいと答えており、いいえは80%で、不明は、4%。

80%の会員は矛盾を感じていない。ただし、20年未満の会員に矛盾を感じている会員が多い。

Q26.【あなたは、ロータリー運動が、「世の為人の為奉仕をする心を持って職業を営むべし」、「自分の金儲けに対して非道徳的、非社会的行為をしてはならない」という倫理運動であることに理解と賛同されますか。】

88%の会員がはいと答えており、いいえは8%で、不明は、4%。ここでも20年未満、30年未満の会員の中には倫理運動ではないと思っている会員がおられる。

Q27.【ロータリーの職業奉仕はどちらだと思いますか。】

53%の会員は「世の為人のために奉仕する心を持って職業を営む事である。」と正しく理解されていますが、33%の会員は「一生懸命に自分の仕事をすることが職業奉仕である。」とひっかけ問題につまずいている。「職業奉仕は、倫理活動であり、ただ単に仕事を一生懸命する事ではありません。」との深川パストガバナーの言葉である。

14%のその他と答えた会員はかえって深読みをされたのではないでしょうか。

《職業奉仕と社会奉仕の違いについて》

Q28.【基本的には、職業奉仕と社会奉仕の違いは、奉仕活動による受益者の違いで、受益者が地域社会等ロータリアン以外の場合は社会奉仕で、受益者がロータリアン自身の場合職業奉仕であると言う言葉に理解と賛同されますか。】

59%の会員がはいと答えており、いいえは32%で、不明は、9%。ロータリー歴別ではなくロータリー歴が増えると、いいえの割合が増えているのは如何なものか。

Q29.【基本的には、職業奉仕と社会奉仕の違いはあるが、全てがクリヤーカットに分ける事が出来ず、職業奉仕的社会奉仕、職業奉仕の国際奉仕もありうると考えられますか。】

84%の会員がはいと答えており、いいえは11%で、不明は、5%。

なぜかこの質問でもロータリー歴が増えるといいえの割合が増えている。

Q30.【例えば、タクシー運転手がお客様の忘れ物をわざわざ届けに行った場合、職業奉仕か社会

奉仕かどちらだと思いますか。】

55%の会員はこれは職業を通じて社会に奉仕したから職業奉仕である。と答え、これは地域社会の運転手が、地域社会の客に奉仕したので社会奉仕である。と答えた会員はわずか8%でした。30%の会員はいずれでもない、7%は不明とのことでした。

これは地域社会の客が受益者であり明らかに社会奉仕です。特に、10年以上20年未満に職業奉仕であると思っている会員が多いのは問題でこの年代の会員層の時代にロータリーそのものが昔ほど職業奉仕に重点を置かなくなつた結果を反映しているのではないでしょうか。あらゆる機会を通じて再教育が必要になってきていると思われる。

《職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に関するこ

World Community Service (WCS)「世界社会奉仕」とは、国際レベルで国際理解と親善を推進する国際奉仕の一分野で、2つの異なる国のクラブに所属するロータリアンが共同で奉仕プロジェクトを実施するのですが、Q31.【あなたは職業奉仕とロータリー財団主導の「世界社会奉仕」との比率をどのように考えますか。】

a	b	c	d
職業奉仕	職業奉仕	職業奉仕	
		WCS	WCS
对外奉仕			

15%: A: ロータリーとは職業奉仕と見つけたりのタイプ。

58%: B: 職業奉仕中心で成果が小さくても社会、国際奉仕の意義も理解しているタイプ。

8%: C: 職業奉仕はお題目で、RI主導の WCS 重視のタイプ。

1%: D: RIの主張する財団主義、WCSこそロータリーの使命と言うタイプ。

9%: E: いずれでもない。9%: 不明

当クラブの会員はBが最も多く、現代の平均的な日本のロータリアンと言うことになる。

《理想的なロータリークラブとは》、に関する事】

Q39.【あなたは、「理想的なロータリークラブとは」どのようなものと考えますか。理由に最も近いものに1つチェックを入れて下さい。】

連帯感があり38%、前向きな活動的21%でありながら安らげるクラブ17%を理想と考える会員が多いようだ。

《クラブ・リーダーシップ・プラン(CLPI)について》

Q40.【あなたは、CLPについてどの程度知っていますか。】

全く分からないと内容が分からないと合計で44%の会員に知識がないことになる。

まだまだCLPに対する会員向けの啓蒙運動が不足していると思われる。

Q41.【CLPの目標として掲げられているものすべてにチェックを入れてください。】

質問に挙げた1~4はすべてCLPの目標でした。30年以上の会員はご存じなくとも致し方なしと思われますが3~5年未満の会員で理解が低いのは啓蒙活動の不足を感じる。

Q42.【あなたは、CLPが今後クラブの活性化に役立つと思いますか。】

1.「地区のDLPが動き出したら」33%と2.「地区に先駆けて」18%を足した51%の会員は

CLP導入に理解を示されています。残りの方は反対と言うより理解不足と言う感じがする。

《未来委員会について》

Q43.【未来委員会の名称を変えるべきだと思いますか。】

Q44.【未来委員会をアドホック委員会から常設委員会に変えるべきだと思いますか。】

未来委員会については乙守会長エレクトに色々お考えがあるようなので結果のみ掲載いたします。

■まとめ 神戸東RC未来委員会からの提言

創立60周年を迎えるにあたって、創立55周年記念誌に掲載された未来委員会からの提言(その①)以後に会員の意識がどのように変化したかを明らかにする目的でアンケート調査を施行しました。

その結果、5年前に比べてロータリーそのもの、神戸東クラブに対しても会員の理解とモチベーションが向上していることがわかりました。地区に対しても積極的に参加しようとする意欲を示される会員が増えていました。そして地区に積極的に参加する意義については、参加によって自分のクラブ活動が活発化し、地区へのリーダーシップが強化されることと

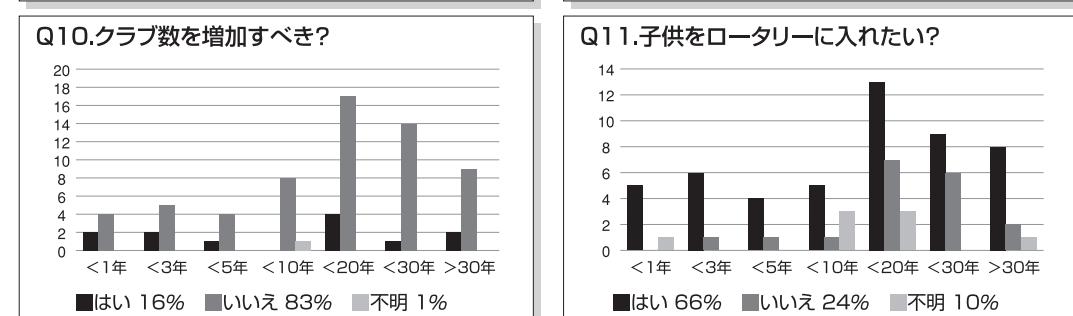
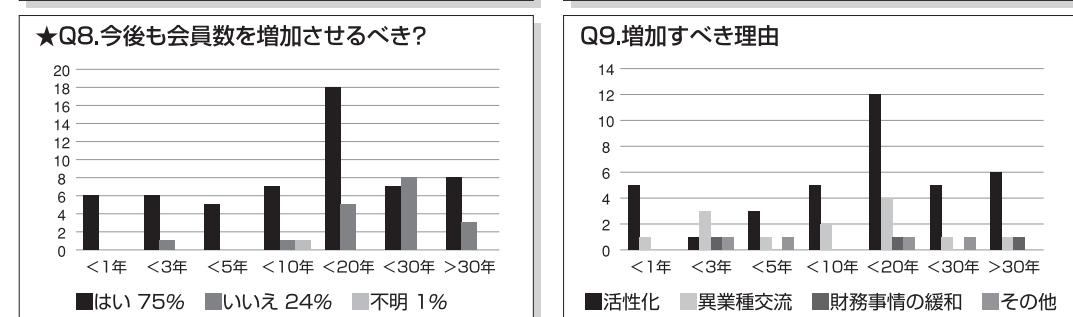
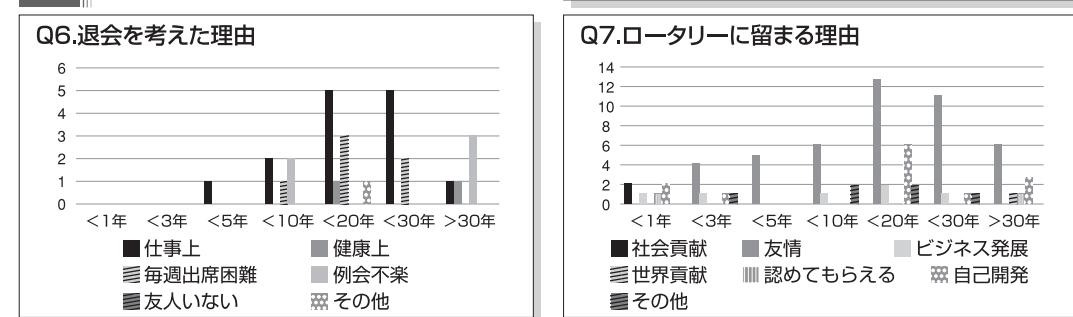
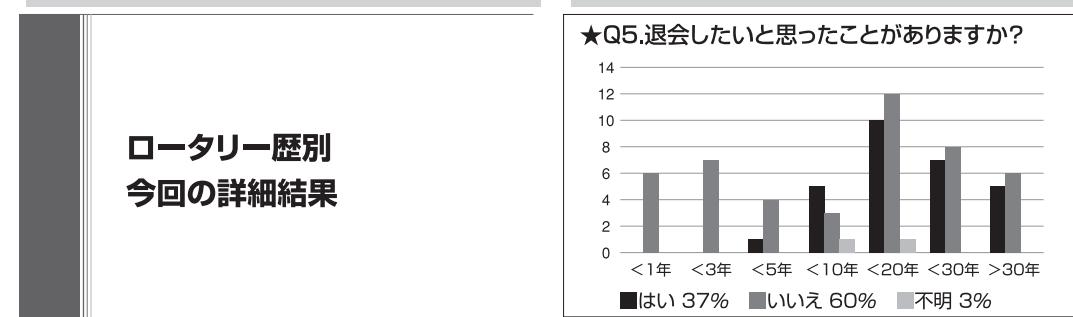
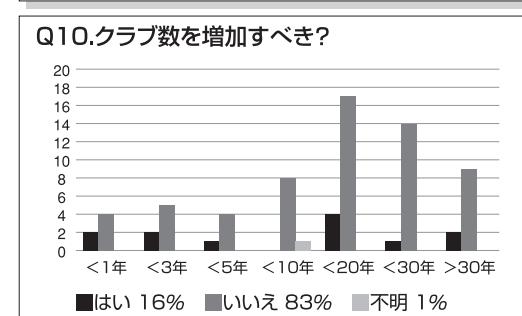
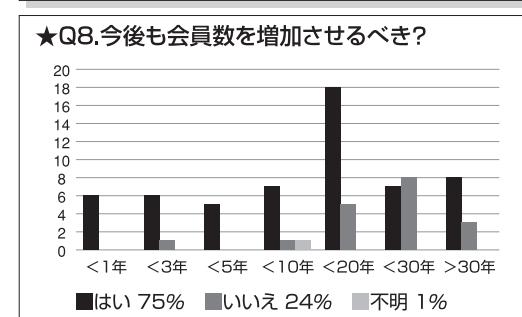
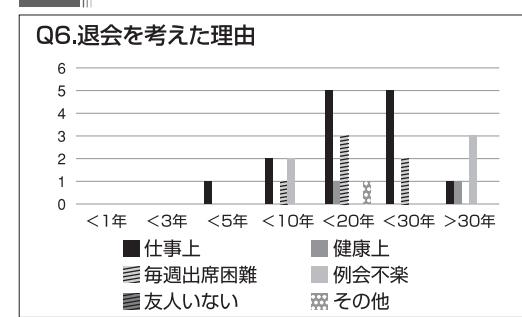
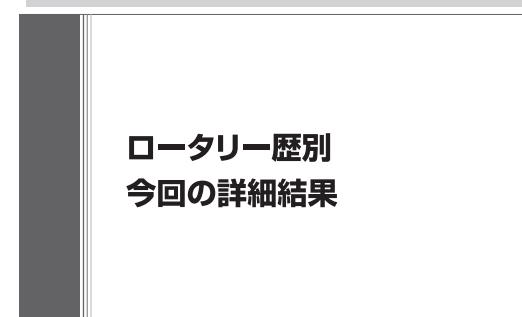
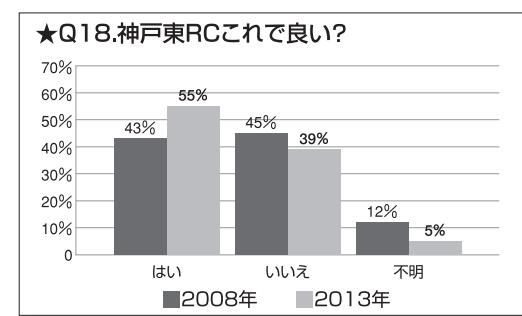
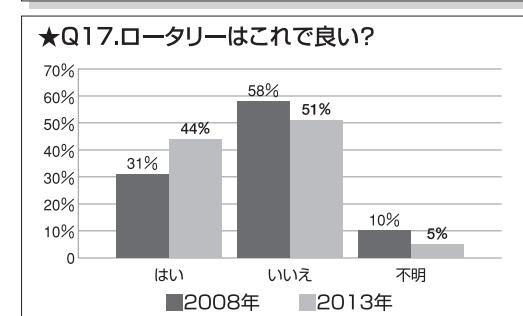
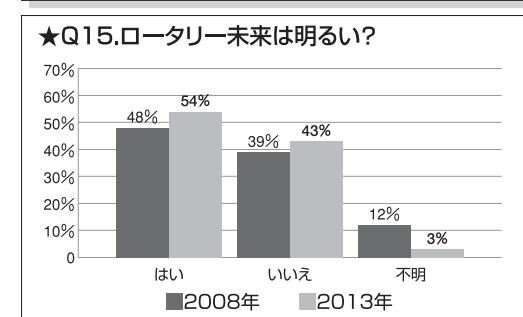
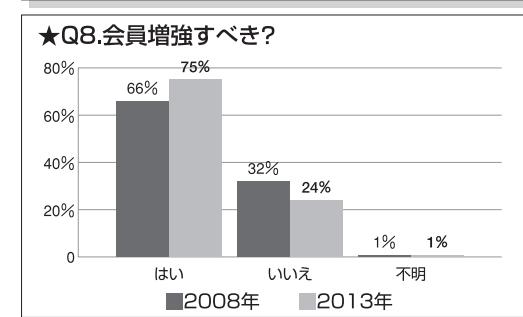
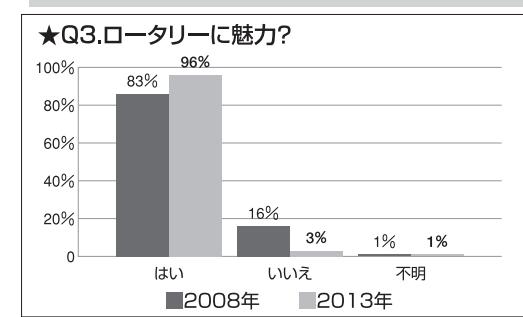
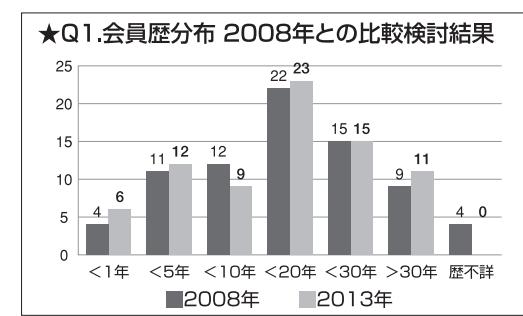
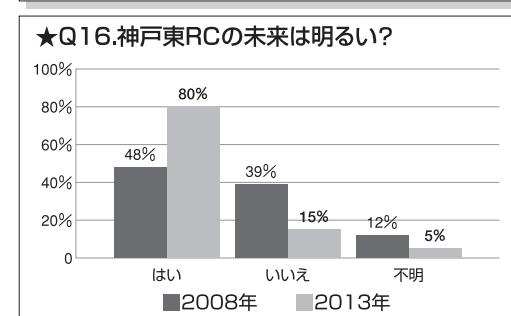
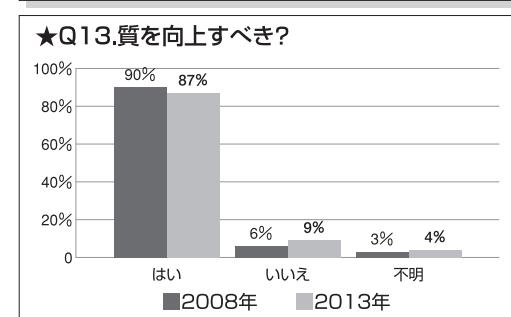
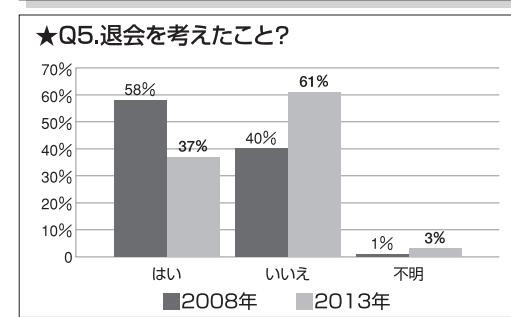
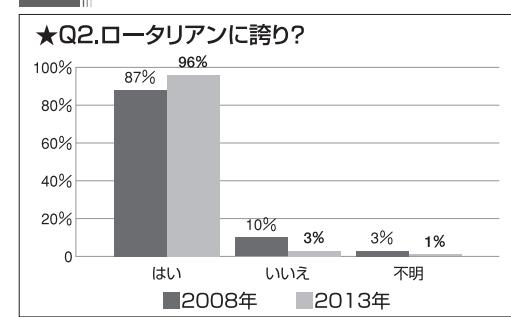
理解されています。これらすべては当クラブから地区ガバナーとして、久野ガバナーを輩出した事によりロータリーに対する捉え方がより鮮明になったためではないでしょうか。ガバナー輩出効果ととらえたいところであります。そして、当クラブから7~10年に1度はガバナーを輩出すべきとの意見が80%近くあり、4%の会員がガバナーを受けてもよいと回答しておられるのは、当クラブの将来を明るく照らすものと考えます。

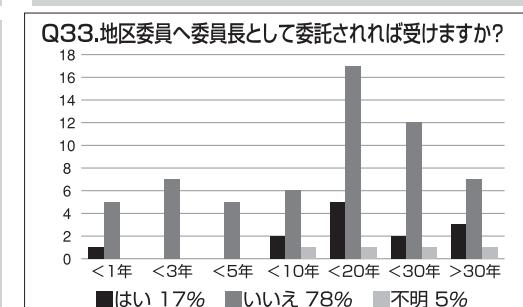
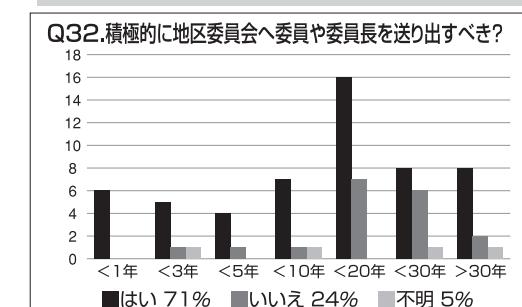
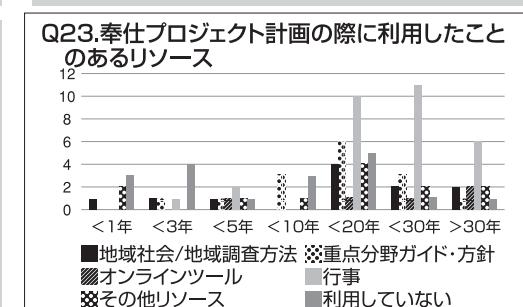
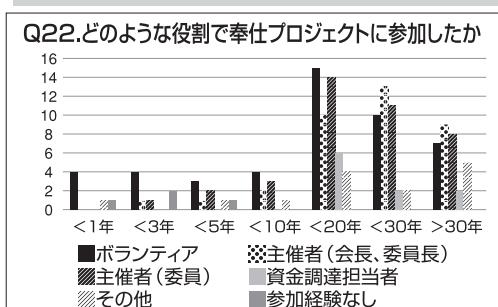
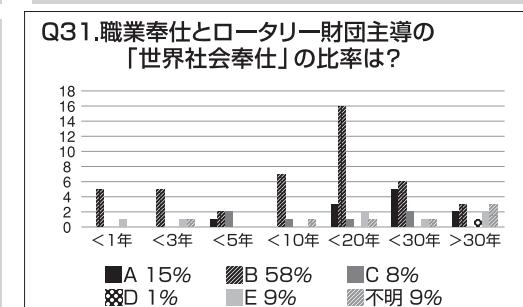
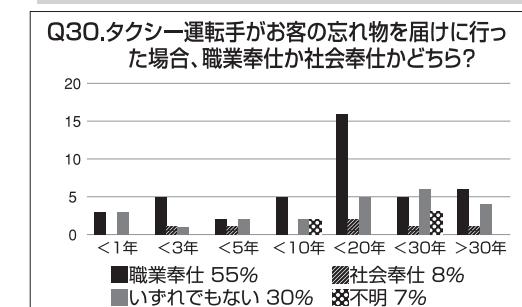
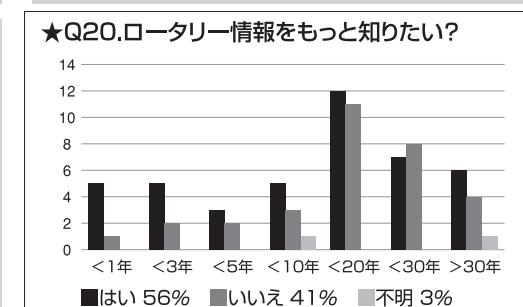
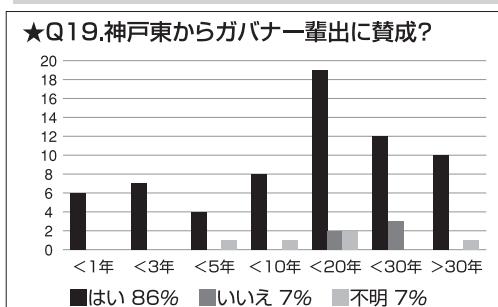
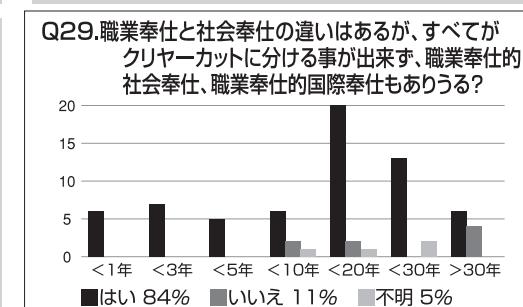
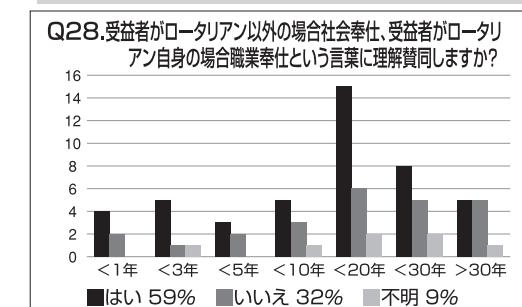
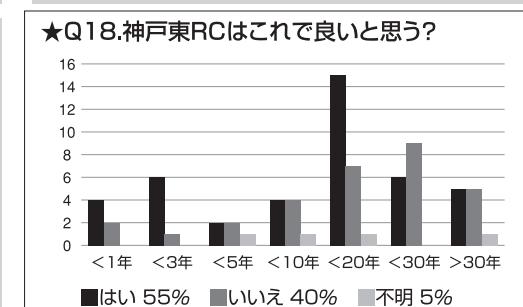
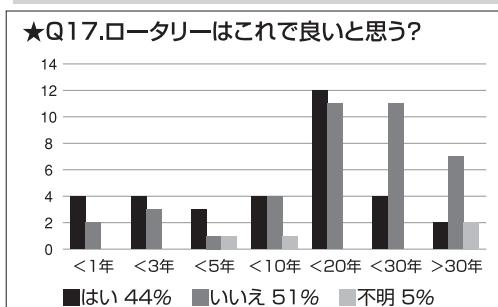
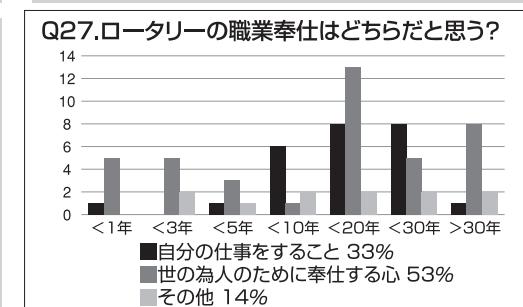
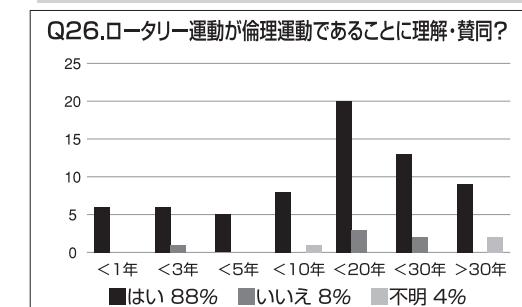
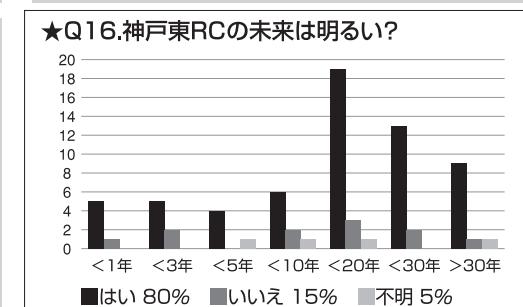
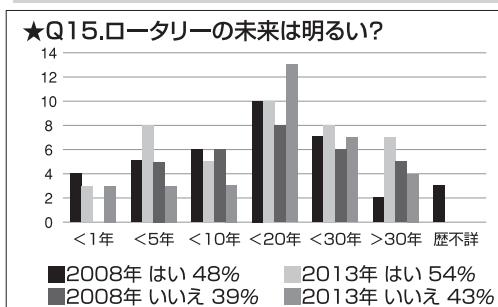
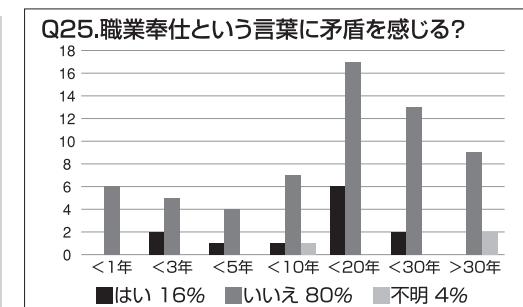
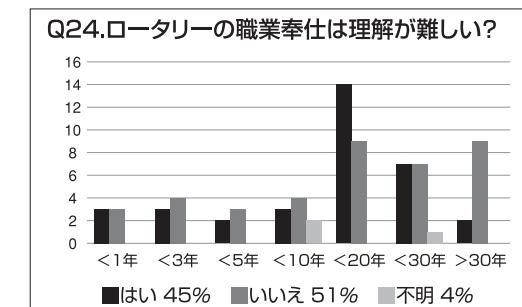
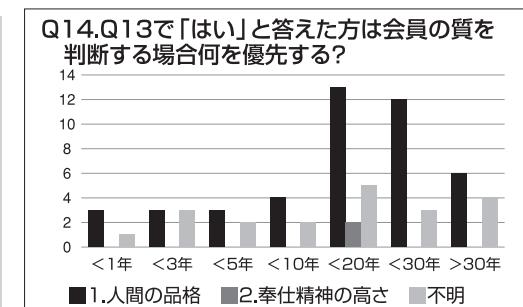
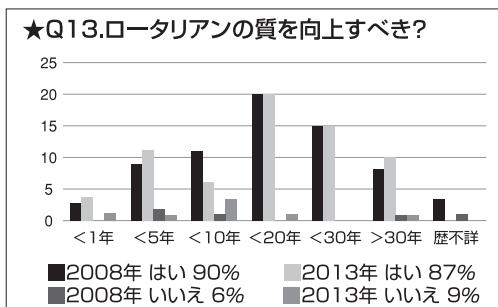
職業奉仕については、近年RIそのものがWCSに傾きつつある中で日本のロータリアンとしては職業奉仕の原点に立ち返って啓蒙・教育活動を行うべきと思われました。特に20年未満の会員の置けるロータリー活動の根幹にかかわる情報伝達の欠如が懸念されます。

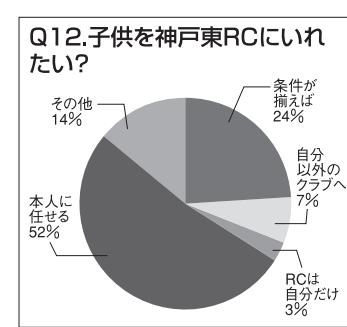
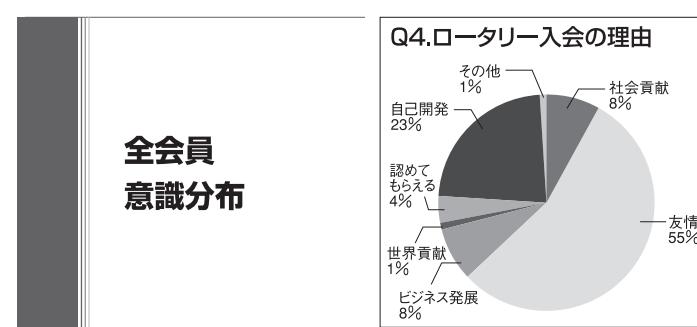
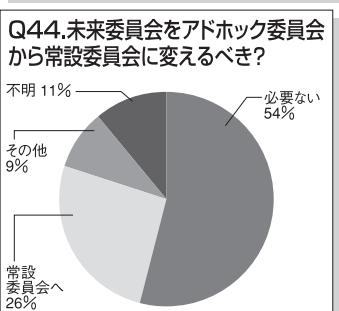
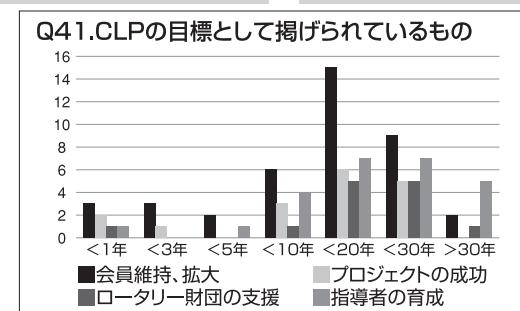
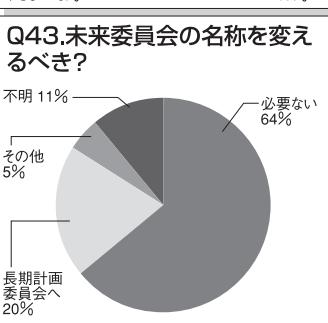
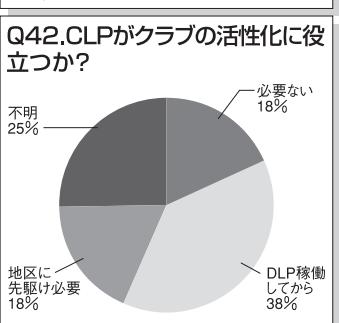
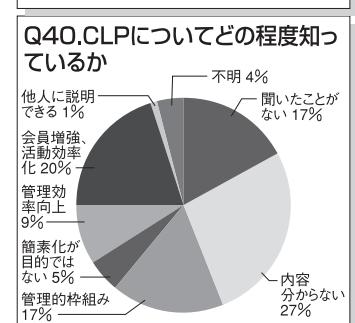
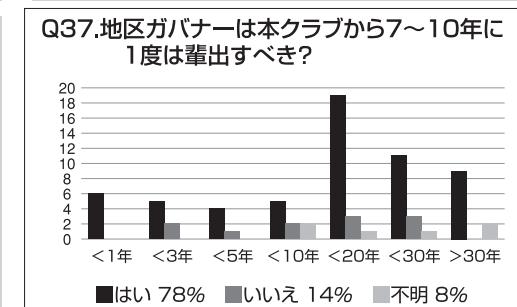
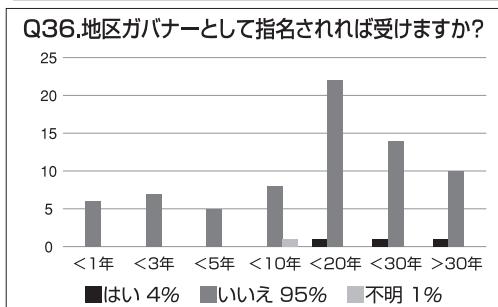
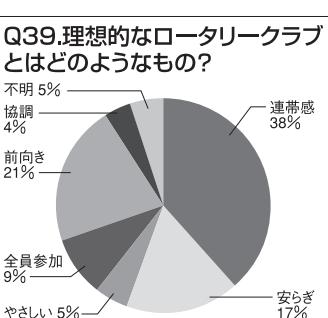
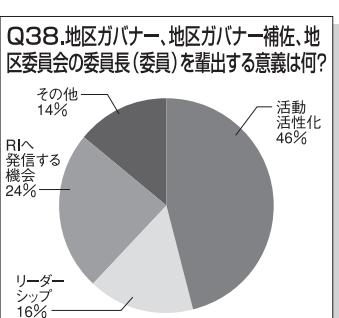
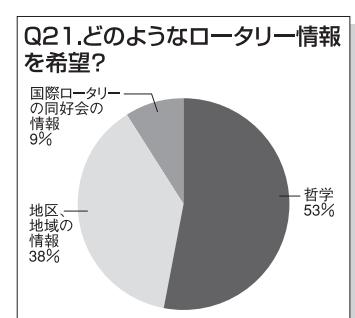
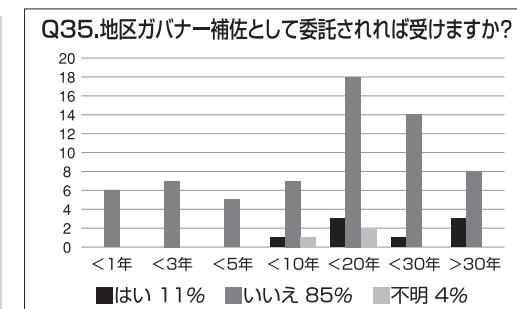
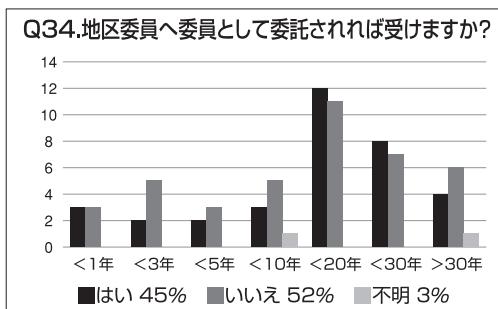
CLPに関してはまだ理解が半分と言うところで、これからの課題が示されたように思われました。

今回の「ロータリーに関する神戸東RCの会員の意識調査」につきましては、貴重な卓話時間をおいただき、会員の皆様にご協力頂きました事に深く感謝いたします。今後周年時に同様の意識調査が行われます際には前回と合わせて今回の調査結果が参考となります事を祈って稿を閉じさせて頂きます。









クラブ奉仕委員会

岡 栄治

クラブ奉仕委員長・理事

クラブ奉仕委員会は、毎年度8～9の小委員会を擁し、今年度は63名の委員数を抱える、当クラブの中でも最も大きな委員会です。

その主要な目的は、会員同士のコミュニケーションを図ることによりクラブ内の連帯感を高めながら、それを「奉仕活動」へ繋げることで、大切な役割を担っております。

クラブ奉仕委員会の各小委員会は、各々の役割の下、本年度も活発に活動しております。ロータリーの基本である例会については、まずはプログラムの充実、次に例会の出席要請と出席率の向上の為の工夫、また家族会・親睦会を開催し、ロータリアン当人だけでなく家族をも巻き込んで交流を深めながら、クラブ全体の一体感を向上させ、会報や週報の発行により情報を展開し共有し、ラウンドテーブルの開催によりロータリーについての知識を高めて頂く等々、実施しております。

過去5年を振り返ってみると、ほとんど同じ活動内容ではありますが、どれもマンネリ化せず、充分にその目的は達せられていると自負しております。

ただ一点、懸念材料として、将来に向けてこれらの活動を維持するための会員増強の問題があります。

会員自体の数・質・若返りを含めて、今後クラブ全体として、取り組まなければならない問題ではないかと杞憂するところであります。

以下、創立60周年にあたり、過去5年間のクラブ奉仕委員会の方針と活動の要約、そして各小委員会の活動データを示します。

そして、我が神戸東ロータリークラブが、次代に向け、今後ますます隆々と発展する事を心より祈念いたします。

●2009～2010年度 植村 孝一 委員長

会長テーマ：「ロータリーの絆を大切に、そこから奉仕の手を」を念頭に置いて、クラブ内のコミュニケーションを図り、絆を強めるという方針の下、委員会活動が活発に行われた。また、会員増強にも重点を置いて取り組むことにより、新たな絆も生まれた。

●2010～2011年度 乙守 典厚 委員長

「和顔愛語－真心を込めて奉仕活動を！」という会長テーマと各委員会の方針に基づき、クラブ運営を家族を含めて円滑に行う事を方針とし、ロータリーらしい企画により、各部門が順調に活動した。

●2011～2012年度 野々村 順之 委員長

会長テーマ「健康で明るく楽しいロータリークラブ活動」に基づき、委員会活動を通して、会員間のコミュニケーションをより一層高めることと楽しいクラブライフをめざし、ガバナー年度で「二足のわらじを履いた活動」となったが、円滑に年度を終えた。

●2012～2013年度 太原 晃一 委員長

会長テーマ「未来につなぐ、心の絆」を中心に、神戸東ロータリークラブらしい豊かで魅力ある心のこもった委員会運営を行い、活気あふれるクラブ造りを目指し、9つの委員会が連携してコミュニケーションを図りながら活動できた。

●2013～2014年度 岡 栄治 委員長

創立60周年の節目に当たり、「みんなでさがそう 新しい芽」を念頭に、例会・親睦会・家族会を充実させ、クラブ内の連帯を図る。また、会員増強に重点を置き、活力あるクラブ造りを目指す。

年度	2009～2010	2010～2011	2011～2012	2012～2013	2013～2014
出席率(%)	89.02	87.39	88.99	85.75	82.62
ホームクラブ出席率(%)	83.75	81.30	81.27	80.70	84.8
会員数	99	105	104	105	107
入会者数	7	9	8	5	3
退会者数	8	3	9	4	1
最年長	86歳2ヶ月	87歳2ヶ月	88歳2ヶ月	89歳2ヶ月	89歳11ヶ月
最年少	42歳7ヶ月	43歳8ヶ月	44歳8ヶ月	39歳7ヶ月	40歳4ヶ月
平均年齢	62歳4ヶ月	62歳1ヶ月	63歳1ヶ月	63歳6ヶ月	64歳3ヶ月
親睦会	2	2	2	3	2
家族会	3	2	3	2	3
家族旅行	1	1	1	1	1
週報	46	46	47	47	45
会報	3	3	3	3	3
ラウンドテーブル	3	3	2	3	3

2014年3月現在

職業奉仕委員会

橋本豊捷

職業奉仕委員長・理事

創立55周年以降の職業奉仕委員会の活動の記録をまとめるに当たり、歴代委員長をご紹介します。

2009年7月～2010年6月	鎌田 哲夫
2010年7月～2011年6月	岩野 了
2011年7月～2012年6月	井元 憲生
2012年7月～2013年6月	上村 伸幸
2013年7月～2014年6月	橋本 豊捷

◆基本方針につきましては、過去5年間の各委員長のご意見は殆んど一致しており、職業奉仕の難しさを述べ、いかにして会員のみなさまに理解して頂けるか、啓蒙運動に腐心されている様子が汲み取れます。

◆職場訪問は次のとおりです。

2010年4月6日	キリンビール神戸工場を訪問して、企業の環境への取り組みを勉強する。
2010年10月5日	塚本会員の六甲バターを訪問して神戸東ロータリアンの職場での実践を会社訪問を通じて学ぶ。
2012年5月29日	六甲バター株式会社の稻美工場を見学及びレクチャー（経営理念、品質管理、工程管理）を受ける。
2013年6月18日	住友ゴム工業株式会社神戸本社を訪問して低燃費タイヤの開発により、地球環境保全活動の推進を図り、社会に貢献されている姿勢を学ぶ。
2014年3月11日	社会奉仕委員会と共同で身体障害者の就労支援のため、青陽東養護学校を訪問して見学及びゴンチャロフ製菓工場での就労現場の視察を予定。

◆例会における卓話および活動は次のとおりです。

- ①2010年1月19日 「職業奉仕って何だ」と言うテーマで、ロータリー情報委員会とラウンドテーブル会を共催する。
- ②2011年 「神戸東ロータリークラブの社訓、家訓集」の作成
- ③2011年10月25日 「鈴木正三の思想とロータリー」との題目で安平和彦氏（姫路RCパストガバナー）に卓話を頂きました。
- ④2012年10月30日 「P.F.ドラッカーとわが経営」と題する卓話を井元憲生会員が行った。
- ⑤2013年7月30日 「持続可能性論について」の題で佐藤正弘氏（京都大学准教授）に卓話をして頂いた。
- 2013年9月3日 「二ノ宮金次郎について」の題で金次郎の孫に当たる中桐万里子氏に卓話をして頂いた。

その他の啓蒙活動として、会員各位が自己研鑽し、ロータリーの職業奉仕論を理解し、職業人の経営哲学を高める為にラウンドテーブル会等も実施された。又、職業奉仕活動を立派に実践し、当会員が従事されている企業やその地域で優秀な有名企業を訪問し会員の企業や自己の経営倫理をたかめられるような情報を提供する努力をした。

社会奉仕委員会

井元憲生

社会奉仕委員長・理事

社会奉仕委員会の2009～2010年度から2013～2014年度の5年間の委員会活動は下記内容である。

◆2009～2010年度 社会奉仕委員会の活動内容（委員長・理事 野々村 穎之氏）

- ①2009年7月 神戸東プロバスクラブの定期総会に出席及び活動支援金の贈呈を行った。
- ②地区補助金申請。
- ③2009年9月 神戸東プロバスクラブ主催事業に動員要請。
- ④2009年10月 招待ボウリング大会PART I 青陽東養護学校。
- ⑤2010年3月 招待ボウリング大会PART II 友生養護学校。
- ⑥2010年4月 マザー・テレサ 生誕100周年記念写真展。

◆2010～2011年度 社会奉仕委員会の活動内容（委員長・理事 森本 一裕氏）

- ①2010年7月 神戸東プロバスクラブの年次総会へ表敬訪問し活動支援金の贈呈。
- ②社会奉仕事業「心重ねて愛の歌声コンサート」に対する地区補助金を申請。
- ③2010年12月 神戸市友生養護学校に於いて「心重ねて愛の歌声コンサート」を開催する。
出演：女性アカペラグループ「宝船」、神戸東ロータリークラブ混声合唱団
司会：毎日放送 高井美紀アナウンサー
- ④2011年1月 神戸市立青陽東養護学校招待ボウリング大会開催。
- ⑤2011年3月 神戸市立友生養護学校招待ボウリング大会開催。

◆2011～2012年度 社会奉仕委員会の活動内容（委員長・理事 壱井 醇氏）

- ①2011年7月 神戸東プロバスクラブ総会に会長・幹事・委員長が訪問。
- ②2011年8月 友生・青陽東養護学校を訪問、校長先生と懇談
- ③2011年10月 神戸東プロバスクラブ創立10周年記念例会に歴代会長・幹事・社会奉仕委員長の内16名が参列。
- ④2011年11月 青陽東養護学校の担当者と神戸六甲ボウルにおいて打ち合せを行う。
- ⑤2012年1月 青陽東養護学校の招待ボウリング（神戸六甲ボウル）。
児童・生徒190名、職員110名、合計300名参加
- ⑥2012年1月 社会奉仕委員会開催。
- ⑦2012年3月 友生養護学校の招待ボウリング（神戸六甲ボウル）。児童・生徒42名、職員・親族

約100名参加

⑧2012年4月 日本熊森協会総会。

◆2012～2013年度 社会奉仕委員会の活動内容（委員長・理事 吉井 正幸氏）

- ①2012年7月 神戸東プロバスクラブ総会後の例会・懇親会に参加し活動支援金を贈呈。
- ②2013年1月 神戸市立青陽東養護学校・招待ボウリング大会を開催。養護学校生徒 202名参加。
- ③2013年1月 神戸市立友生養護学校新築記念に桜の木の植樹を実施。地区補助金事業に申請し、認定。
- ④日本熊森協会への支援を実施。
- ⑤神戸市立友生養護学校の招待ボウリング大会は学校移転の今年度は開催の見送りを決定。
次年度、学校側は開催を希望。

◆2013～2014年度 社会奉仕委員会の活動内容（委員長・理事 井元 憲生氏）

- ①2013年7月 神戸東プロバスクラブ総会に出席し活動援助金10万円を贈呈。
- ②2013年10月 神戸市立友生支援学校 開校記念式典に参列。
- ③2013年10月 神戸市立友生支援学校 作業実習見学会に参加。
(障害を持っている子供たちの就労を目的とした学習と実習風景の見学)
- ④2013年11月 神戸市立友生支援学校 神戸東ロータリークラブ60周年記念事業にて障害のある子供たちへ就学就労への意欲向上を目的として和太鼓を贈呈 金39万円。
- ⑤2014年1月 神戸市立青陽東養護学校 チャリティーボウリング大会 神戸六甲ボウルにて開催。
- ⑥2014年2月 神戸市立友生支援学校 チャリティーボウリング大会 神戸六甲ボウルにて開催。
- ⑦2014年3月 職業奉仕 社会奉仕委員会共同プロジェクト（障害者就労支援プロジェクト）の開催。
<神戸市立青陽東養護学校にて就労の為の学習見学と障害者が実際に就労している会社へ職場訪問の実施>
- ⑧日本熊森協会活動援助金贈呈。

～社会奉仕を考えて～

「ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することである」という定義がありますが、神戸東ロータリークラブの過去5年間の社会奉仕委員会の活動内容を見ると、まさしくこの定義に基づいて実行されていることに気が付きました。特に今年度は、障害者の就労支援という所に目を向け活動をして参りました。その中で、障害者自身が話される講演会に参加した際、「かわいそう」という言葉はいらない、仕事がほしい。」という話を耳にし、それを少しでも形にしたく、積極的にやって参りました。できるならば、今年度だけで終わらず次年度にも続けて頂きたく、お願い申し上げます。

国際奉仕委員会

村元信吾

国際奉仕委員長・理事

50周年記念誌に20周年記念誌の久野一郎会員の記述より下記のごとく抜粋され、国際奉仕委員会活動の方針が明瞭に記述されており、今後も活動の指針としたい。

『当クラブ創立以来、各年度の国際奉仕委員会はその活動目標を国際理解に基づく親睦と平和の増進におき、海外からのビジターを気持ちよく迎え、海外出張会員は行く先々でバナーを交換し、親善を深め、帰国するとその模様を報告し、当クラブの区域限界内における国際的な事業や活動に関心を払うように努める。マッチドクラブとは勿論、出来る限り多くの海外RCやその会員と当クラブおよび会員との間でクラブ相互の、又個人的知り合いを作る事のよって理解を深める等を基本方針としている。』

当委員会の2009－2010年度より2013－2014年度の主な活動は下記のとおりである。

2009－2010年度

1) 当クラブが参加したWCSプロジェクトについて

プロジェクト7：フィリピン3800地区カローケン市小学校野180－200名に抗結核剤とビタミン剤での治療とX線検査とその後のフォローを行い成果を上げたとの報告を受けた。

プロジェクト9：カンボジアプノンペン地区において国立小児病棟にベッドサイドモニター4台寄贈し、当地の治療に大変役立っているとの報告を受けた。

2) 当年度の活動目標の一つであるブリスベンRCとの友好拡大について連絡不充分などの状況で、今ひとつ成果が出なかったが今後の引き継ぎ事項とした。

2010－2011年度

1) 地区WCSの水をテーマにしたタイランドへの事業に参加

2) バングラデシュ洪水支援金の募集

3) ブリスベンRCへの洪水見舞、災害支援金の募集

4) ニュージーランド地震支援金の募集

5) 兵庫県教育委員会 大迎氏のGSE団員の推薦と採用

6) 当クラブのホームページの英語化

2011－2012年度

1) WCS事業への参画。

1－1) インド地区の妊婦ケア事業 1－2) ネパール地区の貧困女性の職業訓練事業

2) 国際奉仕委員会、ロータリー財団委員会、米山奨学委員会 合同親睦会を開催し、相互活動の理解と親睦を深めた。

3) ブリスベンRCより東日本大震災に義捐金の受領と復興支援口座へ振替し礼状を出状した。

4) 第2680地区の地区大会と同時開催された国際囲碁大会運営サポート委員会と活動し囲碁大会のスムーズな運営に寄与した。

2012－2013年度

1) マレーシアよりのGSE 5名の受け入れ、会社訪問並びに会長との夕食会を開催し相互理解・友好を深めた。

2) MGP事業への参加予定のインド地区的プロジェクトが成立せず参画出来なかった。

3) 次年度の60周年を鑑み、姉妹クラブのシンガポールRCの会長就任式に出席。

2013－2014年度

1) グローバル補助金プロジェクトの参画は、当クラブ指定プロジェクトが成立せず、不参加となつた。

2) 国際奉仕委員会、ロータリー財団委員会、米山奨学委員会、青少年奉仕委員会との合同委員会を開催し、相互活動の理解を深めた。

3) シンガポールRC19名の例会出席に先立ち、前夜にウェルカムディナー・パーティーを開催、当クラブからも婦人参加含め32名出席し、邦楽演奏、ゲームなど通じ友好と相互理解を深める事が出来た。

4) 60周年記念式典の開催、多数の姉妹クラブ招待を行う。

今後の国際奉仕委員会への活動として、自前のグローバル・グラント・プロジェクトやパッケージ・グラントを起案して行くのが理想であるが多くの制約から暫くは側面的なサポートとなると思われる。これらの打開には海外姉妹クラブとの相互交流を通じて、サポートを必要とする状況や環境を把握しなければ成らない故に、前文に述べた基本方針を実践して行きたい。

5大奉仕委員会報告

青少年奉仕委員会

土田剛司

青少年奉仕委員長・理事

創立50周年以降における青少年奉仕委員会の主な活動の報告は以下の通りである。

○2004～2005年度

- ・委員長 壱井 醇
- ・近年活字離れが急速に進む青少年に、書物をもっと身近に感じてもらうための啓蒙活動として、神戸市教育委員会が主催する読書感想コンクール中学生の部を後援。
- ・プロバスクラブと共同で小中学校への出張授業プロジェクトを行った。

○2005～2006年度

- ・委員長 吉井 正幸
- ・「新世代月間」において第1週、啓明学院常務理事尾崎八郎校長、第2週、論語普及会村下好伴代表世話人、最終週には、則岡弘士会員・壱井醇会員・福原敏晃会員に卓話をお願いした。
- ・神戸市教育委員会が主催する読書感想コンクール中学生の部を後援。

○2006～2007年度

- ・委員長 池西 正光
- ・神戸市教育委員会が主催する読書感想コンクール中学生の部を後援。
- ・第29回RYLA受講生藤本崇史さんの推薦クラブとして協力した。

○2007～2008年度

- ・委員長 橋本 豊捷
- ・9月4日、新世代月間に 2680地区新世代委員長 安行英文氏が卓話。
- ・神戸市教育委員会が主催する読書感想コンクール中学生の部を後援。
- ・3月20日～3月23日、第30回RYLAセミナーに山崎会員・樋口会員が参加。

○2008～2009年度

- ・委員長 山崎 仁嗣
- ・11月30日、ポートアイランド球技場において、小学6年生90名、父兄110名等合計220名参加のもと、第1回中央区少年団親善野球大会を開催。各チームとも混成チームとは思えぬ素晴らしいチームワークで、接戦に次ぐ接戦を戦い、素晴らしい友情を育んだ。
- ・神戸市教育委員会が主催する読書感想コンクール中学生の部の後援を行った。
- ・3月26日～29日、第31回RYLAセミナーに、西宮YMCAボランティアリーダーの米田優里奈さんを派遣。

○2009～2010年度

- ・委員長 樋口 一哉
- ・9月1日（火）、例会卓話にWBC世界バントム級チャンピオン長谷川穂積氏と真正ジム会長山下正人氏を招待。
- ・10月25日（日）、第2回中央区少年団親善野球大会を開催。
- ・3月25～28日、第32回RYLAセミナーに2名参加。

○2010～2011年度

- ・委員長 尾山 宜道
- ・9月14日（火）、新世代月間の例会卓話に尾山宜道「私の学童に対する指導力開発」。
- ・11月7日（日）、第3回中央区少年団親善野球大会を後援。
- ・当クラブとして初めて青少年交換来日生の受け入れを行った。メキシコから大野小梅さんが来日、啓明学院高校の一年に編入。東日本大震災のためやむを得ず5月に早期帰国。当クラブのホストファミリーは、壱井会員ご家族
- ・3月24～27日、第33回RYLAセミナーに2名参加。

○2011～2012年度

- ・委員長 須藤 雄二
- ・11月13日（日）、神戸山の手小学校にて、第4回中央区少年団親善野球大会を後援。
- ・青少年交換来日生 メキシコからホルヘ・ヒデキ・アラオ・フェリックス君が来日、啓明学院高校1年に編入。父君のアラオ・ガバナーが当クラブに来日。ヒデキ君は2012年6月無事帰国。当クラブのホストファミリーは、中井会員ご家族
- ・交換派遣生として葺合高校1年生の下村亜梨子さんをアメリカニューヨーク州に派遣。
- ・3月22～25日、第34回RYLAセミナーに参加。

○2012～2013年度

- ・委員長 樋口 一哉
- ・青少年交換派遣生として、木下茉莉華さん（葺合高校）をアメリカ5080地区に派遣。
- ・青少年交換来日生として、カナダ5080地区から、キャリー・アン・ウィリアムソンさんが8月に来日。途中実母の危篤・死別により一時帰国したが、翌年1月再び来日。7月には無事帰国。当クラブのホストファミリーは、樋口会員ご家族、塚本会員ご家族
- ・10月に、山の手小学校にて、第5回中央区少年団親善野球大会を後援。神戸新聞取材
- ・11月に、第1回王子動物園絵画教室を後援した。参加者は児童・幼児約100名。人気絵本作画の永田萌さんが児童達の写生を丁寧に指導して下さった。
- ・3月に、第35回RYLAセミナーに2名参加。

○2013～2014年度

- ・委員長 土田 剛司
- ・青少年交換派遣生として、島本佳奈さん（啓明学院）を8月にフランスデュラン地区に派遣。
- ・青少年交換来日生として8月、フランス1520地区からヴァレア・キュヴィリエ君が来日、啓明学院1年に編入。当クラブのホストファミリーは、中井会員ご家族、塚本会員ご家族
- ・10月25日（木）、第2回王子動物園絵画教室に対して、地区の協力を得て、園内案内板、ベンチ、画板を寄贈した。贈呈・除幕式を開催した。
- ・11月2日（土）、第2回王子動物園絵画教室を後援。
- ・3月9日（日）、山の手小学校にて、第6回中央区少年団親善野球大会を開催した。

以上、大変大難把であるが直近10年間における青少年奉仕委員会活動の足跡を辿った。各年度とも大変な創意工夫と実労があったのは予測に難くない。思うに、神戸東RCが主に地場に根付く事業経営者が集う職業奉仕団体であるという性格を考えると、某会員が言われるように、当委員会には「地域において、有益だが未だ成長途上にある青少年育成事業の組成や運営に関わり、自律軌道に乗せたら速やかに離れる。そして次の事業を発掘し育成する」という使命が、確かにあるのではと思う。

また、交換学生については、ホームステイ先の安定した確保が第一の議題になっている。

出席委員会

田中義明

出席委員長

創立60周年記念誌の発刊において、創立50周年以降の出席委員会の活動についての記録を活字にまとめよということありますので、50周年誌をひも解きますと平成13年度までは平均出席率も90パーセントを超えていたようです。しかし、2004～2013年度の平均出席率を見てみると、80パーセント代後半を維持しているものの、この10年で90パーセントを超えた年度はありません。例会出席はロータリーの基本である以上、出席奨励の方法を考えることが今後の課題であると感じました。

2004～2005年度 委員長 池西正光

- (1) 100%出席例会を8/3臨時総会、2/22ロータリー100周年記念例会、4/12創立記念例会に実施。
- (2) メイクアップのため、他クラブの例会日程、対象事業や会合などの情報提供をした。
- (3) 創立記念例会において、35名の皆出席者の表彰を行い記念品にお米を贈った。又、惜しくも皆出席を逃した、1回欠席者1名、2回欠席者4名、3回欠席者4名の人数を発表した。
- (4) 2004年7月～2005年6月平均出席率 出席率:88.74% ホームクラブ出席率:80.68%

2005～2006年度 委員長 木下 健

- (1) 出席奨励の為、出席報告ボードを例会場に掲示。(前例会までの平均出席率を併記。)
- (2) メイクアップ対象事業、会合及び他クラブの例会日程、会場等の情報を提供した。
- (3) 創立記念例会に於いて皆出席会員を公表し、記念品を贈った。
- (4) 2005年7月～2006年6月平均出席率 出席率:88.83% ホームクラブ出席率:81.38%

2006～2007年度 委員長 尾山宜道

- (1) 会員の出席状況を把握し、毎週出席率をボードで報告。出席率を高めるように願った。
- (2) 地区大会、メイクアップ対象事業、他クラブの例会日程の情報を提供、例会欠席補填をした結果、3/6の例会を100%出席することができた。
- (3) 創立例会にて、31名の皆出席者に対する表彰を行った。
- (4) 2006年7月～2007年6月平均出席率 出席率:88.48% ホームクラブ出席率:81.50%

2007～2008年度 委員長 戸山晶夫

- (1) 8月第1週の週報送付時に「メイクアップの対象について」を同封し欠席補填を奨励。
- (2) 9月第3例会時に、当クラブの7・8月の例会出席率と神戸第1分区及び2680地区の7月の出席率を報告し、出席率の向上を喚起した。

- (3) 12月第3例会時に、RI日本事務所から通知のあった「2007年度規定審議会で改正された標準クラブ定款第9条第5節の出席の記録」について報告した。
- (4) 2007年7月～2008年6月平均出席率 出席率:87.84% ホームクラブ出席率:79.82%

2008～2009年度 委員長 鎌田哲夫

- (1) 創立55周年記念例会・式典に於いて30名の皆出席者の内、20年以上の方にご登壇頂き記念の品をお渡しました。
- (2) 2008年7月～2009年6月平均出席率 出席率:88.59% ホームクラブ出席率:83.63%

2009～2010年度 委員長 有澤忠雄

- (1) 例会において前週の出席率をボードに掲示。
- (2) 2～3ヶ月に一度月平均の実質出席率とメイクアップ後の出席率を例会にて報告。
- (3) 4月13日創立例会にて皆出席36名の表彰を実施。
- (4) 2009年7月～2010年6月平均出席率 出席率:89.02% ホームクラブ出席率:83.75%

2010～2011年度 委員長 嘉納忠夫

- (1) 例会において前週の出席率をボードに掲示。
- (2) 2～3ヶ月に一度月平均の実質出席率とメイクアップ後の出席率を例会にて報告。
- (3) 年初めに週報にて他クラブメイクアップ情報を掲載。
- (4) 4月12日創立例会にて皆出席者32名の表彰を実施。
- (5) 2010年7月～2011年6月平均出席率 出席率:87.39% ホームクラブ出席率:81.30%

2011～2012年度 委員長 植村孝一

- (1) 例会ごとの出席率を週報及び例会場に掲示し出席への関心を喚起した。
- (2) ガバナー月信に月毎の出席率を掲載し、他クラブとの比較を掲示することで出席率向上を図る。
- (3) 新入会員インフォメーションにおいて推薦者と入会希望者に皆出席を心がけるよう話をすることにより入会後の例会出席への意識を高める。
- (4) クラブ協議会で委員会毎の出席状況を説明し委員長に出席率向上をお願いする。
- (5) 創立記念例会にて皆出席者31名の表彰を行う。全員同じ記念品とし、サプライズで3つの特別賞、真の皆出席賞、初めての皆出席賞、最多メイクアップ賞を授与する。
- (6) 2011年7月～2012年6月平均出席率 出席率:88.99% ホームクラブ出席率:81.27%

2012～2013年度 委員長 田中健三

- (1) 例会ごとの出席率を週報及び例会場に掲示し出席への関心を喚起した。
- (2) 新入会員インフォメーションで推薦者と入会希望者に皆出席を心がけるよう働きかけた。
- (3) 創立記念例会にて皆出席28名の表彰を行った。
(20年以上には「ネスカフェバリスタ」20年未満には「万能ハサミ」を贈呈)
- (4) 2012年7月～2013年6月平均出席率 出席率:85.75% ホームクラブ出席率:80.70%

親睦・家族委員会

松井照男

親睦・家族委員長

60周年という節目の年、2013年度～2014年度、親睦・家族委員長をご指名いただきました松井照男です。本年度の委員会方針は、親睦活動を通じて会員同士の交流が深まり、他の委員会活動にも積極的に参画できることが最大の目的であります。その為には、一人でも多くの会員が参加していただけるような魅力ある企画と、思い出と感動を共有できるような事業を実施してまいりました。そこで、過去をふり返り、先輩者諸兄が実施された10年間の活動をここにご報告申し上げ、敬意を表したいと存じます。

2004年～2005年 親睦家族委員会活動報告 委員長 上村伸幸

1. 第1回親睦会 平成16年9月28日 三ノ宮駅構内「匂炭」：参加者58名
2. ロータリー100周年記念忘年家族会 平成16年12月14日 ホテルオークラ神戸：参加者128名
3. ロータリー100周年記念創立家族会 平成17年4月12日 ホテルオークラ神戸：参加者110名
4. 第2回親睦会 平成17年5月17日 「千人代官、和三昧」：参加者53名
5. ロータリー100周年記念最終例会（親睦家族会）平成17年6月28日 メリケンパークオリエンタルホテル：参加者117名

2005年～2006年 親睦家族委員会活動報告 委員長 角田嘉宏

1. 第1回親睦家族会「shall we HANABI?」平成17年8月6日 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
2. 第2回忘年家族会「年の瀬に もの想いつつ オペラ聴く」平成17年12月27日 ホテルオークラ神戸
3. 親睦家族旅行「我らの神戸空港より鹿児島へ」平成18年4月7日～8日 鹿児島周辺
4. 創立記念例会 平成18年4月11日 ホテルオークラ神戸
5. 第3回親睦家族会「マジック界の小泉総理？」平成18年6月27日 ホテルオークラ神戸

2006年～2007年 親睦家族委員会活動報告 委員長 井元憲生

1. 第1回親睦会 平成18年9月12日 三宮 西村屋 秋の味覚「松茸」を賞味
2. 忘年家族例会 平成18年12月26日 ホテルオークラ神戸「平安の間」
3. 親睦家族旅行 平成19年2月16日～17日 城崎温泉 冬の味覚「蟹」を賞味
4. 創立53周年記念例会 平成19年4月10日 ホテルオークラ神戸「平安の間」
5. 第2回親睦会（会員のみ） 平成19年5月29日 三宮北野坂 クロス 和洋折衷

2007年～2008年 親睦家族委員会活動報告 委員長 田中健三

1. 第1回親睦家族会 平成19年8月4日 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
【テーマ】みなとこうべ海上花火大会 観賞
2. 第1回親睦会 平成19年10月23日 北野クラブ「ソラ」
【テーマ】ロータリアンの収穫祭！
3. 第2回親睦家族会 平成19年12月25日 ホテルオークラ神戸
【テーマ】ロータリアン 大家族での 忘年会！
4. 第3回親睦家族会 平成20年3月8日 京都 祇園 料亭「ちもと」
【テーマ】日本の伝統を味わおう！
5. 創立記念例会 平成20年4月8日 ホテルオークラ神戸
【テーマ】第54回創立記念例会
6. 第4回親睦家族会 平成20年6月24日 「ザ・チャータード・スクエア」
【テーマ】1年間の慰労と55周年への引継ぎ

2008年～2009年 親睦委員会活動報告 委員長 吉田建美

1. 第1回親睦会「トロピカルに暑い夏を楽しもう」2008年8月26日 ザハウスオブパシフィック
2. 第2回親睦会「和やカニ、華やカニ、賑やカニ」2009年2月17日 西村屋 和味旬彩
3. 第3回親睦会「エキゾチックバンケットで友愛を！」2009年6月30日 ラヴィマーナ神戸

2008年～2009年 家族委員会活動報告 委員長 鮑悦初

1. 第1回親睦家族旅行「温故知新をテーマに」広島方面 2008年11月15日～16日：参加者28名
2. 第1回親睦家族忘年会「グローバル都市神戸だからの忘年会」と題して、2008年12月16日：ホテルオークラ神戸「平安の間」：参加者128名
3. 創立55周年記念例会：2009年4月14日：ホテルオークラ神戸「平安の間」

2009年～2010年 親睦家族委員会活動報告 委員長 宮 昭久

1. 第1回親睦家族会 神戸花火鑑賞会 2009年8月1日 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
2. 第2回会員親睦会 ホテルオークラ神戸 2009年10月20日 午後6時よりの移動例会
3. 第3回 親睦家族会 忘年家族会 2009年12月22日 ホテルオークラ神戸
4. 第4回 家族；日帰りバス旅行 2010年3月7日 「近くて遠い淡路の島々めぐり」
5. 第56回 創立記念祝賀会 2010年4月13日 ホテルオークラ神戸「平安の間」
6. 今年度最終打ち上げ会員親睦会 2010年6月29日エスタシオン・デ・神戸

2010年～2011年 親睦委員会活動報告 委員長 寺井啓勝

1. 2010年8月31日 第1回親睦会を開催しました。
2. 2011年6月28日 打上げ親睦会を開催しました。

2010年～2011年 家族委員会活動報告 委員長 山崎仁嗣

1. 第1回親睦家族旅行 舞鶴、三方五湖、金沢への旅 2010年10月23～24日：参加者34名の参加
2. 第1回親睦家族忘年会 2010年12月21日：ホテルオークラ神戸「平安の間」：参加者123名
3. 創立記念例会 2011年4月5日：ホテルオークラ神戸「平安の間」

2011年～2012年 親睦家族委員会活動報告 委員長 岡 栄治

1. 第1回親睦家族会 2011年8月6日 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
【テーマ】みなとこうべ海上花火大会 観賞
2. 第2回親睦家族忘年会 2011年12月20日：ホテルオークラ神戸「平安の間」
3. 第1回親睦家族旅行（日帰り家族旅行） 2012年3月11日：【開催場所】「長浜盆梅展と天然鴨すき」
4. 第58回創立記念例会 2012年4月10日 ホテルオークラ神戸
5. 年度最終打上げ会員親睦会 2012年6月26日「相楽園会館」

2012年～2013年 親睦委員会活動報告 委員長 梅田 稔

1. 第1回親睦会 2012年8月21日：ホテルオークラ神戸
2. 第2回親睦会 2013年2月19日：中国料理 天安閣
3. 第3回親睦会（打ち上げ親睦会）2013年6月25日：フレンチダイニングレストラン イグレックベガ

2012年～2013年 家族委員会活動報告 委員長 四方克明

1. 第1回親睦家族忘年会 2012年12月25日：ホテルオークラ神戸「平安の間」：参加者115名
2. 第1回親睦家族旅行（日帰り家族旅行） 2013年3月16日：【開催場所】名塩和紙学習館、エクシブ有馬離宮 プロダンサー（立石勝也、裕美組）によるダンスショー：参加35名
3. 第59回創立記念例会 2013年4月9日 ホテルオークラ神戸「平安の間」：参加者108名
4. 年度最終打上げ会員親睦会 2013年6月26日「相楽園会館」

2013年～2014年 親睦家族委員会活動報告 委員長 松井照男

1. 第1回会員親睦会の開催 平成25年7月9日：オリエンタルホテル18時開会（参加者60名）
「さあ、始まる60周年、おおいに親睦を深めよう」を開催テーマとし、野々村会長挨拶の後、久野パストガバナーの乾杯をスタートに親睦会が始まりました。特に今年は、60周年という節目の年であるため、過去と未来を語り合う場として、ひじょうに有意義な時間が持てたと思います。
2. 第1回親睦・家族花火大会の開催 平成25年8月3日：メリケンパークオリエンタルホテル18時開会（参加者118名）

開催当日は、心配されていました天気も良く、さわやかな潮風に吹かれながら絶好の花火日和がありました。又、今年は、例年よりも約30分間ご歓談の時間を延ばしたことにより、ゆっくりとご飲食が楽しめたことだと思います。更には、花火鑑賞後の60周年レツツ・ビギンザバーを開設しましたところ、会場に入れないほどの参加者で中締めのご案内まで大盛況でございました。

3. 第1回親睦・家族旅行の開催 平成25年11月17日～18日：東北仙台方面1泊2日の旅（参加者29名）

今回の旅行は、一昨年の震災で尊い多くの命が奪われ、復興手立てに未だ目処が立っていない地域を回り、津波被害の爪あと又、亡くなられた方々への鎮魂を目的とし、地域にわずかながらも活力の一端になれるることを願う旅としたところ、両日とも最高の天気に恵まれ、一日には、石巻中学校の梅沢先生に被災地並びに慰霊場所にご案内を頂き、更には、生徒たちによる、歓迎の合唱をしていただき、多くの感動をもらいました。二日目は、仙台観光を行い、この地へ着てよかったと心から思える、思い出深い最高の旅となりました。

4. 第2回親睦・家族忘年会の開催 平成25年12月26日：第一樓17時30分移動例会、18時開会（参加者118名）

5. 新春初釜5クラブ合同例会の開催 平成26年1月7日：ホテルオークラ神戸「平安の間」11時30分受付、12時30分例会開始（参加者184名）

6. 創立60周年記念例会の開催 平成26年4月8日：ホテルオークラ神戸「平安の間」16時30分（細川佳代子様の記念講演）17時30分例会、18時式典開会

7. 第2回会員親睦会の開催 平成26年6月24日：モズライトカフェ神戸 18時開会

プログラム委員会

吉井正幸

プログラム委員長

神戸東ロータリークラブ創立50周年記念誌のプログラム委員会の項の冒頭に「創立当初の例会プログラムの構成は、会員自身が担当する事が基本原則であった～中略～会員卓話が2順目以降になると、外部スピーカーの卓話も依頼するようになった。またロータリー一月間に新しく制定されたので、その月間に由来するプログラムが組み込まれるようになった」と記されています。創立60周年を迎えた当クラブは、この歴史と伝統を踏襲しながら、会員卓話と外部スピーカーのバランスを取り新しい試みにも挑戦しています。

新年度第1例会は三役就任挨拶、第2例会は四大奉仕委員長挨拶、8月度第1例会は臨時総会、12月第1例会は年次総会、第4例は忘年家族会、1月第1例会は新年初釜例会、4月はクラブ創立記念家族会、6月最終例会は3役退任挨拶。そしてガバナー公式訪問、新入会員自己紹介、米山奨学生と交換留学生、GSE派遣者等が年度内で決まり事のあるプログラムです。それから月間に因んだ卓話、また午後の安らぎの時間として音楽鑑賞や舞踊鑑賞なども近年実施されています。

会員は各業界の専門家が揃っていますし学識や趣味等などに造詣の深い方も多く他のロータリークラブの卓話に招かれる会員もいて会員卓話も充実しています。

ロータリーの基本は例会であると言われますが、一人でも多くの会員が例会に参加したら、「楽しめて、為になった」と思って頂けるように、毎年のプログラム委員会は苦心して多種多様なプログラムを実施しています。

この10年間の外部卓話者と卓話テーマを抜粋して掲載します。(肩書は卓話当時、敬称略・順不同)

「お札に関するよもやま話」
「イタリアと彫刻」
「市政12年を振り返って」
「イスラムの世界」
「私のゴルフ理論」
「自然保護大国でなければ21世紀は生き残れない」
「俳句のこころ」
「長唄の魅力」
「1995年1月17日メディアはどう動いたか」
「祇園の文化—もてなしの心—」
「豊かな生命(いのち)」
「開港迫る神戸空港～その概要と展望～」

日本銀行 神戸支店長 大久保 裕晴
彫刻家 新谷 紀
前神戸市長 笹山 幸俊
甲南大学 教授 堀 直
プロゴルファー 入江 勉
日本熊森協会 会長 森山 まり子
ほとぎす 同人 北郷 桂子
邦楽家 東音 松浦 麻矢
(株)ラジオ関西代表取締役 村井 顕彦
華道家 祇園花彩オーナー 桐木 千壽
啓明学院高等学校 校長 尾崎 八郎
神戸空港ターミナル(株)代表取締役 森井 章二

「日本人の心の原点」	論語普及会 代表世話人	村下 好伴
「神戸と生田神社」	生田神社宮司	加藤 隆久
「激動の世界と日本」	防衛大学 学校長	五百旗頭 真
「目からウロコの天気予報」	気象予報士	南 利幸
「心を感じさせる『書体』」	高砂流 書家	高砂 京子
「中央競馬と阪神競馬」	日本中央競馬会 阪神競馬場長	富岡 義雄
「指揮者は寂しがり屋?」	神戸フィルハーモニック音楽監督	朝比奈 千足
「税あれこれ」	神戸税務署長	川人 正孝
「夢に向かって落語に生きる」	落語家	露 の 都
「“運命の船”と神戸と私」	(株)神戸クルーザー・コチュル代表取締役	南部 真知子
「みなどと神戸の見果てぬ夢、開港時代を生きぬいた男たち」	小説家	玉岡 かおる
「地域サービスと神戸」	近畿タクシー 社長	森崎 清澄
「神戸が舞台に!」	神戸フィルムオフィス 代表	田中 まこ
「デザイン都市神戸」	(株)フェリシモ 社長	矢崎 和彦
「灘中はなぜ出来た?そして今」	灘中・高校 学校長	和田 孫博
「絆=心重ねて」	アカペラグループ「宝船」	上北 夏味
「朗読の時間 小説 少年H」	毎日放送 アナウンサー	高井 美紀
「ロータリー世界理解月間にちなんで」	大阪商工会議所会頭	野村 明雄
「酒育のすすめ」	国立民族学博物館元館長	石毛 直道
「文楽の魅力について」	人形浄瑠璃文楽座	豊竹呂勢大夫
「私を魅了したアラスカ」	プロ写真家	金本 孔俊
「生物学的風見鶏のすすめ」	神戸市立須磨海浜水族館 園長	亀崎 直樹
「プロ野球よもやま話」	元阪神タイガース監督	吉田 義男
「能への第一歩」	笠田昭吟会 観世流能楽師	笠田 明雄
「クラシックバレエのおもしろ講座」	貞松浜田バレエ団 代表	貞松 融
「最新の粒子線治療と将来展望」	兵庫県立粒子線医療センター院長	村上 昌雄
「大災害医療の経験に基づく考察—皆さんに知ってもらいたい事—」	兵庫医科大学教授	小谷 讓治
「神戸の国際教育」	神戸中華同文学校 名誉校長	愛新 翼
「国際都市神戸の現状」	ジャイレックス(株)代表取締役	ダルビッシュセファット フアルサ
「INAC神戸レオネッサはなぜ強い!?」	「INAC神戸レオネッサ」会長	文 弘宣
「楽しみま書!遊びま書!」		墨遊家
「宮古島トライアスロン」	(株)ラジオ関西 専務取締役	原田 伸郎
「天に一番近い大地チベットからのお話」		森下 悅伸
「阪神地域の地名と生活史」		バイマーヤンジン
「もっと知ってください、盲導犬のこと。」	園田学園女子大学名誉教授	田辺 真人
「陸上自衛隊の概要」	陸上自衛隊中部方面総監部 2等陸佐 広報室長	吉川 弓子
「どんなところ王子動物園」	王子動物園 園長	野々上 美智明
		高井 昭

週報委員会

林 伯正

週報委員長

1. 委員長、2.基本方針、3.活動報告として過去10年間をまとめました。

- 2003-04 1.吉田建美
 2.「週報」の目的はクラブ活動の正確な記録と情報の伝達にある。週報（印刷物）による伝達と併せて、インターネット（ホームページ）による迅速な情報伝達を行う。
 また、分かりやすく読みやすい「週報」をめざす。
 3.(1) 今年度は45回の週報を発行した。
 (2) 委員会、創立50周年実行委員会、同好会活動などの予告、報告を掲載した。
 (3) 週報毎号において50周年記念例会までのカウントダウンを記載した。その際に、「50周年事業花盛り」という合言葉に合わせて毎月誕生会員に贈られる花のマークをあしらってムードを高めるよう努めた。
- 2004-05 1.坂野伯夫
 2.クラブ活動の正確な記録と情報の伝達を目的とする。
 3.(1) 例会毎に「週報」46号を発行した。
 (2) 週報毎号においてRI会長のテーマ「ロータリーを祝おう、100年の歩み」をタイトルのマークとして掲載した。
 (3) 次週例会MENUを新しく掲載した。
- 2005-06 1.西村太一
 2.クラブ活動の正確な記録と情報の伝達を目的とした。
 3.(1) 例会毎に「週報」47号まで発行した。
 (2) 週報毎号において、RI会長のテーマ「超我の奉仕」をタイトルのマークとして掲載した。
- 2006-07 1.岡 栄治
 2.「週報」（印刷物）による伝達と併せて、インターネット（ホームページ）による迅速な情報伝達を行う。
 3.(1) 今年度は47回の週報を発行した。
 (2) RI会長テーマ「LEAD THE WAY, 率先しよう」と神戸東クラブ会長テーマ「和 而して凜」を毎号、週報のタイトルの中に掲載した。
 (3) 会員の住所変更等異動情報、新入会員の情報を掲載した。
- 2007-08 1.松井照男
 2.クラブ活動の正確な記録と情報の伝達を目的とする。
 3.(1) 例会毎に「週報」40号まで発行した。
 (2) 週報毎号において、ガバナー・会長テーマをタイトルのマークとして掲載した。
 (3) 委員会・同好会活動及び各種会合の予告と報告を掲載した。
- 2008-09 1.寺井啓勝

2.印刷物（週報）による伝達と同時にインターネット（ホームページ）による迅速な情報伝達を行う。

- 3.(1) 第46回例会までの週報を発行した。
 (2) プログラム委員会、雑誌会報委員会との連携・協力によりホームページのリニューアルを行い、迅速に神戸東ロータリークラブの情報（各委員会の活動等及び毎週の週報）を掲載するようにし、ホームページの例会日にパスワードをセットすると週報を閲覧できるよう実施した。
 (3) 週報毎号に国際ロータリー会長テーマ「夢をかたちに」と当クラブ野田晴清会長のテーマ人間回帰「人間らしい温かみの『心』で友愛をロータリー活動に」と今年度のロゴマークをタイトルとしてデザインした。

2009-10

- 1.吉田正人
 2.クラブ活動の正確な記録と情報の伝達を目的とする。
 ホームページの利用状況について、アンケートを実施し、郵送代（週報）の節約を検討し、推進する。

- 3.(1) 週報の作成（No.1～No.46）
 (2) メール配信（週報）の開始（9月8日号より）
 (3) メール配信（週報）会員の追加（4月より）

2010-11

- 1.横山 滋
 2.クラブ活動の正確な記録と情報の伝達をする。
 3.(1) 例会ごとに「週報」46号まで発行した。
 (2) 週報毎号において、ガバナー・会長テーマ「和顔愛語（わけんあいご）・真心をこめて奉仕活動を！」をタイトルのマークとして掲載した。
 (3) イラストや写真を掲載した。

2011-12

- 1.石川泰平
 2.「健康で明るく楽しいロータリークラブ活動」という会長方針のもと、出席率向上につながる様な内容の項目を模索し明るく楽しい親しみある週報を作成する。
 3.(1) 週報の作成（No.1～No.47）
 (2) 本年はガバナーアイデア事務所だよりと公式訪問日程表等を掲載。

2012-13

- 1.榎原志朗
 2.週報委員会は、クラブ週報の刊行によって、関心を促して出席の向上を図り、近づく例会のプログラムを発表、前回の例会の重要事項を報告、親睦を増進、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブ、会員、および世界各地のロータリー・プログラムに関するニュースを伝えるべく努めなければならない。
 3.(1) 第47回例会までの週報を発行し、週報のペーパーレス化率を一段と進歩させた。
 (2) プログラム委員会、雑誌会報委員会との連携・協力によりホームページのリニューアルを常に行い、迅速に神戸東ロータリークラブの情報を掲載するようにし、ユーザー名とパスワードを入力することで週報および会報を閲覧できる設定を維持した。
 (3) 週報毎号に国際ロータリー会長テーマ「奉仕を通じて平和を」と当クラブ会長のテーマ「未来につなぐ、心の絆」をタイトルとしてデザインしたものを作成した。

以上過去10年の諸先輩方の基本方針、活動報告をまとめました。各年度において様々な工夫をされ、読みやすく楽しい週報となるよう力を尽くしてこられたことに、心から敬意を表します。微力ながら私もより良い週報が発行できるよう努力したいと思います。

雑誌会報委員会

田中寿夫

雑誌会報委員長

この委員会は、クラブ内の行事や出来事を年数回の会報にまとめ、会員の皆様向けに発行することと、ホームページを作成更新し会員及び会員以外の人達に神戸東ロータリークラブの紹介をすることが主たる任務です。

①会報の発行

平成16年度

会報誌は従来年2回（8月と翌年7月）の発行をしていたが、当クラブ内での出来事（情報）はできるだけ早く、正確に会員に伝えるべきであるとの当時の白羽会長の要請により、今年度から年3回（8月、1月、7月）の発行を実施しました。

平成17年度

この年は前年度より更に1回多い、年4回（9月、2月、5月、7月）の発行を実施しました。

平成18年度、平成19年度

従来の年2回の発行に戻りました。

平成20年度より現在に至るまで

平成16年度の方針に戻り年3回の発行を継続しています。

②ホームページ

ホームページの更新を週報委員会と連携して進めてまいりました。

平成17年度

松下会長のカンボジア訪問活動や「野生のトラ保護活動」の報告など対外的な広報活動の一環としてホームページにて紹介いたしました。

平成18年度

「会長方針」、「神戸東クラブ概要」を平成18年7月に更新、その後各委員会活動を隨時紹介しま

した。

平成20年度

週報委員会と連携しH・Pの例会日にパスワードをセットすると週報を閲覧できるよう実施。

最後に

この委員会は、平成6年度より独立小委員会となった週報委員会と記事や報告が漏れないよう又、二重にならないよう常に連携して委員会活動を行っています。会員の皆様が、会報やホームページを常に楽しみにして頂ける様、今後も企画、作成に努力してまいります。

ロータリー情報委員会

鎌田哲夫

ロータリー情報委員長

1. 「ロータリー情報委員会」については「神戸東ロータリークラブ細則」に次のように規定されています。この委員会は

- (1) 新会員候補者にロータリー・クラブ会員の特典と責務に関する適切な情報を提供し、
- (2) 会員、特に新会員に会員の特典と責務に関する適切な理解を与え、
- (3) 会員にロータリー、その歴史、綱領、規模、活動に関する情報を提供し、
- (4) 会員に国際ロータリーの管理運営についての情報を提供する方策を考案しこれを実施するものとする。

2. 従って、ロータリー情報委員会の活動は主として、

- (1) 新会員に対するインフォメーション
- (2) ラウンドテーブル会の開催
- (3) ロータリー理解推進月間の卓話
- (4) その他

となります。

3. そこで当クラブのロータリー情報委員会の、2001～2002年度から2012～2013年度までの活動について、上記の点について各年度の報告書をまとめるとおおよそのとおりになります。

〈2001～2002年度〉

- 1. 委員長 角田 嘉宏
- 2. 新会員のインフォメーションの実施 計 5 名
- 3. ラウンドテーブル会の開催
 - ①2001年10月23日 テーマ「何処へ行くか？ロータリー」
 - ②2002年2月15日 テーマ「何処がええねんロータリー」「此処が楽しいロータリー」
 - ③2002年5月14日 テーマ「ロータリーは今？」
- 4. 当クラブ定款・細則の検討

〈2002～2003年度〉

- 1. 委員長 高嶋 良平
- 2. 新会員のインフォメーションの実施 計 5 名
- 3. ラウンドテーブル会の開催

入会未満の会員を対象に、「あなたにとってロータリーとは何ですか？－ロータリーを楽しんでますか－」を統一テーマとして実施した。

①2003年2月21日 ②2003年2月28日 ③2003年3月14日

〈2003～2004年度〉

- 1. 委員長 阪口 正浩
- 2. 新会員のインフォメーションの実施 計 7 名
- 3. ラウンドテーブル会の開催
 - ①2003年7月29日 テーマ「ロータリーとは何ですか？」
 - ②2003年11月18日 テーマ「ロータリークラブとは何ですか？」
 - ③2004年3月9日 テーマ「貴方にとってロータリーライフとは何ですか？」
- 4. ロータリー情報委員長卓話
 - テーマ「あなたもアルゼンチンタンゴ踊りますか？」

〈2004～2005年度〉

- 1. 委員長 植村 孝一
- 2. 新会員のインフォメーションの実施 計 4 名
- 3. ラウンドテーブル会の開催
 - ①2004年10月19日 テーマ「ロータリーの原点」
 - ②2005年2月1日 テーマ「ここが変だよロータリー」
 - ③2005年5月24日 テーマ「私のロータリー」
- 4. 定款細則の改正実施
- 5. 週報に随時ロータリー情報の掲載

〈2005～2006年度〉

- 1. 委員長 阪口 正浩
- 2. 新会員のインフォメーションの実施 計 6 名
- 3. ラウンドテーブル会の開催
 - ①2005年9月27日 テーマ「わかりやすい超我の奉仕」
 - ②2005年11月29日 テーマ「ロータリー活動と仕事の調和」
 - ③2006年2月21日 テーマ「大企業に学ぶ企業倫理」
 - ④2006年5月18日 テーマ「ロータリアンの品格」
- 4. 例会の卓話
 - テーマ「ロータリー理解推進月間と地区史発刊」西RC市居嘉雄

〈2006～2007年度〉

- 1. 委員長 白羽 誠
- 2. 新会員のインフォメーションの実施 計 7 名

3. ラウンドテーブル会の開催

- ①2006年10月24日 テーマ「四大奉仕について」
- ②2007年2月13日 テーマ「ポール・ハリスのロータリー哲学」
- ③2007年5月8日 テーマ「ロータリーの危機 職業奉仕は生きているか」

4. ロータリー情報委員長卓話

- テーマ「アンチ・エージングのすすめ」

〈2007～2008年度〉

1. 委員長 須藤 雄二
2. 新入会員のインフォメーションの実施 計6名
3. ラウンドテーブル会の開催
 - ①2007年11月27日 テーマ「不詳」
4. 定款細則の変更案のまとめ及び報告
5. 新入会員インフォメーション資料の作成

〈2008～2009年度〉

1. 委員長 田中 健三
2. 新入会員のインフォメーションの実施 計6名
3. ラウンドテーブル会の開催
 - ①2009年2月24日 テーマ「クラブメンバーにとって神戸東RCって何？」
4. バズセッションの開催

テーマ「クラブメンバーとしての神戸東RCをどのようなクラブにしたいですか？」
5. 会員意義アンケートの実施 2009年2月17日実施（資料結果は会報）
6. 例会卓話

テーマ「神戸東RCの目指すものは？」未来委員長 久野 薫
7. 週報に「ひとくちからくちインフォメーション」として記事を掲載

〈2009～2010年度〉

1. 委員長 小倉 宗夫
2. 新入会員のインフォメーションの実施 計8名
3. ラウンドテーブル会の開催
 - ①2009年9月15日 テーマ「例会のあり方」
 - ②2010年1月29日 テーマ「職業奉仕ってなんだ？」
 - ③2010年5月11日 テーマ「地区大会について」

〈2010～2011年度〉

1. 委員長 中井 章詞
2. 新入会員のインフォメーションの実施 計8名

3. ラウンドテーブル会の開催

- ①2010年10月26日 ②2011年2月22日 ③2011年5月17日
- いずれも、「クラブリーダーシッププランCLP」及び「ロータリー財団未来の夢計画に関する研究結果」を発表した。

4. 例会卓話

- テーマ「2010年度規定審議会の報告」

5. その他

- 「2010年度規定審議会の決議案に伴う定款・細則の変更点について」委員会において協議し、理事、役員会で報告。

〈2011～2012年度〉

1. 委員長 鎌田 哲夫
2. 新入会員のインフォメーションの実施 計8名
3. ラウンドテーブル会の開催
 - ①2012年1月24日 テーマ「ロータリーって何だ」
 - ②2012年4月17日 テーマ「P.F.ドラッカと我社の経営」 職業奉仕委員長 井元 憲生
 - ③2012年6月19日 第3回ラウンドテーブル会は台風のため中止
4. 例会での情報委員長卓話

テーマ「奉仕の理想と原点－「黄金律」の世界－」
5. 「ロータリークラブ」に関する意識調査（アンケート形式による）

2011年11月8日実施、会報に結果掲載
6. 2011年8月27日、10月30日の第2680地区クラブ研修リーダー会議に出席。

〈2012～2013年度〉

1. 委員長 澤田 正樹
2. 新入会員のインフォメーションの実施 計5名
3. ラウンドテーブル会の開催
 - ①2012年9月25日 テーマ「神戸東ロータリークラブの「楽しい事」「面白くない事」「押さえておかないといけない事」
 - ②2013年1月25日 テーマ「ロータリークラブの昨日、今日、明日：変遷しているものしないもの」
 - ③2013年5月21日 テーマ「大企業における会社行動の理念や倫理規範にみられるロータリー精神」
4. 2013年規定審議会の結果の調査報告

会員増強委員会

大澤 勇

会員増強委員長

50周年の記念誌においては、会員増強委員会の歴史が記載され、その他「質と量の問題」・「1業1人の原則緩和」・「未充填職業分野の増強活動」等、会員増強の根幹に係る内容が提起され、併せて会員数の足跡が紹介されました。

会員増強委員会：この10年間の歩み

まず初めに、創立50周年以降のこの10年間の年度末会員数の推移を歴代会員増強委員長名を挙げながらご紹介します。

H16.7.1～H17.6.30	石橋 恒生	入会4	退会4	増減0	会員数105
H17.7.1～H18.6.30	西原興一郎	入会7	退会7	増減0	会員数105
H18.7.1～H19.6.30	金栄 昭彦	入会7	退会8	増減-1	会員数104
H19.7.1～H20.6.30	三原 孝公	入会3	退会8	増減-5	会員数 99
H20.7.1～H21.6.30	植村 孝一	入会9	退会8	増減+1	会員数100
H21.7.1～H22.6.30	土城 敏彦	入会7	退会8	増減-1	会員数 99
H22.7.1～H23.6.30	吉田 茂	入会9	退会3	増減+6	会員数105
H23.7.1～H24.6.30	鮑 悅初	入会8	退会9	増減-1	会員数104
H24.7.1～H25.6.30	岡 栄治	入会5	退会4	増減+1	会員数105
H25.7.1～H26.6.30	大澤 勇	入会3	退会2	増減+1	会員数106
*H26.5.31現在					会員数106

この10年間の基本方針・活動報告については以下の如く要約します。

＜石橋委員長＞

基本方針：次なる50年に向けて、クラブ活力の増進・異業種交流の活発化の為に地域内のリーダーたる人材の増強を図る。

活動報告：例会におけるミニパネルディスカッションを開催。

未充填職業に該当する候補者のリスト作成・メンバーへの配布。

前年の継続紹介リスト作成・会員よりの紹介者を個別に勧誘。

年度末職業分類リストの作成。

＜西原委員長＞

基本方針：クラブ活力の維持向上のため、地域内リーダーの人に参加要請。

10%ルールに則り、職業分類表を簡素化する。

活動報告：職業分類表の簡素化を行い、職業分類の見直しを実行。

年度末職業分類表の作成。

＜金栄委員長＞

基本方針：ロータリーの輪を広げ、仲間を増やすため、より多くの職種から地域内リーダーたる人材の増強を図る。

活動報告：会員の皆様の協力により最小限の会員減少にとどめる事が出来た。

年度末職業分類表の作成。

＜三原委員長＞

基本方針：クラブの活性化を目指す為に、職業分類に照らし合わせ、積極的に適確な方を勧誘する。

活動報告：例会プログラムで会員増強に造詣の深い高嶋良平会員に講演をお願いし会員各位に理解を深めて頂いた。

委員会において方策を協議した。

会員各位へ9月14日と1月23日の例会で入会候補者の御紹介願書を作成の上、配布した。

4月14日に書面委員会を行い、増強方策を協議した。

形成外科を新設の分類にする為、理事会に書類を提出した。

年度末職業分類表の作成。

＜植村委員長＞

基本方針：神戸東RCの活性化を図る為、地域・職業分類を考慮しつつ会員増強を会員全員で努力する。

活動報告：全会員にお願いして、会員増強リストを作成し、個別に勧誘。

教育・文化・酒造・金融の方々を重点的に勧誘。

会員増強リストは増強委員会に引き継ぐ。

年度末職業分類表の作成。

＜土城委員長＞

基本方針：クラブの活力の維持向上を目指して、会員の増強を図る。

現会員の協力の下、広報活動に力を入れ会員増強に努める。

活動報告：今期入会者の報告。

年度末職業分類表の作成。

＜吉田委員長＞

基本方針：クラブ活動を維持し、活性化を図り、共に活動できる仲間を増やす為に増強を図る。

会員全員で新会員の増強が出来る様に広報活動する。

活動報告：今期入会者の報告。

全会員に依頼し、新会員候補者をリストアップし定期的に連絡を取り、入会の意思

会員選考・職業分類委員会

吉田建美

会員選考・職業分類委員長

を促し増強を図った。

<鮑 委員長>

基本方針：会長方針「健康で明るく楽しいロータリークラブ活動」の下、健康か？明るいか？
楽しいか？を基準に仲間を増やし、我がクラブの人的魅力の強化を図る。

活動報告：今期入会者・退会者の報告。

<岡 委員長>

基本方針：クラブの活力向上のためには、フレッシュな会員流入と会員数の維持が必要。全会員の理解と協力を得て会員増強を図る。

活動報告：8月例会で地区増強委員長の猿 泰吉氏より、「会員増強月間に因んで」というテーマで卓話を頂きました。

今期入会者の報告。

年度末職業分類表の作成。

<大澤委員長>

基本方針：クラブ創立60周年という節目に組織を改めて活力あるものにする為、会員数の維持向上に努める。特に若い会員の流入を図り組織の活性化を目指します。

活動報告：6月8日の地区増強セミナーに野々村会長と参加し、地区の研修資料に基づいて8月20日例会で「会員増強月間及び拡大月間に因んで」というテーマで卓話をさせて頂き、会員増強の現状を説明し、会員全員参加の協力を要請。

8月2日の第1例会で会員候補者に関するアンケートを実施し、結果データを作成し、増強資料として活用する。

以上、10年間の会員増強委員会の活動報告を致しました。

総括致しますと、1年間の単年度活動としては、毎年事に担当委員長を中心としてそれなりの結果を残してはいますが、継続性に欠ける様に思われます。候補者に対する勧誘活動はある程度長期で仕掛けていかなければいけませんし、又その為のきめの細かい資料作りも必要と思われます。

増強活動は、委員会単独の力では、非常に困難な状況にあると思われます。そういう意味で、今回の創立60周年を契機に設立された「会員増強プロジェクトチーム」は正に時機を得たものと思います。委員会も頑張りますが、当クラブ全員の総合力で乗り切りましょう!!

2004年～2009年度は会員増強・職業分類委員会、並びに会員選考委員会の構成であったが、委員会の機能的な面を考慮して、2010年度以降は会員増強委員会、並びに会員選考・職業分類委員会の構成になっている。

この10年間の委員会方針について総じて述べれば、会員選考委員会としては会員増強委員会を通じて会員候補として推薦された人のロータリアンとしての適格性、及び職業上ならびに社会的地位を検討・評価し、人格的にも会員としてふさわしいかどうかを調査して理事会に報告することを方針として活動してきた。選考に当たっては、奉仕の精神に溢れているか、例会に規定通り出席でき、クラブの諸活動に積極的に参加出来る意志があるか等についての確認が肝要と考えられてきた。

職業分類委員会としては、当クラブの有する職業分類表を絶えず検討しながら、実情に合わせて柔軟に、かつ、規則に則した変更を的確に行い、会員に対して広報してきた。これら2つの委員会はいずれもクラブの在り方とも密接に関係していると言える。

ロータリーの職業分類は1業種1名を原則としていたが、2001年の規定審議会の決定により、会員数が51名以上のクラブでは全会員の10%を超えない範囲で（それ以下の会員数のクラブでは5名まで）、同業種の正会員が受け入れられるようになったので、会員増強が比較的行い易くなつたが、よりバランスのとれたクラブに導くには、やはり職業分類表を基本に、より幅広い職業分野からの会員が入会されることが望まれる。

今後とも、全会員の協力を得ながら、特に職業分類表の未充填分野への会員の充実に努めること、また、退会防止のためにも推薦者と新入会員との密な関係、そして入会時の懇切なインフォメーション、入会後のフォローが非常に重要であると考えられる。併せて、近年のRIの考え方からみても、我がクラブにおける女性会員の入会問題について、多面的に調査、議論を進めておくことが必要であろう。

米山奨学委員会

吉田正人

米山奨学委員長

過去10年間の各委員長並びに新入会者は次の通りである。

- 2004年度 石橋恒生会員増強・職業分類委員会委員長／増田光夫会員選考委員会委員長
中田晴夫（電話事業）、横山幹夫（非鉄金属配布）、奥村昌彦（証券業）
- 2005年度 西原興一郎会員増強・職業分類委員会委員長／樽本久会員選考委員会委員長
平岡秀樹（電気・電子工業）、安藤進（建設業）、山崎仁嗣（料理店）、
西藤直人（ゴム工業）、青山一（不動産業）、松井泰隆（酒精飲料）、松岡義幸（ホテル）
- 2006年度 金栄昭彦会員増強・職業分類委員会委員長／三原孝公会員選考委員会委員長
樋口一哉（鉄鋼業）、宮昭久（病院）、富永利光（植物性食品）、横山公一（事務所用品）、
江口行生（医療コンサルタント）、土田剛司（不動産コンサルタント）、
竹崎恵一（証券業・商品先物取引業）
- 2007年度 三原孝公会員増強・職業分類委員会委員長／光葉貞男会員選考委員会委員長
高田英輝（司法書士）、高石昇（精神科）、澤田正樹（形成外科）
- 2008年度 植村孝一会員増強・職業分類委員会委員長／高橋恵俊会員選考委員会委員長
中尾優（弁理士）、宗野正吾（建設業）、清水和（生命保険）、
青井克巳（証券業・商品先物取引業）、松居隆（火災保険）、古賀朗（酒精飲料）、
松谷齊泰（被服工業）、三戸岡秀樹（内科）、石塚俊志（電気・電子工業）
- 2009年度 土城敏彦会員増強・職業分類委員会委員長／西原興一郎会員選考委員会委員長
藤原崇晴（建設業）、石川泰平（ゴム工業）、中小路公朗（運輸業）、大澤勇（スポーツ）、
中川俊（ビルディング管理）、梅田稔（食品業）、山下恒司（証券業）
- 2010年度 壱井醇会員選考・職業分類委員会委員長
四方克明（建設業）、友藤順義（日用品雑貨）、林伯正（不動産管理業）、藤本義洋（歯科）、
加納哲裕（建設業）、近藤丈晴（電気機器製造販売）、香山道宣（旅行社）、
阿部祐司（生命保険）、田中寿夫（税理士）
- 2011年度 澤田正樹会員選考・職業分類委員会委員長
金谷卓実（金融都市銀行）、三野哲治（ゴム工業）、村元信吾（電気部品製造販売）、
石本一生（ホテル）、上月福男（貿易）、尾崎秀雄（酒精飲料・ビール醸造）、
樋野孝人（ラジオ放送）、弘田芳裕（酒精飲料販売）
- 2012年度 植村孝一会員選考・職業分類委員会委員長
山本裕計（情報・調査サービス）、山田直造（金融都市銀行）、
佐井奇正（不動産業・不動産賃貸）、前田正学（証券会社）、菅野和矢（宿泊施設・ホテル）
- 2013年度 吉田建美会員選考・職業分類委員会委員長
藤井光造（室内装飾品）、白田勉（保険代理業）、松島哲也（食品検査）

(2013年12月現在)

<当クラブがお世話をした米山奨学生>

当クラブは世話クラブとして米山奨学生のお世話をしており、奨学生には米山月間卓話をして頂いております。以下、米山奨学生の氏名（国籍、カウンセラー名）、大学と専攻。

- ・2004-06年 王金波さん（中国）（則岡弘士カウンセラー）
神戸大学大学院 経済研究科 博士後期課程
- ・2006-07年 王念家さん（中国）（吉井正幸カウンセラー）
神戸大学大学院 総合人間科学研究科 修士課程
- ・2007-09年 関勇さん（中国）（尾山宜道カウンセラー）
松蔭女子学院 国語国文学専攻 修士課程
- ・2008-10年 チャン・ミン・フェさん（ベトナム）（向井菊美カウンセラー）
神戸大学大学院 國際協力研究科 國際開発政策専攻 修士課程
※海外応募奨学生
- ・2011-12年 蔡乘芳さん（台湾）（松谷齊泰カウンセラー）
神戸大学大学院 修士課程
- ・2012-13年 張長武さん（中国）（石川泰平カウンセラー）
神戸大学大学院 國際文化額研究科 アジア・太平洋文化論コース 博士前期課程
- ・2013-14年 トラン・バン・フュンさん（ベトナム）（三戸岡英樹カウンセラー）
神戸大学大学院 医学部循環器内科 博士課程

<当クラブの米山功労クラブ達成の記録（達成日）>

当クラブの米山功労クラブ達成は23回を数えます（2013年9月現在）。1996年からは毎年のように達成しております。

- | | | |
|------------------|-------------------|------------------|
| 第1回（1982年4月21日） | 第2回（1986年2月6日） | 第3回（1989年9月14日） |
| 第4回（1993年10月26日） | 第5回（1996年11月8日） | 第6回（1997年5月2日） |
| 第7回（1999年5月27日） | 第8回（1999年11月2日） | 第9回（2000年10月2日） |
| 第10回（2001年3月8日） | 第11回（2002年6月21日） | 第12回（2003年6月16日） |
| 第13回（2003年12月1日） | 第14回（2004年12月24日） | 第15回（2006年6月28日） |
| 第16回（2007年8月22日） | 第17回（2008年7月31日） | 第18回（2009年6月26日） |

第19回（2010年6月24日） 第20回（2011年6月30日） 第21回（2011年12月28日）
 第22回（2013年1月31日） 第23回（2013年9月4日）

<当地区の学友会について>

当初は当2680地区には米山奨学会学友会が無く、大阪地区の「関西学友会」（創設1986年）に合同の形でお世話になっており、当地区としての現役奨学生や学友生に対する集団的行事や活動は有りませんでした。関西学友会には毎年25-35万円の支援金を送っていました。そこで当地区に独立した学友会を創設しようと、当クラブ向井菊美会員を含む有志で半年をかけ米山記念奨学会と交渉して約10名の設立役員会を作つて会合を重ね、必要書類、申請書を作成し米山記念奨学会に提出、ようやく2004年5月に独立承認を受けました。その後関西学友会からは分離し、毎年米山記念奨学会から補助金を受けて奨学生と学友会員の活動を活発に行うようになりました。

<米山記念奨学事業について>

今年度米山月間の卓話で紹介しきれなかった実例もありますので、ここでまとめて紹介させて頂き、米山記念奨学事業の意義について、まとめたいと思います。

◎母国と日本の架け橋になって国際交流に貢献されている米山学友生の例

賴明珠（ライ・ミンチュ）氏（台湾）

- ・1977-78年、千葉大学大学院
- ・翻訳家として活躍。
- ・今や海外でもファンの多い、村上春樹氏の作品を最初に翻訳し、台湾に紹介した。

以来、村上氏の作品の翻訳を30冊以上手がける、中国圏を代表する村上作品の翻訳家。

權哲賢（クォン・チョルヒョン）氏（韓国）

- ・1984-87年、筑波大学大学院
- ・第18代・駐日大韓民国特命全権大使（駐日韓国大使）
- ・東亜大学教授などを務め、1996年から国会議員に当選3回、大統領選では大統領補佐官を務めた。2008年から3年間駐日韓国大使を務めた。

姬軍（キ・グン）氏（中国）

- ・1995-97年、東京大学大学院
- ・北京・上海で弁護士として活躍。
- ・顧客として日本企業が多く、2007年にはヤマハ発動機を原告とする商標権侵害訴訟を担当し、涉外商標権の損害賠償額としては過去最高額の830万元を勝ち取り、日本でも話題になった。
- ・2007年より米山記念奨学会に毎年50万円の寄付を続けている。

◎両国の友好と平和に貢献されている（された）ロータリアンや米山学友生の例

ドナルド・ファークハーフ氏（豪州のロータリアン）

- ・日本で初めてロータリークラブの青少年交換が行われたのは1962年。日本からの留学生派遣の第一号。これを実現させた方は、何と第二次世界大戦における日本軍との戦いで両目を失った豪州（オーストラリア）のロータリアンだった。
- ・このロータリアンの行動は平和への思いであり、米山奨学事業も正にこれと同様に平和への

思いが原点である。

楊小平（ヨウ・ショウヘイ）氏（中国）

- ・米山親善大使に選ばれた米山学友生。広島大学大学院・国際協力研究科客員研究員。
- ・5年前から勉強とアルバイトの合間にぬってピースボランティアの活動を行っている。広島の原爆資料館で案内と解説を行っている。
- ・「平和スタディーツアー」という中国を知るツアーを開催。日本人を案内している。
- ・彼が周樹人（シュウジュジン／中国の小説家思想家）から学ぶ事として一節を紹介。「一年の計は穀を樹（う）うるに如（ごと）くは莫（な）く、十年の計は木を樹（う）うるに如（ごと）くは莫（な）く、終身の計は人を樹（た）つるに如（ごと）くは莫（な）し」（穀物を育てるには1年を要する。木を育てるには10年を要する。人を育てるのは一生かかる大事業である）つまり、一生かかって平和の大切さを伝える（教育）することが必要である。

◎前述のような例は少なくありません。米山記念奨学事業は、戦後の「平和日本」を世界に伝え、国際親善と平和に寄与したいという願いから始まりました。現在中国や韓国との歴史問題があります。しかし草の根的ではあるが、歴史問題を超えて友情を持つ事が重要であり、友情なくして平和は無いと云うことなのです。

ロータリー財団委員会

尾山宜道

ロータリー財団委員長

ロータリー財団の使命は、地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じてロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を資金的側面を中心に支援することである。

当、神戸東ロータリークラブはこの10年間、財団への寄付金目標 \$ 100／人を達成しつづけ、さらなる目標 \$ 150／人に近づく奉仕をしてまいりました。又、地区補助金を利用した数々のプログラムを執り入れ、地域に還元してまいりました。

年度	2003-04	2004-05	2005-06	2006-07	2007-08
会員数	105名	105名	105名	104名	99名
委員長	道上 明	金栄昭彦	小泉進吉	中井章詞	鎌田哲夫
ロータリーカー 寄付 財団	クラブ	830000	830000	818000	818000
	会員	224000	420000	444000	652800
ポールハリス フェロー	2名	4名	3名	2名	8名
準フェロー				7名	3名
ベネファクター			1名	1名	
その他					
地区補助金					

2008-09	2009-10	2010-11	2011-12	2012-13	2013-14
100名	99名	105名	104名	105名	106名
西原興一郎	壺井 醇	多田善計	横山公一	伊藤隆啓	尾山宜道
1000000	918000	906000	948000	918000	1061500
246000	703800	574600	468000	478700	502200
5名	3名	4名	5名	3名	3名
3名	2名	4名	1名	1名	4名
	2名	2名	1名	1名	1名
	ポリオ 180000		ポリオ 156000		
野球 108000	招待ボウリング 169000	コンサート 250000		友生植樹 131300	和太鼓・写生大会 900000

ゴルフ同好会

代表世話人 野田晴清

ゴルフ同好会は現在45名(2013年11月現在)の会員が入会され、毎年3回の競技会を開催しています。その3回はそれぞれ趣向の異なった懇親会で会員相互の結束を深めています。

第1回目は、納涼例会として、標高約900m六甲山頂、日本ゴルフ史、最古の神戸ゴルフ俱楽部にて、9月上旬に開催し、旬を先取りした、松茸山盛りのすき焼きを食べながら。

第2回目は、忘年例会として、小野ゴルフ俱楽部、六甲国際ゴルフ俱楽部、西宮カントリー俱楽部などで、12月に開催。

第3回目は、お花見例会として、広野ゴルフ俱楽部にて4月上旬に開催しています。広野ゴルフ俱楽部には多数の桜の木があり、当日に桜が満開になる様に開催日を設定致しますが、年度により当たり外れがありますが、満開に当たると幹事冥利に尽きます。

本年度は神戸東RC創立60周年という事で、記念事業の一環として、2014年4月3日(木)に広野ゴルフ俱楽部にてコンペをゴルフ同好会が世話係として開催致しました。

ゴルフ同好会は、野田永久代表世話人を筆頭に、樽本会員、小倉会員、木下健会員を相談役として懇親を深めてまいります。今後とも御協力宜しくお願ひ申し上げます。

(文責 世話人 尾山宜道)

	優勝	2位	3位	シニア優勝
2008年～ 2009年	①神戸GC ②小野GC ③広野GC	尾山 宮 松井	畠崎 土城 畠崎	樽本 江口 横山公
	①神戸GC ②六甲国際GC ③広野GC	木下健 松井 石橋	西原 吉本 川崎	樽本 木下健 尾山
	①神戸GC ②六甲国際GC ③広野GC	角田 土城 田中健	池西 尾山 川崎	吉本 木下健 樽本
2010年～ 2011年	①神戸GC ②六甲国際GC ③広野GC	木下健 松井 村元	尾山 土城 土城	澤田 江口 上村修
	①神戸GC ②小野GC ③広野GC	木下健 松井 上村修	尾山 土城 尾山	木下健 三原 木下健
	①神戸GC ②小野GC ③広野GC	樽本 川崎 上村修	木下健 池西 尾山	小倉 尾山 則岡
2012年～ 2013年	①神戸GC ②小野GC ③広野GC	友藤 川崎 尾山	三原 土城 尾山	友藤 中川 友藤
	①神戸GC ②西宮GC ③60周年広野GC	四方	尾山	土城 友藤
	②及び60周年広野GCはダブルベリア			
シニアは70才以上				

俳句同好会「余韻会」

代表世話人 執行英毅

第1回の俳句会が昭和43年9月17日の夜、当時の国際会館地下のニューコーベで開かれました。この第1回目の句会から数えて45年間続いている俳句同好会に歴史の重みを改めて感じます。

近年は句集の名前から俳句同好会を「余韻会」と命名し、「ホトトギス」の名誉主宰稻畠汀子先生のご紹介により、平成16年4月以降「ホトトギス」同人の本郷桂子先生の指導の下、句会は月1回のペースで会食の後に開かれています。

本当に和気藹々として楽しい句会で、また、年1回は壇井仙岳会員のお世話で遠出をして吟行も開かれて楽しい時間を過ごさせて頂いています。これが本当の同好会の姿だと思っています。

神戸東RC創立50周年記念誌に句集「余韻(三)」まで発行されたこと、そして出句者が記載されていました。そしてこの60周年を記念して句集「余韻(六)」が今年度発行されました。

ここで句集「余韻(四)から(六)」の出句者を記します。

句集「余韻(四)」 平成19年10月30日 発行

出句者 (遺句) 金子太朗 友藤紀子 植村智恵 柏井博之

本郷桂子 池西清栄 池西正光 加藤凡紹 小泉子韻 執行執事 角田伯堂 橋 恵子
田中義明 壇井仙岳 吉井聖偉

句集「余韻(五)」 平成22年10月30日 発行

出句者 本郷桂子 池西清栄 加藤凡紹 小泉子韻 執行執事 角田伯堂 高石潜菴 橋 恵子
壇井仙岳 則岡弘士 橋本豊祥 松谷泰山 吉井聖偉

句集「余韻(六)」 平成26年4月8日 発行

出句者 本郷桂子 池西清栄 加藤凡紹 小泉子韻 香山道宣 執行執事 白羽子誠 角田伯堂
高石潜菴 橋 恵子 壇井仙岳 則岡弘士 松谷泰山 松原氣宏 吉井聖偉

※最近の句会に出句された会員の作品です。

娘の水仕ゆづりたるより癒えし畔

桂子

おもむろに海暮れにけり月の舟

執事

妻刻む包丁の音冬めきぬ

潜菴

クリムトの金色が散る大銀杏

弘士

シクラメン部屋の冷気を和らげり

子誠

轍を隠すでもなき匠かな

仙岳

朝の日に氷柱輝く山の宿

聖偉

肌寒や淡き日差しの裏通り

清栄

日のひかり冬めく影が壁に揺れ

平

雪明り一歩一歩を踏みしめて

道宣

母偲ぶ轍の手で農作業

氣宏

正月と言へど変らぬ犬の声

恵子



コーラス同好会

代表世話人 上村伸幸

コーラス同好会が1976年10月に誕生してから現在で38年目に入っています。2013年12月現在の同好会メンバーは14名です。主な活動は、毎例会時の練習、むつみ会コーラスの皆さんと合同の「神戸東RC合唱団」として、忘年家族会および創立記念例会時の合唱披露、毎年5月か6月に開催される全日本RC親睦合唱祭への参加です。

10年前のクラブ創立50周年の記念行事の一つとして第10回全日本RC親睦合唱祭を当クラブが主催しましたが、それ以降もこの合唱祭に参加することを1年間の節目としています。練習時間が限られていますので、翌年度に発表する曲をその年の6月後半頃から練習開始し、ほぼ1年をかけて2曲から3曲程度暗譜するまで歌いこむというのが最近の進め方です。

西村雅子先生の選曲、編曲、指揮および毎例会時の的確なご指導により、またピアニストの片桐えみさんの素晴らしい伴奏によって、我が神戸東RC合唱団の合唱祭における評価も年々上昇しているように感じています。また、男声と女声の合同練習の場所をいつも提供していただく神戸トヨペット(株)様(西村太一会員)のご協力にはメンバー全員感謝しています。

最近10年間の合唱祭等における発表曲は以下のとおりです(括弧書きは合唱祭開催地)。

- 2004-05年度(長崎市) : 「サウンドオブミュージック」「エーデルワイス」「ドレミの歌」
- 2005-06年度(京都市) : 「廃墟の鳩」「愛をこめて」
- 2006-07年度(札幌市) : 「Amazing Grace」「When The Saints Go Marching In」
- 2007-08年度(松江市) : 「小さな喫茶店」「あの素晴らしい愛をもう一度」
- 2008-09年度(名古屋市) : 「新しい朝」「これが音楽」
- 2009-10年度(福山市) : 「TSUNAMI」「南の島のハメハメハ大王」
- 2010-11年度(東北大震災のため中止) : 「星に願いを」「ハイ・ホー」(クラブの社会奉仕事業、「心重ねて愛の歌コンサート」および地区開催の「ポリオをなくそう!チャリティコンサート」出演)
- 2011-12年度(横浜市) : サウンドオブミュージックよりメドレー(「全ての山に登れ」「私のお気に入り」「ドレミの歌」)
- 2012-13年度(神戸市) : 「さよならをするために」「上を向いて歩こう」
- 2013-14年度(名古屋市) : 「贈る言葉」「愛は勝つ」

文責: 横原 志郎

絵画・写真同好会「東彩会」

代表世話人 小倉宗夫

クラブ創立35周年記念に、「絵画同好会」として作品展示したのが活動の始まりです。当初の会員は9名でした。平成8年から絵画・写真同好会「東彩会」として会期6日間の作品展を開催いたしました。毎回20点から30点の油絵、アクリル絵、ガッシュ絵、水彩、写真などのバラエティ豊かな作品展を開催しています。通年活動としては室内人物、静物描写、野外での写生会を実施し、時には講師を招きさらなる上達への道を目指しています。

現在の会員は16名です。(敬称略ABC順)

日下 譲 香山道宣 三原孝公 宮 昭久 村元信吾 野田晴清 則岡弘士 小倉宗夫
太原震也 太原晃一 澤田正樹 白羽 誠 角田嘉宏 高石 昇 高石 和 吉田建美

2009年度より2014年の主な活動を報告します。

2009-2010年度

- ・2009年10月17日 明石市内スケッチ会
画題:明石港、明石城など 参加者:5名
同日懇親会を開催
- ・2010年3月22日 有馬温泉スケッチ会
画題:温泉街風景 参加者:6名
同日懇親夕食会を開催
- ・2010年4月13-17日 第15回「東彩会」
県民アートギャラリーにて開催 出展品:油絵、
水彩、ガッシュ、写真 25点 参加者:10名
- ・2010年5月29日 ポートビアホテル(メンバーズ・
ラウンジ)写生会 画題:静物画 参加者:4名

2010-2011年度

- ・2010年12月11日 神戸 相楽園写生会
画題:園内写生 参加者:10名
降雨の為中止となり夕刻より懇親会開催
- ・2011年3月22日 ダイヤモンドギャラリーにて
人物写生会
画題:和装婦人像 参加者:11名(三木RCより大
西氏特別参加) 終了後、夕食会開催
- ・2011年4月12日-16日 第16回東彩会
県民アートギャラリーにて開催
出品品目:油彩、水彩、ガッシュ、アクリル、写真
計27点 出展者:14名 来場者:180名

2011-2012年度

- ・2011年10月22日 洲本「サンピアマリーナ」
写生会 雨天中止
- ・2011年12月23日 ミハラ歯研会議室にて写生会
画題:「花」、「静物」 参加者:8名
指導:久保昌由先生
同夕刻、I.Y.F.R.同好会と合同忘年会開催した。
- ・2012年4月10日-14日 第17回東彩会
県民アートギャラリーにて開催
出品品目:油彩、水彩、ガッシュ、水墨、写真
計25点 出展者:13名

2012-2013年度

- ・2012年12月21日 ダイヤモンドギャラリーにて
「人物写生会」 画題:民族衣装の女性

参加者:9名 同日夕刻、忘年懇親会を開催した。

- ・2013年4月9日-13日 第18回東彩会
県民アートギャラリーにて開催
出品品目:油彩、水彩、ガッシュ、アクリル、水墨、
写真 計25点 出展者:14名
来展者は250名を超え、盛況に開催出来た。
- ・2012年6月23日洲本「サンピアマリーナ」写生会
画題:マリーナ風景 参加者:8名
指導:久保昌由先生

2013-2014年度

- ・2014年7月13日 三田永沢寺菖蒲園にて写生会
開催 画題:「菖蒲園」、近接の山々の風景
参加者:10名
早朝から三宮に集合し夕刻帰神まで楽しい1日
であった。
- ・2014年4月8日より6日間 兵庫県民アートギャラリーにて、60周年記念 第19回東彩会を開催予定、ならびに4月8日の記念式場では一部メンバー作品の展示を行います。

今後の絵画・写真同好会メンバーは 室内、野外での写生会 そして作品展での切磋琢磨を通じ、メンバー交流や技法や巧みの技の上達を目指して行きます。

絵、写真を好きな方は 是非 当同好会への参加をお待ちしております。



2013年7月 永沢寺にて

ワイン同好会

世話人 角田嘉宏 今井拓雄

① 同好会会員名簿

会員制をとっていないので、その都度、クラブ会員及び、ご家族の参加を募っています。

② 2013年7月24日(水) 神戸ポートピアホテル南館 レヴァンテ

テーマ イタリア「トスカーナ」地方のワイン

会費 1万円 参加者24名

2014年4月15日(火) 神戸ポートピアホテル南館 レヴァンテ

テーマ 「アメリカのワインいろいろ」

会費 1万円 参加者33名

③ ワイン同好会では世界のワインを味わいながら会員同志の親睦を深めるだけでなく、ワインを通じて世界各地の歴史と文化を理解し親善を深めていきたいと考えています。



麻雀同好会「楼満会」

代表世話人 田中健三

神戸東ロータリークラブ創立60周年記念大会として久しぶりに開催いたしました。

今回は特別に神戸西ロータリークラブよりお二人(河野賢三・大澤裕信氏)の腕自慢にも挑戦参加頂き和やかな会が開催できました。

成績は別にして健全な麻雀としての大役や難しい手作りを存分に楽しめたと思いますが、一番は何と言っても打ち解けた雰囲気の中で親睦が図れ友情が深められた事だと思います。

優勝はゴルフ同好会でも優勝した尾山会員が素晴らしい成績で西クラブの河野賢三氏との接戦を征し、東クラブの面目を保つことが出来ました。

素朴でアナログなゲームですが長い歴史の有る碁や将棋同様に現在まで愛されているのにはそれなりの魅力が有っての事なんだと思います。これからも頭と指先の体操と考え楽しんで行きたいものです。

「ウオクニ」さんの松花堂弁当美味しかったです。

開催日時：平成26年4月18日(金)18:00～

開催場所：中央区下山手通 麻雀クラブ「りぼん」

参加人数：16名



料理同好会

会長 鎌田哲夫

「料理同好会」の平成18(2006)年から平成24(2012)年までの歩み」

1. 「料理同好会」(「イケメン・クッキング・アカデミー」)会員名簿

会長 鎌田 哲夫 副会長 野々村禎之 幹事 田中 義明
 石橋 恒生、岩野 了、植村 孝一、加藤 昇治、嘉納 忠夫、白羽 誠、則岡 弘士、
 森本 一裕、山本康一郎、横山 幹夫、吉井 正幸、吉田 建美、吉田 茂、三原 孝公、
 野田 晴清、山崎 仁嗣、角田 嘉宏、土田 剛司、池西 正光、宮 昭久、高田 英輝

2. 「料理同好会」(「イケメン・クッキング・アカデミー」)の創立まで

(1) 「料理同好会」の発足のきっかけは、平成17年末の忘年家族会の宴席での話からです。同じテーブルにいた、寺井啓勝会員(その後退会)が「料理を作つて食べる会をしませんか」と言いました。田中義明会員が「嫁に逃げられた時に俺もやりたい」とそれに合わせて盛り上がりしました。

そこで、私がその段取りをすることを約し、野々村禎之会員に協力を要請し、ともかくやってみようということになりました。

(2) 野々村会員の協力で、場所としては「ウォクニ」の調理室を使い、料理については同社のスタッフに手伝ってもらうことになりました。

まずはやってみようということで、平成18年3月7日、平成18年5月16日の2回、プレ準備会を行い、平成18年7月18日に創立第1回例会を行いました。

(3) 当クラブの料理同好会は「イケメン・クッキング・アカデミー」と称しております。「イケメン」は白羽誠会員の発案です。「イケメン」は、「EAST KOBE MEN'S」をあて、それに「クッキング・アカデミー」と続けたものです。

おそろいのエプロンを発注して、それには、岩野了会員に「ロゴ・マーク」を作成していました。だき、刺繡で入れてもらいました。

3. その後、どのようなテーマで行ったかを整理しました。

(1) 平成18(2006)年～同19(2007)年

- 第1回 H18. 7. 18 テーマ「魚をさばく」
- 第2回 H18. 9. 19 「アジ料理とイタリア料理」
- 第3回 H18. 10. 17 「いかとたこ料理」
- 第4回 H18. 11. 21 「ぎょうざと炒めもの」
- 第5回 H19. 1. 23 「“飲んだくれ”の会」
- 第6回 H19. 2. 20 「中華料理あれこれ」
- 第7回 H19. 3. 27 「魚料理あれこれ」
- 第8回 H19. 4. 24 「素材に挑戦(フリー)」
- 第9回 H19. 5. 22 「素材に挑戦(フリー)」
- 第10回 H19. 6. 19 「素材に挑戦(フリー)」

(2) 平成19(2007)年～同20(2008)年

- 第11回 H19. 7. 24 テーマ「ステーキを焼く」
- 第12回 H19. 9. 11 「作りたい料理を作つてみよう」
- 第13回 H19. 10. 30 「秋を食べよう」
- 第14回 H19. 11. 20 「ブイヤベースを中心に入れこれ」
- 第15回 H20. 2. 19 「ロシア料理を作つてみよう」
- 第16回 H20. 3. 18 「カレーライスを中心として」
- 第17回 H20. 4. 15 「春の食材を使って」
- 第18回 H20. 5. 20 「色々作つてみよう」
- 第19回 H20. 6. 17 「全部自分で作つてみよう」

(3) 平成20(2008)年～同21(2009)年

- 第20回 H20. 7. 22 テーマ「創立3周年記念例会(「ローテローゼ」)」
- 第21回 H20. 9. 16 「魚、肉、野菜の料理」
- 第22回 H20. 10. 21 「ローストビーフと季節の野菜料理」
- 第23回 H20. 11. 25 「中国の鍋料理と旬の野菜」
- 第24回 H21. 2. 24 「ロールキャベツとブリ大根その他」
- 第25回 H21. 3. 17 「春野菜の天ぷらと旬の魚料理」

(4) 平成21(2009)年～同22(2010)年

- 第26回 H21. 7. 29 テーマ「創立4周年記念パーティ」「旧居留地十五番館」
- 第27回 H21. 9. 15 「パーティに利用できる料理を作ろう」
- 第28回 H21. 10. 27 「グラタン・マリネ・栗ご飯」
- 第29回 H21. 11. 24 「鍋とお造りと色々」
- 第30回 H21. 12. 20 「そば打ちの会」
- 第31回 H22. 2. 16 「寒さを鍋で吹っ飛ばそう」
- 第32回 H22. 3. 16 「春を感じる料理を作ろう」
- 第33回 H22. 4. 20 「鯛とステーキに挑戦」
- 第34回 H22. 5. 18 「中華料理に挑戦しよう」
- 第35回 H22. 6. 22 「タンドリーチキンのピリ辛でビールを飲もう」

(5) 平成22(2010)年～同23(2011)年

- 第36回 H22. 7. 27 テーマ「創立5周年記念パーティ」
- 第37回 H22. 9. 21 「クソ暑いのに鍋なんて」
- 第38回 H22. 10. 26 「秋の味覚に挑戦しよう」
- 第39回 H22. 11. 30 「冬の食材をおいしく食べよう！」
- 第40回 H23. 2. 15 「寒さに負けず温かいものを作ろう」
- 第41回 H23. 3. 15 「春を感じながら作つてみよう」
- 第42回 H23. 4. 19 「春を楽しもう」
- 第43回 H23. 5. 24 「春を楽しもう」
- 第44回 H23. 6. 21 「初夏を迎えて」

歩こう会

代表世話人 太原晃一

(6) 平成23(2011)年～同24(2012)年

- | | |
|----------------|----------------------------------|
| 第45回 H23. 7.26 | テーマ「創立6周年記念パーティ（「ホテルオークラビアガーデン」） |
| 第46回 H23. 9.27 | 「秋の美味に挑戦しよう」 |
| 第47回 H23.11.15 | 「季節の味に挑戦しよう」 |
| 第48回 H24. 3.27 | 「春らしい料理を作つてみよう」 |
| 第49回 H24. 4.24 | 「外の料理店の料理を勉強しよう」 |

4. 料理を作っている時の状況を説明します。

「2008年～2009年活動報告」に記載したものを再掲載いたします。

まず、集合時間が午後5時30分。会場はウォクニ本社ビル4階調理室。履物を履き替え、手を洗います。4つほどの調理台で、その日のメニューをそれぞれに分かれて作っていきます。それぞれの調理台にウォクニのサポートスタッフが2名ほど、約8人ほどがお手伝いをしてくれます。3年も経つとほとんどのメンバーが手際よくあつという間に仕上げていきます。当初心配した切り傷等の事故は一件もありません。専属ドクター白羽先生の出番はまだ一度もありません。

7時30分頃からは試食会です。アルコールは日本酒、ビール、ワイン、焼酎、紹興酒等、好きなものを飲んで貰っています。

約1時間、皆で作ったものを食べて飲んで、わいわい言って終了して解散です。

当初は、野菜の切り方、魚の裁き方などの練習から入りましたが、現在はほとんどが慣れて来て、毎回5～6品の中から自分が好きな料理を作っております。

平成21年3月度例会の料理メニューを紹介します。

- | | |
|---------|------------------|
| ○メイン | 春野菜の天ぷら |
| | 串カツ |
| ○旬の野菜料理 | 菜の花の辛子和え |
| | たけのことふきの煮物 |
| ○旬の魚料理 | さわらなど |
| ○その他 | 豆ごはん、吸い物、季節のフルーツ |

5. 平成24年4月24日、第49回をもちまして、一応「料理同好会」は休会しております。会員の皆さんから復活の声が上がりましたら、また新しい形で再開したいと思います。

同好会メンバー

畠崎 廣敏、久野 薫、松下 衛、三原 孝公、森本 一裕、野田 晴清、
則岡 弘士、澤田 正樹、角田 嘉宏、高橋 恵俊、友藤 順義、戸山 晶夫、
塚本 哲夫、山本康一郎、吉田 建美、太原 晃一

(順不同、敬称略)

本会は、メンバーの体力増進、及び親交を深める目的で結成され、15年余りが経ちました。加古川ツーデーマーチ10kmコースに参加したことを皮切りに、年に数回ながら、主に近郊の低山ハイクや街道ウォーキングを行ってまいりました。

時には非日常を求め、遠方へも足を延ばし、北は北海道・ニセコ、南は和歌山・熊野古道、東の尾瀬、西は大山等にも出かけております。

近年はメンバーも年輪を重ねるに従い、少々腰が重くなりつつあるよう、メインのハイキングよりも、歩いた後の反省会を楽しみに参加する方や、そちらから合流する方も多くなっております。

先細りになりつつある中、角田先生から

飛鳥歴史散策などをご提案いただき、新たな方向性も見えつつあります。同名別会が発足しているようですが、元祖“歩こう会”も活動を継続中です。

隠居するにはまだ早い。無理なく楽しく怪我なく歩く。（よく食べよく飲みよく話す？）これをモットーに、これからも皆さんと健康維持に努めてまいります。



カラオケ同好会

代表世話人 友藤順義

しばらく休眠状態にありましたが、平成23年(2011)3月に、前世話人の吉田建美・増田光夫両会員から引継ぎ、吉田 茂会員と一緒にお世話を引き受けし再開いたしました。

この同好会は数あるロータリークラブの中でも、珍しい同好会として平成元年(1989)10月に発足した歴史ある同好会でございます。

皆さんご存じのように世界の大衆文化、商品になった「カラオケ」は神戸が発祥でございます。

元会員の田端基宏さんが代表世話人になりスタートした当時は、今のような便利な通信カラオケシステムはなくて、表裏に24曲入ったレーザーディスクがやっと出来た頃でした。

発足から5年間は年6回の例会を持ち、クラブの家族会への出演、親睦会での協賛など幅広く活動し、平成2年(1990)には当クラブから新人プロ歌手もデビューするほど活発でした。しかし、平成7年(1995)の大震災で先細りになり復活までに何年かかりました。

現在は、年2回~3回の開催ですが歌の上手・下手に関係なく唄いたい方、聞きたいだけの方が集まって、食事を共にし楽しい一時を過ごしております。

尚、残っております資料から、過去の会員と現在参加して下さってる会員の名前を次に挙げさせて頂きます。



・1993(平成5年) 9・28

親睦会 フルーツフラワーパーク 出演者

三輪 吉郎・上嶋 義夫・飯田 存・西村 太一・角田 嘉宏・西村 雅子先生・友藤 順義

・1994(平成6年) 4・5

創立40周年記念式典 出演者による「酒よ」「影法師」2曲を歌う

西村 太一・大辻 正明・西原興一郎・光葉 貞男・高橋 恵俊・田中 健三・田端 基宏

上嶋 義夫・新宮 千早・増田 光夫・沓脱 安宏・的場 大和・高野 修臣・友藤 順義

・2001(平成13年) 4・10

創立例会の出演者

畠崎廣敏・吉田建美・大辻正明・東 浩哉・田端基宏・沓脱安宏・森川博一・友藤順義



・現在の会員

樽本・高石・畠崎・野田・角田・三原・太原・
吉田(建)・田中(義)・田中(健)・田中(寿)
伊藤(隆)・高橋・樋口・宮・石川・鎌田・多田・
久野・加納・香山・橋本・吉田(茂)・友藤

日本酒同好会

代表世話人 嘉納忠夫

日本酒が大好き、日本酒を飲みながらしゃべるのが大好きという同志20人が集まり、平成25年10月19日(土)に例会を開催した。

日本酒は日本文化であるという観点から思いきり和のテイストにこだわった。すなわち、

1. バスをチャーターし、「山田錦の里、吉川町」へ遠征
2. 時は中秋の名月の夜
3. 温泉を堪能
4. 地元産の和食
5. 消えつつあるカヤ葺屋根の民家を訪問
6. 長唄、三味線の演奏
7. 全員で日本の唱歌を合唱
8. 県内産の日本酒の飲みくらべ

いつも開催すれば意気投合し日本人に生まれて良かったと実感する楽しい会である。しかし問題もある。めんどうくさがりの幹事ばかりで開催が少ないことである。

文責：森本 一裕



I.Y.F.R.神戸フリートJAPAN神戸東RC同好会

INTERNATIONAL YACHTING FELLOWSHIP OF ROTARIANS



I.Y.F.R. (International Yachting Fellowship of Rotarians)
I.Y.F.R.「ロータリアン国際ヨット同好会」

代表世話人 乙守典厚

1947年に国際ロータリーが公認した世界で一番古い国際同好会です。現在では世界32カ国に90以上のフリートと3,200人の会員を擁しております。

日本のヘッドとしてI.Y.F.R. MAIN JAPAN BRIDGが設立され2012~2014年のJAPAN BRIDGEのコモドアは第2680地区パストコモドアであり、神戸フリートの相談役の三木 明(姫路RC)氏が就任されております。

神戸フリートは、国際ロータリー第2680地区に1994年2月に創立され、現在58名の会員を擁する国際同好会に育っています。2004年に日本で開催されました国際大会では、ルミナスーⅡを貸し切って大阪～神戸間のジャズ&ディナーナイトクルーズのホスピタリープログラムを担当いたしました。神戸東RCのI.Y.F.R.同好会は、2009年11月に発足し、初代 代表世話人は三原 孝公会員で現在25名(2013.6.30)の会員で活動しております。

活動報告

1. 2013年7月14日(日)

同好会恒例行事になっています、真夏のバーベキューパーティーが「イノセント由良」で今年も開催されました。今年は西宮RCのI.Y.F.R.メンバーにも参加していただき、クラブを越えた親睦をはかることが出来ました。



出席者32名

2. 2013年7月20日(土)

2012-2014年度LY.F.R. MAIN JAPAN BRIDGのコモドア(提督)会が、神戸の居留地に在る歴史的建造物「15番館」で開催されました。神戸東RC同好会からも、三原孝公、今井拓雄、吉田建美、井元憲生、多田善計、宮 昭久、乙守典厚のメンバーが出席しました。MAIN JAPAN BRIDGのコモドア会では、設立準備中のしまなみフリート、そして北海道から九州までの6つの組織が発表されました。



出席者7名(神戸東クラブのみ)

3. 2013年7月21日(日)

創立20周年を迎えたI.Y.F.R.神戸フリートは、2013年7月21日(日)に第20回の総会を神戸メリケンパーク

オリエンタルホテルにて開催されました。創立20周年目の総会には、RI、地区、又MAIN JAPAN BRIDGの来賓の皆様にもご臨席を賜り、花を添えていただき総会の締め括りは、井元憲生(神戸東)コモドアから森村安史(西宮)新コモドアへコモドア旗の伝達式が執り行われました。懇親会では、10名の来賓の皆様と37名のメンバーと家族がクラブや地区を越えての親睦を深めました。



出席者7名(神戸東クラブのみ)

4. 2013年10月20日(日)

I.Y.F.R.神戸フリートJAPAN秋の懇親会がルミナスーⅡを利用して開催され、神戸東RC同好会からも数名が参加致しました。当日は小雨の降る天気でしたが、会場では会員とその家族がワインや食事を楽しみながらクルージングを致しました。また、操舵室を見学させていただいたり、楽しい商品付のゲームなどで全員が楽しむことができました。今回の企画をされた西宮RCのI.Y.F.R.メンバーに感謝するしたいです。出席者 7 名(神戸東クラブのみ)



出席者7名(神戸東クラブのみ)

ビール同好会

代表世話人 塚本哲夫

ビール同好会は、今井会長年度に田中健三委員長のもと、キリンビール(株)神戸統括支社長をなさっていた松井泰隆会員と山崎が二人で親睦家族委員会の副委員長をさせていただいていた折に、せっかくキリンビールさんが会員でおられるのにキリンビールを楽しむ会はないのでぜひ作りましょう、ということで「キリンビールを楽しく飲む会」をキリンビールさんのお世話で始めたのがきっかけです。

その後、古賀会員、尾崎会員と「キリンビールを楽しく飲む会」が続いてまいりましたが、昨年、有志のメンバーが集まり、「日本酒同好会、ワイン同好会があるのでビール同好会を作りましょう」ということで新たに始まることになりました。

現在、世話人は、塚本哲夫、鎌田哲夫、上村伸幸、森本一裕、岩野 了、吉井正幸、須藤雄二、尾崎秀雄、横山幹夫、山崎仁嗣です。

また、今までビール同好会としての開催は、

2012/10/19	Tooth Tooth Maison 15 th	19名
2013/9/24	龍のしづく	27名

となっております。神戸東RCらしい和気あいあいの楽しい会を目指しますので、これからもご参加のほどよろしくお願い申し上げます。

(文責：山崎 仁嗣)

むつみ会

むつみ会 会長 野々村道子

神戸東ロータリークラブ創立60周年おめでとうございます。

私共むつみ会も、神戸東ロータリークラブと共に歩ませて頂き、喜びもまた共にすることができます、有り難く嬉しく存じます。

会発足当初より、諸先輩の奥様方のご努力のお陰で100名を超える会員数となり、諸行事の度に親睦を深めて参りました。

今年度は岡幸子副会長、須藤雅紀子幹事、乙守圭子会長エレクト、澤田真理副幹事、橋本康子委員、井元充江委員、村元光子委員、土田由紀子委員、松井百合子委員、角田祥子相談役、野田堯子相談役の12名で運営しております。

9月に総会をホテルオークラ神戸にて開催し、むつみ会コーラスの美しいハーモニーで花を添えて頂き、また記念の年にふさわしい管弦四重奏「ひまわり」楽団の格調高い演奏に時を忘れ、酔いしれ会員の皆様と共に素晴らしいひと時を過ごせましたことは、大きな喜びでございました。

新春会は、「楽しく歌いましょう」と題して、お歌の上手な会員を中心として、みんなで親睦を深める予定です。

役員会も開催し下見に行き楽しい会となるよう、準備して参りたいと計画しております。もうひとつ大事なお仕事に、新年初例会時の初釜のお手伝いを川島先生にご指導を仰ぎながら、お手伝いさせて頂くことも、お勉強になる楽しみのむつみ会行事でありますこと、特筆させて頂きます。

今年度は、東灘RC、六甲RC、ベイRCの4RCとプロバスの皆様との合同で開催されます事、楽しみしております。



第3部

会員隨想

～神戸東ロータリークラブと共に～

私とロータリー

赤木文生

いつの間にか入会から47年も経過しました。多くの人々との出会いがあり、有意義に過ごさせていただいたと思います。

先輩の弁護士村田定由先生と奥野久之先生の紹介により昭和42年12月5日に入会した時の感激を今でもよく覚えています。初めて例会に出席した時にSAAの櫻をした会員がおられるのが珍しく、特に印象に残っています。

入会前はロータリーについての知識がほとんどなく、そのうちになんとなく活動状況も理解でき、落ち着いて過ごすようになりました。私にとってのロータリーは、一言でいうと、世間に目を開かせていただいたことです。異種の職業人が集まって、ともに親睦と奉仕に携わることは、他の団体に見られない意義があり、個人的にも人格形成に大いに役立つと思います。異なる発想を聞き、異なる価値観に接することにより、広い視野により物事を判断できるようになったのはロータリーの効用の最たるものです。

わがクラブの特徴の一つはご婦人の会である「むつみ会」が存在し、活動されていることであります。むつみ会がバザーの収益金を難病連へ寄付されたのが縁となって、筋肉が骨化する難病患者少年とiPS研究所の山中伸也教授との出会いが生じたことは、ロータリーならではの成果であり、まさに手に手つないでの実践だといえます。

未来委員会が結成されたことは嬉しいことであり、会員の皆さんに新しい感覚で有意義な奉仕活動と親睦に邁進されることを願ってやみません。微力ながら私も協力したいと考えています。よろしくご指導ください。

ロータリークラブ恨み辛み!?

鮑 悅初

私は神戸生まれの華僑3世です。

1953年、神戸の南京町で父が創業し、中華料理食材に特化した小売、卸の会社を手伝っていた関係、ご縁で「神戸食総合研究所」別名「神戸うまいもん探偵団」の活動にお誘い頂き、定期的に神戸の和・洋・中・エスニックなど、色々なおいしいお店を探偵する仕事を楽しんでいました。

この「神戸うまいもん探偵団」の団長が神戸東ロータリークラブの角田嘉宏先生です。

本人は憶えていないと思いますが、ある日角田団長から「鮑くん、あんたもお昼食べるやろ? ロータリークラブはお昼を食べる会だから、あんたも入り! 一緒に食べよ!」って誘われたのが入会のきっかけです。

ロータリークラブやライオンズクラブの存在は知っていましたが、30代で青年会議所活動に参加していたので、自身の中でトラウマのようになっていたところがありました。

角田さんの「お昼を食べる会」という言葉を真に受けた私が悪かった!

入会して3年目に副委員長の役を仰せつかり、今まで、何度も委員長、副委員長を仰せつかりました。その都度、心の中で「角田さん、話が違うやん!」って思っていました。(笑)

ロータリークラブは希望すれば誰でも入会できる会ではありません。日本の方でも入会が出来ない方が居るほどなのに、中国籍の私を会員に受け入れてくれた皆さんの心の寛容さ、温かさに感謝しています。お陰で先輩会員はじめ素晴らしい皆さんと身近に接することが出来、例会やクラブ活動を通して多くの熏陶を受けています。

日本、神戸生まれの華僑ですが、自分が暮らす国、町を良くしたい、貢献したい思いは皆さんに負けません!

これからも角田先生に義理を欠かないよう、皆様に恥を搔かないようにしたいと思います。

神戸東ロータリークラブの皆さん、これからも宜しくお願ひします。

「ロータリー」っていいなあ…

土城敏彦

1995年8月阪神淡路大震災の翌年、樽本先輩と小倉先輩の紹介で入会を許されました。

早いものでもう19年目を向かえようとしています。

私が入会した時は最年少…「これは寂しい」と思い、岡さん、川崎さんをはじめたくさんの友人に入会してもらいました。いく度か委員長を拝命しましたが、思い出に残るのはプログラム委員長、そして幹事の時でした。

プログラム委員長を受けたものの、そもそもロータリーのしくみが分かっていない自分を知りました。

年間を通して会員の皆様に喜んで出席していただける様な企画にしたい…スピーカーが急に欠席したらどうしよう…不安ばかりでした。

月初めの例会は、卓話の時間が短いというのもやって初めて分かりました。

1年間を通じて皆様にたくさんのスピーカーを紹介していただき、乙守さん、池西さんには特にお世話を覚えています。

2006年高橋恵俊会長の時、幹事を拝命し、「これはえらいこっちゃ」と思い、ロータリー専門用語から勉強し、各委員会が何の為にあるのかを知り、そして人事に頭を悩ませ、色々な事をバランスよくやっていかなければならない事を学びました。

久野ガバナーの時、例会訪問担当幹事になり、兵庫県の色々なロータリーを回り、視野も広がったと思います。

入会してから19年目の今思うのは、人の助けがなければ自分一人では何もできない。又その助けてくれるすばらしい仲間が集まっているのが東ロータリークラブだということです。

今年我がロータリークラブと同じく私も60才になります。これからも少しずつでも成長をして行きたいと思います。

楽しきかなロータリー

藤井光造

創立60周年の記念すべき時に栄えある当クラブに入会させていただいたことに大いなる喜びを感じさせていただいております。今後とも神戸東ロータリーの名を汚さぬよう活動させていただきます。

さて我が人生とロータリーは以前のクラブの思い出からはじめます。10年前の世界大会の準備、ニューヨークでのメイキャップやロータリー全国野球大会の甲子園出場など楽しかった思い出もたくさんありました。やはり2002年の神戸東ロータリークラブの地区大会での「熊森の話」はわたしの人生観を見事に教えてくれました。それまでの地区大会の講演は各界の著名人の有意義なお話で、いろいろ学ばせていただきましたが、頭の中にはのこっておりません。ところがあのとある中学校の先生と生徒たちの物語は今でも鮮明に頭の中に残っております。それまでのわたしの生き方はなんだったんだろうと。団塊の世代なので競争に勝つことが“いい人生”格好いいことと思ってたのです。でもなにか心にひっかかる、鬱々としたものが日々の暮らしにありましたところ、彼、彼女たちの一途な活動は、私の自分さえよければの自己中心主義とは真逆の無私の生き方にすごい衝撃と共に感動を受けました。本当の奉仕、真の人生の願いを教えられた気がいたしました。「たかがロータリー されどロータリー」の先人たちの言葉の意義の深さも実感させて頂きました。多くの方々と友情を結び、世界中が四つの輪で絆の海とならん事を願い、我がの残りの人生、ロータリー活動に精進してまいります。今後とも宜しくお願ひいたします。

仕事を通じての社会奉仕

藤本義洋

ロータリークラブに入会させて頂いて3年目、入会前には、どういった会なのか、そんなに深くは理解してなかつた。とりえずは“奉仕活動と一業種一人”といった程度でした。

3年目の今はなんとなくだが少し解ったような気がする。そのきっかけは、井元氏がされたお話で、「道端にタバコの吸殻が捨ててあります。これを拾って灰皿に捨てるのも奉仕活動、又、お金を出して、そこに灰皿を設置するのも奉仕活動、そして、そこに吸殻を捨てない人間を育てるのがロータリーの奉仕活動」。その言葉を聞いた時、なるほどなと思った。自分が想像出来るのは灰皿を設置する所までだった。

この事を踏まえて“仕事を通じての社会奉仕”が自分の仕事である歯科医師としてなにが出来るか、これから永いロータリー活動の中でじっくりと考えていきたいと思う。

魅了ある素晴らしいメンバーとのご縁に感謝

福原敏晃

名門、神戸東ロータリークラブに入会させていただいて13年間、100%皆出席ですが、ホームクラブ約30%・他クラブ70%のマークアップでの達成です。本来なら、退会のところ素晴らしいメンバーの方々の温かいご協力によるものです。

いろんなクラブにマークアップさせていただきて、東京で往年の俳優、池部良さんの卓話を聞かせていただき、大女優とのエピソード、撮影で寒い冬に40度の熱があるにもかかわらず、池の中での撮影など秘話を聞かせていただきました。今年はプログラム委員会として、スピーカーで、エンターテナー、松本隆博さん、女性起業家、文美月さん、日本旅行カリスマ添乗員平田信也さんに卓話に来ていただき、専門分野のお話を聞かせていただきました。

今年の地区大会では、竹中平蔵さんの講演、宝塚歌劇の観劇等印象に残りました。ロータリーの魅力の一つに、卓話を聞かせていただく事は大変勉強になり、私の人生の財産になりました。

再来年の目標はホームクラブ100%めざしたいと思います。

最後に、自らのダイエットの卓話をさせていただきました。96キロから、4ヶ月で81キロに減量成功しましたが、みごとに元に戻りました。恥ずかしくて出席しにくいのですが、よろしくお願ひします。

神戸東ロータリークラブに在籍させていただいたて、魅力ある素晴らしいメンバーとのご縁に感謝します。

我が人生とロータリー

畠崎廣敏

入会して40年。我がクラブには、自分とは異質の素晴らしい才能を持った人がなんと多いことか。例会のたびに気持ちをわくわくさせてくれる刺激がある。心を打つスピーチを聞かせていただいたときの充実感。素晴らしいスピーカーとの出会いが何より一番の醍醐味だ。新たなやる気が、ファイトが、湧く。何よりの心の滋養だ。そう思ってくれる先輩方の姿に感動し、自分も同じように感化を与えるひとりにならなければと身が引き締まる。心から尊敬できる多くの仲間のお陰で、友情を楽しみ人生を人間として成長し、豊かにすることが出来たとつくづくありがたく思う。

会員数の減少が世界的に続く中、会員増強の大切さはわかるけれど、単に人数合わせではなく、その前に我々メンバー一人ひとりが魅力に満ちた誇れるロータリアンになること。そして、入会を誘ってくれて本当に良かったと芯から思って貰えるクラブにすることが第一ではないだろうか。ただの仲良しでなく、精神的にも強く結びついた親睦でありたい。そして、一人ひとりが誇りを持ったクラブに。我々は本質に眼を向け、60周年を我がクラブの変革の年に。つまり、「Change or Die!」

どちらを選ぶのか。柔軟性と刷新性を重点に、常に時代の変化にジャストフィットしているクラブでありたい。愛すればこそその思いです。

喜寿を迎えた今、改めて一日一日がとても大事だと思うようになってきた。私には悠々自適の余生は要らない。何歳になっても常に、青春の心でいたいし、もっともっと成長し、伸び続けたい。尊敬しあえる仲間との出会いに感謝し、まだまだこれから！ そして、いつも今日が未来への一日目をめざして！

すこやかロータリータイム

東 浩哉

私は、数年前に神戸東ロータリークラブに入会させていただき現在に至ります。私が入会した当時はとても趣きのあるクラブだと思う印象が強く残っています。現在は、少し慣れてきた事もあり、まわりの人達がとても親切でざっくばらんで、日常生活の事とか、仕事の事とか、家族の事とか、食事をしながら、和気藹々で話をされていて、とても家族的な雰囲気で、居心地が良いです。私は、クラブの中での活動はあまりしていないので各委員会の活動については、あまり印象深いものはありません。

毎週一回の例会の中での、皆様の活動などの報告などを聞かせていただくのが楽しみです。又、皆様の紹介の人がお話される卓話が楽しみです。いろいろな分野の方々が卓話をされて、とても勉強になります。私も今年60才の還暦になり、自分の体を気にする様になってきました。

その中で、当クラブはお医者さんの方が結構在籍されているように思います。それに伴い先生方々の、知人、友人の人達が卓話をされる時、私は特に耳をたてて興味深く聞いています。その卓話の中で自分の体をケアできる話があれば、関連した医療、病院を探して行くようにしています。

当クラブの先輩方も、皆様も非常に健康そうな人達ばかりで、今後も、皆様の健康を祈っています。今後も皆様のご意見を参考に、当クラブで楽しみたいと思います。今後共よろしくお願い致します。

わがクラブ昨日、今日、明日

樋口一哉

私は、大学1年のときに、当時神戸須磨RCに入会したての父の紹介で、神戸東のロータークラブに入会させていただいたのがロータリーとの縁のはじまりです。今から36年前の1978年秋のことです。

当時、奥さん、光葉さん、宮崎先生、日下先生、三原さんらにロータークラブをお世話いただきました。入会時は、瀧会長はじめ美人ぞろいのクラブで、ドキドキしていたように思います。チャリティップックフェア、摩耶山清掃ハイキング、同朋学園盆踊り、水泳大会お手伝い、香港、シンガポールとの交流、キャンプ、飲み会、などなど、充実した学生生活を送ることが出来ました。また、余島で3月に開催されますRYLAセミナーにも受講生として参加させていただきました。楽しい、懐かしい思い出です。

残念ながら、諸事情あって解散と連絡をいただきました。当時から人集めには非常に苦労しましたので、難しいとは思いますが、将来何とかロータークラブも再興していければと考えます。また、是非インターラクトクラブも将来スポンサーしたいものです。

神戸東ロータリークラブに、ロータリアンとして入会させていただいたのは、2007年の5月でした。親睦委員会で、例会の受付、親睦のお手伝いから始まりました。それから、青少年、新世代奉仕を主に活動しております。ロータリアンとしてのRYLAセミナー参加、少年野球の立ち上げから、青少年交換の送り出し、受け入れのお手伝い、最近では、王子動物園での写生大会後援など、色々新しい事業にも参画しています。引き続きよろしくお願い致します。

クラブ内での親睦も楽しく有意義ですが、奉仕活動は大変です。しかし、自己研鑽にもなりますので、バランスよく活動したいと思います。将来のクラブの方向性としては、親睦も奉仕も両方充実した神戸東ロータリークラブにしていきたいと考えています。

入会2年。今、想うこと

弘田芳裕

私は一昨年の6月に入会させて頂きました。ロータリークラブについては右も左も分かりませんが、60周年という記念すべき年に在籍させて頂いたことに感謝しつつ、入会から1年半の間に思ったことを書かせて頂きたいと思います。

以前より公私とも大変お世話になっておりました山崎会員から入会のお誘いを何度も頂きながら、そのような立派な会には相応しくないので、とお答えする期間を3年ほど経たのち、先輩のご厚意に甘えて入会させて頂きました。有り難いことに旧知の先輩諸兄が何人かクラブにおられましたので、アウェイな感じはありませんでしたが、やはり私からは雲の上のような立派な先輩ばかり、少し馴染めてきたとはいえたとしても緊張の連続です。

しかしながら、委員会事業や同好会など、例会以外の会合で先輩方とご一緒する機会が増えるにつれて、おかげさまで大変楽しく有意義な時間を過ごさせて頂いております。先輩方にも皆さん優しく親切にして頂き本当に感謝です。また、例会での卓話も毎回勉強になります。様々なジャンルの方のお話を伺うことは大いに刺激を頂きます。

ロータリークラブについて、私にはまだ分からぬことばかりですが、職業を通じて社会に貢献するというコンセプトは、分からぬなりに大いに共鳴するところです。自分自身の仕事に対する取り組み方、あるいは自分の生き方そのものについて、今まで以上に考える機会を頂いております。これからも先輩諸兄から少しでも多くのことを学ばせて頂きながら、いつか自分も社会に恩返しが出来るよう努めたいと思います。

わが人生とロータリー

池西正広

私は今年で入会して15年になります。出席・青少年・プログラムの委員長を経験させていただきました。プログラム委員長の時、ロータリークラブの会員ということで文楽協会の専務理事とも、西宮芸術劇場のトップとも会え、卓話にも来ていただきました。あらためてロータリーの信用性と、ステイタスを感じました。仲間も温厚で本当に性格のよい人が多いです。今後ももっとロータリーライフを楽しみたいと思います。

わが人生とロータリー

今井拓雄

私は昭和61年6月17日付で安福武之助パストガバナー・高田英之輔会員（いずれも故人）の御推薦で入会させていただきました。ロータリークラブといえば各界の名士の皆様の集まりで、とても私ごときが入会できる所ではないとお断りしておりました。

大雨警報の出ている梅雨時に、突然安福様から、入会申込書を持って行くからと電話があり、私が恐縮して、当方から伺いますと申し上げても、いや頼み事をするのは私だからとおっしゃりお逢いする事になりました。

スーツがずぶ濡れの安福様を前にして、それ以上お断りも出来ず、その場で入会申込書を書かされてしまいました。（※入会勧説の手法として参考になるかも……）

しかし、その後1年近く音沙汰がなかったので、やっぱり駄目だったんだなと思い、ロータリー

の事は忘れていました。

入会インフォメーションはロータリーの生字引と言われた末正久会員（故人）のお話を聞きし、えらい所へ入ったなと思い、後悔しきりでした。安福・高田両先輩からは、あなたは仕事で忙しい身だから、ロータリークラブでは目立たないようおとなしくしていなさいと言われ、入会後は先輩のアドバイスを実践（？）して、いいかげんなロータリーライフを送っておりました。入会10年目に日頃何かと私を励まし指導して下さる、小倉・角田両先輩から幹事をやりなさいと言われ、青天の霹靂でした。断固おことわりする私に対して、今井君に大して期待しているのではないから気楽にやりなさいと言われ、二の句がつけず、とうとう引き受ける事になりました。（※役職を引き受けさせる手法としてこんな手もあるのです！）その後も会長、ガバナー補佐まで同じ手に乗せられて引き受けるハメになってしまいました。

入会して28年目を迎えますが、このすばらしいクラブに私を入れていただいた2人の大先輩、ふつかな私をあたたかい心で導いていただいた会員の皆様に感謝する毎日です。

わが人生とロータリー

井元憲生

私が神戸東ロータリークラブに入会致しましたのは、平成14年5月7日。畠崎会員、植村会員にご推薦頂き、入会を承認頂きました。今年で入会11年目となり、私自身60歳の還暦を迎えるとともに、神戸東ロータリークラブも本年度創立60周年ということで、何かのご縁を感じております。



さて、私は職場のデスクの上に1つのフォトフレームを置いております。飾られているのは写真ではなく、私の人生観を表わした図です。人生80年を陸上のトラック競技に例え、20代・30代は先輩や上司から学びの時期（第2コーナー）、40代・50代は社会から学び、独立（起業）と挑戦の時期（第3コーナー）。そして、60代からはお世話になった方々へ恩返しの時期（第4コーナー）と掲げておりました。

クラブ入会後は、日々の活動を通じて、自己啓発を進めながら、自分の職業を生かして世界や地域に奉仕していくことの大切さを学びました。今年60歳を迎え、人生観を見直すと、これまで私が掲げていた目標は、自己中心的なものにすぎず、大変恥ずべきことと気づきました。しかし、クラブの教えを心に刻んだ今、60歳からの進むべき方向性が少し見えてきたと感じております。

60周年のテーマである「温故知新」の意味の通り、今まで培われてきたロータリークラブの活動から学ばせて頂くとともに、私自身の60歳からの第4コーナーの20年を、世のため・人のため・そして社会・日本国・世界・地球のために、微力ながらお役に立てるよう一生懸命務めさせて頂く所存です。

私のロータリー活動

石橋恒生

平成2年に入会を許されて早いもので24年の歳月が過ぎた。入会の時の歌が「山田の案山子」だったことをはっきりと覚えている。昼間から何をしているのかと、衝撃だった。

入会以来の連続23年皆出席以外、たいしてクラブのお役に立つことが出来ていないが、入会2年目の平成4年青少年奉仕委員長を仰せつかったとき、かねてから思っていたことをやらせていただきたいと時の幹事の阪口さんにお願いしてみた。

神戸近辺の大学には世界中からたくさんの若者が留学してきているが、そのほとんどが大学と下宿の往復だけで、他大学の学生との交流もなく「神戸の街」を理解しないまま帰国している現実に、もっと留学生に神戸を知ってもらう機会を提供したかったのだ。

彼らは国に帰るとエリート街道を歩む人ばかりなので、何とか各国の中核を担っていく彼らと神戸の絆を深めることの橋渡しをロータリアンとして行い、地元の役に立てないかと考えた。

幸い宮崎会長との協議の結果予算をいただくことができた。

そして友人、知人の伝手で神戸周辺の5大学に声掛けして、留学生25人、地元の学生25人で神戸の地場産業である清酒の酒蔵・三菱重工の工場を見学した後、須磨の兵庫県公館で「神戸の街について」ディスカッションを行い大いに友好を深めていただいた。この事業は兵庫県が取り上げてくれ「兵庫だより」の中に詳しく掲載された。その後、留学生から御礼のお手紙をいただいた。

還暦を過ぎて40台前半のパワーがなくなってしまったが、ヤングアットハートをいつまでも持ち続け、いろいろな奉仕活動を行いたいと思う今日この頃である。

わが人生とロータリー

石本一生

標題が少し重過ぎて前顛倒しそうにも思うが、私も今年で還暦、殊更にこのテーマに沿って人生を振り返ってみる。ひとつは2000年頃、広島北RCに参画していた時の事。少年時代からの野球馬鹿は甲子園を目指すも夢を果たせず、その30年後に広島北RCのクラブチームは何と地区大会を勝ち上がり、RC野球全国大会へ。48歳の私は何と甲子園で3試合、マウンドを踏んだ。やったあっ！

夢にまで見た憧れの甲子園マウンドだ。ヒットも3本打って、結果はベスト8だった。ふたつ目は関西経済連合会に所属した時のこと。国のビジットジャパンキャンペーンが始まり、海外インバウンド誘致に国も地域も全力を挙げようとした時のこと。私は「民主導の」観光推進組織を牽引する使命を担っていたが、RC世界大会が大阪で開催、世界各地から1万人を超えるロータリアンが大阪府立会議場に集まるとき聞き、これは最高のチャンスと大会事務局に日参し、結果作り上げたのが関西エリアの私鉄・JR3日間乗り放題周遊チケット。自治体観光誘致は自府県市エリアの促進活動に止まり意味希薄、国内外のエスタブリッシュ全員に行き亘る、関西の著名なスポットを足代無料で回遊して頂く企画を探らないか、私は大会事務局に通い詰め、そう説き企画を実現させた。海外の人々が余りに日本を知らない、知る術が彼の地には無い事実を打破するのが、当時の組織の掲げる目標であり、私の夢であった。

我が人生59年を振り返ると、日常なかなか出来なかった事が、何と意図も簡単にロータリーが実現の場を与えてくれている。2度ある事は3度あるとはいうが、こうなると、今所属している神戸東RCに、3つ目の夢実現を祈願してみるのも悪乗りとは言えないのかも知れない。それを楽しみにクラブ例会や諸活動への参加、日々実践する職業奉仕に誠実に、勤勉に、且つ、謙虚に取り組んで行こうと思う。

わが人生とロータリー

石川泰平

神戸東ロータリークラブ60周年おめでとうございます。私は神戸東クラブに入会させていただき早4年が過ぎましたが、正直本当にあつという間の4年でしたし本当にいろいろとクラブの事やロータリーの勉強をさせていただきました。この間週報委員長、米山奨学委員長と2回も委員長を経験させていただきましたし同年、ガバナー随行員として5か所の公式訪問も経験させていただきました。更に今年度は地区青少年交換小委員会委員という事で出向を経験させていただいている次第でございます。同好会活動もコーラス同好会をはじめあまり出席できていないですがゴルフ、I.Y.F.R.、カラオケ、日本酒同好会などいろいろとお誘いを頂き交流という楽しみにも参加させていただいている次第でございます。入会前はとてもこのようなことは想像もしておらず皆さんに迷惑や心配をかけないように週1度の例会にはできるだけ出席しようというぐらいの気持ちで入会させていただいたことを覚えております。どちらかというと引っ込み思案な自分に対しまして実際このように活動の幅が広がっている自分がいることに驚きを感じているわけですが全てはこれらを導いていただける素晴らしい先輩諸兄や同年代の会員の皆さんがいたからこそというふうに本当に思いますし一方で仕事だけの人生に戻りかけていた自分にまたいろいろと刺激を与えていただける、勉強をさせていただける環境に引きずり込んでいただけたという事に大変感謝しております。これからも感謝の気持ちを忘れることなく健康で明るく楽しいロータリーライフを目指して行きたいと思いますし自身も人間的に先輩諸兄に少しでも近づけるよう磨いていけばと思います。100周年まで頑張りまーす！！

ロータリー仲間との感動体験

岩野 了

入会して13年を経る中で、ロータリーを通じていろんな仲間との出会いが増えていくのが私にとって何よりの財産です。昨年度は幹事を経験させて頂いたお陰で神戸グループ内の方々とも新たな出会いを沢山頂くことも出来ました。

神戸東クラブ内での多くの出会いは委員会活動だけでなくコーラスや山歩き体験を共にする事で個々のお人柄も知る事が出来さらに深まりを感じています。

それに加えて、非公式の会ではありますが日本各地のロータリアンと親しくなる機会に恵まれたのが「全国ロータリアンインターネット協議会（JRIC）」です。

ふだんはML(メーリングリスト)を通しての情報交換だけですが年に1度総会には全国各地から集まり開催されるのに加え各地の世話役が企画をしてのオフミ（オンラインミーティング）が活発に開催されています。昨年は私も世話役を引き受け神戸の地で「神戸牛オフミ」「神戸中華オフミ」と2度開催し神戸を楽しんで頂きました。そんな中で地区やクラブの垣根を越えて昨年は徳島のロータリアンの呼びかけで福島に水を贈る「mizu-karaプロジェクト」にも参加する機会を得てボトルデザインの支援をし、贈呈に際しては福島の地も訪問させて頂きました。ロータリーの仲間とだから出来る感動体験は本当に素晴らしい思いでとなりました。



「シェルトンに思う」ということ

鎌田哲夫

神戸東ロータリークラブに入会して、初めてのラウンド・テーブル会であった。テーマは「職業奉仕」である。私は弁護士としての職業倫理の話をした。しかし、その時、「ロータリーの職業奉仕はそういうものではない」と言わされた。

その時から21年経つ。意識して「職業奉仕」について考えてきた。

「職業奉仕」はロータリーの基本だと言われているが、21年経った今、これほどわかりづらい概念はないと思う。

アーサー・フレデリック・シェルトンが、「He(They) profits most who serves best」と言ったのは1911年、既に100年が経つ。

この100年の間に、ロータリーは様々な考え方を積み重ねてきた。それまで語られてきたことに、新しいことが加えられ、更に新しいことが付け加えられて「ロータリーの多様性」と言われるようになった。そして、今や、この「多様性」という言葉は「何でもオッケー」という意味にとらえられているように思える。

ロータリーが歩んできた道で、加えられた「新しい考え方」を、一つ一つ理解されなければ、本当のロータリーの「奉仕の理想」は理解できないと思う。

しかし、それは不可能だ。

そこで考えた。

シェルトンの「He(They) profits most who serves best」を理解し、それを100年経った現代社会に当てはめることはできないか、と。

「serves best」した者が「profits most」なのだ。単純な話だ。「serves best」した者が「一番儲かる」というのである。

では「serves best」の「best」とは何だ。

顧客に対するサービスが「best」であるためには何をすればよいのだ。

顧客に「求めている」ものを与える。

顧客に「納得」するものを与える。

顧客に「満足」を与える。

顧客に「大満足」を与える。

そう、「serves best」とは、「大満足を与える」ということなのだ。

アメリカのサウスウエスト航空は、アメリカ国内の格安航空だが、顧客満足度ナンバーワンだ。

中国のチョウ・ユウは、客の満足度を追求して、中国ナンバーワンの「火鍋料理店」になった。

例会で卓話をした、カリスマ添乗員・平田進也も「客に大満足を与えることだ」と言った。

「職業奉仕」は「職業倫理」とよく言われるが、「顧客に大満足を与える」というのは、「倫理」よりもはるかに上位の実践的な概念である。

シェルトンの「He profits most who serves best」をこのように考えれば、100年経った現代においても、「職業奉仕」の古典は、全く色あせない、今に生きる考え方として納得できるのである。

万年青年を目指して

上村伸幸

神戸東ロータリークラブ入会のきっかけ、人それぞれの理由があると思います。若い頃からそれなりの立場に居る方は、各団体や各クラブから引く手あまたでしょうし、増強委員長の強い誘いを断りきれず入会した方も居たかも知れません。

40才を過ぎ、やっと今後が、ボンヤリ見えてきた時に木下健会員からお誘いがありました。同業の方たちとの会話には広がりに限界が有り、本当に喜んで入会させて頂きました。当時の幹事さんから「3年間は休まぬ様に」と言わされた事が不愉快だったのを思い出します。その後、震災をはじめ幾多の試練は、先輩会員の行動を参考にして何とか乗り越え、また楽しい事も皆様と共に出来ました事、本当に嬉しく思います。先日、功成しとげた大先輩からあるテレビ番組を教えて頂きました。文化人、芸能人、あらゆるジャンルの人達の想い出の音楽などを聞きながら進めるインタビュー番組ですが、やはり違うジャンルの成功者の話は、ずっと年下であれ興味あるものでした。人生、死ぬまで勉強です。先輩から教わりました。

世間的には高齢者といわれる人達、僕の周りには色々な事に興味を持つ青年ばかりです。来年65歳になる自分自身、果たしてそんな高齢者になれるでしょうか？後輩の範となれるでしょうか？甚だ疑問ではありますが、自分もその様な人間になる為に一層の努力をする積もりです。

ともあれ、神戸東ロータリークラブ、素晴らしい時を刻んで100周年を迎えて欲しいものです。

チャーターメンバーとの思い出

嘉納忠夫

私が入会を許されたのは1968年金子会長、有澤幹事の年度で当クラブ15周年の年であります。創立時には33名のチャーターメンバーが当時は約半数の16名の方が御健在であったと思います。さすがに120数名の候補者の中から厳選された方達だけに、皆様夫々に立派な個性溢れる方ばかりであります。風格と威厳に満ちた小泉尚助さん、山本鍊造さん、数ヶ国語に堪能な海輪利光先生、諸芸に秀でた安福武之助さん、小網与八郎さん、ロータリー万般に詳しい高梨義郎さん、高嶋平介さん、小野正夫さん、八馬進武さん等々、実に多士済済であります。60周年を迎える本年はさすがにお一人も残って居られないのは誠に残念です。私の入会に際しては、チャーターメンバーでも若手の有力者小野さん、八馬さんのこととて、入会前後に亘って、実に懇切丁寧なインフォメーションが行われました。夙に“ロタキチ”の名の高かった理論家の小野さんからは、かの有名な夜討ち朝駆けの電話でのインフォメーションには些か閉口したものの、そのお蔭で私のロータリーに対する構えが出来たものと思います。今まで私の人生の半分以上も過してきた当クラブで、色々の役職も仰せ付かり、又何人かの入会者も推薦してきましたが、前記先輩方の様なロータリー活動が出来ていたのか、振り返って些か忸怩たる思いが致します。R.I.の都合もあろうかと思いますが、日本のロータリーも、又当クラブも大きく変わって来た様に感じますが、入会時一番若かった私が、今やクラブの古手になっている様に、これも時代の流れかと思う今日この頃であります。

思い出のロータリー活動

加納哲裕

「思い出のロータリー活動」と銘打ったものの、まだ3年目のひよこ会員である私に、これだと言えるだけのものもあるはずもなく、何とか皆様のお仲間に加えていただけるようしてきました経緯を述べさせていただきます。

平成23年の6月に入会を認めていただき、親睦家族委員会に所属することになりました。ここで、主に受付業務を2年間担当することになり会員の方の顔と名前を覚える良い機会であると考え、毎回できるだけ早く例会に来て準備するよう心がけました。半年たち1年たちするうちに、私の後

から入会された方々から、いろいろ段取りを聞かれるようになり、「エッ、相談されるようになつたんだ。」と戸惑いながらも居場所ができたのかなあと感じられるようになっていきました。

ただ、それ以外では営業マンにもかかわらず人見知りの私は、ベテラン会員の皆様を前にして緊張を強いられる状況が続いておりました。そんな中1年前より、角田さんが会長、三原さんが世話人、石橋さんが幹事をしていただいている月次のゴルフ会ROTARIONS会に参加させていただき、いろいろな方とコースを回る機会を得て、それまで挨拶だけしかできなかつた方々との距離が近くなりました。私の成績は優勝1回、準優勝1回、ブービー2回、メーカー1回と、振れ幅の大きい愛嬌のあるスコアと勝手に考えている次第です。また今年度より所属している社会奉仕委員会では、懇親会参加以外での活動ができていないため、今後は積極的に参加していきたいと考えております。皆様、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

ロータリー3年目を迎えて

樋野孝人

2年前の2012年4月10日に神戸東ロータリーに入会させていただいたのですが、その日は私の入会日であるとともに、神戸東ロータリーの設立記念例会、そして私の誕生日でもありました。3つの記念日が偶然重なり、皆さんに歓迎の歌を唄ってもらった時に感無量になったのを今でも鮮明に覚えています。

そんな中、次年度のプログラム委員長を拝命することになりました。自分では時期尚早と思いましたが、これも先輩方からの「修行せよ」というお達しと受け取り、精一杯頑張ろうと思います。もちろん本件も諸先輩のところに相談に参りますので(笑)、ご指導よろしくお願い致します。

多くの同好会と私

加藤昇治

創立60周年を迎える神戸東ロータリークラブに在籍することを誇りに思います。

私が当クラブに入会させて頂いたのは、昭和58年(1983年)で約30年在籍したことになります。昭和57年に勤め先を定年退職し、独立して1年経過した頃でした。

仕事で疲れた私を救ってくれたのは、当クラブのいろいろな同好会でした。

各種のクラブ活動の合間に生れる同好会の交流は豊かな人間関係を楽しめる場となり、老後の生活を活きづけるもので感謝の気持で一杯です。

私の当クラブに入会時の推薦者だった八馬君(故人)は、コーラス同好会の発起人だったので、当クラブに入会と一緒にコーラス同好会に入会するように指示?があったのです。

私は「楽譜がよめないから」と断ると、「わがコーラス同好会は楽譜のよめない人の方が多いんだよ。実は俺もよめないんだ……だから心配せずに入れ」!!と重ねての指示に断り切れず入会しましたので私のクラブ在籍年数と同じ約30年コーラス同好会の末席をかけがしておられます。

何度かやめようと思ったこともありましたが、西村先生のご指導とはげましのお言葉で今日迄お稽古を続けることが出来ました。阪神淡路大震災の前年、明石西ロータリークラブの提唱で始まった全日本ロータリークラブ親睦合唱祭に1回も欠かさず毎年参加出来たのも西村先生と会員各位のお蔭と喜んでおります。

次に入会したのはゴルフ同好会で、広野をはじめ有名なゴルフ場でプレー出来るのがとても楽しみでした。

私が所属する神戸ゴルフクラブは1903年創立で、六甲山にありアップダウンが多く、カートもなく、使用するクラブも10本以内と制限され、布製の軽いバッグに入れたのをキャディに持たせてプレーするのですが、私はコンペ以外はいつもセルフで2ラウンドしていましたので、ゴルフクラブでは「2ラウンドの加藤」と呼ばれていました。脚を痛めてからはプレー出来なくなり、休眠状態

で現在に至っております。

俳句同好会とイケメンクッキングアカデミーと称する料理同好会は、何れも開催時刻が夕方から夜にかけてなのと、料理は立ったままの作業なので、体調を崩した私には耐えられず、休会するようになってしまいました。椅子に腰かけてお稽古させて頂けるコーラスや書道は続けていますが、こんな勝手なお稽古が出来るのも、ご指導頂く先生方と会員各位のやさしいお心づかいのお蔭だと感謝しております。

多くの同好会で活動するわが神戸東ロータリークラブのますますの発展を祈念致します。

私とロータリー

木下 健

昭和45年1月、樽本さんの導きで小倉さんと私の3人が同時に神戸東ロータリークラブに入会しました。推薦者は神戸JC OBの近沢進さん(北村真珠)と高田英之輔さん(神戸酒販)で私の年令は39才、神戸JC現役であり要職にあり、一方会社は零細ながらも社長として第一線での大忙し。1日が24時間では足らないというような昼夜目紛しい日々の連続の頃でした。週1回1時間の例会に出席するのが厳しく辛いものでした。しかし出席回数不足で推薦者に迷惑をおかけすることの無きよう要領よくなんとかこなし、そのことで問題になることなく過ぎました。

入会間もなく新入会員歓迎をかねた懇親会があり、歓談中に当時の幹事の方に「昼の例会ばかりでなく夜に例会をすることがあつても良いのでは? そうすることによって例会終了後に一パイ飲んだりしてより早く親しくなることになるのでは? …。」と勝手を言つたりしました。すると新入会員なのに早速そんなことを言うとは、と戒められたこともあります。多少かさ高く思われていたようにも思います。当時クラブ内の有力会員で、JCを偏見視される方が幾人か居られ、時には冷やかな視線を感じたり、不愉快な噂話を聞かされたりすることがあった。そんなロータリーに嫌気をさすことがときおりあった。今後JC経験者が増えるのは見えているので、時が過ぎれば解決することだと思っていたが…。が、その都度近沢先輩の気配り、思い遣りに癒され我慢することが出来たのでした。心豊かな有り難い先輩でした。

徐々に例会以外の活動、例えば親睦会、地区大会、ICGF(現在のIM)、ゴルフ同好会、ほろにが会等には積極的に進んで出席をし、内外ロータリアンとの懇親を深めることに務め、徐々にロータリーに馴染んでいった。阪神大震災で国際会館が倒壊し、しばらくのち例会場所がホテルオークラ神戸に変更した。会社からは少し遠くなつたが、大きな変化があった。それは食事と雰囲気、サービスのレベルアップである。よろこびを感じさせた。

しばらくはロータリーを気楽に過ごしていたある時、会長をやれと言われ、又気が重くなった。幸い横山幹夫幹事、高嶋良平副会長にお引き受け頂き、両氏に助けられ大きなつとめをしますことが出来た。

以来はぬるま湯につかり、多くの後輩にお世話になりルンルンのロータリーライフ。

自分の生活パターンにロータリーが大きく位置するようになっていた。知らぬ間に36年間もロータリー皆出席という偉業を築いていた。60周年で長期の皆出席を祝ってくれるそうでよくもそこまで…。いつまで続くのかな?と思いつながらも健康であったこと良い友人が出来いい思い出をつくってくれたこと等、神戸東ロータリークラブに感謝する次第です。

今や他ロータリーの人から神戸東ロータリークラブは神戸NO1ですねとよく言われる。ご愛想にであつてもうれしい。

更なる発展を祈る 万才

ロータリーの思い出

近藤丈晴

2011年5月。東北の大震災の影響で慌しく支店長を4月に引き継ぐことになった私は、仕事はもちらん全てが分からぬことだらけ。その中でもロータリークラブについては予備知識がまったくなく、少しどきどきしながらホテルオークラ神戸に赴きました。

なぜか最初の顔合わせがホテル内のブライダルサロンだったため、

「実は私が独身であること」が問題で、「クラブに入会するなら結婚しろ！」と言われたらどうしよう？

などとしようもないことを考えながら部屋に入ったような気がします。

そんな私がその年の忘年家族会で司会をすることになるとは。内心「人選ミスです！」と思いつながらも（岡副会長すみません！）承諾した気の弱い私は、「見たことないのに…」と半分泣きながら式次第を岡委員長（当時）に何度も添削いただき、リハーサルでは思いつきの段取りをコーラスの方々にお願いし、皆様に大迷惑をかけながら何とか会は終わり、ほっとしたことを見ています。

他方、神戸の花火を特等席でみたことに始まり、いろんな夜の会合（？）で皆様とお話しすることで、学生時代とは違う神戸と知り合い、より神戸と近しくなれました。神戸の歴史も少しは知ることができました。これも神戸東ロータリークラブに入会したからだとつくづく思います。本当に皆様へ感謝々々です。これからもいろいろ教えてください。

わが人生とロータリー

香山道宣

入会してまだ3年足らずの私にとってロータリークラブについて語るには、まだまだ知識も経験も浅いのでご勘弁ください。目下日々勉強中でございます。

例会には毎回楽しく出席させていただいている。ロータリーソングや唱歌の齊唱が気持ちを和ませてくれます。好きな曲は「それでこそロータリー」です。

この歌のイメージ通り、これからも明るく楽しくロータリーライフを過ごしていきたいと思っています

それでこそロータリー

どこで会っても やあと言おうよ
見つけた時にや おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ
ロー ロー ロータリー



ロータリーで思う事

上月福男

平成23年12月に入会させていただいて早二年余り、JCとは違う雰囲気の中 新鮮味がありました。会長になられた塚本さんからの勧めがきっかけでした。そして最初の出会いが、塚本さんの紹介で、三戸岡さんでした。この出会いが、まさしく命の恩人とは。即ち同年一月癌らしい兆候、五月手術完全成功でしたが、入会の12月に肺臓がんの肝臓転移で余命三ヶ月と宣告された。翌年三月の卓話が、重粒子線での癌治療の話。そして、肺臓がんもやっと実績出来たと正しく神のお告げ。その紹介者が三戸岡さん。重なる有り得ない偶然で、治療につながり、お陰で完治。ロータリーに入会のおかげです。毎回けん鐘のあと、歌をうたいますが、毎回気持が純粋になりストレスがクリアする感じがります。ロータリーの綱領通り、奉仕の機会を求め、社会に貢献する理想を感じ、仕事の上でもロータリーランとして何か今迄以上に意識するようになりました。

また、四つのテストで今の世の中を考えて見ますと 1) 真実かどうか — 正しく、真実がどれほど歪められ、それが真実であるが如く真顔でどうして国家的言い合いになるのだろうか。また、2) のみんなに公平か — お互いに、裏表、プラス面、マイナス面全てを公平に見て、多面的に、客観的に見る目をもつべきでないかと、ひしひし感じます。これを解決するには、3) の好意と友情を深め、判断に偏りをなくすべきでないかと。そして、その結果が4) のみんなのためになるなどうかに合致しているか。政治的には関与しないロータリーこそ、今こそ単なる理想を鼓舞育成するロータリーから、その真髄を世に示し、PRACTICEするべき時が来ているのでしょうか。

我が神戸東ロータリークラブ

工藤恭孝

1991年5月7日に入会を許され、早22年が過ぎました。この間での大きな出来事はやはり、阪神大震災です。会での香港旅行の直後に発生し、例会場であった国際会館も潰れてしまいました。会の存続も危ぶまれたりもしましたが、当時の会員の努力でもちこたえたことは今でも鮮明に思い出せます。

次いで大きな出来事は、私事ではありますが、自社の資本に大きな転機があったことです。ジュンク堂書店社長という役職は現在も同じままであるが、オーナー経営から、上場会社（丸善CHI・HD）の株主社長という立場に変わりました。丸善書店の社長も兼務し、本拠地も神戸から東京中心になってしまいました。

そんな由で出席義務が瀬戸際になっていたところ出席免除を頂けることになり、精神的に随分楽になりました。（お役を務められない申し訳ない気持も反対にあります…）神戸東以外に所属はありませんからです。入会以来お世話になった多くの会員が残念なことに亡くなっています。お顔が思い出されます。皆様と共に健康に気をつけつつ、まだまだロータリーライフを楽しみたいと願っています。



人は何故病気になるのか

久野 薫

私は1988年の入会ですから在籍25年になります。神戸東RC創立60周年を迎えるに当って例会での30分卓話を何回ほどしたのかと振り返ってみました。役職がらみのお話を加えても10回に満たないくらいです。ロータリーとは全く関係のない卓話はわずか3回であることに驚いております。これまでの私の卓話の演題は「医学閑話—生命科学」「ノーベル生理学、医学賞あれこれ」「命のリズム」でありました。最初の卓話「医学閑話—生命科学」で遺伝子の話を通じて癌の発生は因縁果律で決まると言いました。因は遺伝子の世界で縁は日常の生活での発がん物質との接触如何であるというようなお話をした記憶があります。1990年位から臨床医学界で進化医学という世界が広がってきております。これまでの医学は「How we get sick?」(私たちはどのようにして病気になるのか?)でありましたが今は「Why we get sick?」(私たちは何故病気になるのか?)が問題になっているのです。遺伝学と進化論の融合したネオダーウィニズムの台頭であります。一言で表現すればトレードオフ、遺伝子と環境の間に横たわる二律背反現象であります。生物は進化の過程で環境に適した遺伝子を獲得する一方で、その時不要であった遺伝子を失うこともあります。やがて環境が変化すれば獲得した遺伝子が原因で病気になることもあります。飢えに苦しむ環境の中で獲得した偽約遺伝子(少ないカロリーで生きていける遺伝子)が飽食の環境になると逆に肥満遺伝子に変じてしまうという理屈であります。糖尿病、肥満、高血圧、痛風、高脂血症等諸々の病気がこのトレードオフの理論で考察され始めていきます。

思い出のロータリー活動

林 伯正

会員随想テーマ「思い出のロータリー活動」についてお話ししたいと思います。私が初めてロータリーに参加したのは今から遡ること40年位前の幼稚園児の時であります。それは父が神戸東ロータリークラブに入会していたので、毎年のように家族5、6人でクリスマス会に参加していました。当時は多くの小さい子供がいて、非常に賑やかであります。景品抽選時には多くの子供達が最前列に一列に並び、「当たった、ヤッター」、「くそー、ハズレタ」、「あれが欲しかった」とか、初めて会場で出会った子供達とすぐに友達になり、時には当たった景品を交換したりして、非常に楽しかった思い出が心に残っています。

次の参加は24年前の大学4回生の時であり、これも又父に次のように言われ、参加しました。「8月にロータリーの催しが淡路島であるから遊びに行っておいで」と、当時、私は部活、就職活動も終り、又、夏休みということで時間が多分に余っていたので、二つ返事で「OK」と返しました。朝11時頃に新在家で集合し、そこからロータリアン3名、男子大学生4名の計7人でクルーザーに乗り、洲本サントピアマリーナに向かいました。途中ハンドルを握らしてもらい、まさに裕次郎気分で、大海原を爽快に進みました。着いてからは2人の女子大生合流組と一緒にマリンジェットや海水浴を楽しめてもらい、夜にはマンションのベランダでバーベキューをし、お肉、海産物等を美味しく頂きました。今から思えばあれはローター・アクトではないかと思われます。

3名のロータリアンの皆さん、本当にありがとうございました。(今日入会して3名中2名は誰かと判明していますが、もう1名はいまだわかりません、覚えのある方はお声掛けください)

このように遊びロータリーは理解しているつもりですので、入会4年目になりますので、本当のロータリー活動を少しは実行して行こうかと思い執筆終了致します。

私とロータリー

前田正学

私は金融機関に勤めるサラリーマンですので転勤が宿命。前任地でもロータリーに入らせて頂いていましたが2年間でした。おそらくご当地神戸東ロータリーでも長い時間は残されていないでしょう。多くのロータリアンのようにじっくりと交友を深めたり、地域のなかで様々な奉仕活動に携わることで自分を高めていくことなどは難しい状況です。個人的な気持ちを率直に表現すると法人としての会員のようなもので以前からのたすきをつなぐという意識が強いかもしれません。

例会に完全出席することさえまならない腰掛ロータリアンではありますが、過去3年の短いロータリーライフで、また二つの異なるクラブに所属したことで未熟ながら自分なりのロータリー観も芽生えつつありますので記してみます。

まずはやはり、あらゆる分野において実績を重ねてこられた、社会をリードされている方々と接する機会に恵まれることでしょう。同じクラブに属していることで、またロータリアンであることで、若輩の私でも仲間として遇して頂けます。仕事を離れてこうした機会・場をもてるのはやはりロータリーならではで、私にとって最大の魅力です。人生の達人たる多くの方々と接することで、ものの考え方、処し方を吸収していくらと考えています。

やわらかい話ですと、食べることと飲むことが大好きな私としては地元の名士の方々が通う美しいお店、ご当地ならではのお店、安くてバランスのとれたお店等を紹介してもらえることもメリットでしょう。やはり美食家、食通、舌の肥えた方が多く、紹介されたお店でののはずれは極めて少なく価値ある情報源です。

神戸東ロータリー60周年は私にとって2年目。仕事を力いっぱい頑張って軌道にのせ、様々な同好会にも顔を出させていただけるような状況にして、より充実したクラブライフにしたいと思っています。

わが人生とロータリー

松井照男

私は、平成13年6月に野田晴清会員と川崎元男会員の推薦により入会をさせて頂きました。初めの1年間は、自分の居場所が見つからず困惑の毎日、例会に出向くのが非常に億劫であったことも懐かしく思います。

今も未だ、しんまいロータリアンではありますが、新しいメンバーとの交流を積極的に行うことにより、ロータリー活動を認知してもらうことよりも、まずは、友達になることを心がけております。

私がロータリーに人会して最も有意義と感じたことは、異業種の集まりであること、また、それぞれ経営の真情を交換できることにありました。私自身も1企業の代表者として、今まで切磋琢磨してまいりましたが、その交流とは、同業者若しくは、協力業者間とのお付き合いが主で、交流の幅に限界を感じることがありました。しかしロータリーでは、普通に会えば名詞交換でさえ困難である、神戸企業を代表するメンバー、大手企業からの出向メンバー、異業種のメンバー等の皆様との交流が当たり前にあったことです。「井の中の蛙」の井戸から飛び出して社会を大きく見ることができ、経営に対して多くのヒントをもらうことができました。又、会社では相談しかねる経営者としての悩みを打ち明け、アドバイスを頂いたことは今も私自身の宝としております。

私が思うロータリー活動は、親睦により友情が生まれ、活動に参画し、更に強い絆が結ばれることが眞情であります。

永年に渡りご活躍されたメンバー各位に感謝申し上げますと共に、これからも体に自由が利く限り活動を続けてまいりたいと、60周年を迎えた今、あらためて決意いたす所存でございます。

入会したばかりですが

松島哲也

昨年12月入会の私が歴史に残る60周年記念誌に参加させて頂くことに恐縮しながら、光栄に思い寄稿させて頂きます。入会時に、松下、鎌田両先輩からロータリーについて詳しくご説明いただきました。その後、本日まで僅か2か月間の間ですが、色々と経験させていただき、本当の中身の勉強を開始したところです。入会日とその前週はメインテーブルで、野々村会長と須藤幹事のお二人が食事をされる間も無く忙しく業務こなして行かれるのに感心しました。会長の鳴らされる点鐘と平均年齢60歳を越えた90の方が皆で歌われるのにはびっくりしましたが、直ぐ慣れました。小学生～高校生の時に歌った歌を久しぶりに大きな声で歌い、気持ちよく思いました。入会早々なので、家族・親睦委員会に属し、受付等を担当しています。私以外の107人のお名前と顔を覚えるためにも良いシステムだと思います。12月の移動例会後の打上げでは、イベントのお手伝いをさせていただきました。新年の初釜例会では、関係する他のロータリークラブの方をゲストに招きその様子は強く印象に残るものでした。また年末年始の行事で「むつみ会」の存在を認識しました。例会では、ゲストによる卓話を楽しみにしています。通常のセミナーより短い30分で行われるところも話の中身が凝縮されているようで気に入っています。あまり深く考えずに入会し、入会後は、毎週の参加が負担だろう、また、職業奉仕とか難しそうだと思っていましたが、先輩方の親切なアドバイスもあり、あまり難しく考えずに積極的に参加して、少しづつ成長できればと取組んでいます。

わが人生の中のロータリー学友会

松下 衛

私は第2680地区の元国際親善奨学生です。1969年（昭和44年）3月、神戸RCの推薦を受けて地区的募集に応募し、同年9月にRIの財団から決定通知をいただきました。1970年（昭和45年大阪万博）8月から1年間にわたり第504地区（現第5050地区）のカナダ・BC州バーナビー市にある州立の短期大学BCITホテル学科で勉強させていただきました。第504地区財団、クラブ、ホストファミリーの私に対する家族同様の真心ある対応が、今日の私のロータリアンとしての原点であり、40数年経た現在も家族付合いが続いています。

帰国数年後、この経験を生かす為に第2680地区学友会を学友有志と立てました。これから留学する後輩の皆さんに、少しでもお役に立てればという奉仕の心と、学友同志の親睦的な意味合いがありました。1983年に当地区から財団学友会として公式に認められ、名前も兵庫学友会と名付けました。学友会設立は全国に広がり、2012年に日本34地区の内24学友会が加わった「日本ロータリー学友会」が発足しました。私も幹事を務めさせていただいております。

一方RIの財団では全世界の財団学友会をまとめ、2008年ロス国際大会において、初めて世界中の学友を集めた同窓会を開催致しました。セミナーあり、テーマ別のパネルディスカッションあり、朝食会ありで多彩な会となり、様々な国から来た学友たちと語らえる、有意義な時間を持つ事が出来ました。

今では地区兵庫学友会⇒日本ロータリー学友会⇒ロータリーライフ財団ネットワークと結ばれ、情報の交換と活発な活動を目指しています。また2013年度には当地区4学友会（財団兵庫学友会、青少年交換学友会、米山奨学兵庫学友会、ライラ学友会）がネットワークで結ばれ4学友協議会が発足しました。（右記の写真はロス国際大会での学友セミナー終了後の写真です。2012年度RI会長となられた田中作治氏や日本人学友の一部と会場内で記念撮影。）



わが人生とロータリー

道上 明

- 1 随想を書くのに、まずテーマの選択に苦労した。それは、神戸東ロータリークラブに入会を許されて、これといった活動歴もなく、それ故、書く内容が乏しいからである。いっそ不提出にしようかとも考えたが、次の理由により決心をした。
 ①随想執筆のコンテンツは「60周年の年に在籍した会員の足跡を残す」ということである。
 ②会長ノミニーに選任されたこと。
- 2 思えば、入会は、平成7年5月である。阪神・淡路大震災直後である。入会のお説明は、震災前からあったが、まだ40歳台前半であり、若すぎるのではないか、もう少し考えようと思っていた。しかし、震災による神戸の社会的混乱を見るにつけて、自分も何か人の役に立てるができるのであればと思い入会を申し出、これを許可された。従って、震災がなければ入会はなかったかも知れない。はじめは、ポール・ハリスのこと、ロータリーの歴史、理念など種々勉強しなければならないと思いつつ、結局自分の本業にまけて、ロータリーの勉強や活動はほとんどできないまま60歳を迎えていた。
- 3 このまま自分のロータリー生活は終わるのかと思っていたとき、会長のお話を頂いた。弁護士会のお世話役も大きなものはほぼ終えだし、せっかくのお声掛けであり、これを機会にもう一度初心に帰りロータリーを見つめなおそうと思う。ただし、どこまでやれるかは、正直自信はないが、メンバーの皆様の御協力のもとに、新たなロータリー人生を歩みたいと思っている。
- 4 60周年のテーマは「温故知新」である。古きは知らず、新しきをつき進むのみである。衷心より、御指導・御鞭撻を願うのみである。

居心地の良い楽しいクラブ

三原孝公

昭和54年6月、坂下先生と角田さんの紹介で40歳の時に入会をさせていただきました。そのとき、角田さんは「俺、10年あまりも最年少会員やねん」、三原君が入会したら、最年少会員からやっと解放されると笑って話されていたのを思い出します。入会が許され、小生は5年間ばかり最年少会員を続けておりました。入会時に紹介者の第21代会長、坂下保太先生に例会への出席を100%するようにとの厳しいお話があり、後にもひかれぬ状況になりました。あとは根性で、入会まもなくは、唯々例会や委員会の会合に欠席をしないと決め、何もわからず黙々と出席しておりました。気が付くと22年間100%出席をしておりました。坂下先生との約束を果たせて安堵したことも懐かしい思い出です。

その当時、奉仕活動をするというよりも会員の一人一人が事業家や技術職の専門家として眩しいぐらいに輝き、自己研鑽させてもらえる良い機会を得た喜びの方が強かったと記憶しております。時間が経つにつれて多くの先輩や同時期入会の友達も増え、同じ釜の飯を食った仲間という一体感が生まれ、居心地の良い楽しいクラブに変わっていきました。

会員には職業奉仕にたけた人、社会奉仕が得意な人、国際奉仕で活躍する国際人、そして、会員開発に向く人などなど～自分の職業を通じ得意な奉仕活動に活躍されており、その人たちから奉仕活動だけでなく人格形成に関しても大いに影響を受けました。当クラブに入会をさせていただき、はや、35年の月日が過ぎました。今、神戸東ロータリーの会員であることを誇りに思うとともに、大勢の仲間と楽しいクラブライフを大いにエンジョイできている幸せを大変嬉しく思っています。

わが人生とロータリー

三戸岡英樹

ロータリークラブ会員になり5年が経過いたしました。以前から中井先生と懇意にしていたことから、先生に勧められて入会させていただきました。入会2年ほど前に卓話にお招きいただいたおりましたが、実際にどんな会なのは入会するまではまったくわかりませんでした。入会後私が感じたことは色々な分野の方が会員であること、非常に皆さん仲が良く簡単にいろんなことが相談できる、クラブの運営に関し真剣に取り組んでおられることでした。特に親しくなりました方々とはロータリーでの活動とは別に山歩きを楽しんでいます。六甲山を中心に色々な所を歩きましたが、朝登りはじめ昼山上で昼食、その後ゆっくり下山し風呂に入り夜は美味しい所で可能であれば奥様方も参加してとりとめのない話に盛り上がるわけです。一汗かいて風呂に入った後ですので、美味しい食事、お酒も相まって、一つの話題に関して色々な業種の方々から様々な意見、人生経験など日頃は絶対に聞くことのできないお話を聞くことができます。本当に楽しいひと時です。医師として歩んできた人生では患者様との交流は沢山あるわけですが、あくまでも医師、患者様との関係であるため広く深い交流は無理であり、医師は世間が狭いとよく言われる所以であります。ロータリーの先輩方から私が学んだことは品がよいとはどういうことなのか、人間関係の問合はどのあたりが適度なのかということです。ロータリーに入らない限り経験のできないことをたくさん経験させていただいており、これからもそれは続いてゆくと思います。中井先生本当にありがとうございました。私も還暦であり60周年を迎えた神戸東ロータリークラブの一員としてこれからも自分の人生を磨いてゆきます。

職業奉仕のこころ

三野哲治

神戸東ロータリークラブに入会させて頂いてはや2年余りが経ちますが、社業の忙しさにかまけて例会や行事への参加が思うに任せず、内心忸怩たるものがあります。

思い出を語るほどの経験もありませんので、ロータリー入会当初、ロータリー活動の原点は「職業を通じて社会に貢献する」そして「職業倫理の向上に努める」ことにあるとの話を聞き、私の40年余りの勤務で学んだ「住友事業精神」と相通じることで強い共感を覚えたことに触れたいと思います。

住友の歴史は江戸時代の初めに始祖、住友政友が京都で薬舗を開いたことに始まり、江戸時代から明治にかけて四国別子銅山の経営を中心に、日本を代表する財閥となりましたが、注目したいのは四百年に亘る事業経営を通じて、「住友の事業は住友自身を利すとともに国家を利し、かつ社会を利するものでなければならない」との理念を実践してきたことです。

私が特に敬愛する住友本店2代目総理事であった伊庭貞剛は、今日で言うCSR（企業の社会的責任）の概念のなかった明治時代にあって、別子銅山の採鉱で周辺の山林がはげ山となってしまったことを憂いて、大植林事業に着手し、今日新居浜市民が憩う緑の山にまで復元することが出来たのです。

伊庭貞剛が座右の銘とした「君子財を愛す、之を取るに道あり」は私自身も企業人として常に心掛けなければ念じている言葉です。

住友事業精神の実践こそ、ロータリーの職業奉仕のこころなのではないかと思っています。

最後に、神戸東ロータリーのすばらしいメンバーとの交流を一層深めることでさらにクラブライフを充実したものにしていくことを願って筆を擱きます。

ロータリーと私

宮 昭久

2007年5月22日宮昭久46歳と3ヶ月と12日目、神戸東ロータリークラブに入会させて頂いた。会員数107名殆ど私の事はご存知あるまいと思い入会した。初めての例会出席に私は目を疑った。「知ってる人、ギョウサンおる！」「20年前に会合で私が無茶苦茶偉そうに怒って投げ捨てた人もおる！」「お一宮！ひさしぶりやなー！」「声までかけてくれんでも解る！」どうしよう私は動搖を隠せなかつた。「名簿あってんやつたら見てからにしたらよかった」もう、どうしようもない……。

あれから、早6年10ヶ月、やっと皆様と仲良くしていただけた様になりました。

もし、あの時ロータリーに入会していなかつたら……。と考えますと、本当に入会させて頂けて良かったと思います。なぜ良かったかと申しますと……。ロータリー活動も少しづつ覚えていくと思います。宮昭久53歳の春、此処に記す。

ロータリー

森本一裕

私のロータリー

楽しいロータリー

面倒くさいロータリー

カクレミノのロータリー

今年還暦のロータリー

世界で一番居心地のいい神戸東ロータリー

おわび

小学校2年生の孫娘の詩
「私のおとうと」より盗作
致しました。

人生の達人達

村元信吾

神戸東ロータリークラブ60周年おめでとうございます。60周年は人生では“還暦”新たな出発点ですが、私は綠寿と言うお祝い事を知らなかつた66歳です。

この二十数年、10年間の海外生活、日本に戻っては毎月の海外との移動でしたが、仕事関連を半分リタイヤした際に、西原先輩より当クラブへの入会勧められました。

過去にも市内のクラブに所属した経験もあるのですが、海外関連事業で出席がままならず退会となってしまい、再入会は私にとっては新たな生活の出発点となりました。

自分では趣味としては一人前といえるのは、音楽ならレコード、CD収集とオーディオ機器ぐらいで、後は下手の横好きばかりでしたが、落書きから絵画*へ、そして単なるワイン好き（酒飲み）から本格的にワインと料理を楽しめる知識を得る機会を持たせて貰えました。

これ以外にもその道の達人が沢山おられ、これからもまだまだ新しい事や未知の領域に一歩を踏み出す事が出来そうです。

これからもよろしくお付き合いお願いします。



*第一号 2012年(アクリル)

未来のリーダーへ

中井章詞

神戸東ロータリークラブと、私は同じ1954年生まれで還暦を迎えます。1994年6月の入会以来、色々な経験と勉強をさせて頂きました事を感謝しております。特に、2008～2009年度野田会長の下で幹事を、2012～2013年度には会長を拝命致しました事は私の一生の宝となりました。今年度、クラブ研修リーダー、未来委員会委員長、会長ノミニー指名委員長となり、これからこのクラブを牽引していく人材の育成が重要であると痛感いたしました。国際ロータリーでは「未来の夢計画」や「クラブリーダーシッププラン」などの改革を推進し、これまでの単年度制から経年制を重視するようになります。クラブとしても会長、副会長、幹事、理事、役員、各委員長となるべき人材を長期の展望を持って順次育てる事を重視して行かねばならないと思います。今後は、先人の知恵を引き継ぎながら時代のニーズに応じた奉仕活動を促進し、また益々の神戸東ロータリークラブの繁栄を祈りつつ、次世代を担う若い会員の育成に微力ながら尽くしていきたいと思います。

私の人生とロータリー

中尾 優

60周年おめでとうございます。
私は平成20年7月に入会させていただいて以来、5年が過ぎました。日々目の前の業務案件への対応に精一杯で、正直、随想を起こす心境には到底到達できておりません。会の平均年齢に比すればまだまだ若輩ですので、今後、恙なく10年、20年と在籍年数を重ねることができますれば、何某かの感慨も湧いてこようかと思う次第です。

私の人生とロータリークラブとを重ねられるように、ロータリークラブ会員の行動基準を要所要所で胸に刻みながら精進してまいりたいと思います。

短くて恐縮ですが、60周年の節目に寄せる言葉とさせていただきます。

思い出のロータリー活動

野田晴清

平成6年4月19日(火)入会の日、其日は今現在ではありえない事でした。会長は故三輪会長さんでした。入会セレモニーの時、2人の推薦者が欠席で紹介者も無く、四つのテストとバッチのみ頂きましたが、これが神戸東ロータリークラブかな?と…甘く見た節があり、後1~2年は出席率も悪く、今の自分と照合すると大変な間違いがありました。

ロータリアンとしての目覚めの切っ掛けは、今は故三好秀雄、横山(幹)、上村(伸)、石橋、中井、各会員の気遣いなのか?…何かの弾みからか?…心機一転、例会は休むものではない、毎週々々努力して出席しなければ自分が惨めだと思い始めると、周囲の会員の顔が良く見えてきて存在を感じ始めました。

その後、故三好先生より後2年近く略毎日会社に電話があり、短くて2時間、長い時には3時間くらいレクチャーを受けました。話す方も話す方ですが聞くのも大変でした。当時はゴルフ場にいましたので事務員が社長、三好様から電話ですいでくれた転送場所は応接室へと社員全員が認知していたようです。

その代償がH11～H12にかけて初めてのプログラム委員長でした。其時の会長は西村太一会員と久野薰幹事でした。それからは都度各委員長、50周年は幹事、55周年は会長、終には60周年実行委員長と、お人好しもいい加減にしないと54年続いた嫁が愛想をつかして一人者にと思うと桑原々々である。

とも思うが例会にて樽本さんや諸先輩と顔を合わせて、三原さん、角田さん、高橋さん、松下さんのあの笑顔を見ると、週に一度ほつとした充実感もある例会です。委員会、同好会もまた楽しく、

来週も再来週も例会にと思いが湧いてくるのであります。

終わりになりましたが、若い会員が頑張っている姿を見ていると我がクラブの将来は遅しい限りである、「永遠にあれ」。称賛を送りたい。

ロータリーの仲間を考える

則岡弘士

あつと言う間の10年がすぎてしまった。調べてみると入会を許されたのは、平成16年3月9日となっている。三原さん、角田さんご両人のご推薦をいただいたので入会でした。早や満10年が経過してしまった。時間の経つのがものすごく速い。この間何かロータリアンらしい事が一つでも出来ただろうか?振り返ってみてもあまりそれらしい事はしていない。ロータリアンとして恥ずかしい限りである。もう少しロータリアンらしい生活をしなければ……

ただ、私個人としては、神戸東ロータリークラブの各種の同好会に参加させてもらってそこでの仲間としての先輩や後輩との交流を通じて本当に楽しい時間を過ごさせてもらうと同時に、それら先輩や後輩から多くのものを得させてもらっている。ゴルフ同好会、絵画同好会、俳句同好会、I.Y.F.R.等でそれぞれ素晴らしい仲間に囲まれ、私の仕事以外での充実した時間となっている。仲間との会話が実に楽しく、また、それら多くのメンバーの方々の人となりから、実に多くのものを得させてもらっている。遊びの中にも人生はどうあるべきか、人間として何が大切か等教えてもらっている。何物にも替えがたい私の宝物である。

昭和が平成になった年のこと

小倉宗夫

昭和63年(1988年)、35代会長は三好秀雄さん、幹事は西宮章泰君、そして副会長に私が任命された。その年の会員数は120名。そして高齢者と年少者の年齢差は45才に達していた。このような多大な人数の人達を、どのように纏めて「魅力のあるロータリー」にするか、これこそ三好会長が最も求めた課題であった。所が運悪く、この年度早々から昭和天皇の重病が伝えられ、派手な事業や行事は自粛することになり、西宮幹事提案の斬新な企画は次々と中止せざるを得なかった。

「会員全員が参加し、長期間継続できる事業は何か?」何度も会議を重ねた結果、それは会員各自の「趣味嗜好」を届けてもらい、それを参考にして幾つかの同好会を立ち上げ、各人が好む同好会に参加し、其処で新しい仲間を作りに行く、それが最も早道ではないか、と云う結論に達した。

翌年1月、昭和は平成に改まった。4月11日、樽本実行委員長のもと、クラブ創立35周年祝賀会が旧オリエンタルホテルにおいて盛大に挙行された。会員、むつみ会、来賓を含めて240余名が参加し、記念事業として、「同好会の活性化」がテーマとして掲げられた。既存のゴルフ、俳句、コーラス、囲碁に加えて、絵画、ワイン、テニス、旅行グルメ、観劇、茶華陶器、計10種の同好会が正式に設立発表され、会場はもとより、ロビー、廊下に至るまで、作品、活動実績、記念写真などが賑々しく展示された。これこそ現在、わがクラブ特有の活動である「同好会による会員融和」の始まりとなったのである。

そして、同好会の新設はこれに止まらず、その後、麻雀、日本酒、歩こう、料理、I.Y.F.R.、カラオケ、そしてビールの同好会が追加され、現在は全部で17種の同好会が存立している。(うち現在活動中のもの12種)こうして、嘗て三好会長が夢見た「老若男女全員が参加する魅力あるロータリー」は実現した。が、残念なことに、三好さんは2001年、西宮君は昨年暮に逝去された。共に享年は75才。心からお二人の冥福を祈りたい。

思い出のロータリー活動

大澤 勇

4年前に岡会員からの誘いが有り、当時新規事業の現場責任者の立場から本社への復帰という事で、丁度良いタイミングだったので、入会を決めました。岡会員からは「楽させてあげます。入会後はゆっくりして下さい。」とのことでした。当初、慣例で親睦委員会に配属されたわけですが、親睦家族委員長でもあった岡会員から、「大澤会員には、次の親睦会の司会をやってもらいます。」とのご指名、「こりゃえらいこっちゃ！」と正直思いましたが、断り切れず受けてしまいました。すると年が明けて、「56周年の記念式典の司会もお願いします。」と再度の要請があり、断ることの下手な私は受諾していました。2年間の親睦委員会での活動の後、3年目は鮑委員長の元でプログラム委員会の副委員長を仰せつかり、会期の半分も経たないうちに、「大澤ちゃん、暫く嫁と長期クルーズで世界1周するから、後の事は頼むよ」と突然の委員長からの要請。ここでも、簡単に受けてしまい、会期後半は委員会メンバーの協力のお蔭で何とか乗り切ることが出来ました。そして今期は、岡副会長から「会員増強委員長を受けてくれませんか？楽な部署です。」との要請が有りました。疑う事を学習出来ていない私はまたしても受諾したのです。活動を始めてみると、増強活動が今ロータリーの世界で、組織存続という事で、正に喫緊の課題であるという事を知り、改めて大変な委員長を受けてしまったなと思っている次第です。今までの活動を振り返ると、活動が終わった後に、心地よい「達成感」を感じました。逆に言うとこの「達成感」を得るために少しハードルの高い役目を受けた様にも思えます。

還暦を迎えて

岡 栄治

平成8年4月に入会して、早や丸18年が経過しました。入会当時は、クラブ内で最年少であった私も、今年の10月で歳60歳を数え「還暦」を迎えます。

そしてまさに本年、神戸東ロータリークラブは創立60周年を迎えます。

つまり、私も神戸東ロータリークラブも同じ年の「還暦」ということです。

18年前の入会当時を振り返ってみると、新入会から数年間は、親睦委員会に配属されておりました。現在の親睦委員会と同じく、仕事は例会の受付、親睦会・家族会の準備等でした。また、当時の親睦委員会の委員長の方針で、月1回委員会と称してゴルフコンペがあり、委員会のメンバー同志の交流の機会も多くあり、新人の私は「ロータリーとは親睦なり」という理解の下、楽しいロータリーライフを過ごしておりました。

その後しばらくは新世代、社会奉仕、国際奉仕委員会を経験し、クラブ奉仕とはまた違った奉仕活動の楽しさを知ったことは、その後の新たな発見であります。

そして今年度、クラブ内の親睦のまとめ役であります、クラブ奉仕委員長の大任を仰せつかりました。入会からの18年間を振り返りますと、私のロータリーは「親睦」に始まり、還暦を迎える年に、一巡して今また「親睦」に回帰し、私のロータリアンとしての出発点に戻った感があります。

然るに私自身のこの新たな出発点に、これからロータリーに何を探求していくべきかと逡巡いたしました。

本年度の会長テーマは「みんなでさがそう、新しい芽」であります。

我が人生も、我がロータリーも還暦という節目を迎え、新しい芽の息吹きを是非とも実感していきたいものです。

思い出のロータリー活動

乙守典厚

今年度は、創立60周年。この大きな節目に、ふと今までのロータリー活動が思い起こされて参ります。

2005年9月27日…今私がいるのは何処だろう。そんなカルチャーショックを受けたのがカンボジアでした。ここへ来るのは、WCS世界社会奉仕事業の為であり、その我クラブが支援した事業は、ボルボト政権の時代に埋設された地雷等で手足を失った人達を診断し、義手や義足を製作し与える義肢装具士を養成する事業です。そして我クラブは、カンボジア女性のRos Thydaさんを支援しました。今回のカンボジア訪問は、Ros Thydaさんが3年間の勉強と研修を終えて卒業を迎えることになったからです。

CSPO-CTカンボジアトラスト義肢装具士養成学校(CTの本部は、イギリスにあり、亡きダイアナ妃も、この団体で地雷除去の活動をされていた)の卒業式では、カンボジア政府代表、英国大使、CT役員や、各国からの支援団体が臨席されて行われました。オープニングのセレモニーでは、子供達が、民族舞踊を振舞い、中には車イスの少女もいました。

みんな恥ずかしそうにしながらも、一生懸命舞っていました。

しかし、動きが少し不自然だなと思っていました。

舞っている子供達は、全員義手と義足だったのです。

私が、この事業に感動させられたのは、ある手足を失った遊び盛りの子供が、「もし私に、義手や義足が与えられたら、毎日、苦労してがんばっているお母さんのお手伝いをしたい。なぜなら、今のカンボジアでは我々のような家庭が生活をしていくのは難しいから」と話していました。この話を聞いて、カンボジア事業への思いに加速度がつきました。そして、卒業式の為にがんばって舞っている義手・義足の子供達を見て、何か言葉では言い表せられない境地になりました。

カンボジアの地で、ロータリーの奉仕の心に触れることが出来て良かったと思っております。

そうか、みんなロータリーが好きなんや

大辻正明

創立60周年記念実行委員会より「創立60周年記念誌執筆のお願い」が届いた。記念事業の一環として、記念誌が発刊される予定ということである。そういうえば、50周年、55周年の節目にも、同様の記念誌に投稿したことを思い出す。

50周年の記念誌への原稿では、スラスラと筆がすすんだと記憶している。楽しかった。表題は書き上げたあとに思いついた。「出席してこそロータリー」であった。

55周年の記念誌への原稿は、難産であった。このまま、ただただ惰性のままでロータリーライフを続けていても良いのだろうか、いったい自分はどうすれば良いのか、と思い悩んでいた頃であった。入会後に諸兄から賜った種々の「金言」を思い出した。それは諸兄から私への叱咤激励であった。みなさまからの友情を再認識し、自分を見つめ直す好機となった。

あれから早や5年。今回のご案内は10月8日に発せられているが、何を書こうかと思案しながら時間がたち、今日(11月21日)になってしまった。何でも良い、今の心境から先ず書きはじめよう。

書棚の前に立っていた。執行英毅1997~8年度ロータリー情報委員長が編纂された「神戸東ロータリークラブ ロータリー随想 1997」が目に飛び込んできた。ページをめくった。ドキッとする玉稿で満ちあふれていた。

そうか、みんなロータリーが好きなんや。

肩の力をぬいて
リラックス、リラックス、リラックス

思い出のロータリー活動

尾山宜道

思いおこせば平成13年6月に入会させていただいて早や13年。当時土城敏彦さんの熱烈な勧誘により、まずは同業である、高橋恵俊さんに御了解を頂き、推薦者となってもらい、樽本さん、小倉さん、木下さんなど、古くからのメンバーに内諾を得て、なんとかもぐり込めた(笑)のは土城さんの御尽力のお陰であります。

入会してからまもなく50周年を迎えるも解らないまま、ハード面のみで記念式典や赤木ガバナー時の地区大会をお手伝いさせていただいた事を思い出します。

それから10年、委員長を3回もさせていただき、米山功労、ポールハリスフェロー、ベネファクターと貢献。紛いながらも少しはロータリアンとして成長したかなと思う昨今です。の中でも、私にとっては主としてゴルフ同好会のお世話をするのが大半をしめ年3回の定例会、各チャリティー大会などに多数の方々に協力してもらい、毎回、「ご苦労様。」とお声をかけていただく事に感謝申し上げます。

60年とは十干と十二支が一周りする年です。私達も神戸東RCも、新たなスタートであると感じ、更なる飛躍を誓い、努力する所存であります。

わがクラブ

佐井奇正

神戸東ロータリークラブに復帰するよう先輩方に声をかけていただき、昨年、平成23年6月再入会いたしました。

最初に神戸東ロータリークラブに入会したのが平成7年6月でした。

山本康一郎君を誘って一緒に入会、私は1年前後お世話になりましたが、急性腫瘍を患いました長期休会、そして退会(平成11年6月)しました。

10年以上無沙汰していたにも関わらず、先輩方や皆様方に温かく迎えていただき、本当に感謝しております。

この度、創立60周年という事で、ある先輩にいただいた「神戸東ロータリークラブ創立50周年記念誌」をゆっくり拝見しました。

創立時以来の懐かしい数々の写真や懐かしいたくさんの先輩方の名前。

平成16年の50周年時の西原会長、野田幹事、角田実行委員長はじめ会員皆様の活気に満ちた、晴れ晴れしい表情が伝わって来ます。

地域社会や国際社会の中で、ロータリー活動を実践してこられた神戸東ロータリアン皆様の50年の歴史が全て記録されたすばらしい内容でした。

特に「50年の会員の動き」の中には私の過去の入退会の記録があり感激いたしました。

歴史と伝統と風格をもった神戸東ロータリークラブの一員として60周年を迎える事が出来ることを大変光栄に思っております。

ありがとうございました。

ヒポクラテスの誓詞

澤田正樹

私は、神戸東ロータリークラブに平成20年4月に入会致しました。今回の60周年記念誌への投稿は、私にとって5周年に際しての思いを記すことになります。

まだ新参者ですが、ロータリークラブに入って最初に考えさせられた事の一つは、職業奉仕についてでした。

医師の世界では、医師の職業倫理を語る時に必ず出てくるのが「ヒポクラテスの誓詞」の九カ条

です。ヒポクラテス (Hippocrates) は、紀元前5世紀から4世紀の古代ギリシアの医者で、占いや呪術を否定し、経験的知識に基づく医術を主張し、医道の基礎を確立した「医学の父」と称されています。このヒポクラテスが医術の行動倫理規範として説いたのが、「ヒポクラテスの誓詞」の九カ条です。現在でも、その精神は、ヘルシンキ宣言にも引き継がれています。その内容は、1：医の実践を許された私は、全生涯を人道に捧げる。2：恩師に尊敬と感謝を捧げる。3：良心と威厳をもって医を実践する。4：患者の健康と生命を第一とする。5：患者の秘密を厳守する。6：医業の名誉と尊い伝統を保持する。7：同僚は兄弟と見なし、人種、宗教、国籍、社会的地位のいかんによつて、患者を差別しない。8：人間の生命を受胎のはじめより至上のものとして尊ぶ。9：いかなる強圧に遭うとも、人道に反した目的のために、我が知識を悪用しない。というものです。

この「ヒポクラテスの誓詞」の精神とロータリーの目的(綱領)に書かれている職業奉仕の理念は大きく重なっているように思われます。違う点とすれば、ロータリーは自己に帰結せず、広く知り合いにその精神を広めてロータリーの輪を大きくしていこうという社会運動の性格を持っていることでしょうか？

ただ、行動を伴う理解までには、まだまだ、日暮れてまだ道遠しというのが私の5周年の現実です。

私の「ロータリー」との出会い

執行英毅

私が「ロータリー」に初めて出会ったのは、昭和24年、西宮ロータリークラブのチャーターナイトの時であった。このとき父はクラブのチャーターメンバーで、大学生であった私はさしづめ母の介添えという役であったのである。会場では、会員で接待役の甲南の先輩の八馬啓さんに久しぶりにお会いできたり、「大関」の長部社長さん、「美津濃」の水野会長さん夫々のご夫妻、さらに来賓(当時のガバナー?)に前京大総長の鳥飼利三郎先生のお顔も見え、いったいこの「会」は何だろうと不思議に感じたものだった。

その後、私が神戸で医院を開業したのを見定めに来た父は、「そのうち、もしもロータリークラブに入会を勧めてくれる人があれば、ぜひ入れてもらうよい……」と言っていた。やがて池田、風間両先生のご紹介で神戸東クラブに入れていただいたのは、昭和45年7月、丁度大阪万国博が開催であった。思えばその年度は神戸東ロータリークラブとしては創立後まだ17年目だったのである。

そのころわがクラブも他クラブ同様、成長の時期であったためか、自己研鑽の気風が非常に盛んであった。一方で若手会員のロータリー観もかなり多様性があった。ラウンドテーブル会はロータリーの理念に関する事もあったが、クラブ運営関連のテーマが多く、ほとんど毎月のように行われていたし、例会中のバズセッション(テーマを設けて各テーブルごとの討論)も幾たびか体験した。傍ら私が身をもって感じたのは有言、又は無言の、強かな、熱心な先輩会員が数々おられたということであった。例会中やその他折に触れて「あのな執行さん……」と言って、思わぬ方々より「ロータリー知識」として“幹事の権威”、“早退のマナー”等々ロータリー談義を拝聴することも度々あった。

入会翌年、春頃のある日、安福さんよりお呼びがあり、朝日ビルの直木さんの事務所に出頭せよとのことである。早速参上してみると、直木PGはじめ安福、小野両会員他1、2名のはじめてお目にかかるロータリアン合わせて4～5名の方々がおられた。お話は次のようなことであった。「近くロータリークラブに関する勉強会を関西圏内で始めたい。についてはその幹事役を神戸RCより末積さん、大阪RCより生駒さん、神戸東よりは執行に担当してもらう。」とのことであった。驚いて後ほど事情を小野さんに伺うと、「大阪と神戸のご両名は練達の詳しい方々だから、いろいろ聞いてやってください」とあっさりと言われた。丁度時を同じくして関東では小堀憲助氏が中心となって「千種会」という勉強会ができていた。この会は一定のカリキュラムの下に行はれる厳格な研修形式の講座であったが、われわれのほうは毎回それぞれ演者を依頼し、或るテーマのもとに講演と討論形式の勉強会となつた。初回は関東より小堀氏を招いて盛大に発足したが、会の運営の形式が異

なるので両会の交流はその後はなかった。

我々の会は「関西ロータリー研究会」と名付けられ、年に3～4回概ね関東以西の古参の有名な会員に、基調講演としてロータリーの歴史と発展の経過、現状に関する解説や課題提起などを願いし討論は活発に行われた。東京東RCの佐藤千寿氏、高松RCの三宅俊三氏等、東西のPGをはじめとする遠来の著名な先輩会員も数多く、「ロータリアン」として啓発されることの多い交歓の場であった。私にとっては思い出も多く、クラブの垣を超えて心に残る知り合いができたことも貴重な体験となった。しかし会の「名称」が堅苦しい気配のためか、若いロータリアンたちには敬遠され勝ちだったのは惜しまれる。この会の発展と存続について、最後まで堺RCの大沢徳平PGの献身的なお世話になった。長年にわたり、広い年齢層のロータリアンの気持ちを鼓舞し、ロータリー理解の促進に大きな足跡をのこしていただいたことは掛け替えのないことで、特筆し、感謝申し上げねばならない。

ここでは入会当初のころの自分のクラブ生活の一こまを回顧してみた。世も移り、最近はロータリーの変容も急展開で、私の理解の能力を超えるようになっている。今後ともわがクラブの、積極的、探究心に燃えた数々の若手ロータリアンの活躍に期待したい。社会活動より身を引いた自分としては、日常生活レベルでの親睦を念頭に、燃え残った職業奉仕の観念と、「四つのテスト」を自己流に濃縮して、①FAIR(公明正大)と、②FRIENDSHIP through GOODWILL(好意による友情)で過ごしてゆきたいと思っている。

思い出のロータリー活動

四方克明

入会して4年目の、まだまだロータリーの思い出を語るには日が足りない自分がいますが、3年と数ヶ月のロータリー活動を振り返ってみます。私は2010年8月に山本康一郎先輩と、吉田茂先輩にご推薦をいただき入会させていただきました。入会年度は親睦家族委員会、2年目も親睦家族委員会の所属がありました。2年目の親睦家族委員会では副委員長を仰せつかり、ロータリーは役が回ってくるのが早いなーと思っていたところ、副委員長が終わった次の年は「家族委員長をするように。」と言われてびっくり仰天しました。委員長職を遂行する自信もなく断ろうとしたところ、ロータリーでは役職の依頼があったときは「はい喜んで。」と答える以外は認められない、とのお言葉をいただきました。心中はかなり不安でしたが、喜んでお受けすることになりました。委員長は思った以上に大変なものでありましたが、暗中模索の中、周囲の方々の助けを得ながら、何とか会員の皆様に喜んでいただける事業を行おうと、必死になって1年間役目を努めました。終わってみれば苦労も懐かしい思い出となり、苦労した分だけ少し神戸東ロータリークラブに馴染めたような気がいたします。そして、早い時期に委員長をさせていただき、ロータリー活動の一端を垣間見る機会を与えていただきましたことに感謝をしています。まだまだよく分からぬことだらけですが、これからもよろしくお願ひいたします。

一枚の絵

白羽 誠

ロアルド・ダールの小説にフランス・ワインを飲んで、銘柄と収穫年を賭けながら当てるというミステリーの傑作(Someone like you)がある。

小生などワインの銘柄を識別するなど到底できない。ただ、料理と共に飲んで楽しむだけの酒飲みに過ぎない。ロータリー創立100周年に当たる2005年6月ワイン同好会(今井世話人)主催のフランス・ブルゴーニュ・ワインの旅が企画され、参加させていただいた。総勢13名。先ず、リオンへ。リオン西ロータリー・クラブを表敬訪問。突然の訪問にも関わらず会員が集まってレセプション・パーティを開いて下さったのには感激しました。



ロマネ・コンティのぶどう畑とワイナリー、サンヴィヴァン修道院廃墟後、シュバリエ・デウ・タストバン総会出席後パリ経由で帰国、充実したワイン旅行でした。サンヴィヴァン修道院はフランス革命で破壊され廃墟となり今日に至っているそうです。

帰国後、その風景を一枚の油彩に描き、今井、野田会員がロマネ・コンティを再訪された時に託して、寄贈いたしました。この絵はロマネ・コンティのワイナリー一隅に飾って下さっているそうです。忘れられない旅でした。

ロータリークラブとの出会い

白田 勉

「ロータリー入るんだったら、なんで俺の所へ言ってこないんだ！」JCの先輩に、ロータリー入会の話をすると叱られました。

「だって先輩、私に1回も勧めた事ないじゃないですか！」出かかった言葉を飲み込みました。

入会してからも、JC同期の方に「白ちゃんは、もうとっくにどっかへ入ってると思ってたわ！」と言われました。俺はそんな風に見られていたんだ！

昨年1月、10年間の京都通勤から解放されて神戸に帰ってきました。

すると程なくして、JCの先輩だった大澤さんから、「ロータリー入らへんか？」とお声が掛かりました。

「何で俺に？」とお聞きすると、「うちのクラブ、白田さんの同業者がおれへんのよ！」との事。私の経験がお役にたてるのならと、軽い気持ちで了解しました。

「我が神戸東ロータリークラブは、100人を超えるメンバーがおり神戸でも有数のクラブで・・・」大澤さんが一生懸命説明してくれているのに、上の空で聞いておりました。

入会して初めて、神戸には沢山クラブがあることに気が付きました。しかも、どのクラブにもJC時代お世話になった方がおられ、冒頭の先輩もその一人でした。

そう言えば、十数年前ある先輩からロータリー入会を、勧められたことがあります。その時は、仕事が忙しく考える余裕もありませんでした。

冒頭の先輩も、そんな私を見ていて声を掛けなかつたのかもしれません。昨年から代理店として独立して、時間の余裕が出来ました。大澤さんからのお声掛けは、絶妙のタイミングだったんです。

「ロータリーとライオンズはどう違うんですか？」全くの门外漢だった私は、ある方に尋ねました。「うーんそやな～ ライオンズは、まだギラギラした人が集まってるな～ ロータリーは、功なり遂げたオッチャン達の集まりやな～」

「それやったら、私はライオンズ向きですな～」

「そやさかい ロータリーで人間修行しておいで！」

思い出のロータリー活動

菅野和矢

神戸東ロータリークラブにて皆様とご一緒に活動させていただいてから1年を満たない期間であります。いくつか思い出に残る活動がありました。

ひとつは青少年奉仕活動として、王子動物園に絵本童話作家の永田崩さんをお呼びして絵画教室を行うプロジェクトに対して、クラブより園内案内板、ベンチ、看板を寄贈する式典に参加させていただきました。前日までは大型台風接近により神戸市内の天候は大荒れ、翌朝の式典はやむを得ず中止になるのではと心配しておりましたが、当日の朝には、台風の目に入ったかのように雨風が止み予定通りのスケジュールで行われたことが特に印象深いエピソードとなったと同時にロータリアン先輩方の強運を垣間見た一日となりました。

もうひとつは入会より間もない11月に東北親睦家族旅行に参加させていただいた事です。

「ロータリアンらしさ」をテーマに東北の被災地を訪問し地元にささやかながらも貢献する計画や、石巻中学校の生徒皆様によるサプライズの合唱に感動で胸がいっぱいになり、また懇親会では会員皆様との親睦を少しでも深められる機会となった事など、ロータリアン初心者の私には、有意義な時間と生涯の想い出に残る経験となりました。

今後多くのさまざまなロータリー活動に参加させていただいて微力ではありますが、少しでも社会貢献等に尽力させていただきたいと思っております。

末筆になりますが、神戸東ロータリクラブ創立60周年おめでとうございます。未来永劫さらに飛躍することを祈念申し上げます。

神戸東RC入会と学んだロータリー精神

角田嘉宏

昭和46年の暮春であった。日本及び外国の特許出願の依頼があった相生のロータリアンの要請を受けて、相生RCで“企業の国際的特許戦略”について卓話を行ったところ、同RCの小西会長（後に旧第268地区ガバナー）が大いに関心を示され、その例会後に「ロータリーに入るべきだ」と強く入会を勧められ、直ちに神戸RCの直木PGにお電話して小生の神戸RC入会推薦を依頼された。翌日、指示された通り、直木PGをお訪ねしたところ、勤務先は葺合区で住まいが灘区であった為、神戸東RCに入会せよとのことで、神戸東RCのキーマンの安福武之助氏（後に第2680地区ガバナー）とお会いするように電話連絡して下さった。神戸東RCの翌週の例会日（火）に国際会館の神戸国際ホテルで安福会員とお逢いし、推薦者は安福と原両会員になって頂くこととなった。相生RCの例会卓話より1週間ほどで入会手続きが進められた。入会してみると、産業、教育、医学等各分野の重鎮が揃っておられ、しかも最年少33歳、殆どの会員は親以上の年齢で、その後最年少は約10年程続いたと記憶する。この間、若いのでロータリーの勉強をしてくるようにと指示され、その頃、田無RC会員で法政大法学部教授（英米法）が主宰しておられたロータリー理論研究の千種会の第1期関西セミナーや関西のガバナー及びパストガバナーが作られた関西ロータリー研究会講座を、その頃頻繁に行なった海外出張の合間にあって受講したものである。そこで学んだことは、ロータリークラブはテリトリー地域社会の断面を成す様な1業種1人の代表的職業人で構成されるクラブで、週1回定期的に定例会場で、会務報告と会員の卓話や飲食時の座談を含む例会を開催し、会員間の親睦と友愛に支えられて、会員各自がその職業倫理意識と職業人としての知識を高め、職務を遂行することを本旨とするクラブであるということであった。つまり可処分所得の一部を地域社会に金品を寄附して社会に貢献する慈善団体と異なる「職業奉仕」概念を主体とした社会改良運動を行うクラブであると理解したのである。

上記の様なロータリーの認識に立つ時、現在のRIのテリトリー制の廃止、1業種1人制の大幅緩和、例会出席メークアップ期間の大幅延長、職業奉仕概会の後退、金銭奉仕の拡大、バーチャルクラブの創立等は、とても容認できるところではない。

現在もロータリーについてはその定款の許容する範囲内における「クラブ自治」が認められるので、その範囲で我らの神戸東RCはこれらの悪しき制度を排する（もしくは回避する）方向で対処することを熱望する次第である。

我がクラブ昨日、今日、明日

須藤雄二

平成元年に、八馬会員及び木下（章）会員の推薦により入会した。以来25年間のクラブについて振り返って見たい。

入会時の会長は三好会員、幹事は西宮会員であった。光葉会員増強委員長立会いの下、末正会員のオリエンテーションを受けた。同期入会は、東洋証券佐々木氏、六甲印刷梅村氏と現在在籍中の横山幹夫氏。例会会場は旧国際会館8F、会員の平均年齢は58歳であった。例会場は、緊張感のある厳かな雰囲気と、華やかで和やかな雰囲気が同居した、一種独特のものであったことを今でも覚えている。これは当時、会員であることを誇れるクラブのメンバーであるプライドと、連帯感のなることと理解している。

当時は、何名かご健在であったチャーターメンバー、及び、チャーターメンバーに直接鍛えられたメンバーが中心になり、青年会議所（JC）の理事長経験者やその運営に深く携わってこられた方々が若手としてクラブを支えていた。会員増強は現在と違い、入りたい人から当クラブにふさわしい方を選ぶという買い手市場であり、会員数は毎年増えていった。つまり、クラブ運営と会員増強の基本軸がしっかりとしていたよう思う。

バブル崩壊後には、銀行関係を筆頭に大手上場会社支店長、支社長の方々が多く退会された。また、地場産業の経営者も、業績不振により多くの方々が退会された。これに続く阪神大震災では、会場である国際会館が全壊となり、短い休会の後、関西信用金庫の講堂をお借りして例会を再会できたことは、危機におけるクラブ運営がしっかりと出来たことは、当時の執行部の多大な努力に負うところが多い。また、資金面についても、それまでに十分な緊急時対策資金（基本金）が確保されていたことも、先輩諸氏の先見の明と言わざるを得ない。

現在、経済指標に好転が見られる中でも、新入会員の入会がなく会員数が減少し続けているクラブが多い中で、当クラブは100名を超える会員数があり、奉仕活動も活発に行われている。クラブ55周年の折に発足した未来委員会（長期計画委員会）でクラブの将来に掛かる問題点を議論する場も設けられ、今後色々な改善案が出てくることが期待される。

今後のロータリーは、一定の縮小均衡が取れるまで、活発に活動するクラブと消滅していくクラブがはっきりと分かれていく。わがクラブでは、入会の敷居を下げず良いメンバーを勧誘し、緊張感のあるクラブ運営を行い、その中で奉仕活動や同好会活動を通じ会員相互の連帯感を育むことが、強いクラブづくりに繋がっていくと思われる。

私のロータリー15周年

多田善計

平成11年6月29日入会の私は、今年の6月で15年目を迎えることになります。その間、神戸東ロータリークラブでは、主に私の職業柄、会計・監査・財団関係の役職を仰せつかり、久野ガバナーの2011-12年度R I 2680地区においては、微力ながら（というか途中体調不良でご迷惑をおかけしましたが…）、会計長という大役をも務めさせていただきました。

入会後個人的にはいろいろな事がありました。昨年は銀婚のお祝いも頂き、神戸東ロータリークラブのメンバーの方々に助けられて今の自分の生活があるとつくづく思う今日この頃です。15年たってもロータリーの奉仕の精神は、正直ほとんど理解できておりませんし（すみません）、皆出席のご褒美も頂いたことはありません。こんな私がですが、メンバーの皆様の温かいご奉仕を受

けながら、なんとか元気に神戸東ロータリーに在籍させていただいていることに感謝しております。色々な趣味の同好会への参加も自分のPOWER&RILAXAITONになっております。ワイン同好会でのロマネコンチを代表とするフランスワイナリー巡り、日本でも超名門ゴルフクラブ（神戸GC、廣野GC、小野GC等）で開催されるゴルフ同好会、I.Y.F.R.では港町神戸のMARINLIFEをエンジョイ、そのほかカラオケ同好会、雀同好会等々、神戸東ロータリークラブのメンバーならではの多趣味、多才な方々の後についていくだけ超一流の見識が広がり、自分の中での大きな楽しみとなっています。これからも楽しく元気でボチボチ、でもいろいろやっていきたいと思っておりますので、皆様よろしくお願いします。

ロータリーとわが人生

高石 昇

「ロータリーとは何ぞや」、「ロータリアンはいかにあるべきか」の議論を聞くたびに、馬齢八十にして入会し、クラブ運営に関わることもほとんどない客人のような私は如何なるロータリアンであるべきか、と屡々考える。そんな時、ふと頭に浮かぶのが次の一文である。

「月日は百代の過客にして、行きかふ年も又旅人也。舟の上に生涯をうかべ、馬の口とらえて老をむかふる物は日々旅にして旅を栖とす、云々」

ご承知の様に、芭蕉による奥の細道の有名な枕ことばである。遠く北国への旅立ちに、人生を旅になぞらえたのである。

ロータリークラブも百年余に及ぶ長旅を様々な変遷を経、神戸東クラブも六十年の旅を続け、その間、多くの人々の去來があったことであろう。そして、芭蕉の詠ずる如く、一生舟のうえに暮すも、馬のくつわをとるのもある様に、人それぞれのロータリー人生があり、私のように飄々と例会に現れる客の如きロータリアンもあり得るので、と思い至った。

翻って、私にとってのロータリアンの意義は何か。東京や大阪の旅を経て半世紀ぶりに生まれ故郷に帰り、ここで友を得た喜びをまず挙げなければならない。クラブ全体に暖かく迎えられ、例会での短い会話、一瞬交わす笑顔は十年の知己を得た如き実感がある。俳句や絵画などこれまで全くの無縁であった文芸に誘われたことも大きな幸運であった。

ロータリーがわが生涯の最晩年に錦上華を添えてくれたことは確かであり、心からの感謝を惜しまない。

ロータリークラブって なんだろう？

高嶋 良平

ロータリークラブてなんだろう？

奉仕団体の一つであり、会員の親睦団体もある。

創立者の「ポール・ハリス」は、設立当時「会員相互扶助」を唱えて設立した。

その後 アーサー・F・シェルドンが奉仕という概念を提唱し今日の「職業奉仕」に、また「クラブ奉仕」の基礎が固まっていた。その後「社会奉仕」については、小難しい議論があり最終的に「個人奉仕」「団体奉仕」どちらも良しとなった。私は、ロータリーの根源は、「親睦」と「職業奉仕」と思っている。

「職業奉仕」も書物によると小難しいことが書いてあるが、私は、「4つのテスト」を実践することで60点のロータリアンではないかと思っている。

近年のロータリーは、特にRIの考え方が昔のロータリー活動より大きく乖離し「職業奉仕」が軽んじられているように思う。

又 国内ロータリーにおいても同様で、「親睦」が中心となっている傾向がある。

クラブには「自治権」があり、RIの言いなりになる事なく、独自性を持つべきであると思う。

我がクラブも、60周年の節目を迎え、創立時の原点を「見直す」必要があるのではないだろうか？ 親睦活動に偏っていないだろうか？ 自分を磨くことを忘れていないだろうか？ ロータリー精神をもっと興味をもつべきではないだろうか？

四つのテスト 「言行はこれに照らして」

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなの為になるかどうか

永遠の「R」

田中健三

Rが米国で設立され120年、日本では105年、神戸東Rは60年。私のR暦25年、皆それなりに重い歴史です。

25年間での例会数約1250回（皆出席）その他の会合約400回。今思返してもその一回、一回全てが納得のいくものでした。

40・50・60歳代、人生で最も充実している時期にRに在籍できた事は本当に幸運だったと感謝しています。

Rにはいろんな考え方や理論がありますが、私が一番理解し易く又実践できたと感じる事は「綱領 第1 奉仕の機会として知合いを広めること」

第2・3・4も素晴らしいと思いますが、その実践となるとまだまだ及んでいないと思わざるを得ません。

「綱領 第2・・・各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位をあらしめること」はかなり出来ていると思います。

「R」に私が一番に感じている魅力は綱領にも有る通り多くの素晴らしい方々との出会いだと思います。

特に神戸東Rは大きな家族の様な絆で結ばれ互いに受入れることの出来る強い仲間意識を持った本当に抱擁力の有る素晴らしいクラブだと確信しています。積極的に交流を図ることによりその人間関係は楽しく充実したものになりより一層豊かな人生になります。

その機会を大切にしたいものです。

世界にはいろんな主義・主張がありますが、世界で「R」がいつまでも存続していくことは世界が平和である「証」です。世の中これから困難な時期が来るかも知れませんが、永遠の「R」であって欲しいと思います。

平成25年12月21日

(永遠の「R」公開日に因んで)

見るもの聞くもの全てが勉強

田中寿夫

平成23年6月に鎌田先輩、山本先輩のご推薦により神戸東ロータリークラブに入会させて頂いて今年で3年になります。

入会前は月1、2回ならまだしも、毎週例会に参加するなど、到底出来るものではないと思っていました。

しかしながら、入会して毎週の例会に参加しているうちに、ロータリーの魅力にどんどんはまってきました。例会での卓話、諸先輩方の会話や振る舞い、見るもの聞くものの全てが大変勉強になっ

ております。今や毎週火曜日の例会にホテルオーケラまで歩いて行くのが、私のひとつの楽しみです。

入会後、幸いにも皆出席を続けることが出来ています。仕事や事務所スタッフ、更には健康などに恵まれたと、ただただ感謝しています。入会時に最低でも3年は皆出席、と言われていましたので、それに少しでも近づけたらと思っています。

他にも親睦会やゴルフ、カラオケ、ワインなどの各同好会活動も、とても楽しく参加させて頂いています。特にワインに関しては感動の連続です。正直、本当に楽しいです。

ただロータリー活動はお友達のお遊びではないと認識しておりますので、今後はそのあたりをラウンド・テーブルなどに参加し、諸先輩方の意見を聞いて、しっかりと勉強しつつ、皆様にご迷惑をお掛けしない様、ロータリー活動をがんばって、そして楽しんでいきたいと思います。

今後とも、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願ひ致します。

私にとってのロータリー

田中義明

神戸東ロータリークラブの創立、60周年、本当におめでとうございます。60周年の節目に当たり、記念事業の1つとして、会員全員の声を記録する ということですので、60周年のメインテーマの温故知新にちなんで感想を取りまとめてみたいと思います。

60年前の初めて神戸東ロータリークラブの創立に尽力された先輩のおかげをもって、現在の神戸東クラブの発展があるということは、誰しもの異存のないところであると思われます。60年間もの間、諸先輩方の努力の中で、脈々とクラブが成長を重ね、かつ、充実、改革を行ってこられた、それぞれの時代の先輩の皆様に対しまして、大きな感謝と敬意の念でいっぱいです。

おかげでこの私も2001年にこの神戸東ロータリークラブに入会させていただいてから、早、13年になろうとしています。入会当初はかなり、戸惑いも多くあったことを思い出します。入会当初は私は45歳とゆうことで、ほとんどの会員がすべて年長の先輩であり、特に先輩会員によっては大きな年齢差があり、どう、話題を持ち出したり、コミュニケーションを取ればいいものが悩むことの多い日々がありました。

ある時期以降からは、自分の方から失礼のない範囲で（現在ではたまに大変失礼なことまで、先輩にたまにしゃべってしまうことも、ありますが、）積極的に会話をしたり、委員会活動に参加をしたりしてるように、先輩の方からも、徐々に気軽に話しかけていただけるようになって参りました。現在では早いもので、年齢的にも中堅クラスに位置するようになりました。温故知新の言葉の通り、今までこのクラブを創立、そして支え、発展させてこられた先輩から、今後私たちのような中間のポジションの会員がうまく継承し、そして改革も行いながら、今までお世話になった先輩のことば、所作等を見習いかつ、うまく後輩へ伝えていく努力をしていかねばならないと感じるこの60周年がいい機会になった年のように思われます。

思い出に残る方々

樽本 久

昭和45年1月、近沢進さんに薦められ入会させて頂いた。最初にお話を頂戴したあと「小倉君木下君と一緒にいかがでしょう」とお尋ねした。「解った。やってみよう」と引き受けて下さった。入会後も3人を優しく見守って頂いた。

その前年の晩秋の頃、南史郎さん（中学・大学の先輩）とゴルフをご一緒することがあった。その折、「来年ロータリーに入会する予定です。ご指導下さい」とお願いした。すると「出席のことだが仕事が忙しければ、ホームクラブの例会は月に2度、メーキャップは月に1度すればよい」でした。ところが南さんは昭和46年に幹事をされると何故か急に「君は出席率が悪い」と言われた。余りの豹変ぶりに驚いたことがある。

一方、JCの先輩で小野正夫さんがおられた。工学博士であり、安福ガバナーの時、地区の代表幹事を務められ、法務長官ともいわれていた。入会直後、2度程、自宅に長電話で、ロータリー哲學を拝聴したことがある。又、2次会のムーンライトでは2、3度「樽ちゃんとは一生友達やからなあ」と言われ、抱きつかれてホッペタをナメラレタこともある。平素は温厚な紳士だが酒が過ぎると変わられた。早逝されたのは残念でならない。

時は流れ、神戸東ロータリークラブに在籍して44年になる。多くの方々とお出会いし、ご厚誼に預かり、ご指導を頂戴した。

4月には創立60周年の節目を迎える。幸い神戸東は多士済々、前途有為の若人が多い。今後は更に明るく活気のあるクラブに発展するであろう。期待している。

ロータリー 入会時の思い出抄

友藤順義

昭和58年（1983）5月、45歳の時でした。親友の角田君から「トンベ（学生時代の私のあだ名）さん、毎週一日だけ昼飯一緒に食えへんか！」と誘われ、若いころ神戸JCの誘いは頑なに断っていましたが、このときは快く「はい」と応えたのを覚えています。しかし声をかけて頂いた翌月の6月にハワイオアフ島のマカハC.C.で左足首を複雑骨折し入会が延びてしまいました。9月、相談事をお願いしていた阿部さんから「こんな文章が回ってきたで」と見せられて後で分かったのですが所謂10daysでした。そこには自分の名前に職業分類・最終学歴・現職が書かれていて、堅苦しい会だと印象でした。

西村さんからインフォメーションを真鍋さんと一緒に受けました。

11月8日無事入会することができました。沢山の方々に時間がかかっていたことを尋ねられ骨折の話をしますと、日下さんには“鈍くさい男や”と笑われました。

もう一方の推薦者も親しい同級生の父上で山本鍊造さん（チャーターメンバー）でした。

山本さんには例会場（旧国際会館）のロビーサロンでよくビールをご馳走になりました。

例会場では同世代の親しい南（農）さん、三原さん、西宮さんらがおられ、また知り合いの先輩諸氏がたくさん在籍されていて心強く嬉しかったです。中でも不動産でお世話になっていた八馬さんと高田（英）さんがおられたのにはびっくりしました。眼のことで古くから相談させて頂いた有澤（武）さんはよく可愛がって頂き、神戸六甲RC創立の特別代表だったので、例会場の新神戸オリエンタルホテルによくお伴しました。平成2年のデビューパーティではRCのメンバー代表で挨拶を頂戴しましたし、三宮の夜のパトロールもよくご一緒にさせて頂いたことも懐かしい思い出です。

木下（章）さんは入会して間もない頃に、家族会でハワイ島へ一緒に行かないかと誘って頂き、ロータリーには海外に姉妹クラブがあるのに驚きました。

推薦者が山本竹兜先生でしたので入会してすぐに俳句会へのお誘いを受け、高尚な同好会に興味を持ち夫婦で出席しました。しかし私にはウマが合わず一度で終わりましたが嫁は楽しんで毎回参加する様になり「今日も執行先生に選句されたよ」と嬉しそうに話す顔を今も思い出します。最後に再入会のきっかけを話させて下さい。

一度離れて、沢山の趣味を楽しんでいますと、おっくうになってなかなか決心がつきませんでしたし、その間もメンバーのたくさんの方に友情を頂いて甘えていたことも反省です。

平成21年4月ロータリークラブの歩こう会で甲山ハイクに参加した時のことです。

阪急夙川で会食を済ませ、帰りの駅のプラットホームでの樽本さんの一言・・・「いつまで言わすねん、帰ってこい！」二回目の「はい」は大きな声で応えました

人ととの出会い、心と心のふれあいを大切に生きてきましたが、加齢に伴い今は亡き人たちと辛い別れをして参りました。でも現在素晴らしい神戸東ロータリーの週友に会えて、健康でクラブライフを楽しむことが出来ます事を嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。

お二人のチャーターメンバー

戸山晶夫

今は亡き安福武之助さんと、高嶋平介さんは、当クラブ創立時のキーマンであり、チャーターメンバーでもありました。私にとっては入会に当たっての推薦者で、折に触れご熏陶を受けた大先輩でした。

安福さんは、初代幹事の後、会長、地区ガバナーを歴任され、その後も熱心にロータリー活動に取り組まれました。そのためご長男は「ロータリーに入会すると、家業ができない」との思いをもたれ終生入会を固辞されました。生真面目な方ではありましたが、飲むほどに酔うほどに小唄や踊りが出る粹な面もありました。また後年乾杯の音頭では、「乾杯、乾杯、乾杯」と三回発声され、最初はみんな面食らったものです。

高嶋さんは、第二代の幹事の後、会長を務められましたが、温厚なお人柄から、関西学院同窓会、関西ラグビー協会、広野ゴルフクラブの役員、東灘交通安全協会、同自家用自動車協会の会長等さまざまな形で社会活動にも貢献されました。ゴルフが最大のご趣味で、特に晩年はコンペの案内が来れば全て出席の返事を出されるため、ダブルブッキングの調整に、良平さん（現会員）がご苦労されたようです。

「神戸東ロータリークラブも永遠に不滅です」。

創立60周年を迎えるに当たり、あらためて安福さん、高嶋さん外31人のチャーターメンバーのご尽力に感謝と敬意を表すると共に、「会員みんなが誇りに思える神戸東ロータリークラブ」として今後も歩み続けたいものです。

ヨガとロータリークラブの接点

土田剛司

ロータリークラブは現在一般に職業奉仕を目的とする親睦団体と理解されていますが、歴史的には1905年ポール・ハリスによって会員相互の親睦を目指して設立され、1908年にアーサー・F・シェルドンによって初めて職業奉仕の概念が提唱されたようです。私の理解としては職業奉仕について鎌田前職業奉仕委員長が「サービスベスト」と教えて下さって「なる程」と思いました。

ところで、私は大学時代に陥った精神的懊惱から脱出するため、哲学、思想にはまり込んでしまい、その後現在に至るまでヨガの瞑想を続けていますが、最近、パラマハンサ・ヨガナンダという聖者に注目しています。1983年インドに生まれヨガの解脱に達し、その後1920年布教のため渡米しました。おそらく、西欧に初めてヨガを伝えた人物だと思われます。彼の講演会はどこも盛況で何千人のホールで立ち見もあったようです。評判を聞きつけた時のカルヴィン・クーリージ大統領からホワイトハウスにも招待され、マハトマ・ガンジーにもヨガを教授しています。彼の教え子には後のニューソート哲学（成功哲学）の開祖達がおり、マーフィー、中村天風、稻盛和夫まで広くはその系譜に入ると思われます。

以上の様な、靈的巨人とも言えるヨガナンダが、「職業奉仕」について繰り返し述べているのです。例えば「ビジネスの主目的は単なるお金儲けではなく奉仕であるべきです。人は最高のサービス、最高の製品を提供する店が好きです。ビジネスは他人を幸せにするための奉仕だと言うことを忘れてはなりません」「奉仕の靈的意味を知り、人類への最高の奉仕となる仕事をすることを学ばなければなりません。お金よりも奉仕をあなたの目標にして下さい」等々です。

ロータリークラブが職業奉仕を提唱し始めたのが1908年、ヨガナンダが渡米して全米を席卷し始めたのが1920年以降。両者にどのような関係があるのか、あるいは無関係なのか。今後も注目していきたいと思っています。

わが人生とロータリー

塚本哲夫

私は今年が6度目の年男です。46才の入会なので25年間もR.C.（ロータリークラブ）漬けです。例会や行事への参加、分相応の寄付金等へも協力し、会長職もやらせて頂き、R.C.を楽しませて頂いております。

今も我家にはR.C.からの高校生がホームステイをしています。

R.C.は職業奉仕から始まりました。私が入会した25年前は、「神戸東」という地域の限定と、一業種一人という職業分類は厳格にありました。それが随分曖昧になりました。

今は入会資格の枠を広げ、会員数を増やし、R.C.財團を強くすることに重きをおいています。これで良いのでしょうか。

私が個人的に大切にしていることは、自分の健康、家族の幸せ、本業の仕事の順番です。

R.C.活動はこの後に続きます。家庭と仕事と地域社会のバランスでしょう。

その結果、R.C.例会の皆出席は一年限りでした。

R.C.の発展と時代への対応で奉仕活動も大きく変わってきました。人々の目を見張るような立派な社会貢献活動、外見の華々しい活動も大切なことです。

しかし、一方でR.C.内部の充実や改革も必要です。今、先進国R.C.メンバーは高齢化しています。幸い、R.C.メンバーのご老人は元気です。

少年のように目を輝かせた元気なご老人もいます。

だから老人（ロータリー）クラブでもいいじゃないですか。

私はR.C.が好きです。人生を豊かにしてくれます。この年になると、○○奉仕活動云々ではなく、そこに気の合う仲間がいるということが重要なことです。

今は、会社や家庭で受け入れられているご老人も、やがて受け入れられない時がきます。そんな時、元気なご老人達を最後まで優しく受け入れるR.C.も良いでしょう。

これもすばらしい社会奉仕です。

更に進んで、その元気なご老人達に社会貢献の生きがいを与えるようなR.C.は出来ないでしょうか。何かあると思います。

どうしよう!! 卒業のないロータリー

植村孝一

私は27歳に神戸JCに入会し地域経済の活性化のために青年会議所運動はどうあるべきかと愚直に取り組みました。JCを卒業しさあこれから仕事に専念しようと思っていた私にとっていろんなクラブの方々からお声をかけていただいたことは、正直嬉しいというよりも有難迷惑というのが本音でした。そんな時マックちゃん昼飯は食うやろ。週一回昼飯食いに来たらええねん。というある先輩の甘い言葉に惑わされ、いずれどこかにはと思っていた私は神戸東ロータリークラブに入会させていただくことになりました。1987年4月40歳の時でした。

あれから早27年いろんなことがあります。

初めて壇上にあがり、あがっている自分にびっくりした新入会時代。

元タカラジェンヌとタキシード姿でクリスマス例会の司会したこと。

今は亡き熊野さんと一緒にルミナス神戸で親睦家族会をやったこと。

コーラスの全国大会などでハメハメハ大王を演じさせてもらったこと。

思い出すときりがありませんが、一番ロータリアンとして努力したのは、高嶋年度の幹事と、三

原年度の新世代委員長のときでした。詳しくは当該年度の年次報告に書いていますのでもし興味があればお読みください。

入会した時、JCを誤解し快く思っていない方もおられるのでJCのことはあまり言うなよ、と釘を刺され居心地の悪い思いもしましたが、今は数あるロータリークラブの中で一番ロータリークラブらしく、みんなで仲良くクラブライフを楽しんでいる神戸東ロータリークラブに入会できて良かったと思っています。若い方々に迷惑をかけないよう、ロータリアンとして自分を律していくければとおもう今日この頃です。

思い出のロータリー活動

梅田 稔

私が神戸東ロータリークラブに入会させて頂いたのが平成22年3月。あっと言う間に4年の月日が経ちました。松下会長年度の途中から入会させて頂き、4年後の現在まで親睦委員会一筋でロータリー活動に参加して参りました。すなわち4年間受付に立ち続けてきた事になります。この間受付業務を苦に思った事は一度もなく、楽しく業務をさせて頂いています。その理由は、例会前の何とも言えない少しづわめいた、楽しい雰囲気にあるのではないかと思います。あるクラブの方はビジター受付を済ませた後、皆さん本当に楽しそうですねと言われました。この楽しい空間に身を置ける事も受付の楽しさかと思います。また、多くの方々にお声をかけて頂いたり、委員会メンバーと会話を交わすのも私にとっての楽しみです。

あと、入会三年目で中井会長より親睦委員長を拝命致しました。「美味しいお料理と美味しい飲み物で会員相互の親睦を円滑に」と企画して参りました。真夏の親睦会は生ビール＆神戸ビーフ。真冬の親睦会は薬膳スープ＆ホットビール。そして、打ち上げ親睦会でのフランス料理＆ワインと多くの方々にお世話になり何とか3回の親睦会を無事実施する事ができました。これもひとえにご協力頂いた皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

今後も神戸東ロータリークラブの会員として有意義で楽しい時間が持てる様、活動に参加していくことを考えておりますので今後とも末永くお付き合い頂きます様お願い申し上げます。

わが人生とロータリー

山田直造

昨年の3月に入会させていただき、まだ一年も経過しない私が歴史と伝統のある、神戸東ロータリーの創立60周年記念誌に会員随想を執筆できることを大変幸運に思っております。

会社の転勤で神戸に赴任となり、神戸東ロータリーの会員となるまで、私はロータリー活動と全く無縁でした。正直、ロータリーのイメージは、地元の名士の方で社長の方々の集まりで通常のサラリーマンは入会できない。つまり私の人生とは当然関係のないと思っていました。しかし、実際に入会し、勉強させていただき、少しずつ考えが変わってきました。

まず、日本で最初にロータリーを設立したのが、銀行員であったこと。それからロータリーの職業奉仕の精神が、自らの職業倫理観を高めその成果を社会に還元することにある事、などです。私の勤務する三菱東京UFJ銀行は中長期的にめざす姿として「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」を標榜しています。またその合言葉の一つが「お客様・社会を支え続ける搖るぎない存在に」です。少し観点が違うかもしれません、公共性の高い銀行の仕事こそ、ロータリー活動で学ぶ職業奉仕の精神を大切にしなければいけないのではないかと思っております。

また、私個人としては、会員の行動基準である「四つのテスト」に普遍の原理のようなものを感じています。蛇足ですが、世界に200年以上続いている会社は約7,000社ありそのうち3,100社が日本で、その80%が社是・社訓を持っていると聞いたことがあります。

今後もロータリーはこの四つのテストを行動基準に発展して欲しいと思いますし、ロータリー

に出会えた幸運に感謝し、自身も四つのテストを守りロータリアンとして成長していきたいと思っています。

我が人生とロータリー

山本康一郎

私は、阪神・淡路大震災直後の春に入会のお誘いを受けました。声を掛けたことをうれしく思い、1995年6月に元会員の月岡清市様、沓脱安宏様の紹介で神戸東RCに入会させて頂きました。

さて、私も入会から早19年が経ちました。孔子曰く、『四十にして惑わず』に始まり、『五十にして天命を知る』、今や、『六十にして耳順（したが）う』との年齢になり、先人の教えには程遠い人生を送っていますが、無事に神戸東RCと同じく還暦の節目を迎えることができ、心から感謝をしています。

私には、自慢にできるようなロータリー活動をしたことはなく、また、ロータリーについての知識の吸収、その精神について深く考えたこともほとんどありません。このような、及第点をもらえないロータリアンですが、社業が建築士事務所でもあり、10数年前から同業事務所が集まる兵庫県建築士事務所協会に積極的に関わっています。

昨今では、その協会の事業活動を通して、職業奉仕、社会奉仕に向き合っており、私なりに少しは社会に貢献しているのではと思っています。もうしばらくの間、業界活動ではありますが、ロータリアンとしての心を持って、多くの人の出会いを大切にしていきたいと思います。そして、与えられた役割、使命を果たしていきながら10年後の70歳には、日々を楽しみ、孔子曰く、『七十にして心の欲する所に従えども、矩（のり）を踰（こ）えず』と感じられるようなロータリアンライフを送っていたら最高と思っています。

これからもよろしくご指導をお願いいたします。

あつという間の8年でした

山崎仁嗣

早いもので、平成18年1月の初釜例会で入会させていただいたから8年が過ぎました。

昭和から平成になった頃に横山幹夫さんから入会のお誘いを受けていたのですがそのまま時間が過ぎ、平成17年の久野会長年度に野々村さん、月岡さんから改めてお誘いを受け、入会させていただくことになりました。

入会後は親睦家族委員会に配属され毎回受付に立っていましたが、メンバーの皆さんのお顔とお名前がなかなか一致せず、お名前がすらすらと出てくる頃にはほぼ3年が過ぎていました。

初の委員長をさせていただいたのは野田会長年度の新世代奉仕委員会で、副委員長をお願いした樋口さんに勧められ3月の春分の日の頃RYLAセミナーと一緒に出席させていただきました。

もう春とあってコートやセーターの用意もせずに軽い気持ちで余島に行ったのですが、夜7時頃から屋外の林の中の広場で100名弱のRYLA受講者及び関係者全員でキャンプファイアを囲んでの集いがあり、樋口さんに「山崎さんその恰好では無理ですよ」と言われ、彼のアドバイスで急きょブレザーの下に、部屋にあったバスタオルをマフラー代わりにして参加したのですが、今井元RI理事のお話の間に気温が急激に冷え込み、ぶるぶる震えあがるほどの寒さにびっくり致しました。

この年には今も続く神戸市中央区少年野球大会を初めて開催させていただき、吉田会長年度には親睦委員長を仰せつかりましたが、ほぼ同時に塙本会長年度の幹事に指名され、委員長と次年度幹事の2足の草鞋の慌ただしい時期を過ごしました。特に塙本会長年度は久野ガバナー年度もあり、クラブのメンバー総出でIMや地区大会などの地区事業の運営をお手伝いをしましたが、その間クラブ幹事として、塙本会長をはじめ神戸東ロータリークラブの皆さんへの思いやりとあたたかさに、いつもいつも助けていただきました。

これからも、皆さんとともに健康で明るく楽しいクラブライフを過ごしたいと願っております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

自分への質問状

横山幹夫

平成元年6月に40才で入会以来、途中退会していた期間（平成13年10月～17年6月）を除いても在籍期間が20年を超えるました。そこでこの機会に20年を振り返り、自分に対して質問をしてみることにしました。

Q: 最も印象に残っている会長は？

A: ごく短い期間も入れれば現在の野々村会長まで24人の会長のもとで活動してきましたが、何と言っても印象深いのは榎本さん。何しろ話が短かった。時にはないことも。幹事の角田さんが往生していた姿を思い出します。最近は「挨拶」ではなく「報告」になっているせいか話が少し硬い気がします。

Q: 最も楽しかった催しは？

A: 予算がたっぷり（家族委員会の年間予算が300万円以上あったように記憶しています）で大型バス2台を仕立てて城崎温泉への贅沢旅行と創立55周年を記念して姉妹提携を結びに行ったブリスペーンへの旅行が記憶に残っています。

Q: 最も悲しい出来事は？

A: 慕っていた三好会員が亡くなられたこと。通夜式の後、多くの会員がいつまでも残って酒を酌み交わし別れを惜しんでいたことが思い出されます。先生の人柄が偲ばれます。

Q: 最も記憶に残っている事業は？

A: 何と言っても久野ガバナーの時の地区大会。その前の赤木ガバナーの時は退会していくお手伝いができなかつたので、名誉挽回のためにもディレクターに指名されて張り切りました。今から思うと石巻中・本庄中・神戸フィルの合同演奏会、よく実現できました。多くの会員がそれぞれの立場でよく頑張った結果だと思います。

Q: 最後に今後のロータリー活動に対しては？

A: もうベテランの域に入ったと思うのでロータリーで得た友人を大切に、徒然なるままに活動していくみたいと思います。

ロータリーと私

横山 滋

ロータリーとの出会いは私の大先輩の故佐藤啓一先生から少しばしお聞きしていました。昭和48年に神戸青年会議所に入会時は角田嘉宏先生のご推薦で入会いたしました。13年も在籍していましたがあまり熱心ではありませんでした。しかし、そこで出会った方からいろいろなことを学びました。卒業後は学位の事もありそうゆうことには縁がありませんでした。

患者さんである青年会議所の同期入会の三原孝公先輩にお声を掛けていただき平成14年2月6日に久野薰先生と三原先輩のご推薦で入会させていただきました。右も左も解らないづくしなのに3月早々に地区大会がありました。先輩の暖かい助言を受けながらこなしたことを覚えています。三原先輩の会長の時のモットーに「例会をたのしもう」がありました。私も賛成です。新人

の方は例会を楽しむことをおすすめします。

いつの間にか平均年齢の上になってしましました。大病をしたあとですが、生きている限りロータリーライフを楽しもうと思っています。これからもよろしくお願ひします。

わが人生とロータリー

横山公一

平成19年に入会させて頂いてからあつという間の7年間でした。

入会のきっかけは中学から同級生の吉井さんと30年近くお付き合い頂いている工藤さんに晩飯食べに行こうと言われていつもの調子で行った所、カウンター席でお二人の真ん中に挟まれ、両側から冷酒をどんどん注がれすっかりいい気持になった頃にロータリーの話が始まりました。それまでは毎週の例会に出席する事が不可能と思っておりましたので、丁重にお断りしていたのですが、お二人からどっちみち昼飯は食べるんだから一緒に食べようとか、例会出席も無理しなくてもマイキャップという制度もあって負担にならないよ、等々甘い言葉をお聞きしたうえにずいぶんと酔つてしまつたので、「分かりました。入れてもらいます」と言ったまではいいのですが、即座にその場で入会申し込み用紙を渡されました。翌朝酔いがさめ封筒に入っている申込用紙を見て、しまったと思い工藤さんに電話を入れて、昨晩は酔つ払つていらん事を口走つたようですが、無かった事にして下さい、と申し入れたところ、一旦言つといて今から止めるなんて言つたら、あっちこっちで言いふらして神戸の街歩けないようになるで、と脅しを受け、入会させて頂いた次第です。

このような次第で入会させて頂いたわけですが、ロータリーのいいなと思う所は、年代を超えた方々とのお付き合いだと思います。以前だと恐れ多くて声を掛けるなんてとんでもないと思っていた大先輩ともお話を出来ますし、いろんな業界の方がおられるので大変参考になっています。入会のいきさつはいろいろありましたが、7年の間に米山・ロータリー財団の委員長をさせて頂きました。年度は職業奉仕と染まつてしまつた今日この頃です。

思い出のロータリー活動

吉田建美

神戸東ロータリークラブの会員となって、様々な職業分野にわたり、また、幅広い年齢層にわたり、信頼・尊敬出来る多くのロータリアンの方々との素晴らしい出会いを得て、その中で奉仕の心、思いやりの心はもとより、ロータリーとは何か、人生において大変有益な勉強をさせて頂いてきた。私のように専門的な分野の仕事（矯正歯科）をしていると一般社会との接点が限局されがちであるが、その点でロータリーは私にとって得難い存在である。そして、何よりもロータリアンの皆様と共に楽しい時間を共有できることを感謝しつゝ幸せに思っている。そもそもロータリーに関与することになった最初のきっかけを作つて頂いた上村伸幸会員に、この機会に改めてお礼を申し上げておきたい。

入会以来、「ノーと言えないロータリー」そのままに、いろいろな委員長はじめ、会長も経験させて頂き、ロータリーの理解を一段と深めることが出来た。年度ごとに忘れられない印象的な思い出が多いが、特に会長年度（2010～2011年度）は、久野 薫ガバナーが就任される前年度であったため、東クラブはホストクラブとして地区関連の多くの行事をサポートすることとなり、数々の貴重な体験をさせて頂いた。これによって、クラブ内にとどまらず、クラブ間の交流、地区的組織、さらにはRIに関しても一層考える機会を与えて頂いたことは、私にとって非常に有意義であった。

近年のRIの考え方の変化、それに伴うR財団重視、会員増強・拡大、広報活動の強化、CLPへの組織改革や、かつての特徴であった1業種1会員制ルールの崩壊等々、注目しておくべき事項が多々あるが、今後も関心を強く持ち続けていきたいと思っている。

私とロータリークラブ

吉田 茂

私がロータリークラブに入る事になったのは平成10年9月の終わりに電話をいただきました。その場所は東京ディズニーランドのアトラクションに並んでいる時でした。子供がトイレに行きたく慌てて探している時に鳴り出たのがトイレの前でロータリークラブの説明を受け理事会を通ったので写真を持ってきて入会するようにと言われました。これは一生忘れないでしょう。次の年、お茶の役員が終わると同時にロータリークラブに入会させていただきました。そう考えると早いものでもう15年がすぎてしまいました。今では毎週火曜日に例会に出ますのが当たり前のようになっています。入会致しまして分かったのですが、今から40年前大学1年生でアルバイトを国際ホテルでしていました時に神戸東ロータリークラブのパーティーにサーバーとしてお世話させていただきました、今ではメンバーになっているのですから本当に縁のあるクラブだと実感致しました。入会させていただいて初めにびっくりいたしましたのは同好会の数の多さと活動の活発さでした。和気あいあいとした素晴らしい雰囲気で色々な職業の方々と出会うことができました本当にいい経験が出来たと思います。これからも色々な方々と出会い色々な事業を共に行い本当に素晴らしい経験をもっともっと重ねていきたいと思いますのでよろしくお願ひ致します。またこれから入会されます新会員の方々にも仲間としての繋がり、ロータリークラブの素晴らしさをつないでいきたいと思います。

それぞれのロータリー

吉井正幸

60周年記念誌の与えられた会員随想テーマを見ていて、ふと自分はロータリークラブとどんな関わり方をして来たのかと振り替えた時、ある先輩会員の言葉が浮かんできました。それは「ロータリアンそれぞれのロータリーライフがあり、これが正しいと言える関わり方は一つではない！」この言葉を聞いた時にものすごく納得してそれからクラブライフが楽しくなってきたような記憶があります。

ロータリーという旗の下でこう活動しなければ駄目だとかの強制や行き過ぎた動員は違和感があり会員の減少に繋がります。とは言うものの眞面目に活動をしている人が馬鹿を見るようなクラブでも発展は望めないと思います。

そのバランスが取れているのが神戸東RCだと思います。

ロータリー精神を研究追求する、奉仕活動に参加する、寄付をする、同好会を楽しむ、親睦会を楽しむ等々、必要条件を満たしながら全てに関わっても良いし、一部だけでも良い、それが長続するクラブライフだと思います。

良く耳にするロタキチ会員から出席規定ギリギリの会員までそれぞれのロータリーライフがあり、原則的な約束は守りながらそれらを受け入れているのが伝統と格式があると言われている神戸東RCの神髄だと最近は感じ始めています。

それと神戸東RCには同好会が多種多様にあり、それもそれぞれの楽しみ方や関わり方があって充実したロータリーライフの一因となっていると思います。

この写真は10年前の50周年記念式典祝賀会の俳句同好会「余韻会」の懐かしい写真です。



第4部

資料編 (5年間)

悉皆会員名簿

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
1	青木 実	C	S30. 5. 1
1	荒勝文策	C	S45.12.31
1	八馬進武	C	H 6. 9.20☆
1	平佐三郎	C	S41. 9. 6
1	井波鍊四郎	C	S49. 6.18☆
1	伊藤伝三	C	S56. 6.23☆
1	海輪利光	C	H 6.12.27
1	樺山 覚	C	S48. 9. 4☆
1	小網与八郎	C	H 9.12.16☆
1	小泉尚助	C	S47.12.30
1	楠瀬正一	C	S35. 2. 3☆
1	宮原勲	C	S54. 7.17☆
1	森本正好	C	S42. 6.27
1	村尾市松	C	S32. 3.19
1	中本薰男	C	S32. 3.19
1	南里敬吾	C	S34. 2.24
1	那須重治	C	S32. 9.30
1	大羽真治	C	S29.10.15
1	小野正夫	C	S53. 4.11☆
1	劉四朗	C	S40.12.14☆
1	坂口遼	C	S42. 6.27
1	瀬戸文雄	C	S31.12.13☆
1	高梨義郎	C	S48. 5.30
1	高尾徹也	C	S40. 5. 4
1	高嶋平介	C	H18. 2.28☆
1	高山忠雄	C	S55. 7. 8☆
1	田村孝之介	C	S37.10.30
1	丹沢三郎	C	S61.12.16
1	矢木豊	C	S31. 5. 6
1	山本鍊造	C	H 7. 6.13☆
1	山邑鎌三	C	S37. 4.24
1	安福武之助	C	H10. 1.20☆
1	四方田耕三	C	S35. 6.27
34	福田三八一	S29. 7.20	S52. 2.22
35	菱田譲一	S29. 7.20	S51. 6. 1
36	末正久	S29. 7.20	H16. 3.21☆

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
37	川島宗敏	S29. 9. 7	H10. 7.28☆
38	大塚和三郎	S29. 9. 1	S61. 6.24☆
39	西村泰治	S30. 1. 4	S63. 9. 6☆
40	小原豊雲	S30. 1.11	H 7. 3.28☆
41	森本権一	S30. 2.15	S48.12.25
42	光田顯司	S30. 5.17	S38. 6.11
43	池田正文	S30. 7.26	S52. 5.17☆
44	松野良助	S30. 7.26	S36. 1.23
45	武本清一	S30. 8.23	S39. 6.16
46	保田道雄	S30. 8.23	S32. 5.17
47	坂下保太	S31. 1.24	H 4. 7.28☆
48	佐藤半	S31. 5. 1	S34. 6.30
49	地主大吾	S31. 7. 7	S33. 6.10
50	田中義忠	S31.11.20	S52. 6.30
51	若山薰	S32. 1. 8	S32. 9.18
52	山本弘之	S32. 1.22	S34. 2.13
53	金子太郎	S32. 4.30	H15. 6.10☆
54	志方栄治	S32. 4.30	S49.11.24
55	吉永武男	S32. 7. 2	S35. 6.29
56	岸川康蔵	S32. 8.27	S41. 5.24
57	西村雅貫	S32. 9.17	S38.12.17☆
58	杉山万吉	S32.10.29	S39. 6.30
59	西尾次郎	S33. 5. 6	S47. 6.27
60	槌田喜代松	S33. 5.20	S54. 3. 6☆
61	田中俊介	S33. 7. 8	S43. 1.16☆
62	清水金次郎	S33. 8.12	S35. 6.13
63	河野弘	S33.12. 2	S35. 4.20
64	後藤美種	S34. 2.24	S46.12.28
65	波多野一雄	S34. 3.31	S35.11. 1
66	角南猛夫	S34. 7. 7	S63. 8.16☆
67	若菜三良	S34. 8.25	S37. 4.17
68	吉国宗一	S34. 9.29	S37.10.30
69	松村信治郎	S34.12. 1	S50. 5.11
70	小山清	S35. 6.21	S38.12.10
71	木村伊太郎	S35. 7.12	S36. 6.13
72	塗師正男	S35. 7.12	S39. 4.14

☆印は在籍中物故会員

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日	悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
73	島村宏	S35. 7.19	H 7.12.31	109	近藤禎	S39. 5.12	S40. 6.29
74	西田繁太	S35.10. 4	S44. 1.31☆	110	柚木馨	S39. 5.12	S40.11.30☆
75	島田博	S35.10. 4	S36. 6.13	111	仲野貞男	S39. 5.26	H11.12.28
76	中村盛太郎	S36. 1.10	S37. 5.15	112	今糸辰男	S39. 7.28	S42. 6.27
77	近沢進	S36. 3. 7	H19.12.31	113	中島福三郎	S39. 9.15	H 9. 9. 2☆
78	福田敬太郎	S36. 4. 4	S55. 1.22☆	114	小泉進吉	S40. 1.12	H19. 1.31
79	朝長正軌	S36. 6.27	S37. 6.30	115	林屋清次郎	S40. 2. 9	S43. 6.11
80	西原克巳夫	S36.12.19	S61.10. 7	116	広津四郎	S40. 3.30	S41. 4.26
81	佐藤啓一	S36.12.19	S62. 7.28	117	大谷茂雄	S40. 6. 8	S45. 6.30
82	南史郎	S37. 2.20	H 5. 6.29☆	118	田辺繁	S40. 8. 3	H13.10.15☆
83	有澤武	S37. 4. 3	H20.12.31	119	村田数雄	S40. 8.24	H 6. 8. 2
84	原英三	S37. 5. 1	H 4. 7.28	120	太原震也	S40. 8.31	H22. 6.29
85	嘉納照彦	S37. 5.29	S38. 6.25	121	高井祥一	S40. 8.31	S41.10. 4
86	香川正一	S37. 7. 4	S41. 6.28	122	森正男	S40. 9.21	S62. 5.19☆
87	村田定由	S37. 7.31	S61.12.30	123	田島保	S40.10.19	S43. 5.14
88	中村修	S37. 7.31	S40. 6. 8	124	保科一雄	S40.11.16	S43. 4.21
89	佐伯章	S37.10.23	S42.12.26	125	大内山清	S41. 3. 8	S43.11.19
90	風間保彦	S37.11.20	H 6.12.27	126	林同春	S41. 3. 8	H21.11.19☆
91	松野満寿巳	S37.12.11	S59.10.16☆	127	江藤礼	S41. 4. 5	S58. 3. 1☆
92	小谷信市	S38. 3. 5	S42. 6.29	128	八木弘	S41. 4. 5	S45. 6.30
93	樺本彰三	S38. 3.26	S48. 4.10☆	129	助野義一	S41. 9.20	S44. 9. 9
94	沢義男	S38. 3.26	S42. 5. 9	130	中村栄二	S41. 9.27	S42. 6.27
95	井上文左衛門	S38. 4. 9	S51. 6.29	131	奥野久之	S41.10. 4	S62. 9. 8
96	田渕純一	S38. 5.21	S45. 1.27☆	132	藤田久司	S41.11.15	H13.11.27
97	桑垣敬介	S38. 6.11	S39. 9. 8	133	W.L.ヒンチマン	S41.12. 6	S52. 6. 2
98	山本栄喜	S38. 6.11	S51. 6.29	134	石田兵三郎	S42. 1.17	S45. 1.27
99	久野一郎	S38. 6.18	S63. 6. 7☆	135	法林一磨	S42. 2. 7	S42.10.30
100	芦田杏三	S38. 7.30	S40.10.26	136	桜井重雄	S42. 2.14	S53. 8.31
101	山本信夫	S38. 8.20	S40. 5.25	137	妹尾親尚	S42. 8. 1	S44.12.30
102	高田英之輔	S38.10.15	H 1.11.21☆	138	川辺俊夫	S42. 8. 8	S43. 5. 7
103	桧前敏彦	S38.12.24	S44. 6.30	139	山本貞夫	S42. 8.22	S43.12.24
104	次家幸徳	S39. 1. 7	H 1. 2. 7	140	荒井弘	S42. 9.19	S43.10.29
105	井上義數	S39. 3.24	S40. 5.26	141	宇賀康	S42. 9.19	S51.12.28
106	豊澤誠	S39. 3.24	S48. 6.26	142	吉田哲夫	S42. 9.19	S54. 6.26
107	松本一郎	S39. 4. 7	S52. 3.29	143	赤木文生	S42.12. 5	
108	花井嘉夫	S39. 4.28	H 6.12.13☆	144	中所佑	S43. 6.11	S47. 6.27

☆印は在籍中物故会員

☆印は在籍中物故会員

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
145	井 上 巍	S43. 6.29	S45. 9.30
146	間 島 秀 雄	S43. 6.29	S48. 6.26
147	谷 正 男	S43. 9.10	S44. 8.21 ☆
148	江 森 雄 二	S43. 9.10	S45. 8.31
149	東 条 伸 平	S43. 9.17	S45. 6.30
150	国 府 肇	S43.10. 1	S63.12.27
151	嘉 納 忠 夫	S43.10.15	
152	F・クールマン	S43.12.24	S58. 5.31
153	和井田統一郎	S43.12.24	S47. 2.29
154	佐 藤 周 作	S44. 1.21	S46. 6.29
155	阪 部 俊 作	S44. 1.21	S47. 4. 4
156	日 下 讓	S44. 4. 1	H21. 6.30
157	小林令三郎	S44. 4. 1	S48.12.11
158	市 川 衛	S44. 5. 6	S45. 6.30
159	吉 田 信	S44. 7. 1	S45. 2.17
160	寺 田 幸 二	S44. 7.23	S46.10. 5
161	新 谷 寿	S44. 8.19	S45.12.31
162	本 間 源 一 郎	S44. 8.26	H 5. 6.29
163	広 海 隆 三	S44.10. 7	S53. 6.30
164	佐 野 義 之	S44.12. 1	S53. 6.29
165	木 下 健	S45. 1. 6	
166	小 倉 宗 夫	S45. 1. 6	
167	樽 本 久	S45. 1. 6	
168	奥 本 繁 男	S45. 1.13	S47. 5.30
169	林 喜 一	S45. 4. 7	S45. 9. 8
170	樋 本 正 志	S45. 5.12	H19. 6.30
171	井 上 吉 良	S45. 6. 2	S47. 1.25
172	執 行 英 穏	S45. 7. 7	
173	太 田 正 也	S45. 7. 7	S49.11.15
174	C.L.キルパラニー	S45. 8.25	S52. 4.12
175	島 田 文 六	S45.10.13	S60.12.31
176	木 沢 正 次 郎	S45.12. 1	S54. 6.26
177	山 野 速 男	S45.12. 8	S47. 5. 9
178	丸 谷 鉄 雄	S45.12.22	S54. 3.27
179	関 清	S46. 1.26	S46. 8.24
180	三 好 秀 雄	S46. 2.23	H13. 1.23 ☆

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
181	佐 藤 光 弥	S46. 3. 9	S49. 9.24
182	角 田 嘉 宏	S46. 5.18	
183	坂 根 重 治	S46. 6.29	S52. 6.30
184	北 野 薫	S46. 9.28	S47. 1.18
185	富 田 三 郎	S46. 9.28	S47. 5.30
186	野 口 欣 弥	S46.11. 9	S50. 3. 4
187	井 田 公 作	S46.12.22	S48. 3. 6
188	熊 田 忠 夫	S47. 5. 9	S61. 6.24
189	鍛 治 豊 治	S47. 5.30	S49. 7. 9
190	福 本 太 四 郎	S47. 6. 6	S61. 9.30
191	日 高 礼 四 郎	S47. 6.20	S48. 4.30
192	塚 元 博	S47. 7. 4	S49. 6.25
193	細 見 忠 雄	S47. 7.25	H 4.10.13 ☆
194	吉 田 忠 正	S47. 8.15	S50. 5.13
195	南 宏 芳	S47. 8.15	S48.12.25
196	松 下 親 次	S47. 8.22	S51. 4.27
197	兼 田 金 二	S47. 9.19	S51. 6.29
198	柴 田 英 朗	S47.10. 3	H25. 6.30
199	三 宅 敏 意	S47.12.19	S51. 8. 3
200	立 住 角 治	S48. 1. 9	S51. 1.27
201	平 出 典	S48. 1.30	S53. 6. 6
202	楫 江 正	S48. 3.20	S49. 2.26
203	畠 崎 廣 敏	S48. 3.20	S54. 6.26
204	高 井 立	S48. 4.10	H 2. 1.16 ☆
205	奥 秀 雄	S48. 4.10	H 7. 6.27
206	市 野 一 磨	S48. 4.17	S51. 4.27 ☆
207	野 澤 太 一 郎	S48. 4.17	H11. 7. 1
208	萩 本 喜 久 夫	S48. 5. 8	S54. 6.26
209	林 宥 治	S48. 6. 5	S56.12.22 ☆
210	舟 引 照 夫	S48. 6.19	S49.10. 8
211	宮 内 宏 之	S48. 6.26	S49. 6.25
212	金 尾 寛	S48. 7.24	S51. 8. 3
213	松 下 義 治	S48.10.16	H10. 6.30
214	小 柳 宏 平	S49. 6.18	S50. 4. 1
215	小 泉 健 二	S49. 6.25	H 2. 2.13 ☆
216	前 田 鑑 二	S49. 7. 9	S51. 6. 8

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
217	藤 川 昭 也	S49. 9. 3	S52. 5.10
218	小 野 寺 慶 郎	S49. 9. 3	S51. 7.20
219	末 積 実	S50. 1. 7	S63.11.19
220	広 瀬 信 衛	S50. 1.28	S53. 8.31
221	三 輪 吉 郎	S50. 1.28	H22. 6.29
222	岡 部 誠 一	S50. 1.28	S52. 2.22
223	鈴 木 紹 男	S50. 1.28	S52. 6.30
224	渋 井 英 男	S50. 2. 4	S51.11.16
225	嘉 納 孔	S50. 2.25	S52. 6.30
226	佐 名 木 真 司	S50. 5.13	S51. 8. 3
227	大 島 茂 郎	S50. 9.1	S57. 9.30
228	光 葉 貞 男	S51. 1.13	
229	樋 口 芳 正	S51. 3. 9	S57.12.28
230	小 松 幸 次 郎	S51. 5.18	S53. 6.30
231	杉 本 秀 夫	S51. 7.27	S54. 6. 5
232	川 端 俊 男	S51. 9.28	S53. 2. 7
233	齊 藤 年 正	S51.10.19	S57. 4.27
234	飯 田 存	S51.10.19	H 7.11.24 ☆
235	井 上 清 七 郎	S51.11.30	S58. 3. 1
236	殿 山 進	S51.11.30	S55. 9.30
237	西 川 広	S51.12.14	S52. 6.30
238	佐 藤 巴 代 治	S52. 1.18	S54. 6.26
239	堀 田 正 之	S52. 2. 8	S61. 6.26
240	阿 部 清 治	S52. 3.15	SH5. 6.29
241	長 山 和 夫	S52. 3.22	S54. 2.27
242	花 岡 信 平	S52. 3.29	SS2. 5.10
243	伊 藤 武 典	S52. 3.29	S55. 6.24
244	櫛 田 孝 一	S52. 4.19	S55. 5.27
245	津 崎 正 郎	S52. 5.31	S57. 3. 9
246	福 田 滿 州 雄	S52. 7.19	S59. 5.22
247	翼 保 彦	S52. 7.19	S54. 6.26
248	山 口 幸 治	S52. 7.26	S53. 6.30
249	土 居 通 秋	S52. 9.27	S62. 6.30
250	高 橋 孝 吉	S52. 9.27	S62. 1.27 ☆
251	宮 崎 勢 四 郎	S53. 1.10	H22. 6.22
252	西 村 太 一	S53. 2. 7	
253	柳 沼 久 雄	S53. 5. 9	S54. 7.31
254	鈴 木 啓 二	S53. 8. 1	S54. 7.31
255	増 田 光 夫	S53. 9.19	H24. 6.30
256	田 中 敏 夫	S53.10. 3	S53.11.28
257	鈴 木 重 孝	S53.10. 3	S58. 3. 1
258	伊 藤 通	S53.10. 3	S55. 4. 1
259	伊 藤 修 二	S54. 2.13	S55. 1.29
260	薄 木 正 敏	S54. 4. 3	H23.12.31
261	三 原 孝 公	S54. 6.12	
262	木 下 章 夫	S54. 7. 3	H23.12.31
263	新 宮 千 早	S54. 7.24	H23.12.31
264	渡 辺 重 郎	S54. 8. 7	S56. 1.27
265	鈴 木 達 哉	S54. 8.14	S55. 5.27
266	横 瀬 恭 平	S54. 9.11	S59.12.25
267	守 屋 祐 作	S54. 9.18	S56.10. 6
268	野 田 昭 夫	S54.10.23	H 6. 9.27
269	勝 見 周 吉	S54.11. 6	S57. 6.30
270	松 本 大 篓	S54.11.13	S57. 1.26
271	野 村 節 弥	S55. 5. 6	S55. 7.29
272	森 川 龍	S55. 7.22	S57. 4.30
273	和 田 淑 弘	S55. 8. 5	S57.12.28
274	渡 辺 干 城	S55.11.11	H 7. 3.28
275	戎 良 男	S55.12. 9	H 6.12.27
276	齊 藤 盛 勝	S55.12.17	S57. 6.30
277	筆 谷 稔	S55.12.23	S57. 5.18 ☆
278	青 山 忠 東	S56. 4.28	S57. 8.24
279	西 宮 章 泰	S56. 8. 4	H 8.12.31
280	小 笠 原 彰 佑	S56. 8.11	S62. 6.30
281	山 野 輵	S56. 9. 1	
282	南 豊 太 郎	S56. 9. 1	H 5.12.31
283	石 原 元 博	S56.10. 6	S58. 6.30
284	大 牟 田 育 宏	S56.10. 6	H12. 6.30
285	藤 谷 正	S57. 1.12	S57. 8.24
286	寺 崎 繁 幸	S57. 3. 2	H12. 6.30
287	伊 藤 豊 輝	S57. 4. 6	S60. 9.30
288	松 尾 彰	S57. 5.25	S59. 5. 1

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
289	廣瀬仁市	S57. 7.13	S59. 6.26
290	黒田久寅	S57. 7.13	H 2. 3.31
291	鈴木満	S57. 7.13	S58. 6.30
292	岩田裕	S59. 9. 7	H20. 6.30
293	安楽城幸雄	S57.11.16	S60. 6.25
294	岡田三郎	S58. 5.17	S63. 9.27
295	池上吉蔵	S58. 6. 7	H 9. 3.11
296	加藤昇治	S58. 6. 7	
297	光井章	S58. 6. 7	H10. 6.30
298	瀬戸山毅	S58. 6.14	S59. 6.26
299	山本宏	S58. 6.28	S59. 3.27
300	小西真一	S58. 7. 5	S60. 6.25
301	小野田隆	S58. 7. 5	S59. 6.26
302	田島博	S58. 7. 5	H 4.12.31
303	高見寛康	S58. 7.26	S60.12.17
304	小泉康夫	S58. 8. 2	H 6. 6.30
305	酒井守也	S58.10. 4	S60. 5.14
306	松林弘	S58.10.25	H 8. 7. 4
307	芹沢礎男	S58.10.25	H 7. 6. 6
308	眞鍋圭作	S58.11. 1	S61. 4. 8
309	友藤順義	S58.11. 8	H14. 6.30
310	近東宏典	S58.11. 8	S61. 5.27
311	戸山晶夫	S58.12. 6	
312	田端基宏	S58.12. 6	H13.12.18
313	森川正興	S58.12.27	H15. 4.30
314	鶴見正一	S59. 3. 6	S61. 4.15
315	西前力	S59. 4. 3	S61. 7. 8
316	武藤雍也	S59. 6. 5	H13. 6.30
317	月岡清市	S59. 6.12	H18.12.31
318	林正典	S59. 6.26	S60. 8.12☆
319	山本一郎	S59. 6.26	H 3. 3.12☆
320	高田平八郎	S59. 7.31	S60. 9.30
321	森川長	S59. 7.31	S61. 4.15
322	向井章	S59. 8. 7	S61. 4.22
323	高嶋良平	S59. 8. 7	
324	F・クールマン	再S59.10.2	S62. 6.30

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
325	宮崎文雄	S59.10. 2	S61. 4.15
326	鈴木喬久	S59.12.11	S60.10. 1
327	高橋恵俊	S59.12.11	
328	澤田善吾	S59.12.18	H13.10.30
329	向井菊美	S60. 2. 5	
330	片山開	S60. 2. 5	H10. 3. 2
331	佐々木宗一郎	S60. 4. 2	H 4.12.31
332	廣垣良奉	S60. 4. 2	H 4. 2.25☆
333	岡川伸夫	S60. 4. 2	H15. 6.19
334	長岡三郎	S60. 6.11	S63. 3.29
335	坂田雅夫	S60. 6.18	S61. 1.21
336	長川太郎	S60. 6.18	H 1. 5.30
337	小山太一	S60. 6.18	H11. 6.30
338	柏井博之	S60. 8. 6	H19. 2.14☆
339	小沢孝之	S60. 9. 3	S61.12.21
340	沓脱安宏	S60. 9. 3	H14.10.29
341	石川善万	S60. 9.24	S61.11.25
342	阪口正浩	S60.11.19	H21. 6.30
343	村田由夫	S60.11.26	H24. 6. 5
344	渡辺浩康	S60.12.10	S61.12.30
345	鈴木利憲	S61. 2. 4	S63. 4.19
346	羽生良彦	S61. 4.12	S62. 5.26
347	今井拓雄	S61. 6.17	
348	宗像俊衛	S61. 7. 8	S62. 2.17
349	友枝重俊	S61. 7. 8	H14. 7.23
350	上嶋義夫	S61. 7. 8	H10.12.31
351	三宅尉雄	S61. 7.22	H 1. 5.30
352	尾上憲明	S61. 7.22	S63. 6.14
353	川島宗治	S61. 7.22	
354	直木純	S61. 8.12	H 4. 3.27
355	堀田幹雄	S61. 9. 2	S63. 7.12
356	浅井滿藏	S61.10. 4	S63. 3.29
357	雀部虎四郎	S61.10.11	H21. 6.30
358	塚本哲夫	S62. 1.13	
359	大井哲雄	S62. 2. 3	S63. 1.26
360	坂川明邦	S62. 2.10	H 1. 3.14

☆印は在籍中物故会員

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日	悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
361	田村守	S62. 3.31	S63. 4. 5	397	宮代昌明	H 2. 7.10	H 7.12.31
362	西原興一郎	S62. 4. 7		398	中村剛康	H 2. 7.10	H 4.10. 6
363	植村孝一	S62. 4.14		399	高木工	H 2. 7.10	H 5. 3.16
364	横瀬恭平	再S62.8.4	H17.12.31	400	石橋恒生	H 2. 9.18	
365	平尾友保	S62. 9.22	H 1. 5.30	401	浅羽宏	H 2. 9.25	H 5. 3.30
366	加藤武	S63. 3. 8	S63. 6.21	402	原勝彌	H 2.10. 2	H 4. 5.26
367	川上喜久	S63. 3. 8	H 1. 5.30	403	大西秀一	H 2.10.16	H 4. 5.26
368	浅埜正吾	S63. 3.15	H 2. 1.30	404	永倉直敬	H 2.11.20	H 9. 4. 1
369	古賀陸道	S63. 6. 7	H 3. 3.19	405	熊野幸一	H 2.12.18	H10.12.29☆
370	中村輝雄	S63. 6. 7	H 4. 3.31	406	梶橋淳秀	H 3. 2.12	H17.11.15☆
371	千田晴通	S63. 6. 7	H 2. 4. 3	407	工藤恭孝	H 3. 5. 7	
372	近東宏典	再S63.8.30	H 9. 7. 1	408	的場大和	H 3. 6.25	H10. 6.23
373	石井清巳	S63. 8.30	H 2. 6.12	409	吉野勉	H 3. 6.25	H 5. 3. 9
374	有澤忠雄	S63. 9. 6		410	本村武利	H 3. 7.16	H 5. 2.16
375	松下衛	S63. 9. 6	H 6. 4. 5	411	林五和夫	H 3. 9. 3	H 8. 7. 4
376	渡辺邦彦	S63. 9. 6	H 2. 6.12	412	王柏林	H 3.10. 1	H11. 9. 7
377	実田安男	S63. 9.13	H 2. 4.24	413	大塙恵一郎	H 4. 4.14	H 9. 3. 4
378	高野修臣	S63.12. 6	H17. 3.29	414	菊地由紘	H 4. 6. 2	H10. 6.30
379	久野薰	S63.12. 6		415	中口雅明	H 4. 6. 9	H12. 5. 2
380	額田健靖	S63.12. 6	H12. 5.31	416	小野雅道	H 4. 6.30	H 6.10. 4
381	鈴木俊明	S63.12. 6	H 4. 1.28	417	藤田紀雄	H 4. 6.30	H 6. 5.17
382	田中健三	S63.12. 6		418	伴繁太	H 4. 6.30	H 6. 3.29
383	佐々木満男	H 1. 6.13	H 5. 3. 9	419	内垣洋平	H 4. 8. 4	H 5. 9.28
384	須藤雄二	H 1. 6.13		420	瀬戸口雅夫	H 4. 8.18	H 6. 7.24
385	梅村章介	H 1. 6.13	H12. 5. 2	421	遠藤勝嘉	H 4. 8.18	H 8. 2.29
386	横山幹夫	H 1. 6.13	H13.10.30	422	上木邦夫	H 4. 9. 1	H 6. 5.10
387	木村三朗	H 1. 9. 5	H 5. 4.30	423	澤井善平	H 4.10.27	H 5. 7.27
388	木村正人	H 1. 9. 5	H 9. 3.11	424	上村伸幸	H 4.11.24	
389	太原晃一	H 1. 9.19		425	大辻正明	H 4.12.15	
390	芦田節雄	H 1.10. 3	H 2. 6.12	426	西方龍象	H 4.12.25	H 8. 3.12
391	一條久一	H 1.10.17	H 4. 3.25	427	小松原明	H 5. 2. 9	H 6.10. 4
392	岡本友二	H 1.12.19	H 5. 7.27	428	下村福蔵	H 5. 2. 9	H 6.10.25
393	小西紀博	H 2. 1.30	H 4.10.27	429	為末紘司	H 5. 6. 8	H 9. 3. 4
394	乙守典厚	H 2. 2. 6		430	野村康治	H 5. 6. 8	H 8. 7. 4
395	永井源一	H 2. 5.22	H10. 6.23	431	川崎誠一	H 5. 6.22	H 5. 9.28
396	西邑省三	H 2. 5.22	H 4. 3.31	432	鎌田哲夫	H 5. 6.22	

☆印は在籍中物故会員

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
433	田 中 恒 雄	H 5. 6.22	H 9. 4. 1
434	芝 田 実	H 5. 6.29	H 6. 6.30
435	吉 岡 哲	H 5. 9.21	H 8. 3.26
436	寺 前 雅 央	H 5. 9.21	H14. 6.30
437	米 山 弘 之	H 5.11. 9	H 7. 3.28
438	原 邦 彦	H 6. 3. 1	H10. 3. 3
439	山 本 恵 造	H 6. 3.15	H 9. 2.25
440	野 田 晴 清	H 6. 4.19	
441	中井(正信)章詞	H 6. 5.31	
442	野 村 允	H 6. 6. 7	H11. 6.30
443	三 浦 孝 之	H 6. 7. 5	H 8. 3.26
444	藤 野 義 雄	H 6. 9.13	H 8. 8.20
445	森 研 二	H 6. 9.27	H 8. 6. 4
446	田 中 洋	H 6.11. 8	H 8. 2.29
447	白 羽 誠	H 6.11.28	
448	河西登喜雄	H 7. 5. 9	H14. 6.30
449	道 上 明	H 7. 5. 9	
450	入 江 隆 士	H 7. 6.27	H 9. 2. 4
451	佐 井 奇 正	H 7. 6.27	H11. 6.30
452	玉 垣 信 太	H 7. 6.27	H21. 6.30
453	壺 井 醇	H 7. 6.27	
454	山 本 康 一 郎	H 7. 6.27	
455	土 城 敏 彦	H 7. 8.29	
456	龍 口 篤 夫	H 7.12.12	H11. 6.30
457	森 川 博 一	H 8. 2.13	H14.12.24
458	岡 栄 治	H 8. 4.23	
459	塩 原 一 正	H 8. 5.21	H12. 5. 2
460	滝 本 雅 彦	H 8. 6. 4	H17. 2. 8☆
461	吉 田 二 郎	H 8. 6. 4	H 9. 7. 1
462	加 藤 昭 義	H 8. 6. 4	H10. 4. 7
463	竹 野 巖	H 8. 6.18	H10. 4. 7
464	上 村 修 二	H 8. 6.18	H 9. 9.16
465	勝 部 安 之	H 8. 7.30	H11.10.26
466	曾 田 政 之	H 8. 7.30	H10.12.31
467	石 田 昭	H 8. 8.27	H 9.10. 7
468	宮 内 裕 通	H 8. 8.27	H10. 6.30

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
469	太 田 浩 司	H 8.10. 1	H10. 6.23
470	吉 田 建 美	H 8.11.19	
471	藤 田 良 三	H 9. 1.28	H12. 6.30
472	井 上 吉 晴	H 9. 4.15	H13. 2. 6
473	伊 藤 允 好	H 9. 5.13	H13. 4. 3
474	奥 田 和 之	H 9. 6.17	H13. 2.13
475	高 見 育 男	H 9. 6.17	H21.12.31
476	谷 口 義 文	H 9. 7.22	H10. 4. 6
477	形 山 裕 行	H 9. 7.29	H12. 2.29
478	和 田 紘	H10. 1. 6	H10. 8. 4
479	池 田 義 一	H10. 1.27	H13. 3. 6
480	川 崎 元 男	H10. 1.27	
481	野 夕 村 穎 之	H10. 3.31	
482	松 見 捷 郎	H10. 6.23	H12. 6.30
483	本 間 孝	H10.10. 6	H13. 4. 3
484	高 井 志 郎	H10.11.10	H11.11.30
485	吉 田 茂	H11. 3.23	
486	吉 井 正 幸	H11. 4.13	
487	東 浩 哉	H11. 6. 1	
488	池 西(正光)正広	H11. 6. 8	
489	足 立 孝 幸	H11. 6.29	H11. 7.27
490	福 谷 允 剛	H11. 6.29	H12. 3.28
491	畠 崎 廣 敏	再H11.6.29	
492	多 田 善 計	H11. 6.29	
493	榎 原 志 朗	H11. 8.31	
494	青 戸 邦 彦	H11.11. 2	H13. 4. 3
495	彭 曰 豊	H11.11. 2	H20. 6. 3
496	金 栄 昭 彦	H11.11. 2	H20. 6.30
497	石 川 矩 寿	H12. 1.11	H14. 3.26
498	坂 野 伯 夫	H12. 2. 8	H17.12.31
499	大 牟 田 育 宏	再H12.8.1	H14. 6.30
500	福 原 敏 晃	H12. 8.29	
501	森 本 一 裕	H12. 8.29	
502	大 島 修 二	H12. 8.29	H14. 3.26
503	千 葉 始	H12. 9. 5	H23. 6.30
504	岩 野 了	H12. 9. 5	

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
505	田 中 敏 男	H12. 9.19	H14. 6.30
506	田 中 義 明	H13. 4.10	
507	衣 斐 俊 成	H13. 6. 5	H15. 9.16
508	松 井 照 男	H13. 6. 5	
509	尾 山 宜 道	H13. 6. 5	
510	吉 田 正 人	H13. 6. 5	
511	津 波 古 充 朝	H13. 6.12	H19. 3.31
512	深 井 崇 史	H13. 7.24	H14. 6.30
513	横 山 滋	H14. 2.26	
514	赤 堀 寿 美	H14. 5. 7	H15. 2.25
515	原 田 信 也	H14. 5. 7	
516	井 元 憲 生	H14. 5. 7	
517	三 柴 利 雄	H14. 5. 7	H17. 9.27
518	松 下 衛	再H14.7.2	
519	山 本 博 彦	H14. 7.16	H16. 6.30
520	小 林 俊 文	H14. 9. 3	H16. 4.20
521	大 津 悟	H14. 9. 3	H16. 7.20
522	吉 本 政 和	H15. 1.28	H24. 2.14
523	寺 井 啓 勝	H15. 4.15	H24.12.31
524	上 村 修 司	H15.10. 7	
525	橋 本 豊 捷	H15.11.11	
526	浦 長瀬 正 一	H15.12. 2	H17. 9.27
527	山 邑 耕 一	H15.12. 2	
528	鮑 悅 初	H16. 3. 2	
529	則 岡 弘 士	H16. 3. 9	
530	伊 藤 隆 啓	H16. 4.20	
531	石 田 隆 造	H16. 6. 8	H18. 3.31
532	中 田 晴 夫	H16. 9.28	H18. 7. 4
533	桑 野 俊 晶	H16.10.26	H17. 3.29
534	横 山 幹 夫	再H17.6.14	
535	奥 村 昌 彦	H17. 6.14	H19. 3.31
536	平 岡 秀 樹	H17.11.15	H21. 4.14
537	安 藤 進	H17.11.22	H20. 4. 1
538	山 崎 仁 瞳	H18. 1.10	
539	西 藤 直 人	H18. 2. 7	H21. 6.30
540	青 山 一	H18. 3.14	H20. 6.30

悉皆番号	氏 名	入会日	退会日
541	松 井 泰 隆	H18. 6.27	H20. 9.16
542	松 岡 義 幸	H18. 6.27	H19. 6.12
543	樋 口 一 哉	H19. 5.22	
544	宮 昭 久	H19. 5.22	
545	富 永 利 光	H19. 5.22	H20. 6. 3
546	横 山 公 一	H19. 5.22	
547	江 口 行 生	H19. 6.19	H24. 6.30
548	土 田 剛 司	H19. 6.19	
549	竹 崎 恵 一	H19. 6.26	H20. 5.13
550	高 田 英 輝	H20. 2. 5	
551	高 石 昇	H20. 2.19	
552	澤 田 正 樹	H20. 4. 1	
553	中 尾 優	H20. 7. 1	
554	宗 野 正 吾	H20. 7. 1	H23. 4.30
555	清 水 和	H20. 7. 8	H22. 3.31
556	青 井 克 己	H20. 8. 5	H22. 3.31
557	松 居 隆	H20. 8. 5	H22. 3.31
558	古 賀 朗	H20.11.11	H23. 9.20
559	松 谷 齊 泰	H21. 4. 7	
560	三 戸 岡 英 樹	H21. 4. 7	
561	石 塚 俊 二	H21. 6. 9	H23. 3.31
562	藤 原 崇 晴	H21. 9. 1	
563	石 川 泰 平	H21. 9. 1	
564	中小 路 公 朗	H21. 9. 1	
565	大 澤 勇	H21.10.13	
566	中 川 俊	H21.11.17	
567	梅 田 稔	H22. 3.16	
568	山 下 恒 司	H22. 6.15	H25. 4.30
569	四 方 克 明	H22. 8. 3	
570	友 藤 順 義	再H22.8.3	
571	林 伯 正	H23. 4. 5	
572	藤 本 義 洋	H23. 4.12	
573	加 納 哲 裕	H23. 6. 7	
574	近 藤 丈 晴	H23. 6. 7	H26. 3.31
575	香 山 道 宣	H23. 6. 7	
576	阿 部 祐 司	H23. 6.21	H24. 3.31

悉皆番号	氏名	入会日	退会日
577	田中寿夫	H23. 6.21	
578	金谷卓実	H23. 9. 6	H24.11.30
579	三野哲治	H23. 9. 6	
580	村元信吾	H23. 9. 6	
581	石本一生	H23.11. 8	
582	上月福男	H23.12. 6	
583	尾崎秀雄	H24. 2.21	
584	樺野孝人	H24. 4.10	
585	弘田芳裕	H24. 6. 5	
856	山本裕計	H25. 1.22	
587	山田直造	H25. 3. 5	
588	佐井奇正	再H25.5.21	
589	前田正学	H25. 6.11	H26. 4. 1
590	菅野和矢	H25. 6.25	
591	藤井光造	H25.10. 8	
592	白田勉	H25.10. 8	
593	松島哲也	H25.12.10	

2014年4月1日現在

名 誉 会 員

我がクラブの名誉会員については、昭和47年～48年度(松野会長)に、チャーターメンバーの小泉尚助さん(昭和47年12月30日退会)、同じく、高梨義郎さん(昭和48年5月30日退会)の二人の退会を機に、創立20周年を迎えるに当たり、理事会において名誉会員を推挙する事が承認された。

小菅 金造氏(神戸RC)

我がクラブの創立総会は、昭和29年3月9日で、RIより承認を受けたのが昭和29年4月12日であり、昭和28年～29年度の地区ガバナーは、北沢敬二郎氏(大阪RC)であったが、期間も短期であったため、昭和29年～30年度の地区ガバナーであり、又、スポンサークラブの所属もあって推挙する。

期間：昭和48年7月1日～昭和49年4月11日歿

直木太一郎氏(神戸RC)

昭和32年～33年地区ガバナー。
日本ロータリー界の重鎮であられ、我がクラブの設立の礎を作られた。

期間：昭和48年7月1日～昭和62年11月2日歿

沢田清兵衛氏(神戸RC)

昭和26年～27年 神戸RC会長
我がクラブ設立時の特別代表として指導願った。

期間：昭和48年7月1日～昭和51年4月9日歿

小泉 尚助氏(チャーターメンバー)

小泉製麻(株)会長
3代目会長として、クラブ発展のために尽力された。

期間：昭和48年7月1日～昭和49年1月7日歿

荒勝 文策氏(チャーターメンバー)

甲南大学 学長
9代目会長として、クラブ発展のために尽力された。

期間：昭和48年6月の最終理事会で推挙されたが、同年6月25日に逝去された。

歴代地区委員(5年間)

2009～2010年度

赤木 文生	ガバナー諮問委員会委員 PDG 職業奉仕委員会 アドバイザー
久野 薫	危機管理委員会委員
高嶋 良平	増強・拡大委員会委員長
松下 衛	ロータリー財団委員会副委員長
向井 菊美	米山奨学委員会副委員長 米山奨学委員会米山奨学選考小委員会委員長
森本 一裕	社会奉仕委員会社会奉仕小委員会委員
吉井 正幸	社会奉仕委員会教育問題小委員会委員
乙守 典厚	国際奉仕委員会ロータリー親睦活動小委員会委員
山本康一郎	増強・拡大委員会拡大小委員会委員
壺井 醇	ロータリー財団委員会財団学友小委員会委員
橋本 豊捷	職業奉仕委員会委員

2010～2011年度

赤木 文生	ガバナー諮問委員会委員 PDG 職業奉仕委員会 アドバイザー
久野 薫	危機管理委員会委員
高嶋 良平	増強・拡大委員会委員長
松下 衛	ロータリー財団委員会副委員長
向井 菊美	米山奨学委員会副委員長 米山奨学委員会米山奨学選考小委員会委員長
壺井 醇	ロータリー財団委員会財団学友小委員会委員長
須藤 雄二	ロータリー財団委員会GSE小委員会委員
松谷 齊泰	ロータリー財団委員会奨学金小委員会委員
森本 一裕	社会奉仕委員会社会奉仕小委員会委員
吉井 正幸	社会奉仕委員会教育問題小委員会委員
橋本 豊捷	職業奉仕委員会委員
山本康一郎	増強・拡大委員会拡大小委員会委員
樋口 一哉	新世代委員会国際青少年交換小委員会委員

2011～2012年度

赤木 文夫	ガバナー諮問委員会 PDG
田中 健三	クラブ奉仕委員会クラブ奉仕小委員会委員
岩野 了	クラブ奉仕委員会IT情報小委員会委員
橋本 豊捷	職業奉仕委員会委員
森本 一裕	社会奉仕委員会社会奉仕小委員会委員
吉井 正幸	社会奉仕委員会教育問題小委員会委員
吉田 正人	新世代奉仕委員会RYLA小委員会委員
樋口 一哉	新世代奉仕委員会ロータリー青少年交換小委員会委員
乙守 典厚	国際奉仕委員会ロータリー親睦活動小委員会委員
松谷 齊泰	ロータリー財団委員会奨学金・GSE小委員会委員
須藤 雄二	ロータリー財団委員会GSE小委員会委員
池西 正広	ロータリー財団委員会補助金小委員会委員

壺井 醇	ロータリー財団委員会財団学友小委員会委員長
向井 菊美	米山奨学委員会副委員長 米山奨学委員会選考小委員会委員長
鮑 悅初	米山奨学委員会情報・寄付小委員会委員
山本康一郎	増強・拡大委員会拡大小委員会委員
鎌田 哲夫	情報研修委員会規定情報小委員会委員

2012～2013年度	
久野 薫	ガバナー指名委員会 PDG ガバナー諮問委員会 PDG 戦略計画委員会委員
赤木 文生	ガバナー諮問委員会 PDG
松下 衛	戦略計画委員会委員 研修委員会委員 ロータリー財団委員会財団学友小委員会委員
多田 善計	地区財務委員会 委員
向井 菊美	米山奨学委員会副委員長
岩野 了	広報委員会委員
橋本 豊捷	職業奉仕委員会委員
森本 一裕	社会奉仕委員会地域問題小委員会委員
吉井 正幸	社会奉仕委員会教育問題小委員会委員
吉田 正人	新世代奉仕委員会RYLA小委員会委員
樋口 一哉	新世代奉仕委員会ロータリー青少年交換小委員会委員
須藤 雄二	ロータリー財団委員会GSE(VTT)小委員会委員
松谷 齊泰	ロータリー財団委員会奨学金小委員会委員

2013～2014年度	
久野 薫	ガバナー指名委員会 PDG ガバナー諮問委員会 PDG 監査委員会 委員
赤木 文生	ガバナー諮問委員会 PDG
吉井 正幸	社会奉仕委員会教育問題小委員会委員
森本 一裕	社会奉仕委員会地域問題小委員会委員
須藤 雄二	国際奉仕委員会VTT小委員会委員
松谷 齊泰	国際奉仕委員会奨学金小委員会委員
樋口 一哉	青少年奉仕委員会新世代交換小委員会委員 青少年奉仕委員会青少年交換小委員会委員長 学友委員会委員
吉田 正人	青少年奉仕委員会新世代交換小委員会委員
石川 泰平	青少年奉仕委員会青少年交換小委員会委員
松下 衛	学友委員会委員長 ロータリー財団委員会資金管理小委員会委員長 ロータリー財団委員会補助金小委員会委員
多田 善計	ロータリー財団委員会資金管理小委員会委員
向井 菊美	米山奨学委員会選考小委員会委員長
岩野 了	公共イメージ委員会委員
向井 菊美	学友委員会委員

歴代役員・理事・委員長（5年間）

	平成21～22	平成22～23
地区ガバナー	中村 尚義	柴田 整宏
会長(理事・役員)	松下 衛	吉田 建美
副会長(理事・役員)	植村 孝一	乙守 典厚
幹事(理事・役員)	岡 栄治	吉井 正幸
副幹事	吉井 正幸	山崎 仁嗣
S.A.A.(役員)	野田 晴清	植村 孝一
副S.A.A.	増田 光夫	光葉 貞男
//	新宮 千早	高嶋 良平
会計(役員)	横山 幹夫	野田 晴清
副会計	大辻 正明	多田 善計
職業奉仕(理事)	鎌田 哲夫	岩野 了
社会奉仕(理事)	野々村禎之	森本 一裕
国際奉仕(理事)	畠崎 廣敏	須藤 雄二
新世代奉仕(理事)		
無任所(理事)	樽本 久	三原 孝公
//	中井 章詞	岡 栄治
会長エレクト(理事・役員)	吉田 建美	塚本 哲夫
クラブ奉仕	植村 孝一	乙守 典厚
出席	有澤 忠雄	嘉納 忠夫
親睦・家族	宮 昭久	寺井啓勝(親睦)・山崎仁嗣(家族)
プログラム	森本 一裕	池西 正広
週報	吉田 正人	横山 滋
雑誌会報	東 浩哉	田中 義明
ロータリー情報	小倉 宗夫	中井 章詞
会員増強	土城敏彦(会員増強・職業分類)	吉田 茂
会員選考・職業分類	西原興一郎(会員選考)	壺井 醇
職業奉仕	鎌田 哲夫	岩野 了
社会奉仕	野々村禎之	森本 一裕
新世代	樋口 一哉	尾山 宜道
国際奉仕	畠崎 廣敏	須藤 雄二
ロータリー財団	壺井 醇	多田 善計
米山奨学	江口 行生	鮑 悅初
会計監事	三原 孝公・多田 善計	今井 拓雄・横山 幹夫
相談役	赤木 文生	角田 嘉宏
	野田 晴清(未来委員会)	野田 晴清(未来委員会)

平成23～24	平成24～25	平成25～26
久野 薫	石丸鐵太郎	大室 優
塚本 哲夫	中井 章詞	野々村禎之
野々村禎之	太原 晃一	岡 栄治
山崎 仁嗣	岩野 了	須藤 雄二
岩野 了	須藤 雄二	澤田 正樹
吉田 建美	塚本 哲夫	中井 章詞
高橋 恵俊	嘉納 忠夫	三戸岡英樹
野田 晴清	松下 衛	道上 明
岩野 了	多田 善計	田中 健三
榎原 志朗	道上 明	多田 善計
井元 憲生	上村 伸幸	橋本 豊捷
壺井 醇	吉井 正幸	井元 憲生
則岡 弘士	松谷 齊泰	村元 信吾
須藤 雄二	樋口 一哉	土田 剛司(青少年奉仕)
角田 嘉宏	野田 晴清	野田 晴清
吉井 正幸	山崎 仁嗣	岩野 了
中井 章詞	野々村禎之	乙守 典厚
野々村禎之	太原 晃一	岡 栄治
植村 孝一	田中 健三	田中 義明
岡 栄治	梅田 淎(親睦)・四方克明(家族)	松井 照男
三戸岡秀樹	鮑 悅初	吉井 正幸
石川 泰平	榎原 志朗	林 伯正
高嶋 良平	森本 一裕	田中 寿夫
鎌田 哲夫	澤田 正樹	鎌田 哲夫
鮑 悅初	岡 栄治	大澤 勇
澤田 正樹	植村 孝一	吉田 建美
井元 憲生	上村 伸幸	橋本 豊捷
壺井 醇	吉井 正幸	井元 憲生
須藤 雄二(新世代奉仕)	樋口 一哉(新世代奉仕)	土田 �剛司(青少年奉仕)
則岡 弘士	松谷 齊泰	村元 信吾
横山 公一	伊藤 隆啓	尾山 宜道
土田 剛司	石川 泰平	吉田 正人
執行 英毅・大辻 正明	三原 孝公・田中 寿夫	小倉 宗夫・山本康一郎
	野田 晴清(未来委員会)	中井 章詞(未来委員会)

現会員名簿

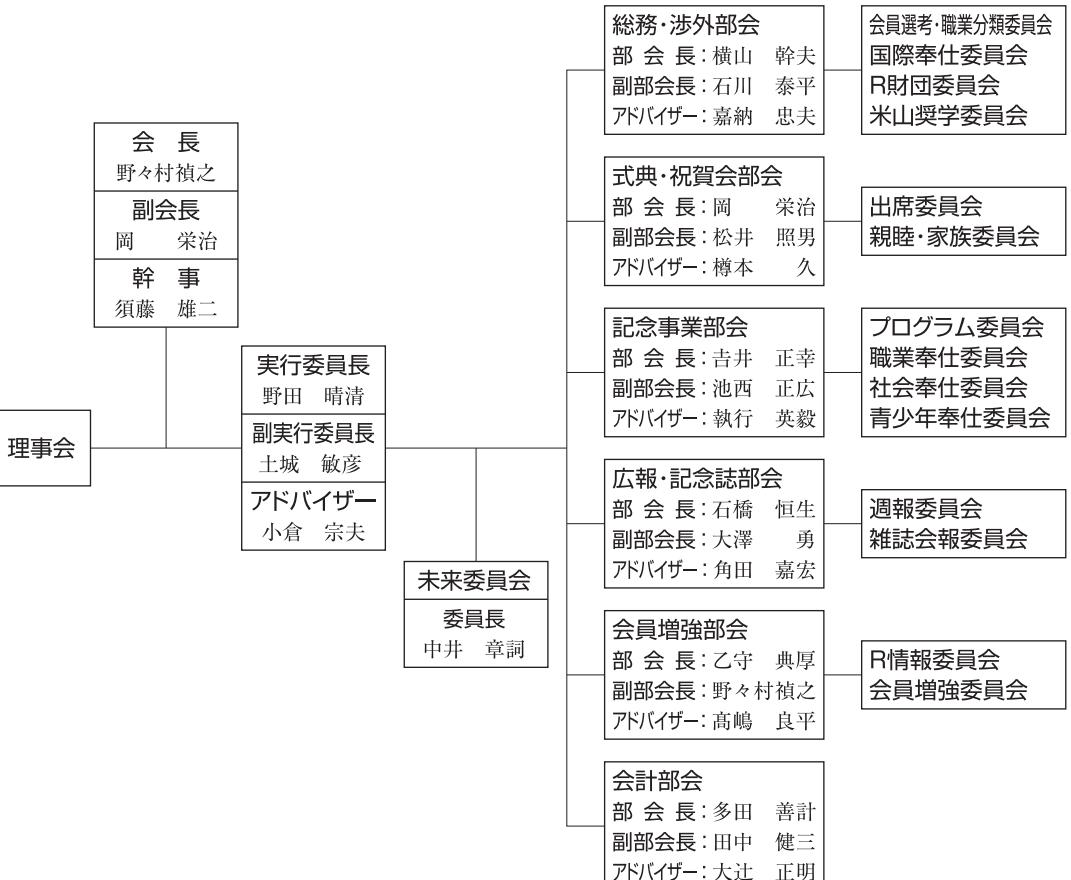
悉皆番号	氏 名	職業分類	入会日	推薦者	職 名
143	赤木文生	弁護士	S42.12. 5	村田(定)、奥野	神戸ブルースカイ法律事務所 所長
374	有澤忠雄	医師(眼科)	S63. 9. 6	三好、高嶋(良)	眼科有澤クリニック 院長
528	鮑悦初	食品業(調味料製造販売)	H16. 3. 2	植村、角田	(株)廣記商行 取締役会長
455	土城敏彦	建築設計士	H 7. 8.29	樽本、小倉	(株)土城設計 代表取締役社長
562	藤原崇晴	建設業(建設請負業)	H21. 9. 1	川崎、池西	藤原建設(株)
591	藤井光造	室内装飾品	H25.10. 8	鎌田、横山(幹)	(株)クレアシオンフジイ (株)藤井正商店 代表取締役
572	藤本義洋	歯科医	H23. 4.12	上村(伸)、三原	藤本歯科クリニック
500	福原敏晃	菓子(洋菓子)	H12. 8.29	石橋、工藤	(有)ボック 代表取締役社長
515	原田信也	流通市場(会員権売買)	H14. 5. 7	野田、畠崎	
525	橋本豊捷	紙工業(紙製品製造販売)	H15.11.11	福原、壺井	(株)橋本パッケ
491	畠崎廣敏	被服業(衣料品製造販売)	S48. 3.20 H11.6.29(再)	小倉、野澤	(株)ワールド 社主
487	東浩哉	食品業(茶精製販売)	H11. 6. 1	太原(震)、澤田	(株)放香堂 代表取締役副社長
543	樋口一哉	鉄鋼業(厚鉄板)	H19. 5.22	上村(修)、金栄	樋口鋼業(株) 代表取締役社長
585	弘田芳裕	酒精飲料販売	H24. 6. 5	今井、吉井	ひよどり商店 代表取締役
488	池西正広	不動産業(住宅経営)	H11. 6. 8	寺崎、中口	イケニシ(株) 代表取締役
347	今井拓雄	酒精飲料販売	S61. 6.17	安福、高田	(株)今井商店 代表取締役
516	井元憲生	被服業(婦人服販売)	H14. 5. 7	植村、畠崎	(株)バリュー・プランニング 代表取締役社長
400	石橋恒生	印刷・出版	H 2. 9.18	植村、藤田(久)	(株)興正社 代表取締役社長
581	石本一生	ホテル	H23.11. 8	木下(健)、野田	三宮ターミナルビル(株) 代表取締役社長
563	石川泰平	ゴム工業(ゴム製品製造)	H21. 9. 1	土城、上村(修)	石川化成(株)
530	伊藤隆啓	不動産業	H16. 4.20	鎌田、吉田(茂)	(有)五代興産 代表取締役
504	岩野了	デザイナー(クリエイティブ)	H12. 9. 5	角田、沓脱	(合)デザインサポート 代表
432	鎌田哲夫	弁護士	H 5. 6.22	赤木、村田(由)	海岸通法律事務所
424	上村伸幸	歯科医	H 4.11.24	木下(健)、三原	上村歯科医院 院長
151	嘉納忠夫	自動車工業(自動車販売)	S43.10.15	八馬、小野	
573	加納哲裕	建築業(建設請負業)	H23. 6. 7	野田、山本	鹿島建設(株) 神戸営業所長
584	樫野孝人	経営コンサルタント	H24. 4.10	小倉、田中(健)	(株)CAP 代表取締役社長
296	加藤昇治	建築材料販売	S58. 6. 7	八馬、野澤	
480	川崎元男	食品業(青果販売)	H10. 1.27	寺崎、中口	川崎青果(株)
353	川島宗治	芸術(茶道)	S61. 7.22	安福、柴田	茶道 裏千家
165	木下健	ゴム工業(ゴム原料販売)	S45. 1. 6	近沢、高田	(株)三富商店 会長
574	近藤丈晴	電気機器製造販売	H23. 6. 7	山本、山崎	(株)日立製作所神戸支店支店長
575	香山道宣	旅行社	H23. 6. 7	鎌田、伊藤	(株)三洋航空サービス
582	上月福男	貿易	H23.12. 6	野々村、鮑	上月産業(株)
407	工藤恭孝	書籍販売	H 3. 5. 7	月岡、植村	(株)ジュンク堂書店 代表取締役社長
379	久野薰	病院(医療型病院)	S63.12. 6	有澤(武)、薄木	医療法人社団 薰英の会 久野病院 会長

悉皆番号	氏 名	職業分類	入会日	推薦者	職 名
571	林伯正	不動産業(不動産賃貸)	H23. 4. 5	鮑、道上	中央実業(株) 代表取締役
589	前田正学	証券会社	H25. 6.11	木下、吉田(正)	大和証券(株)
508	松井照男	不動産業(不動産管理)	H13. 6. 5	野田、川崎	(株)日本ネットワークサービス 代表取締役
593	松島哲也	食品検査	H25.12.10	橋本、大澤	(株)日本食品エコロジー研究所 代表取締役社長
518	松下衛	宿泊施設(ホテル)	S63. 9. 6 H14.7.2(再)	三原、角田	
559	松谷齊泰	被服業	H21. 4. 7	戸山、山崎	(株)紅屋 代表取締役会長
449	道上明	弁護士	H 7. 5. 9	有澤(武)、村田	神戸ブルースカイ法律事務所
261	三原孝公	歯科技工業	S54. 6.12	坂下、角田	(株)ミハラ歯研
560	三戸岡英樹	医師(消化器科)	H21. 4. 7	白羽、執行	芦屋三戸岡クリニック 院長
579	三野哲治	ゴム工業	H23. 9. 6	小倉、木下(健)	住友ゴム工業(株)
228	光葉貞男	食品業(チョコレート製造販売)	S51. 1.13	小泉(進)、奥	ゴンチャロフ製菓(株) 取締役会長
544	宮昭久	病院(療養型病院)	H19. 5.22	岡、金栄	医療法人社団 敬風会 理事長
501	森本一裕	ガラス工業(窓ガラス販売)	H12. 8.29	壺井、工藤	(資)森本硝子店 代表社員
329	向井菊美	車輌工業(自転車製造販売)	S60. 2. 5	藤田(久)、櫻本	一般財団法人 自転車センター 理事
580	村元信吾	電気部品製造販売	H23. 9. 6	西原、岡	(株)村元工作所
566	中川俊	不動産業(ビルディング管理)	H21.11.17	川崎、土城	新光明飾(株) 代表取締役
441	中井章詞	病院(一般病院)	H 6. 5.31	執行、薄木	医療法人社団 中井病院 理事長
564	中小路公朗	運輸業(貨物運送取扱業)	H21. 9. 1	土城、宮	中貨物自動車(株)
553	中尾優	弁理士	H20. 7. 1	三原、角田	特許業務法人 有古特許事務所 所長
362	西原興一郎	自動車工業(自動車販売)	S62. 4. 7	森川(正)、嘉納	兵庫三菱自動車販売(株) 社長
252	西村太一	自動車工業(自動車販売)	S53. 2. 7	村田、角田	神戸トヨペット(株) 代表取締役会長
440	野田晴清	建設業(コンサルティング)	H 6. 4.19	武藤、小泉(進)	(株)エヌビーシー
481	野々村禎之	食品業(給食用食品)	H10. 3.31	三輪、塚本	ウォクニ(株) 代表取締役社長
529	則岡弘士	貿易商社	H16. 3. 9	三原、角田	第一貿易(株) 代表取締役
166	小倉宗夫	化学工業(合成樹脂販売)	S45. 1. 6	小野、角南	小倉サンダイイン(株) 取締役相談役
389	太原晃一	真珠販売	H 1. 9.19	南(史)、末正	日信貿易(株) 代表取締役社長
565	大澤勇	ゴルフ練習場	H21.10.13	嘉納、横山(幹)	(株)オオサワ 専務取締役
458	岡栄治	建設業(建設請負業)	H 8. 4.23	寺崎、中口	(株)岡工務店 取締役社長
394	乙守典厚	宣伝業	H 2. 2. 6	樽本、西宮	(株)トーアコーポレーション 代表取締役社長
425	大辻正明	公認会計士	H 4.12.15	角田、西宮	税理士法人 神戸会計社
509	尾山宜道	仏教寺院(臨済宗)	H13. 6. 5	高橋、土城	宗教法人 十善寺
583	尾崎秀雄	酒精飲料(ビール醸造)	H24. 2.21	今井、松下	キリンビールマーケティング(株)神戸支社 支社長
588	佐井奇正	不動産業(不動産賃貸)	H 7. 6.27 H25.5.21(再)	角田、田中(健)	益順貿易(株)
493	榎原志朗	公認会計士	H11. 8.31	大牟田、山野	榎原公認会計士・税理士事務所 所長
552	澤田正樹	医師(形成外科)	H20. 4. 1	久野、三原	さわだクリニック 院長
172	執行英毅	医師(耳鼻咽喉科)	S45. 7. 7	池田、風間	

神戸東RC 創立60周年記念事業実行委員会 組織図

悉皆番号	氏 名	職業分類	入会日	推薦者	職 名
569	四方 克明	建設業(測量設計)	H22. 8. 3	吉田(茂)、山本	阪神測建(株) 代表取締役
447	白羽 誠	病院(療養型病院)	H 6.11.28	風間、執行	
592	白田 勉	保険代理業	H25.10. 8	大澤、土城	メットライフアリコ生命保険(株)
590	菅野 和矢	宿泊施設(ホテル)	H25. 6.25	松下、野田	神戸メリケンパークオリエンタルホテル
182	角田 嘉宏	弁理士	S46. 5.18	安福、原	特許業務法人 有古特許事務所
384	須藤 雄二	真珠販売	H 1. 6.13	木下(章)、八馬	伊豫パール(株) 代表取締役社長
492	多田 善計	公認会計士	H11. 6.29	大辻、樽本	多田公認会計士事務所
327	高橋 恵俊	仏教寺院(天台宗)	S59.12.11	末正、高見	善光寺
551	高石 昇	医師(精神科)	H20. 2.19	樽本、角田	(医)高石クリニック 理事長
323	高嶋 良平	食品業(漬物製造販売)	S59. 8. 7	末正、大牟田	高嶋酒類食品(株) 取締役会長
550	高田 英輝	司法書士	H20. 2. 5	土城、岡	司法書士法人トーアウエスト合同事務所 所長
382	田中 健三	不動産業(不動産仲介業)	S63.12. 6	末正、沓脱	(株)ユービーエル 代表取締役
577	田中 寿夫	税理士	H23. 6.21	鎌田、山本	田中会計事務所
506	田中 義明	運輸業(貨物自動車輸送)	H13. 4.10	沓脱、河西	田中輸送(株)
167	樽本 久	金物製造販売	S45. 1. 6	有澤(武)、末正	樽本産業(株) 取締役会長
570	友藤 順義	日用品雑貨(雑貨輸出入業)	S58.11. 8 H22.8.3(再)	角田、樽本	友藤商事(株) 代表取締役社長
311	戸山 晶夫	病院(総合病院)	S58.12. 6	安福、高嶋(平)	(学)甲南学園 名誉理事
453	壺井 醇	食品業(パン製造販売)	H 7. 6.27	横山(幹)、角田	(株)ケルン 代表取締役会長
548	土田 剛司	不動産鑑定士	H19. 6.19	松下、金栄	あいき不動産鑑定(株) 代表取締役
358	塚本 哲夫	食品業(乳製品製造販売)	S62. 1.13	有澤(武)、木下(健)	六甲バター(株) 代表取締役社長
363	植村 孝一	被服業(既製服販売)	S62. 4.14	芹沢、角田	マック(株) 監査役
524	上村 修司	園芸業(花卉販売)	H15.10. 7	土城、川崎	(株)順花園
567	梅田 稔	食品業(食肉加工)	H22. 3.16	植村、吉田(茂)	(株)メイショク 代表取締役社長
587	山田 直造	金融都市銀行	H25. 3. 5	塚本、鮑	(株)三菱東京UFJ銀行 三宮支社 支社長
586	山本 裕計	情報・調査サービス	H25. 1.22	友藤、横山(幹)	アイクラフト(株) 代表取締役
454	山本 康一郎	建築設計士	H 7. 6.27	沓脱、月岡	(株)山本設計 代表取締役社長
527	山邑 耕一	不動産業(不動産賃貸)	H15.12. 2	嘉納、加藤	山邑興産(株)
281	山野 薫	貿易商社	S56. 9. 1	有澤(武)、野澤	(株)山野商会 代表取締役
538	山崎 仁嗣	飲食業(和食店)	H18. 1.10	横山(幹)、野々村	(有)ナリッジ 代表取締役
534	横山 幹夫	金属業(非鉄金属売買)	H 1. 6.13 H17.6.14(再)	小倉、植村	ワイメタル(株) 代表取締役
513	横山 滋	獣医師	H14. 2.26	久野、三原	アイヴィヨコヤマペットクリニック 院長
546	横山 公一	事務用品販売	H19. 5.22	工藤、植村	横山(株) 代表取締役社長
470	吉田 建美	歯科医(矯正歯科)	H 8.11.19	三原、上村(伸)	(医)吉田矯正歯科クリニック
510	吉田 正人	不動産業(不動産賃貸)	H13. 6. 5	岡、壺井	X-ROKKO(バイ・ロッコウ) 代表者
485	吉田 茂	建設業(土木工事)	H11. 3.23	沓脱、鎌田	神戸整備重機(株) 代表取締役
486	吉井 正幸	木材業(木製品販売)	H11. 4.13	増田、横山(幹)	(株)桃山商店 専務取締役

2014年3月31日現在



編集後記

創立60周年は人間の一生に例えれば、まさに還暦にあたります。還暦とは干支が一巡し、再び戻ると言う意味がございます。今回の記念誌は創立元年の清新さに立ち戻る絶好の機会でもありました。編集にあたっては、実行委員会のメインテーマ「温故知新」を踏まえ、赤木、久野パストガバナーからのメッセージ、50周年以降の足跡、100周年に向けての座談会、会員の随想、未来委員会からの提言など、神戸東ロータリークラブが足元を固めて、次なる時代に向かって大きく羽ばたくための原動力になることを願って編集いたしました。各種報告では各委員長様、同好会の代表世話人の皆様にご協力いただき、そして会員の皆様には60周年に在籍の証として多くの声をいただきました。最後に事務局の皆様には多大なご協力をいただき感謝いたします。出来る限り間違いがないように調査、及び校正をいたしましたが、不手際がありましたらお許しください。この記念誌が新しいわがクラブの礎になりますことを願って編集後記といたします。

神戸東ロータリークラブ創立60周年記念事業 広報・記念誌部会
部会長 石橋恒生

神戸東ロータリークラブ
創立60周年記念誌

発行日 2014年6月30日
発行者 神戸東ロータリークラブ
〒650-0042 神戸市中央区波止場町2丁目1
ホテルオークラ神戸内
TEL(078)333-1818 FAX(078)333-1515
表紙デザイン 岩野了
企画・制作・印刷 株式会社 興正社